

外事新聞報

特報

第六十五百第

濟	国立公文書館
分	警察庁
類	9
排架番号	4E
	15-- 1
	139





昭和十年 外事警察報 第一百五十六號 目次

- ◇ ソ聯邦第七回ソウエート大會(三).....一
- 二 第七回ソウエート大會に於ける諸報告演説(下).....一

外國事情

〔滿洲國〕

- 中共東滿黨團特委聯席大會の開催と其の決議.....五三
- 滿洲國に於ける東家裡の現況.....五一

〔中華民國〕

- 中國共產黨特務隊の活動情況.....五九
- 中國共產主義同盟の近狀.....七四
- 中共黨の右吉大使着任反對不穩計畫.....八〇

目

次

一

中國左翼團體の日支提携反對宣傳……………八六

〔比 律 賓〕

比律賓大衆の自由の爲の盛裝闘争……………九四

〔ソウエート聯邦〕

赤軍大學卒業式に於けるスターリンの演説とソ紙の論調……………九六

第二次黨機關清掃の結果に現はれた黨活動……………一〇七

〔ダンチヒ〕

ダンチヒ選舉……………一一三

〔獨 逸〕

國民社會黨創立十五周年祭に於けるヒ總統の演説……………一二九

獨逸の宗教闘争……………一三六

〔佛 蘭 西〕

佛蘭西の政情……………一四〇

〔英 吉 利〕

英國共產黨第十三回大會……………一四〇

彙 報

コミンテルンの對外政策……………一四四

戦争の脅威と反戦闘争……………一五〇

一九三三年極東反戦大會の決議……………一五二

支那朝鮮労働者間に於ける共產黨工作……………一五八

ソウエートの輿論と日本……………一六〇

全露共產黨中央委員會の當面の宣傳工作に關する決定……………一六四

ブラウダ紙の見た北支問題……………一六六

歸來獨逸避難民の取扱……………一七〇

雜 報

倫敦に於ける獨逸の秘密警察……………一七二



南京政府の密債養成規則 ..... 一七五

諸外國に於ける共産黨のテロ ..... 一七五

猶太人の諸問題 ..... 一八八

英帝の銀冠式祝賀舞踏會と失業者 ..... 一九五

草 埋

世界に於ける獨逸民族の分布 ..... 二二

エチオピア國人の特徴 ..... 二四

新羅の面積と人口 ..... 二七



目次 終

ソ 聯 邦 第 七 回 ソ ウ エ ー ト 大 會 (三三)

二 第七回大會に於ける諸報告演説 (下)

六 第七回全聯邦ソウエート大會に於ける重工業人民委員  
エス・オルジヨニキーゼの報告演説

同志諸君、我が國の重工業の現状及び活動状態に就いて述べる前に、茲に會つてレーニンが重工業に課したる意義及びスターリンが重工業に課したる又現に課してゐる意義が如何なるものであるか、此れに就いて數言述べて見よう。

重工業の建設、新しき機械の生産なくしては我が蘇聯邦は今日の成功を收め得なかつたであらう。重工業の建設を實現し得なかつたならば、我がプロレタリア國家は支那の様な植民地と化し粉砕されてゐたであらう。我が偉大なる首領、我が黨の創造者にして、十月革命の創造者たるベ・イ・レーニンは一九二一年に既に「大機械工業及び農村の機械化は社會主義の唯一の經濟根據であり且又人類を資本主義の軛から救ふ闘争に成功を齎す唯一の根據である。」と言つてゐる。又レーニン主義の忠實なる信奉者にして現代我が黨の首領たるスターリンも一九二五年重工業發展の國際的意義に就いて「我が金屬工業發展の國際的意義を顧みるに、之は恐らく不可測である。蓋しプロレタリアート獨裁下に於ける金屬工業の急激なる發展は、プロレタリアートが單に古きものを破壊するのみならず、又新しきものを建設し得るこゝ及びプロレタリアートが其の獨特の力によつて新しき工業及び人が人を擯取することの無き新しき社會を建設し得るこゝを明に證明するものでなくて何であらう。此れに對する證明にして机上の空論によらず、實地の經驗による證明は世界革命運動が徹底的に遂行されてゐる事である。」と言つてゐる。

同志諸君、此れこそ我が黨が重工業の發展に多大の注意を拂ひ、當時所謂「左翼」を自稱したるも現在白系の徒黨に過ぎ

ない左翼日和見主義者即ちジノツイエフ、カーメネフ、及びトロツキーに對して激烈な鬭争を續けてゐる所以である。我が黨はスターリンの指導の下に此等反蘇分子を一掃し、重工業建設の戦線を擴張して來た。茲に第六回ソウエート大會から第七回ソウエート大會に至る四ヶ年間に於ける重工業建設の経過報告を試みて見よう。

一九三一年一月一日現在の重工業基金は九、〇三四百萬留であつたが、本大會開催前には二八、九〇三(百萬留)に増加し、三倍餘りなつた。我が黨は重工業發展のためにはレーニンの所謂國家補助金制度を實施し、必要な資金は幾らでも支出して來た。此の四ヶ年間に我が黨が重工業に投じた金額は三〇、三〇六(百萬留)、建設及び再建事業に投じた金額は二二、五四九(百萬留)、工業原料品の輸入額は十億金留である。

重工業労働者はレーニン・スターリン黨の指導の下に、重工業建設の大課題を遂行し、大小各工場、鑛坑、鐵鑛坑、發電所、油田、カリウム鑛坑、及び燐灰石鑛坑其他を建設又は開坑し、ベレズニキー、スターリンゴルスク、マグニートカ、クズネツク、クリイボイロダ、ザパロジスターリ等のトラクター及自動車工場を初めスヴィル国立地方發電所、クリオン發電所、ゾロ發電所、シヤツール、ツエフカ其他數百の發電所及びドンバス、クズバス、カラガンダ等の炭田が建設又は開坑された。此れ等の工場の建設に當つて新たに技術家幹部の養成が行はれたけれど、勿論若干の誤謬を、時としては不愉快極まる誤謬を犯してゐる。然し之れは已むを得ない現象である。

昨年十二月二十六日スターリンは冶金業者の會合の席上で「我が國には技術教育を受けた者が非常に少くない。従つて我々は先づ學校で技術教育を行ひ、技術家幹部の養成が終る迄機械の生産及び大衆の活用を十ヶ年間延期するか、將又直ちに機械の製作及活用に着手し、此れを並行して技術教育を行ひ、技術家幹部の養成を行ふか……のジレンマに陥つてゐる。我々は後者を選んだ。我々は機械の操縦の出来る技術教育を受けた者が缺乏してゐる爲め當然不可避的に冗費の要る事を知りつ、此の方法を撰んだ譯であり、少なからず機械を破損したけれども、然し得難い技術家幹部を獲得することが出來た。過去三、四年間は我々は各種の機械(トラクター、自動車、タンク、飛行機其他)生産部門並びに其の活用部門に於て技術教育を受けた幹部を有するに至つた。其の結果我々は僅か、三、四年の間に、數十年もかゝつてやつた築き上げた、ヨーロッパの機械技術物の見事に追ひ越して仕舞つた。だから多少の冗費や、機械の破損ぐらゐは高い利子だと思へば諦めがつく譯だ」と言つてゐる。

スターリンの此の言は確に本當だ、他の方法を探つてゐたなら、決して今日の成功を勝ち得る事は出来なかつたであらうし又茲に斯うして諸君と相見へる事もないであらう。

今日我が國には數千數百の技術家幹部が居り、彼等は機械技術の指導に當り、昨日よりも今日、今日よりも明日益々熟達してゐる。我が國の高等技術學校、工業學校、労働大學豫科、工場内徒弟教育學校等は既に數百數十萬の技師技手及び既教育労働者を送り出してゐる。

我々は此の四ヶ年間に何を建設したか……重工業の建設生産財の生産に従事する工業の建設を見た。以下各部門に亘つて夫れ／＼概要を述べて見よう。

蘇聯邦の電化 先づ蘇聯邦の電化から述べて見よう。周知の如く、蘇聯邦の電化は大きな意義を持つて居る。既にレーニンは一九二〇年に「若し、露西亞が廣汎な發電所網及び強力な技術機械に恵まれるならば、我が共産主義經濟建設は現在の社會主義ヨーロッパ及び亞細亞に對して模範となるであらう……(中略)……工業及び農業が復活されざる限り、勿論、共産主義社會の建設は不可能であるが、此の場合工業及び農業の復活は現代の新しい基礎に最近の科學用語の所謂建築科學に基いたもの即ち電氣に依存せねばならぬ」と言つてゐる。

第六回ソウエート大會以後四ヶ年間に於ける此の方面の経過を顧みるに、我が發電所の所定電力は一九三〇年末頃は、二八七六(千キロワット)であつたが、一九三五年一月一日には六二二二(千キロワット)となり一九三〇年の約二一六%に相當する。蘇聯邦發電所の供給電力量は一九三〇年には八三六八(百萬キロワット時)であつたが一九三四年には、二百〇五億(キロワット時)となり一九三〇年の約二四五%に相當する。電力輸送線は一九三〇年には、六千五百五十四キロメートルであつたが一九三五年一月一日には、一萬三千二百〇七キロメートルとなり、第六回ソウエート大會から第七回ソウエート大會に至る間に、二倍の増加となつてゐる。而して之れを地方別に見ると最も發達してゐるモスクワ州は三千三百五十二キロメートル、ドンバスは、千八百二十七キロメートル、ウラルは、千七百二十四キロメートル、レニングラード州は、九百九十四キロメートルである。

重工業人民委員會及び大工業地發電所が各區に供給せる電力量の増加狀況は次の如くである。

(單位千キロワット)

州地方

モスクワ州	一九三一年一月一日	現	一九三五年一月一日
レニングラード州	三八一・五	在	七〇〇・一
ゴリキー地方	二七二・一		五一六・四
チエリヤヒンスク州	六四・〇		二二八・〇
イェノフスク州	二七・〇		二三〇・〇
西部シベリヤ	三三・八		一七七・五
アゾフ黒海地方	五・五		一四三・五
スターリングラード州	八九・二		一三八・三
ホロネーシ州	二七・〇		七五・〇
スベルドロフスク州	三二・一		四八・〇
北部カウカサス地方	一七・四		二二〇・六
サラトーフスク地方	一〇・五		四七・〇
タタール共和国	六・五		三四・五
西部諸州	四・五		二四・〇
カレリス共和国	四・五		一九・五
クイブイェフスク地方	五・八		一五・二
クルイム共和国	七・五		一一・一
カザツク共和国	三・〇		三・〇
ロシヤ社会主義聯邦ソヴェート共和国	九八四・四		二、六五三・七
ウクライナソヴェート共和国	三九二・八		一、二九七・八
後カウカサス社会主義ソヴェート共和国	一一〇・六		二七四・四

ウズベツクソヴェート共和国  
白ロシアソヴェート共和国

六・五  
一〇・〇

二七・八  
二六・四

全聯邦ソヴェート共和国  
(内ウラルークラズパス)

一、五一四・三  
六四・六

四、二八〇・一  
五九四・一

次に発電所の運用状態を見るに、我が國の所定キロワット電力の利用時間は西部ヨーロッパ及びアメリカ等の資本主義國家に於けるよりも遙に大である。即ち歐米資本主義國家に於ては所定キロワット電力が一ケ年間に千五百時乃至二千五百時しか活動しないが、我が國の中央発電所管理局が管理してゐる各発電所に於ては四千時も活動してゐる。

一方我が國の発電所には優秀な発電設備が完備されて居り、其の爲め燃料費が著しく節減されてゐる。中央発電所管理局が管理してゐる各発電所に於ける「一キロワット時」の電量発電に要する豫定燃料費が一九三〇年には、〇・八五九キロワット時、一九三一年には、〇・八〇七キロワット時、一九三二年には、〇・七七三キロワット時、一九三三年には、〇・七二八キロワット時、而して一九三四年には、〇・六八四キロワット時、夫れ〱節減された。然して一九三四年には、中央発電所管理局の管理してゐる発電所の中優秀なる発電所に於ては、此等以上に燃料費が節減されてゐる。

一例を挙げればカシール國立地方発電所に於ては、一キロワット時の発電に要する豫定燃料費が、〇・五九五キロワット時、ジーエフスカ発電所に於ては、〇・六〇〇キロワット時、イワノフスク國立地方発電所に於ては、〇・五八一キロワット時、ゴリキー発電所に於ては、〇・六二二キロワット時、クラシニン記念パツキンスク発電所に於ては、〇・六二五キロワット時、夫れ〱節減されてゐる。

一九三一年に、黨中央委員會が蒸氣過熱化に關する有名な指令を發したが、其の後四ケ年間に於ける成績はさうであらうか、茲に之れに就いて述べて見よう。

此の四ケ年間に次に列挙する様な中央蒸氣発電所が建設運用された。即ちクズネツ發電所(八萬四千キロワット)ベレズニコフ發電所(九萬三千キロワット)ヤロスラフ聯合工場中央蒸氣發電所(二萬五千キロワット)クリボロジ發電所(二萬五千キロワット)ソマーツ發電所(二萬四千キロワット)ゴリキー自動車工場發電所(二萬四千キロワット)ハリコフ、

トラクター工場発電所(二萬五千キロワット) ルガン発電所(二萬六千キロワット) ウラルマシ発電所(一萬キロワット) グロズネンスク発電所(二萬五千キロワット) ハリコフの赤色工場発電所(二萬五千キロワット) 及びカザンスク発電所(二萬キロワット) 等が建設された。

従つて我が國の蒸氣発電能力は一九三二年一月一日現在には、二十一萬キロワットであつたが、一九三五年には、八十七萬キロワットの発電能力を持つ様になり、優に四倍以上となつた。

蒸氣機關利用の結果、一九三四年には豫定燃料の百萬噸以上の節約を見た。此等四ヶ年間に蘇聯邦全體に於ける蒸氣排出量は、六・五倍に達し、蒸氣管網は、一九三五年一月一日現在には以前の四十五キロメートルから、二百キロメートルに達し、約四・四倍となつてゐる。之れ迄の結果を得る爲には、過去四ヶ年に発電所の建設及び發展のために、二、六六五(百萬留)の資金が投ぜられてゐる。

現在操業中の區發電所の生産基金は一九三一年一月一日現在には、八五四(百萬留)であつたが一九三五年一月一日現在には、二三六九(百萬留)となつてゐる。

次に此の四ヶ年間に新たに建設又は運用された中央發電所管理局の管理してゐる區發電所を示せば次の如し。即ち

名 稱	一九三五年一月一日現在發電能力 (單位千キロワット)
ドネプロ國立地方發電所(ウクライナ共和國)	一五〇
ブーエフカ(ウクライナ共和國ドンバス炭田)	一〇〇
キーロフ記念第八國立地方發電所(レニングラード)	四三四
スターリンゴルスク(モスクワ)	五〇
シビルスク發電所(レニングラード)	七二
ワセルジンスク記念カールメンスク發電所(ウクライナ共和國)	四八
リオン發電所(ゲルージン)	四八
ケメロフスク(西部シベリヤ)	四八
B T N 中央發電所(モスクワ)	三六
赤色工場蒸氣發電所(ハリコフ)	二五

ボロネーシ發電所(ボロネーシ)	二四
ブリヤンスク發電所(西部シベリヤ)	二二
ゾオーラ發電所(アルメニヤ)	二二・五
カザンスク發電所	二〇
ギゼリドン(西部カウカサス)	一五
カズワイリンスク國立地方發電所	一三
アレホーホ・ブーエフスク蒸氣發電所	一二・六
サラトフスク蒸氣發電所	一一
クラスノザールスク發電所	一〇
ミンスク蒸氣發電所	六・四
セミパラチンスク蒸氣發電所	三
レチエルピノフスク發電所(ドンバス炭田)	三

計 一、一七四・五  
 新に建設又は運用され現在區電氣網に送電してゐる大工場發電所を示せば次の如し。即ち  
 一九三五年現在發電能力 (單位千キロワット)

マグニートゴルスク國立地方發電所(チェリヤピンスク)	一〇四
クズネツ蒸氣發電所(西部シベリヤ)	八四
ペレシニコフスク蒸氣發電所(スベルドロフスク)	九三
クラム機械工場中央發電所(ウクライナ)	二五
ヤロスラフスク護謨工場蒸氣發電所(イリノフスク)	二五
クリボローシ金屬工場蒸氣發電所(ウクライナ共和國)	二五
リベーツ金屬工場蒸氣發電所(ボロネーシ)	二四
ゴーリキ自動車工場蒸氣發電所(ゴーリキ地方)	二四

ソ聯邦第七回ソウエート大会

- マケエフスク金屬工場蒸氣發電所(ウクライナ共和国)
- アドフ製鋼所中央發電所(ウクライナ共和国)
- ニーフスク水力發電所(カレリヤ)
- ルガンスク機關車工場蒸氣發電所(ウクライナ)
- X T 中央發電所(ウクライナ)
- ウラル機械工場蒸氣發電所(スベルドロフスク)

二四  
二四  
一五  
一六  
一五  
一〇  
五〇八

新に擴張されたる區發電所を示せば次の如し。即ち

一九三一年一月一日現在  
發電能力

一九三五年一月一日現在  
發電能力  
(各れも單位千キロワット)

ゴーリキ國立地方發電所	六四・〇	二〇四
カシラ國立地方發電所	三六・〇	一八六
シヤツールスク國立地方發電所	一三六・〇	一八〇
チエリヤビンスク國立地方發電所	二七・〇	一二六
シテロフスク國立地方發電所	六四・〇	一五二
第一モスクソ發電所	一〇七・五	一一九・五
第二モスクソ發電所	六・五	六七・五
シヤフチンスク國立地方發電所	四四・〇	九〇
イヴ國立地方發電所	三	九九
キセロフク國立地方發電所	〇	七四
ヤル國立地方發電所	八	三六
北部ドン國立地方發電所	二九	七〇
ハリコフ發電所	二三	二八

クリホロシ發電所	二〇	四四
オデッサ發電所	二六・七	三七・一
ニコラエフスク發電所	七・五	一三・六
サリトフスク國立地方發電所	一〇・五	二二・五
スターリョングラド國立地方發電所	二七	七五・〇
クイヴイセフ國立地方發電所	五・八	一五・二
ペル國立地方發電所	一〇・〇	二〇
エゴルシンスク國立地方發電所	一〇・五	二四・五
ノーボシビーク發電所	五・五	一一・五
ザー發電所	一三・〇	二五・〇
クルイメネルゴ發電所	七・五	一一・一
カリニン中央蒸氣發電所	四・〇	一〇・〇
バルムスク發電所	四・六	八・〇
グーレンスク發電所	五・〇	八・〇
計	七一一・六	一、七五七・四

新に擴張されたる大工場發電所を示せば次の如し。即ち

一九三一年一月一日現在  
發電能力

一九三五年一月一日現在  
發電能力  
(各れも單位千キロワット)

バク-國立地方發電所(赤星、ツカウカサス共和国)	八九・六	一〇九・〇
クローシンスク國立地方發電所(右同)	一八・〇	六七・六
グロズネンスク中央蒸氣發電所(北部ウカサス)	一〇・〇	二五・〇
計	一一七・六	二〇一・六

ソ聯邦第七回ソウエート大会



即ち新に此の四ヶ年間に建設されたる區發電所及び大工場發電所の發電能力は八二(千キロワット)にして、新に擴張されたる區發電所及大工場發電所の總發電能力は一九五九(千キロワット)である。斯くて我が國の發電所は一九三四年の年計畫を九五五(百萬キロワット)だけ超過してゐる。

發電所今後の建設に關する重工業の課題は、重工業の人民委員會所屬の區發電所及び大工場發電所の發電能力を一九三五年度には更に七四七(千キロワット)だけ増加するに在る。

我々は第二五ヶ年計畫の實現を確保し、一九三七年には電力三百八十億「キロワット時」(其の中二百四十五億キロワットは區發電所に於て發電す)の發電を實現せねばならぬ。

此の成功此の結果は確に素晴らしいものであり、且つ誇るべきものである。然しまだく、樂觀してはならぬ。今日未だ我が電氣事業は幾多の缺陷を有してゐる。尤も最近二ヶ年間之れが克服に大いに努めて来たけれども尙缺陷は残つてゐる。此れ等現在の缺陷を完全に克服せなければならぬ。

石炭工業 次に石炭工業に就いて述べて見よう。國內の需要を充たし得る程度に採炭量の増加、採炭技術の機械化、地方炭田區の開發、輸入炭の自給、クーズバス—クズネットゴルスク工場の燃料源泉——の開發カラガンド及びブレーヤの開發……此れは黨及び政府の石炭工業に對する課題である。茲に過去四ヶ年間の経過を示せば次の如し。

名 稱	一九三〇年ノ採炭量	一九三四年ノ採炭量	一九三〇年ニ對スル一九三四年ノ%
ド ン 巴 ス	三六、九五七	六〇、〇一六	一六二
モ ス ク ヲ 炭 田	一、八一八	四、九〇六	二六九・八
ウ ラ 爾	二、三八一	五、五〇七	二三一・三
ク ー ズ バ ス	三、六八四	一一、五八四	三一四・三
東 部 シ ベ リ ヤ	一、三六〇	三、四五四	二五四
極 東	一、六三〇	二、九九五	一八三・六
カラガンド	一一二	一、八三〇	一五二・五〇
ザカウカサス共和國	一〇九	二二九	二一九

中部アジア  
其ノ他

計

一〇二二	六〇〇	六〇六
四〇〇	九九九	二四九・五
四八、四五五、〇〇〇	九二、〇〇〇、〇〇〇	

此の素晴らしい成功を獲得するためには過去四ヶ年間に石炭工業に、二六二二(百萬留)の資金が投ぜられ、石炭業基金が、一九三一年一月一日現在の五〇一(百萬留)から一九三五年一月一日現在の二四三〇(百萬留)に増加され、試掘が終つて新たに炭坑が百四十四ヶ所に開鑿され採掘量七〇(百萬留)を果ぐる炭坑が三十二ヶ所開鑿され、重採掘機七百六十臺、採掘機七千九百本、電氣鑽孔機一千二百七十五臺、電氣トロツコ二百九十七臺が補給されて、採掘技術の機械化と生産力の向上が主要課題とされてゐた。

然し労働力の移動が石炭工業に於ける程我が國に打撃を與へたものは他の何れの工業部門にも見受けられない。即ち労働力の移動の結果は機械化の實現を遅延し、幹部労働者級の不足を生じ、従つて組織は亂脈に流れ益々以て機械化の妨害となつてゐるが、一九三三年四月八日黨中央委員會及び全聯邦人民委員會が此等缺陷の是正に關する指令を發して以來我が國の石炭工業は常道に復歸しドンバス炭田の如きはウクライナ全機關の絶大の援助を受けて、中央委員會及び人民委員會の決議に基き、一九三四年の採炭計畫を遂行し採炭量六〇(百萬留)を擧げ以て我が國民經濟の正常な發展を確保し、特にウクライナの金屬工業の發展を保證するに至つた。

茲に一九三五年の我が國炭田區の課題を示せば重工業人民委員會所屬炭田の採炭計畫は一〇四・二(百萬留)ドンバスは六八(百萬留)クーズバスは一四(百萬留)モスクワ炭田は七百萬噸ウラル炭田は七百萬噸カラガンドは二・五(百萬留)東部シベリヤは二・六(百萬留)キール炭田は二三五〇(千噸)ツクバルチエールは一五〇(千噸)ツクビプールは三五〇(千噸)である。而して第二五ヶ年計畫の終り迄に五二・五(百萬留)の採炭計畫を實現せねばならぬ。

我が國はアメリカ、ドイツ、フランス及びイギリス等の商人から最新式の機械を購入し、我が國の石炭工業は世界何れの國にも無い立派な設備を持つてゐるが、然し今日迄の處、此等技術機械の運用は充分に行はれてゐない。即ち一例を擧ぐれば採掘機は僅か七四%しか利用されず、残りの二六%は全く運用されてゐない。又採掘機の如きも僅か四九%しか利用されず、電氣トロツコも七一%しか利用されず、残りの二九%は何處へさうされてゐるか不明である。我々は新技術の利用のため

めに勞資を投じて來たが其の結果は無駄に近い。其の原因は何であるか、我が國の勞働條件が特殊なものであるからであらうか。否、之等新技术の利用が不完全だからである。

一方運用されてゐる各採掘機の活動状態はさうであらうか、試みに最も成績優秀なドンパスを例にみて見よう。採掘機の月平均生産能力は、二千七百噸採掘機の一交代期間に於ける平均生産能力は六・五噸、電氣トロツコの月平均運搬量は七千九百四十噸、キロメートルであるが、此の數字は當然發揮されるべき生産能力以下である。

然し余の考ふる處によれば、我々は一九三五年及び一九三七年の計畫を遂行し得るのみならず、更に之等計畫を超越する凡ゆる技術上の可能性を持つてゐる。だが其の成否は一に各人の活動及び技術の修得如何に依存する。スターリンも一九三一年既に『計畫の實現は一に元氣瀟々たる者——諸君並に我々の活動にかゝつてゐる。』と喝破してゐる。

今我が國は石炭の液體化を試験中であるが此の計畫は必ず實現される兆候あるも未だ當分は困難であらう。ケメロフに液體燃料一萬噸の蒸溜工場を建設し石油精製品の製作を計畫してゐるが、聽て石炭から石油精製品が得られることになれば石油業者の前に新しき「敵」が現はれる事となるであらう。

石油工業 次に石油工業に就いて述べて見よう。我が國はトラクター化、自動車化、飛行機、汽船の普及及びマルテン式溶鐵爐の設置等の結果、石油、揮發油及び機械油の需要が日々増加しつゝある。

一九三四年の自動車生産高は七萬二千臺にして、一九三五年の生産計畫は、九萬二千臺である。然し之れをアメリカの二千五百萬臺に比すれば大海の一滴に過ぎない、アメリカに追いつくためには言ふ迄もなく今後益々自動車の生産を促進せねばならぬが従つて自動車の燃料として石油及び揮發油の需要も亦當然増加してくる。一方一九三四年のトラクター生産高は、九萬三千臺にして、一九三五年の生産計畫は九萬七千臺であり、現在コルホズ及びソフホズの耕地に使用されてゐるトラクターは三〇・一(千臺)であるが之等は多量の燃料を要してゐる。

地質調査局長グープキンの調査に依るに、現在蘇聯邦の石油埋藏量は三十億噸(一九三四年の採油量は、二千五百六十萬噸)であるが此れは全世界石油埋藏量の三三%に相當し、蘇聯邦は世界第一位である。而して埋藏量三十億噸の中パキ石油トラスト及び其の二帯が一三二・五(百萬噸)エムバ石油トラストが六三九(百萬噸)イシムバーエフが六〇(百萬噸)マイコープが八一・八(百萬噸)グロズタイが一三八(百萬噸)及び中部アジアが二四五萬噸の埋藏量を夫れ々持つてゐる。

此の外未だ未開發の所が多少残つてゐる。従つて採油作業へ適當に行ふならば輸出油を含めても我が國に必要な石油量を採油することが出来る。所が、我が國は今日迄の處、吸管其の他採油器具の生産不足のため必要程度の採油作業が行はれず其の爲め外國より此等機械を購入してゐるが、現在では之等採油機械を國內で製作することが出来る。

過去四ヶ年間に石油工業に投じた金額は二一三五(百萬圓)にして、一九三四年には、二五六〇〇(千噸)の石油を採油したが、此は一九三〇年の一三五・九%に相當する。一九三五年には、一五八〇(千噸)の石油を採油したが、此は一九三〇年の一〇六・〇%に相當する。一九三五年には、一五八〇(千噸)の石油を採油したが、此は一九三〇年の一〇六・〇%に相當する。一九三五年には、一五八〇(千噸)の石油を採油したが、此は一九三〇年の一〇六・〇%に相當する。

一九三三年—三四年に既に我が國の經濟全部門に於て第一位を占めてゐた石油工業は其後アメリカ式採油方法を採用し、其の五ヶ年計畫を僅か二ヶ年半で實現し、黨及び政府は石油業者に高級賞即ちレーニン勳章を授與して其の成功を賞讃した。其の後石油業者の中に石油工業の將來に對し油斷樂觀する傾向が現れ初めたが、此は大いに警戒すべきことである。其の結果一例を挙げれば、グロズタイ石油トラストの如きは、一九三〇年の七一四九(千噸)に比し一九三四年には三五九四(千噸)に採油量が低下してゐる。

茲に石油工業の缺陷其の原因を吟味して見よう。先づ第一に此の缺陷として擧ぐべきものは油井の鑽孔作業が許すべからざる程緩慢にして、而も活油井の運用方法が往々にして非科學的、非文明的であることである。例へばアズ石油トラストの一九三〇年の採油量は一千七十萬噸にして一九三四年には二千二十萬噸即ち八八%の増産となり、一九三三年に比して四百萬噸の増産を示してゐるが、成績優良なバキンスク區に於てさへ斯くの如き増産は見受けられない。

勿論我が國の石油工業に於ける鑽孔作業は一定の状態だけに留つてはゐない。例へばアズ石油トラストに於ける鑽孔機の能力は一九三〇年には一月平均八七九メートルであつたが一九三四年には、一八七六メートルとなり、此は確に大發展である。此れをアメリカに比べると其の鑽孔能力の差は兎も兎程の相異である。アメリカ人は、千二百メートル乃至千五百メートルの孔を掘るに僅か一ヶ月しか要しないが、我が國の石油業者は、四ヶ月乃至五ヶ月も、時には一ヶ年以上も日数をかけてゐる、我が國では千五百メートル以上の深さの孔を掘ることは出来ないが、アメリカでは、二千メートル乃至二千五百メートルの深さ迄掘り其處から石油を採油してゐる。

此れに就いて我が國の石油工業者の中には「アメリカ人は我々の異つた機械を使つてゐる。だから彼等は我々以上に孔

を掘ることができるのだか、何がアメリカ人だ、彼等が我々より上手に孔を掘るこゝの出来るのは、彼等は吸管其他の機械が不足した時に直ぐに電話をかけて間に合せるからだ。それなのに我々は此の點に於て非常に困難してゐる』と辯解がましい不平を言ふ者が居る。然し斯様な言譯は何の役にも立たぬ。アメリカ人が諸設備に恵まれてゐるからと言つて羨望するには當らない。我々の羨望する處は寧ろ活動し得る人間である。事實我が國のバキンスタ區には優秀な活動家も居る事であり、要するに不平を言ふ者は自己の活動能力のない事を却て棚に上げてゐるのである。

一九三四年の年平均鑽孔能力を顧みるに——鑽孔機の月平均能力は一一六・八メートル——スターリン區の鑽孔團體の指導者バーバエフの如きは月平均三百メートルの鑽孔能力を有する鑽孔機で千メートル以上ある孔を五本九ヶ月間に掘つてゐる而して此の場合、鑽孔作業の停頓した時間は三%乃至四%であつた。又アジズベコー記念工業に於ける鑽孔團體指導者のヨアニシヤンは一ヶ月五百七十七メートルの鑽孔速度で千九百九十九メートルの第六十二號孔を掘つてゐる。而して此の場合、鑽孔作業の停頓した時間は約十七%である。又カガノウイチ記念工業のカルベニコは一ヶ月三百三十三メートル乃至三百六十六メートルの鑽孔速度で、千四百メートル乃至千四百六十メートルの孔を掘つてゐるが此の場合、鑽孔作業の停頓した時間は八%乃至十五%であつた。又マイコプの鑽孔技師メリニコフは第二百二十一號孔を六百三十四メートルの平均鑽孔速度で掘つており、バスクウイチは五百三十五メートルの平均鑽孔能力を擧げてゐる。註、其他幾多の例を擧げてゐるが省略する。此れによつて明かなる如く、平均鑽孔能力は前にも述べた如く二二六・八メートルであるが、中には五百米乃至七百米の鑽孔能力を擧げてゐるものもある。此は要するに作業の改良、各種採油機械の取扱方法の改良如何によつては鑽孔能力を増進し得ることを物語るものである。然しそれだからと言つて、優秀な採油機械が必要でないと言ふのではない。要するに之等の引例は鑽孔能力の増進は心掛け一つで可能であること、従つて我々は現在の採油各機械を利用して充分鑽孔能力を發揮せねばならぬと言ふことを示したに過ぎない。

然らば採油機械の運用状態はどうであらうか、空氣壓搾機を例にみて見よう。我が國の石油工業者は空氣壓搾機が石油工業に於て如何に大きな意義を有するものであるか良く知つてゐる。従つて成るべく多数に空氣壓搾機を要求してゐるが、實際それだけの空氣壓搾機を据付けて之等を用いる段になると、空氣壓搾機がどれだけの空氣を壓搾し、それだけの壓搾空氣を油井に送り込んでゐるか全く知らない。其の言譯は計量器がないからだと言ふのである。然し我々が假令此等計量器を

製作し又外國で購入した處でそれを利用しやうと考へる者は一人もゐない。

曾つてアメリカに居たこゝのある現在アジズベコー記念工場長たるクジミン技師に余が『アメリカに於ても我が國の様に石油工業の内部及び周囲が不潔だからか』と質問した處、之に對して彼は『否』と答へた。又余が『それはアメリカに眞似て文化的な運用をする價值がないか』と質問した處、彼は別に之に對して否定しなかつた。然し我が國の石油工業者は不潔さ何んとも思つてゐない。其の爲め採油作業に際し石油の水溜りが彼處此處に出来莫大な石油量を損失してゐる。此は機械の運用方法がアジア式である結果生ずる損害にして、石油工業の不潔に對しては徹底的に取締らねばならぬ。

次にバキンスタ石油工業にはニキチン、ペテルソン、クジミンを始め相當に青年技師がおり、彼等は我が國の石油工業發展闘争に奔走してゐるが如何せん未だ經驗の淺いことは争はれないけれど、彼等は將來有望な技師にして必ず優秀な經驗者、優秀な活動家となり得る中堅である。若し彼等の輕率な自信即ち恰かも凡ゆる石油業に通曉してゐるかの如き考へを警告し、彼等の教育に注意を拂ひ、温室教育の殻を脱して自己批評の灼熱の業火に依つて鍛鍊するならば、我々の必要とする石油工業の發展は容易に保證されるであらう。

以上要するに石油工業今後の課題は鑽孔能力の急速なる増進にある。何れ石油工業の諸設備改良は必要なるが現在の處未だ當分現在の設備で充分である。此の現在の設備を適當に利用すれば鑽孔能力を増進せしむる可能性がある。若し鑽孔能力を増進しアジア式運用方法を改めるならば石油工業の成功は確實である。

最後に我が國の燃料バランス上泥炭の演じてゐる役割も亦重大である。一九三〇年の泥炭採掘量は四九〇〇(千噸)にして昨年度の採掘量は一一、七〇〇(千噸)になつてゐる。其の内機械化採掘量は六十五%である。泥炭及び片岩は非常に重要な意義を有するものにして、海外よりの石炭の輸入必要を無くしてゐる。故に泥炭の採掘が如何に困難にせよ、又此の作業が不愉快にせよ、泥炭採掘は必ず發展せしめ少くも機械化せねばならぬ。

黑色冶金業 次に黑色冶金業について述べて見よう。黑色冶金業の發展は我々の最も困難にしてゐる又複雑な課題である。國家經濟の工業化及び改造に關する如何なる論も皆金屬を度外視する事は出来ない。

歐洲大戰前迄は鉄鐵四、二〇〇(千噸)鋼鐵四、二〇〇(千噸)及び鑛鐵三、五〇〇(千噸)の産額であつたが、一九三〇年には鉄鐵五百萬噸、鋼鐵五、八六三(千噸)鑛鐵四、八六三(千噸)(内良質のもの二四二(千噸))となつた。然し當時は鐵合

金の生産は殆んど行はれてゐなかつたけわき、銀合金は良質の銀鐵を生産するのには無くてはならぬものである。當時黨及政府の當面してゐた課題は新に冶金大工場の建設を促進する事であつた。従つて我々は火々の新工場の擴張及び舊工場の改造に努めクズネツ、マグネシウム、アルミニウム、チタン、ニッケル、コバルト、モリブデン、バナジウム、タングステン等の工場を建設し、ドゼルエンジン、マシーナ、ボロシロフ、赤色十一月革命、電氣製鋼所及びプラトウスタールスク等の工場改造を行ひ、第一ウラル、ニコポリスク、マソウポリスク、タランローグスク、カール・ソブクネフト、シナルスク、リペーチ、ウイクシンスク、マケイエフスク其他の製鋼工場を建設した。曾つて如何なる國だつて斯くの如く多数の冶金工場を一時に建設したことはないであらう。

此等多数の冶金工場を建設するためには、溶鑪の設置、マルテン式溶鑪及び壓延工場の建設は勿論凡ゆる機械の運用のために、必要な鑛石、溶劑、コークス電力、運搬作業、及び之に類する各種作業の改良等に多額の資金及び努力を要したることは諸君も周知の通りである。一噸の金属を得るためには五噸の原料を加工しなければならぬとの事従つてマグネシウム工場の貨物運搬量は南部ウラル鐵道の貨物輸送高に匹敵し、マグネシウム及びクズネツ工場の排水量は夫れレニンゲラード州の排水量以上である。數年前迄は不毛の土地であつたマグネシウムは現在では二二〇(千人)を擁する大工場都市となり又シベリヤには人口一七〇(千人)を有スルクズネツ工場都市が出来た。

然して、過去四ヶ年間に黑色冶金業に投じた資金は五三〇六(百萬留)にして此の間に溶鑪二十基を新設し(其中容積八百平方メートル乃至千平方メートルの十三基、千平方メートルの六基、而して總容積は一九三〇年の二七(千平方メートル)から四九(千平方メートル)即ち八一%の増加となつてゐる)新にマルテン式溶鑪八十基を運用し、壓延工場三十五工場の操業を復活し(其の生産能力は強力壓延機が五二五〇(千噸)、鑛鐵準備工場が一〇九五(千噸)、鑛鐵精製工場が一〇五五(千噸)にして其中五臺の壓延機は從來吾國になつたものである)又生産能力二二二(千噸)の製鋼工場十工場を新に設け(一九三〇年の生産高は二六四(千噸)又コークスの生産能力八・一(百萬噸)のコークス爐千四百九十三基を運用した(一九三〇年のコークス生産高は六百萬噸)

然して石灰石の生産能力は七四〇〇(千噸)であるが、一九三〇年の實際採掘高は一六七九(千噸)にして、一九三四年には七百萬噸となつた。又白雲石の生産能力も六八七(千噸)であるが一九三〇年の採掘高は一四六(千噸)にして一九三

四年には六三八(千噸)となつた。

次に耐火煉瓦工場について見るに新に幾多の工場が建設され、舊工場は改良擴張され、其の作業は機械化されて來た。其の生産高は一九三一年一月一日現在の二二二七(千噸)から一九三五年一月一日現在の二二五二(千噸)に増加してゐる。従つて一九三一年には國外から二六八(千噸)煉瓦を輸入してゐたが現在では全く輸入しなくて良くなつた。又一九三〇年には煉瓦用粘土及び溶劑に關する作業が總て手工業的に行はれてゐたが、現在では此の方面の作業に自動トロッコ四十八臺(一九三〇年には絶無)掘鑿機四十八臺(一九三〇年には八臺)及び廣狹各輪を併せて八十臺の機關車(一九三〇年には十六臺)が利用されてゐる。

次に一九三四年の鑛石採掘量は二萬一千七百噸にして一九三〇年度の一萬六千噸に比して過去四ヶ年間に二倍となつてゐる。此の四ヶ年間に開坑された凡ゆる新鑛山の總生産能力は年計畫を一五(百萬噸)超過してゐる。

此の四ヶ年間に新たに八三〇〇(千噸)の生産能力を増し、一九三〇年に比し約二倍に當る生産能力を持つ様になつたクリボーログの外はマグネシウム、コークスに於て生産能力五百萬を有する鐵鑛區が新たに開發され、ハリロフスク鐵鑛區、テリ炭坑も開發され、新たに開發されたゴルヌイ・シヨーンには鐵道が敷設されてゐる。

次に石炭工業に於ても同様な成功を博し、全作業が機械化されて來た。即ち一例を挙げればクリボーログには現在連結卷轉機六百二十四臺(一九三〇年には僅か九十臺)と自動トロッコ三十三臺(一九三〇年には絶無)が使用されてゐる。

現在我が國の黑色冶金工業には機關車一千七百七十八臺、車輛二萬一千九百臺、鐵道六千五百キロメートルが使用され、一方優秀な技師が冶金工業に従事して居り、一九三四年には鐵鑛、鑛鐵の生産計畫が超遂行され、僅か鋼鐵が一五〇(千噸)の不足を示したに過ぎない。従つて鑛石、コークス、溶劑等の生産煉瓦工場及び工場運搬作業等の作業も著しく改良された。

我が國の鐵鑛生産高はヨロツパ第一位にして一〇四四(千噸)の産額を示し(一九三〇年の二〇八%)年々三、三三二(千噸)の増産を示してゐるが、從來何れの國だつて此の様な成績を挙げた國は一つもない。而して鋼鐵の生産高は九、五六五(千噸)(一九三〇年の一六三%)、鐵合金の生産高は六七(千噸)(一九三〇年には僅か八百噸)及び電氣鋼鐵の生産高は二八七(千噸)(一九三〇年には四二(千噸)である。尙鑛鐵の生産高は良質のもの一、三四九(千噸)(一九三〇年の五倍)を含めて七、〇三四(千噸)(一九三〇年の一四六%)にして鐵管生産高は四六九・六千噸(一九三〇年の一七七・七%)鐵道軌條の生産高

は七八六(千噸)(一九三〇年には四〇(千噸)である。

試みに銑鐵の銑鐵量を他國と比較して見れば我が國は一〇・四四〇〇(千噸)ドイツは八・七二〇(千噸)フランスは六・一八〇(千噸)イギリスは二・九九〇(千噸)チェコスロバキヤは六〇〇(千噸)波蘭は三八〇(千噸)イタリヤは五〇八〇(千噸)スエーデンは五五〇(千噸)オーストリアは二四〇(千噸)アメリカは一六・五百萬噸及び日本は三三・〇〇(千噸)である。

昨日もローゼンゴリツが話した様に我が國は外國からの銑鐵の輸入を考へる必要がないのみならず、反對に日本へ約十萬噸の銑鐵を輸出してゐるが、此の數量は今後増加するこゝが出来る。

我が黨及び政府は此の成功を得る爲に莫大の資力と勞力を投じて來た。然し勿論我々は此の成功に甘んじたり樂觀したりしてはならぬ。(蘇聯邦の煉鐵爐使用係数を列擧し之をアメリカを初め他の國と比較し、蘇聯邦の煉鐵爐使用係数の増加を以て満足し得ずなしてゐるが茲には省略する)

スターリンは「資本主義諸國に追付き追ひ越せ」を言ふ課題を課してゐるが、我々は凡ゆる誇張、凡ゆる誇りを差し控へても銑鐵の生産高を五百萬噸から千五十萬噸に増産するのに僅かに四ヶ年しかかゝらなかつた。従つて一千萬噸から二千萬乃至二千百萬に増産するには如何なる事があつても四ヶ年以上かゝることはないであらうと公言し得る。

有色冶金工業 次に有色冶金工業に就いて述べ見よう。過去四ヶ年間に我が國の有色冶金工業に投じた資金額は二、一六〇百萬留にして、一九三四年には其の生産高が一九三〇年に比して六四%の増加を示してゐる。然るに有色冶金工業は未だ幾多の缺陷を有してゐる事は争はれない。

此の部門は銅を除く外、殆んど發展の跡なく、有つても極く僅かであつた。一九三〇年の亜鉛生産高は僅か四千四百噸にして然かも電解亜鉛は絶無であつたが、一九三四年には二萬七千噸となり其の中五千四百二十五噸は電解亜鉛である。一九三〇年の鉛生産高は一萬一千噸にして一九三四年には二萬七千噸となつてゐる。又アルミニウムは一九三〇年も三一年も三二年も生産皆無であつたが一九三四年には新たにボルホフスク及びドネプロフスクの兩工場を設立し一萬四千四百噸の生産を擧げてゐる。然して一九三五年度の生産計畫は二萬五千噸となつてゐる。次にニッケルも以前は皆無であつたが一九三四年に初めてウラル工場に於ては百六十三噸生産した、最近カレリーに於てニッケル含有層が発見されたがアクチュビンスク區にも豊富なニッケル層がある。現在此の區にはニッケル大工場が二つ建設中である。

然して、アルミニウムに就いては生産能力四萬五千噸のドネプロフスク聯合アルミニウム工場を實現せねばならぬ。一九三五年には三千二百萬留を投じてウラル聯合アルミニウム工場の建設を促進する事となつてゐる。尙カンダラクセにアルミニウム酸化物工場も建設の豫定である。斯くの如くして第五次年計畫の末には八萬噸のアルミニウムを得る事となり、ヨーロッパ第一位にして世界第二位のアルミニウム生産となるのであらう。

次に一九三五年には亜鉛四萬五千萬噸、鉛四萬六千噸以上生産し、一九二七年には、ニッケル九萬噸、鉛一一五萬噸生産の豫定である。

本年中にソリカムスクとザパロジジにマグネシウム工場を建設の豫定である。

最近迄鉛銅工場の活動は不良であつたが昨年下半年以來面目を一新して作業能率を擧げてゐる。一九三五年には鉛銅作業は整調される様になるであらう。昨年度の黑色銅生産高は五萬三千六百噸であつたが一九三五年の生産計畫は七萬一千噸である。現在銅生産能力十萬噸のブリバルハーシ聯合鉛銅工場五萬噸の中部ウラル鉛銅工場及び二萬噸のブリヤフ工場が建設中であり、又近き將來にアルマールスク及びジエズカズガンの銅原産地が開發の豫定である。此の兩地方は銅鑛石の含有量豊富であるが何分鐵道沿線より遠去かつてゐるので不便である。

純鋼鐵及び合金鋼鐵を得るにはオルフラム鑛モリブデン鑛其の他稀有の金屬鑛を採掘しなければならぬが遺憾ながら今日迄の處此等金屬鑛の採掘は少くも發展してゐない。周知の如く此等金屬鑛は我が國民經濟の上に重要な意義を有するものであり、近き將來に於て必ず此等稀有金屬の原産地を探検し、其の生産を確立しなければならぬ。

最後に金鑛採掘工業は近年其の計畫を越遂行し着々發展しつゝある。

化學工業 第六回ソウエト大會の前日迄はソ聯邦の化學工業は全く貧弱なものであつた。當時は現在様式の工場として唯一つ窒素肥料工場がゴリキー地方にチエルノレーチにあつたのみである。其の後我々はペーシンク、スタリーリンゲルスク及びゴルロフスクに窒素肥料工場を建設し運用してゐるが、尙新たに亞硫酸工場をも建設し生産能力を三七五(千噸)から九六八(千噸)に増加した、即ち一九三〇年に比して五八%の増加である。一九三四年度の亞硫酸生産高は一九三〇年の三五千噸に比し七〇八(千噸)であつた。

我々はヤロスラフスキー聯合亞硫酸工場を建設し、又合生護工場を三ヶ所に建設し此等を運用して來たが一九三四年の成

績は相當良好であつた。一九三四年の合成護謨生産高は一萬一千噸である。尙アルメニヤに國立應用化學專門學校の方針に基いて合成護謨工場を設け、板狀護謨の生産が著しく増加した。

此の四ヶ年間に化學工業に投じたる資金額は三百萬留にして、生産基金は五八五(百萬留)から二、三〇〇(百萬留)に増加し、總生産額は九六八(百萬留)から一九三四年の二、三七二(百萬留)に増加し、一九三〇年の二四五%となつてゐる。

人絹の生産高は一九三〇年には六百噸であつたが一九三四年には五千四百三十噸となつてゐる。此の點新工場を建設したり、生産高の増加を計つて来たが人絹生産高は我が國の人絹需要を充たすには餘りに少い。

現在我が國の化學工業は重且つ大なる課題を課せられてゐる。スターリンゴルスク化學聯合工場の第二次及び第三次建設ゴリキー聯合工場の第二次建設を實現し、ケメロフ、リシチャンスク及びカメンスク、ザパロージに於けるチルクスク聯合工場の建設を實現しなければならぬ。此のチルクスク聯合工場の生産物は中部アジアに於ける棉花栽培の肥料に全部充當される様になるだらう。

アレクシン及びカメンスクに於ける工場建設、人絹及び板狀護謨の生産増加、第二次カリユム鑛山の開鑿、燐灰石採掘の擴張——此等の計畫實現度に於て始めて、ソ聯邦は強大な自己相應の化學工業を獲得し得る。第二次五ヶ年計畫の末迄に強大の化學工業を獲得するためには尙此の外にエネルギーの大節約をしなければならぬ。

建築材料と建築工業 過去四ヶ年間に此の部門に投じたる資金額は一、二二三(百萬留)にして、一九三〇年の四四一(百萬留)から一九三五年一月一日現在の二、九九九(百萬留)に増加してゐる。然して建築材料の生産高は一九三〇年の一三六%に増加してゐる。然し、建築工業は今後大いに發展せしめねばならぬ。

機械生産工業 次に機械生産に就いて述べて見よう。機械生産工業は過去四ヶ年間に著しく發展し、現在優秀な現代式の各設備の完備された工場を多數擁してゐる。此の四ヶ年間に機械生産工業に投じたる資金額は七五八〇(百萬留)にして、基本基金は一九三一年一月一日現在の二三四九(百萬留)から一九三五年一月一日現在の六、一六九(百萬留)に増加し、一九三〇年の二六二%となつてゐる。總生産高も一九三〇年の三八二(百萬留)から一九三四年の九八二八(百萬留)に増加し、一九三〇年の二五八%に相當す。然して労働者一人當りの勞賃は一九三〇年の五千六百六十二留から一九三四年の九千五百四十七留に増加し、一九三〇年の一六八に當たり、斯くて生産原價は一九三〇年から三一年にかけて三%、三二年に、四%、三三年

に、一%、三四年に、一〇%低下してゐる。  
周知の如く、ソ聯機械生産工業の發展は實に素晴らしいものであるが、然し此の數字は必ずしも我が國の機械生産工業を代表するものではない。此れが爲めには次の諸點を強調せなければならぬ。即ち、工場を多數に建設するばかりでなく、又技術の修得、新しい生産方法の應用及び從來我が國に於て生産されなかつた生産品及び機械の生産を——此れこそ最重要である——實現しなければならぬ。  
此の四ヶ年間にスターリンград及びハリコフに於けるトラクター工場、ゴリキー自動車工場モスクワ自動車工場及びスターリン記念チエリヤビンスクトラクター工場等の大工場が建設され、此等自動車工場の生産高は次の如し。

貨物車	一九三〇年	一九三四年
輕自動車	四、〇〇〇	五五、三六六
トラクター	一、七三〇	一七、〇〇〇
	二、七三一	九一、三〇〇
		(内無限輸送トラクター一〇、五七三)
トラクター犁	〇	二、六八〇

此の外ウラル機械工場、クラマトルスク工場、ルガンスク機關車工場、ハリコフ、タービン工場、初級飛行機及び發動機工場及び其の他部分品製造工場等が建設され、又「所謂」舊工場が著しく廣範に亘つて擴張された。茲に余が敢て、「所謂」と云つた譯は改築されざりし工場は一ヶ所だつてなく然かも基本基金が二倍乃至三倍以上に増額されてゐるからである。

次に示す數字は我が國の機械生産高の變化を如實に示してゐる。即ち一九三四年の機械生産高は九十億であるが其の中六十億即ち殆んそ三分の二は一九三〇年以來新たに獲得されたものである。現在では殆んそ例外なく、我が國に必要な機械及び部分品全部が我國で生産されてゐる。従つて機械の輸入數量は最近著しく低下してゐる。即ち一九三〇年の機械輸入額は三七二(百萬留)、一九三一年は四五二(百萬留)であつたが一九三四年には十一ヶ月間の輸入額僅か四八(百萬留)である。此れに反して過去四ヶ年間の機械生産高は三十八億から九十八億に増加してゐる。

第十七回黨大會に於てスターリンも「機械生産工業はソ聯邦國民經濟改革の鍵である」と云つてゐる様に機械生産工業はソ聯邦第七回ソケット大会

労働過程の機械化の點に於て大きな役割を演ずるものであるが、殊に各種運輸機關の充實化の點に於て大きな意義を有する。即ち運輸作業の不振の結果現在ソ聯國民經濟の發展が阻害されてゐる。之は誰れも認めてゐる所であるが、重工業人民委員會の指令に依るに多數の礦石、燃料、建築材料及び加工品等が一夕所に停頓されてゐる儘輸送を待つて居り、其の數四百五十車以上に達するこの事である。一九三五年の計畫に依れば、重工業は鐵道運輸の爲め貨車八萬輛、機關車一千四百八十五輛各種必要器具豫備部分品及び軌條等を生産する計畫であるが此の大計畫を實現する爲めには曾て車輛の生産に従事してゐなかつた工場も亦動員しなければならぬ。尙此れが爲め一九三五年、三六年及び三七年には機械生産工場が自動車工業用及び航空工業用の機械一萬臺以上多數の鍛壓機其の他を生産の豫定であるが、此れはスターリンが第十六回黨大會に於て「我々は自動車の生産のみならず又自動車を生産する機械の生産も亦實現したきものである」と云つた事が實現される譯である。現在我が國に於ては機械生産は單に機械生産工場に於て行はれてゐるばかりでなく、此の外特に國防用具の生産に従事してゐる工場及び其の他大小各工場に於ても行はれて居り其の生産高は全生産高の過半数以上である。而してウドハールト、イゼフスク及びブツリスク工場員の商標のある機械は殆んど輸入機械と匹敵してゐる。又精密機械及び光學機等も此の四ヶ年間に非常に精巧なものが生産される様になり、其の生産高は一九三〇年には、七二(百萬)であつたが、一九三四年には、二一五(百萬)に増加してゐる。然し此れは未だ國民經濟及び國防の必要を充たす程ではない。従つて此の方面の生産は今後益々強化しなければならぬ、蓋し光學機及び計量機なくしては科學的文化的の生産を行ふ事は出来なからである。

一九三五年度の機械生産計畫は一、二六・七(百萬留)であるが、ソ聯國民經濟計畫實現の成否は一つに此の機械生産計畫の成否に依存してゐる。然し我が國の機械生産工業は一九三五年の年計畫及び第二次五ヶ年計畫の遂行諸條件を有してゐる。即ち優秀な工場は建設されて居り、技術の修得は好結果を収めて居る。然し努力の利用不完全の爲め、諸設備の利用不十分の爲め、材料特に金屬の支出不經濟の爲め機械工場の運用が十分に行はれてゐない。

今日迄の處我が國の機械生産工業は金屬が不足してゐる爲め發展を阻害されてゐるが、現在は金屬も豊富になり今後益々増加する傾向にあるから、機械生産工業は著しく發展されるであらう。此れが爲め現在の急務としては先ず多量の金屬を加工し、従つて機械及び諸器具を大量に生産する様に準備工作をせなければならぬ。

第十七回黨大會に於てスターリンが命じた機械生産課題を遂行する爲めには、勿論我が國に必要な數量だけの機械其の他

設備品を生産しなければならぬ。此の場合此等機械其の他の設備品の品質及び構造が完全なものたる事を要するは言を俟たない。此れが爲めにはアメリカ及びヨーロッパの良き機械技術を採用入れて範ミする必要があるけれど、然し、何時迄も他を模倣する事は危険であり、將來は獨自の機械技術を完成する様にしなければならぬ。此れ即ち機械の構造問題が重要な意義を有する所以である。然るに今日我が國に於ては機械の設計者及び技術師が其の適所に従事してゐない。機械の構造及び品質の良否如何は一つに此等設計者及び技術師にかつてゐるものであるから、彼等は機械生産工業の中心人物と見なければならぬ。次に我が國の機械の品質は今日迄の處必ずしも高級のものとは云へない。外部の作りの悪いものが往々見受けられる。一例を挙げればバレーツ工場の壓搾機の如きは其の作業能力は國外品に比して遜色はないが、其の外部の作りは遺憾ながら不完全な點がある。

次に我が國の機械生産工業には今一つの缺點がある。即ち各種必要の機械設備が不備の爲め、注文を受けた場合に果して注文通りの機械生産が出来るか否かに就て思案する様な事が屢々ある。余は諸君の前に恥を晒したくはないが遺憾ながら諸設備の不備の爲め、優良な各工場に於ても諸機械の利用率が僅かに、五〇%乃至六〇%にしか達してゐない。

此の外、一般に新機械、新技術の獲得及び新構造の考案等に對し關心が持たれて居らず、此れが爲め機械生産工業の發展が阻害され兎角沈滞勝ちであるが斯かる保守的な態度は徹底的に取締らなければならぬ。

過去四ヶ年間優秀な技術師及び設計者の養成を行つて來た結果、現在優秀な幹部が相當あるけれど、此等技術師及び設計者は新技術知識を獲得する様に、斷へず自己の知識を涵養しなければならぬ。

國民經濟改革の基礎としての重工業 以上、我々は重工業の建設に努力して來たが、此れは單に重工業其れ自身の建設に努力したばかりでなく、又重工業が其の有する國民經濟改革の基礎としての意義を遂行し得る様にと努力して來たのである。

先づ第一に重工業がレーニンの所謂「機械の建設」に基いて農村經濟に與へたる貢獻を見てみよう。即ち過去四ヶ年間に重工業が農村經濟に配給したる機械は、軌道トラクター二十四萬臺、無限軌道トラクター八千三百七十七臺、重載自動車四萬三千五百三十五臺、輕載自動車は千六百九十臺及びコムバイン用發動機三萬百〇二臺にして、其の總馬力は四八〇〇千馬力である。而し此等トラクター及び自動車の爲め石油五八、四〇(千噸)リグロイン(摩擦を防ぐ爲めに用ひる石油精製品)七

二〇(千噸)ベンジン油三六八七(千噸)及びアフトル五〇〇(千噸)を配給してゐる。尙重工業が農村經濟に配給した各種農業機械は、穀物用犁トラクター八十九萬三千五百五十五臺、犁馬車四千五百五十六臺、播種トラクター九萬六千五百三十三臺、播種馬車十九萬九千七百七十六臺、棉花耕機三千五百三十一臺、乾車刈取馬車二十九萬九千七百七十六臺、コムバイン三萬四千二百四十四臺、簡易收穫機九萬九千八百二十五臺、自動刈取機九萬四千八百八十六臺、亞麻大量收穫機二千三百三十四臺、玉蜀黍採集機七千二百五十七臺、打穀トラクター六萬一千七百五十八臺、打穀馬車六千五百二十一臺及び甜菜採取機二千三百三十一臺等にして、此の外ソフホズ及びコルホズに次の各種肥料を配給してゐる、即ち酸性磷酸鹽二千六百七十七噸、燐灰粉一千二百四十噸及び窒素肥料(亞硫酸アンモニヤに還元して)四百八十五噸にして、其の他害虫其の他の有害物驅除の爲め總計六四・六(百萬留)を投じてゐる。斯の如く過去四ヶ年間に重工業は農村經濟に各種の貢獻をしてゐるが其の支出金額は總額四十億留以上である。

次に過去四ヶ年間に重工業が農村經濟に配給したる機械トラクター自動車、鑛鐵其の他を金屬に換算して見るに三六〇〇(千噸)なるが、其の中七三〇(千噸)は純質金屬である。

斯くの如く過去四ヶ年間に重工業は農村經濟改革に關する其の課題を立派に遂行してゐるが、此れが重工業建設の當初に於て行はれたる事を考慮すれば、其の功績は實に大なるものである。我が國の重工業は現在勿論今後雖も我が國農村經濟の有凡る需要を完全に充たし得る。

次に過去四ヶ年間に重工業が交通人民委員會に配給したる諸機械を擧ぐれば次の如し。即ち機關車三千七百八十臺(内、エフ・デ型二百五十臺)貨物車八萬五千五百九十臺、客車四千八百九十臺、蒸氣トロッコ十二臺、電氣トロッコ三十七臺軌條百五十萬噸(二萬キロメートルの敷設分)鑛鐵九百八十三千噸、ボールド九千六百噸、釘三萬六千二百噸、電線三萬四千四百噸及び索綱四千二百噸にして、此等機關車、車輛、機械其の他を金屬に換算するに六千二百千噸以上の金屬となる。

尙重工業は交通人民委員會に石炭七六五(百萬噸)、石油二六百萬噸配給してゐるが、此等の機械、金屬及び燃料等に支出した資金は總額三十億留である。成る程此れは莫大な金額であるが、未だ交通人民委員會の需要に比すれば十分は云へない。

一九三五年には重工業は交通人民委員會に列車、車輛、金屬其の他必要品を多數配給せねばならぬが、此の際特に注意すべき事は鐵道運輸の正しい運用である。蓋し、鐵道運輸は重工業發展上重要な意義を有するものであり、鐵道運輸を始め其の他各種運輸の運用上に極く僅かの缺陷があつてさへ、工業は其の發展上大きな打撃を蒙るものである。試みに一例を擧げて見るに鐵道運輸の利用が不完全にして、車輛の運行距離は一時間に僅か五キロメートル従つて一晝夜二百二十キロメートルにしか達してゐない有様である。今後交通人民委員會は運輸の正しい運用を計り重工業の爲めに今日以上奉仕せねばならぬ。

尙、重工業は過去四ヶ年間に食料工業、製材工業、道路建設及び河川並びに海洋航路の連絡等の爲めに、二四〇〇(百萬留)を投じてゐる。

周知の如く、重工業の機械生産高は逐年増加して居り國民經濟各部門の内後れたる部門に配給されたる機械の数は段々増加するに反し、重工業自身の利用する機關は益々減少してゐる。一例を擧げれば、一九三四年度の重工業人民委員會の機械生産高は六七〇〇(百萬留)であつたが其の内重工業自身に利用されたものは、三二%即ち二、一三〇(百萬留)にして残りの六八%即ち四、五七〇(百萬留)は全部後れたる經濟部門に配給されてゐる。

此の四ヶ年間に重工業が生産した自動車、トラクター、飛行機、タンク、機關車、ディーゼル機關車、移動蒸氣機關車、石油機關車其の他等の總馬力は三千四百萬馬力であるが、一九一三年には僅か三百萬馬力であつた。

一般商品の生産 ソ聯重工業は單に前述の如くトラクター冶金工業品、其の他各種機械等の生産に従事したるのみならず又一般商品の生産にも従事した。茲に過去四ヶ年間に於ける重工業生産の一般商品を擧ぐれば次の如し。即ち

鑛鐵製品	五萬九千二百噸
鐵製品	十萬一千六百噸
大鐵	一四、四六八(千個)
石油機械	二、三四九(千個)
石油コンロ	六八五(千個)
フオーグ及びサイフ	一四、九三五(千個)
電氣ランプ	一億三千六十萬個



石油ランプ	四、四〇五(千個)
電熱機	一、二二一(千個)
自轉車	五十九萬四千六百臺
懐中時計	三十二萬八千個
置時計、日覺時計	百七十二萬七千八百個
蓄音器	二十二萬一千五百臺
平板	八百十萬枚
家庭用ミシン	一、三四五四百臺
寫真機(横九吋、縦十二吋)	十九萬三千百個
スケート	八十八萬九千五百對
鐵製寢臺	一、二六三千臺
釘	四萬五千八百噸
護謄靴	二億四千五百八十萬足
靴革底	六萬噸
油布	三千一百七十米
家具用織物	五四二(千米)
齒ブラシ、櫛、玩具其他	八千五百五十萬個
染料(ソニス、アニリン其他化學藥品)	五千九百十萬個
石油	四一四八(千噸)

而して、此れを金額に換算すると四六五三(百萬留)に相當する。

然し、此れは未だ十分とは云へない。黨中央委員會及びスターリンは我が重工業に此れ以上に一般商品の生産を要求するが、蓋し此れは當然である。蓋し我が重工業は今日以上の生産能力を有して居り其の要求を果すのは容易である。勿論此の場合品質優秀なるものを生産する様心懸掛けねばならぬ。

### 一、労働問題

現在、ソ聯重工業には六千百十一人の労働者、技師、技手、知識労働者其他が従事して居るが、其中婦人労働者の数は約五十萬人に達し、一ヶ月の労働基金は、十億九千四百萬留である。

此等多数の労働者團の爲め住宅、學校、病院、幼稚園、托兒所、俱樂部、道路其他等の施設をせなければならぬ。換言すれば新しい町を建設せねばならなかつたがマグニトゴルスク、スターリンスク、タギールを始め、石炭生産區の都市は此の四ヶ年間に新たに建設されたものである。一九三一年一月一日現在の重工業住宅面積は一、七〇〇(千平方)メートルであつたが一九三五年一月一日現在のそれは二千三百萬平方メートルで一九三〇年の一九六%に當る。而して石炭工業住宅面積は八一%、石油工業住宅面積は三六%、黑色冶金工業住宅面積は二六%、黑色冶金工業住宅面積は二〇%、化學工業住宅面積は三二五%及び其他工業部門の住宅面積は四八%夫れく増加して居る。過去四ヶ年間に重工業が都市建設及び各種社會公共施設の建設に投じたる金額は三千二百萬留であるが、此の方面の建設に關し我々は重大な課題に當面して居る。我々は労働者、技師、技手及び従業員に對し明るい、便利な立派な住宅を配給せなければならぬ。本年度は各種社會公共施設の爲め九二〇百萬留の資金が投ぜられる事となつて居るが、過去四ヶ年間に於ける労働者の労働増加率は七六・九%である。即ち、此れを部門別に見る。

機械生産工業部門の労働者の増加率	六七・九%
發電所従業者の労働増加率	六八・一%
化學工業	六四・五%
石油工業	九六・五%
冶金工業	八七・二%
石炭工業	九四・二%
製鐵工業	一一〇・九%

となつて居る、而して技術家の労働は七七%の増加となつて居る。

此の四ヶ年間労働の訂正、均等化闘争が幾回となく繰り返へされて來て居り、今日に於ても尙續けられて居るが、所謂平

均勞銀なるものは單に勞働の生産能力を増進せしめる事が不可能であるばかりでなく、却つてこれを阻止するものである。顧みるに勞働の生産能力は過去四ヶ年間に四九%増進してゐるが、若し、勞銀の均等化、平均勞銀の實現闘争を廢して累進的出來高拂制を採るならば、勞働の生産能力は今後益々増進し、従つて勞銀も亦自ら増加するであらう。

勞銀制度が正しく制定されてゐる所では勞働の生産能力は自ら増加するものである。茲に一例を挙げればモスクワ工場『鎌と鎚』に於ては過去四ヶ年間に勞働者の人数は二二%減少してゐるが、勞働の生産能力が一三四%増進して居る結果その總生産高は八二%の増加を示してゐる。蓋し此れは七時間勞働制の如く生産組織が良好である事及び指導的職業の基金分配が正しい事、例へば同工場のマルテン式熔鑪爐場に於ける勞働者の平均勞銀額は一九三四年の第三、四半期には毎月二百六十一留、十一月には二百七十一留であつたが、第八級煉鋼工は五百五十留(第三、四半期)と七百五十留(十一月)副煉鋼工は三百五十留と三百七十四留夫れ夫れ貰つてゐる。即ち一般勞働者の平均勞銀高(二百六十一留)に比し煉鋼工の勞銀は七百五十留となつてゐるが如き結果である。

重工業に於ける資産蓄積 次に重工業に於ける資産蓄積の状態を述べて見やう。一九三一年に重工業は四三〇(百萬留)の利潤を擧げ一九三四年には其の三倍以上の一三三六(百萬留)の利潤を擧げてゐる。然して資金蓄積の振興程度の最も大きなものは機械生産工業にして、一九三一年に機械生産工業は一二二(百萬留)の利潤を擧げ一九三四年には四九七(百萬留)の利潤を擧げてゐる。機械生産工業の中最も有利な部門は自動車トラクター工業及び電気技術の兩部門である。此等部門の利潤を見るに、自動車トラクター工業部門は一九三一年に六百萬留、一九三四年に二二九(百萬留)を擧げ、電気技術部門は一九三一年に六三(百萬留)、一九三四年に一九二一(百萬留)を擧げてゐる。スターリングラード及びハリコフの自動車トラクター工場の製造せるトラクターは一九三二年には缺損を招いたが、一九三四年には生産原價の低減の結果一臺に就き千四百留迄の利益を擧げてゐる。

重工業の資産蓄積高及び償却高の總額は一九三一年に、八七〇(百萬留)であつたが一九三四年には、二〇三(百萬留)となつてゐる。斯かる大成功を収め得たのは黨組織の活動が過去四ヶ年間に大改革されたからである。即ち先づ最初に具體的指導に不適當なる共同體を各部に分割したる後此れを清算し、管理局の四連環制を廢してこれに代ふるに、二連環制を以てし事務細分化を清算した。次に管理局の事務的、官僚的の制度を廢止し、多數勞働者を直接工場管理局から職場へトラストから

企業へ送り出し、重工業人民委員會の舊管理局長及び舊共同體の指導者を工場指導として直接作業に當たらしめてゐる。一方技術家幹部の養成を行ひ過去四ヶ年間に高等工藝學校、技術學校勞働者大學豫科及工場内徒弟學校等より三萬九千人の技師、五萬人の技手、六萬人の技術勞働者及三十四萬七千人の徒弟を送り出して居り現在三十七萬七千人(内九萬一千人は婦女)を教育して居る。

追ひ着け追ひ越せ 重工業第一次五ヶ年計畫は二〇九・六%の超遂行率を以て實現され、重工業第二次五ヶ年計畫の第二年度計畫も超遂行率二三%に比し二七%の超遂行を以て實現されて居り、殊に生産原價の低下計畫は七%の低下を擧げてゐる。今や重工業は全力を擧げて第二次五ヶ年計畫の第三年度計畫及び全計畫の實現に邁進してゐる。

我が國の重工業は今から四年前以來既に大規模に急速の速度を以て新しい工場、鑛山、發電所其の他の建設に着手して來たが、此の場合我々は常にレーニンの所謂『追ひ着け追ひ越せ』と云ふ提案及びスターリンの所謂『我が國は先進諸國より五十年乃至百年後れてゐる。我々は此の間隔を僅か十ヶ年間に追ひ越さねばならぬ』と云ふ言葉に立脚して此等工場其の他の建設をして來た。

現在我が國は世界經濟の上に於て如何なる地位を獲得してゐるか。茲に事實を引用して述べて見よう。即ち我が國の石炭は一九三〇年には世界第五位であつたが一九三四年には第四位となつた。石油は依然世界第二位を占めてゐる。銑鐵は一九三〇年の世界第五位から一九三四年にはアメリカに次いで世界第二位となつた。鋼鐵は第五位から第三位に昇つてゐる。トラクター生産は一九三〇年の世界第二位から一九三四年には第一位となつた。重量自動車は一九三〇年の世界第十位から一九三四年にはアメリカ、イギリスに次いで第三位となつた。電力發電量は一九一三年に世界第十五位、一九三〇年に第十位であつたが、過去四ヶ年間に第二位に昇り、イギリスを西敵する様になつた。

此の四ヶ年は世界資本主義諸國に於ては經濟危機の續いた年であつたが、我が國の重工業は此の間に大發展をし、一九二八年に比して其の生産高は四倍以上となつてゐる。此れに反し世界各國の工業生産高は一九二八年以來減退の途を辿りつゝあり、アメリカは六七%に、ドイツは八一%、フランスは、八四%に夫れ／＼減退したが唯イギリスのみが一〇四%に僅かながら増加してゐる。

現在、我が國には一人の失業者も居ないが資本主義諸國には二千二百萬人以上の失業者が溢れてゐる。

茲にソ聯邦の發展テンポを特徴付ける爲めに次の實例を引用して見よう。即ち、銑鐵の溶鐵量を五百萬噸から千萬噸に増加する爲めにはフランスは七ヶ年を要し、ドイツは十ヶ年、アメリカは十五ヶ年、イギリスは三十六ヶ年を夫れ／＼要したが、我が國は僅か四ヶ年で此れを實現した。現在此の事實は各國の消息通が、即ち新聞通信員を始め、健全な見解を有する信用するに足る經濟學者及び政治家に至る迄一様に認めてゐる所である。然るにヒットラーの言は實に不可解である。即ち彼は一九三四年四月十六日ベルリンの労働會議に於て「ソウエート・ロシアは恰かも他人に手を引かれて沼地を歩んでゐる可憐い人間の様である。ソウエート・ロシアは常に資本主義諸國に依頼し、努力即ち機械及び技師、其の他一切のものを資本主義諸國に仰いでゐる。……(中略)……ソウエート・ロシアの如き國は其の氣さへあるならば十分獨立して行けるものである。従つて、茲に我々はソウエート・ロシアに向つて「自力で自己の樂土を築き給へ」を忠告した。」を聲明した居り、又ソ聯軍事同盟がドイツに不利である事を彼の支持者遂に説服する爲其の自著「余の闘争」の中に「余は近き將來に起り得可き戰爭に於て決定的な偉大な役割を演ずるであらう世界の一般自動車化に對し何等反對するものではない。ドイツ自身此の重要な工業部門に於ては遺憾ながら後れてゐる。故に近き將來に於て戰爭の起る様な事があれば、其の場合にはドイツは多く持たない自動車に依つてソウエート・ロシアを支持せねばならなくなる。蓋しソウエート・ロシアは例へば性能の大きな貨物自動車を生産する自動車工場一つだつて所有してないからである。」と述べてゐる。

ヒットラーの此の誇張せる聲明は要するに彼がヨーロッパに我が國に於ける經濟及び技術の發展を少くも御存じてない事を物語るものである。ソ聯軍事同盟云々に關しては我々は未だ曾て此れを考へた事も又企圖した事もない。周知の如く我が政府の凡ゆる政策は平和保持に集中されてゐる。然し我々は強者を尊敬して弱者を虐める狼の如き資本主義的法則の行はれて居る事を十分知つてゐる。故に我々は眞の平和政策を遂行するに同時に我が偉大なる祖國の擁護を忘れてはならぬ。

人民委員會ソウエート代表モロトフは其のソウエート大會に於ける報告中に「我が赤衛軍の軍人一人に對する機械の馬力は四倍に増加して居る」と述べてゐる。又ツィハチユエフは我が赤衛軍に對する自動車、貨物自動車其の他國防機具の配給に就て昨日の本大會に於て詳細な報告をしてゐる。我々は此に對して一點の疑ひも持たない、過去四ヶ年間に我が重工業が赤衛軍の爲めに配給したる各種機械の數量は四倍乃至五倍に増加してゐることを確信す。茲に余は本大會に向つて、我が國重工業が其の國防に關する義務を遂行するの同意ある事を聲明せんことを願ふものである。我が國の重工業は偉大なる我が祖國

を敵の侵掠の手から救ふ爲めに必要な凡ゆるものを我が赤衛軍に今後益々配給するであらう。

一九三五年度の課題 黨第十七回大會に於てスターリンは黨及び工業労働者に以下の如き課題を課してゐる。即ち

- (イ) 機械生産工業に對し依然全工業に於ける指導的地位を保持せしめる。
- (ロ) 黑色冶金業の立遅れの清算
- (ハ) 有色冶金業の整頓
- (ニ) 既知の凡ゆる地方に於ける石炭の全力探掘と新炭坑の開発(例へば極東のプレーヤ地方) クズバスを第二のドンバスたらしめる事
- (ホ) ウラル山脈の西部、南部傾斜地方に石油坑の全力開發
- (ヘ) 總ての産業關係人民委員部につき一般商品の増産を講ずる事
- (ト) 地方的工業の發達を促す爲め一般商品の生産に其のイニシアチブを尊重し、原料及び資金の援助を與ふる事
- (チ) 生産品の品質を改善し、部分品の缺如を無くする爲め、監督を嚴にする事
- (リ) 労働能率の向上、生産原價の低下、獨立採算の確立を系統的に實行する事
- (ヌ) 労働の無責任と勞賃の均等化を打破する事
- (ル) 生産關係人民委員部の各機關に於ける官僚主義を清算する爲め、中央の指令を下級機關が實行しつゝあるか否かを系統的に檢分する事

我がレーニン黨の指導の下に重工業労働者は一九三四年全體に亘つてスターリンが課したる課題の實現に努めて來た。其の結果我が重工業は本大會開催前に一九三四年度の計畫を越遂する事が出來た。我が重工業は今後益々全力を擧げて一九三五年度の計畫及び第二次五年計畫の實現に向つて邁進するであらう。

我々は一九三五年度には更に一大飛躍を試みなければならぬ。即ち、生産額を二三、五六八(百萬留)に——一九三三年度に比し一九・六%の増額——増加し、労働生産力を二四%増加する外、次表の如く夫れ／＼實現せなければならぬ。

發電量	二百四十九億キロワット時
探炭量	一億四百八萬噸

探油量	三〇三三〇(千噸)
鉄	千二百五十萬噸
銅	千八百八十萬噸
錫	八六五〇(百萬噸)
アルミニウム	七萬一千噸
トルクマ	三萬五千噸
自動車	九萬七千臺(總馬力百九十萬馬力)
コムバイン	九萬二千臺
交通人民委員會所属工場の製作車輛	三萬臺
機關車	八萬輛
一般商品生産額	千四百八十五輛(内エフ、デ型四百七十臺)
尙、總額七、六三四(百萬留)を投じて一九三五年度には次の諸建設を實現せねばならぬ。即ち	十五億留
熔鑄爐	六臺
マルタン式熔鑄爐	三十四臺
電気爐	二十四臺
鐵合金爐	六臺
煉鐵工場	二十二ヶ所
製管工場	六ヶ所
コークス雪積工場	九ヶ所
油田鑿孔機工場	六ヶ所
分溜機工場	十四ヶ所
鑛坑	四十一本

然して、區及び大工場の發電所の所定電力を七四七(千)キロワットに定む。  
我々は我が國の重工業が黨中央委員會及びスターリンより課せられた前記課題を遂行するであらうと確信するものである。

(H・K)

### 七 ソ聯邦國防人民委員次長トハチエフスキーの演説

同志諸君！ 先づ第一に我々の勞農赤軍の力は、赤軍が共産黨の指導、我々の偉大なる指導者たる同志スターリンの指導に従つて、恰も一人の人間なるかの如くに一致協力して進んで行くことに存してゐる。

第十七回黨大會の決議及び同志スターリンの報告は、最近の一年間において、赤軍にまつては、また赤軍の黨諸機關、非黨員赤軍兵士大衆及び幹部員にとつては、赤軍により實現され實施された所の根本的な指令であつた。

赤軍はその四割五分五厘は勞働者から成つてゐる。農民兵士の九割は集團農場員である。この故に全赤軍大衆が黨のすべての決議、黨大會及び中央委員會總會に對して敏感性と注意を示すことは、自づから明かである。赤軍兵士はこれらの決議の先進的實施者である。我々は赤軍の政治的・道徳的狀態は、過去の如何なる時よりも堅固であることを見なければならぬ。嗚り止まぬ拍手！

このことは、赤軍兵士大衆の政治的進歩と階級的自覺のうちには現はれてゐるのみではない。

このことは、赤軍が日夜積極的に國防強化の課題、我國が赤軍に與へた巨大なる技術の獲得の課題のために努力してゐることに現はれてゐるのである。同志諸君、これは非常に困難な且つ複雑な課題である。軍事上の問題は、現在には全く様子が變つてゐる。戰術的規準は變化する。教育方法も同様になつてゐる。我々が赤軍の中に見る教練問題に對するかの偉大なる熱意によつてのみ、これらの諸課題は機を失ふことなく解決することができるのである。我々の指揮官及び赤軍兵士を武裝闘争の新形式の創造及びその強化、軍事問題の研究へミ押し進める根本的動機及び根本的狀態は、先づ第一に階級的團結であり、階級的諸課題の理解、我ソウエート聯邦の前にある諸課題の理解であること云ふことは、自明のことである。

我々は軍の中に四割九分三厘云ふかなりの黨及び青年共產黨の層を持つてゐる。我々の幹部におけるこの層はかなり高度であつて、六割八分三厘に達してゐる。指揮官員中の各環を見れば、聯隊長は七割二分が黨員であり、師團長は約九割が黨員であり、軍團隊長は全部が黨員であることが分るであらう。これと同時に指揮官のすべての環のプロレタリアの層も亦増大しつゝある。

併し我々の指揮官は、自己の軍事的教育の向上のみならず、自己の一般的文化的教養の向上のためにも日夜努力してゐる。我々はこの方面においてもまた、可なりの成果を収めた。師團長及び軍團長の一割五分以上は、各種の軍事大學を終へてゐる。

かくして我々は、軍が第一級の軍となること、軍が第一級の武装を備へた軍隊となるのみではなく、その武装を文化的に眞實に利用し得る軍隊となることのための一切の基礎を、赤軍のうちに持つてゐるのである。

我赤軍の指揮官の生活状態も亦年々改善された。勿論この方面において望むことはなほ多く残つてゐる。併し近年赤軍兵士及び幹部の俸給及び彼等の一年の俸給の全般的率は不斷に増大した。年々赤軍の兵營は改善されつゝある。併し繰返して言ふが、我々はこの方面において、かなりより多くのものを望まなければならないのである。

赤軍兵士の教育事業について語る場合には、アソウイヤヒム（ソ聯國防飛行化學建設協會）において行はれてゐる仕事に言及しない譯には行かない。こゝにおいては勞農國民が幾百萬もなく、赤軍に入るための準備をし、また戦時には新式の軍事知識をもつて進出するための準備を行つてゐるのである。再教育と云ふことは——絶體的重要性をもつ課題である。この課題は、年々益々大なる緊張をもつて、我アソウイヤヒムによつて實施されつゝある。アソウイヤヒム赤軍は、肉體的訓練のためにも互に協力しながら、非常に努力してゐる。この課題は極めて重要なものである。技術はそれが肉體的勞働に取つて代るかの如く思はれてゐるにも拘らず、實踐と經驗が我々に教へる所では、それは氣力と精力を要求するものである。よき戦士、よきタンク操縦士、よき飛行士となるためには、非常に辛怱強く肉體的に鍛練されなければならない。この點において赤軍アソウイヤヒムは、大なる仕事を行つてゐる。

化學的國防準備の課題は非常に大きな課題である。併しこれは赤軍及びアソウイヤヒムの仕事以上のものである。この課題は全國民が研究しなければならないものである。

資本主義國家の側からの將來の戦争の危険は、我々にまつては疑ふべくもないことである。それ故に我々は我國の對化學戰防禦力を年々高めながら、極力活動を行はなければならない。

諸君は次のことを知つてゐる。即ち近年我々の技術は非常に發展し、我々の黨、然して先づ第一に、我々の軍事技術の發展を自ら指導した同志スターリンは、數においてのみならず質においても強力なる航空隊を創設する課題、我々の軍隊を多數のタンクによつて強化する課題、我々の軍隊、先づ第一に勿論航空隊ミタンク隊ミを強力なる近代的砲によつて強化する課題を押し出した。この面において、大なる仕事が行はれた。大なる防禦的意義を有する海軍の創設の方面においても、劣らず大なる活動が行はれた。以上の如きが、技術軍隊の成長の根本的特徴である。

我々がその發達に最も力を盡した航空機は第六回ソウエート大會以後、三十三割方増大した。これは數の上の増大を示すものであるが、併し現代の航空術の力は、飛行機の數のみに存してゐるのではない。我國の如き廣大なる地域においては、航続力の問題、積載量の問題、速力の問題は最も重大なる意義を持つものである。然して我々は近年において或はより正確に言ふならば特に最近の一年又は二年の間に、この方面において決定的なる達成を獲得してゐるものである。我國の航空機はこれ以前においても、飛行技術の現代的要求の一般的水準の上に立つてゐた。併しそれは最近に、繰返して言ふが、非常なる進歩を遂げたのである。例へば我々は我國の戦闘機及び爆撃機の速力を一倍半乃至二倍増大した。航続力、積載量の増加は殆んど三倍になつた。

同志諸君、これらの質的指數が如何に大なる意義を有してゐるか、それを語ることにすら困難である。飛行機の速力が速ければ速いほど、速射砲や敵の戦闘機に損傷されることが益々少くなる。それ故にこれらの質的指數は、重的指數よりも劣らぬ、時としてそれ以上の大なる意義をもつのである。赤軍に新式航空術を獲得しながら一意努力してゐる。我々は故障率を大いに引下げた。我々は航空機部隊の訓練の可なりの向上を見た。然してまた我航空機は、他の種類の軍隊即ち陸上及び海上の軍隊と協力するために、又將來の戦争において特に大なる意義を持つに至る所の獨立的空中戦を行ふために、戰術的に訓練を行つてゐる。

タンクは非常に増大した。第六回ソウエート大會以來、我々は次の如き増加率を得た。即ち小タンクは二百四十七割五分、輕タンクは七十六割、中タンクは七十九割二分に達してゐる。このことは勿論、我軍隊がその技術的基礎において今や全く

別のものになつてしまつたことを、諸君に物語るものである。もしもこのことに、質的指数が著しく増大し、例へば我々のタンクの速力は三倍乃至六倍増大したことを附言するならば、以上の数字は諸君にまつて一層有意義なものとなるであらう。

火砲武裝の仕事においても、我々は注目すべき成功を持つてゐる。第六回ソウエート大会以來、射撃兵及び騎兵合併隊のための機關銃数は二倍強、航空機及びタンクのための機關銃数は七倍、タンク砲及びタンク防禦砲の数は四倍半、重砲の数は三倍強に強大した。

併しこれらの量的指数によつてのみ、我々の火砲の技術力は測定されるものではない。火砲の質も亦急速に向上しつゝある。我々は赤軍に備へ附けられる多くの新式な立派な近代的な火砲を持つてゐる。火砲の他に我々は、著しく完成された砲彈、爆破器、喇叭等々を持つてゐる。このことは巨大なる意義を持つてゐる。

我々は我々の軍隊のラヂオ化の方面において、大なる成長を見る。軍の技術的裝備は、最も完全なる通信手段を要求した。軍隊の運動性は増大する。この運動性の増大なくしては、航空機のすべての美點を利用することはできない、タンクのすべての美點を利用することはできない。高速度で長航続力のすべての美點を利用することはできない。然るに運動性の増大は完全なる通信手段なくしては到達しえない所の軍隊指揮の大なる技術を要するのである。それ故に赤軍においてはラヂオ化の問題に對して、大なる注意が拂はれたのである。

第六回大会以來ラヂオ局の数は百七十五割方増大し、航空機用のラヂオ局は百九十割方増大した。

かくて航空機、タンクの領域において、また陸軍の全武裝建設の領域において我々は、著しい成功を収めてゐる。この方面で我々の黨は少からず活動し、オルジヨニキーゼ、ウオロシロフも少からず活動した。ウオロシロフは年々益々大なる技術を獲得した。またこの方面で特に多くの貢献をしたのは同志スターリンであつて、彼は毎日自らこの事業の指導を行つたのであつた。(スターリンに對して大喝采)

第六回大会以後、海軍も亦大いに増した。第六回大会の當時に比して我々は、潜水艦は五十三割五分、警備艦は百十割、水雷艇は四十七割方増大した等々。約言すれば、この方面においても、我國の海岸を強化する方面において、我々は前期中に著しい成功を収めたのである。

同志モロトフはその報告中で「我々は赤軍の人員をも増大しなければならなかつた」と指示した。人員の増加を結果した變化は、赤軍の如何なる建設部門において生じたか。

第一に、同志モロトフの指示した如くに「我々は最近數年間に、我國の西部及び東部國境において、必要な武裝を施した少からぬ強化地域を建設した」既に第十七回黨大会において同志ウオロシロフは、次の如く報告した。即ち我々は「ラドガ湖から黒海に至る我國境」並びにまた「極東及び東部シベリヤにおける最も脅威を受けてゐる方面」を、強化地域によつてしましこれら強化地域の大部分は、その建設及び武裝を一九三四年中に完成した。我國の領土特に沿海州を突然占領しやうと、特に東洋においてその準備に努力してゐる、諸君も知つてゐる帝國主義者達の野望が、我々をして諸地方を防護する國境警備隊を創設することの問題を、非常に慎重に考慮せしめたのである。鐵筋コンクリート建造物及びそこに据へられた火砲はもしもこれらの保壁にこの火砲を操り堡壘を守る者が居なかつたならば、何の意味があるであらうか。堡壘は國境の近くにあり、敵をして不法に堡壘を占領させないために、我々は無数の警備隊を組織し、それを強化地域に配置し、彼等に兵營と文化的生活の基礎的諸條件を確保しなければならなかつた。各人の荒蕪地に強化地域を、非常に屢々建設しなければならなかつたことを指摘しなければならぬ。廣大なる我國境に特別警備隊を創設することが、第一には軍の人員の増大を、第二には巨額の經費を要したことは自明のことである。遺憾ながら、事情は我々の國防手段の完全なる準備の期限の延引を許さなかつたのである。

第二には、バルチック海、黒海及び十七回黨大会において同志ウオロシロフが報告した「ムルマンスク地方及び特に極東において」幾多の海岸防禦地點を一九三四年中に完成したために、著しい人員と經費を要した。

第三には同志モロトフが語つた如くに「我々の艦隊は増大しつゝある。併しそれは防禦的意義の明瞭な艦、即ち先づ第一に潜水艦の増大によつてゐるのである」潜水艦数が最大になつたのは一九三四年である。然してこのことは乗組員のみならず完備せる潜水艦根據地の組織をも結果した。かくして又もや人員と經費が要求されたのである。

最後に、我々は航空機、タンク、火砲の發達において、同志モロトフの指示した如く「この方面においては特に執拗なる活動を行つた」このことは同様にまた軍の人員の増加を要求せざるを得なかつたのである。

我々は最新の技術的戰鬥手段の舊來の展開方法例へば極東における事態紛糾前にあつた展開方法に満足してきてあらう

か。勿論否である。我國の領土は非常に廣大であるために、我々は例へば獨乙が一九一四年——一九一八年に自己の西部戦線と東部戦争の間で行つた如き運動を行ふことはできない。

一九一四年に獨乙軍の司令部は、歩兵六個師團をフランス戦線から東部プロシヤに、六・七日間移動し終へた。次いで獨乙軍司令部は、一戦線から他戦線に幾多の軍隊を十日乃至十五日間に移動した。

我國の事情は全く違つてゐる。獨乙にあつては、ベルリンからリエージュまでの鐵道による歩兵一箇師團の移動に千五百萬軒噸（米噸は千噸）を要したとすれば、我國にあつては同様の師團をモスコから浦鹽まで移動するのに二億軒噸を要するであらう。所謂國內作戦路による多數の軍隊の迅速なる移動を期待する時には、我々は非常に慎重でなければならぬ。四部並びに東部國境の獨立的なる確固たる確保が必要なのである。

最も可動的なそして獨立的に移動できる種類の軍隊たる航空隊でさへも、他の戦線で必要が起つて来るのに應じて、これを東部から西部に移動する贅澤は、我々に許されないものである。私は航空隊の遠距離移動の最も特徴的な例を引かう。これは一九三四年に起つた例である。私は最も完成された二十機の飛行機が参加して行はれた、ロンドン——メルボン間の有名な飛行について詰つてゐるのである。二十機のうちメルボンにまで到達したのは、六機に過ぎず、然し飛行中に故障二件と惨事が一件起つてゐるのである。

かくして、事情は我々をして極東に、航空機、タンク、火炮及びその他の混合部隊の獨立部隊の全體制を創設せしめたのである。新混合部隊の人員の養成は——困難で綿密なる注意を要する仕事である。我々はこの仕事のために多大な努力をなし、遂に我々は一九三四年に幾多の新混合部隊を整調することができた。我々はこれら部隊を極東に配置するに當つて、非常な困難に際會した。昨年我々は、多數の新なる兵營町を建設しまた非常に複雑な大經濟を組織しなければならなかつた。赤軍の人員數——數年間それ以上に出なかつた所の六十萬人足らずで、最早や國境防備の新たな諸條件に適應することが出来なかつたことは、自明のことである。この事情に關連して新たな人員數九十四萬人が、政府によつて定められた。赤軍は一九三四年末にこの數に達した。

技術の發展と幾多の過程の機械化のみが、この數字に局限しえせしめたのである。帝政時代の軍隊は例へば、一九一四年の戦前にはその部隊中に百四十五萬八千七百六十二人を算してゐた。

もしも同志スターリンの天才的な燭眼がなく、我國の極東國境強化の手段が機を失ふることなく採られなかつたならば、我々は維持されてゐる平和を諸君と共に享受し、我々と全世界のプロレタリアが詰つてゐる偉大なる勝利を實現することはできなかつたであらうと云ふことは、何ら疑ひのないことである。嵐の如き拍手)

赤軍の兵員數の増加、新なる潜水艦その他の艦船の建造、強化地域の完成等々は、一九三四年度の豫算によつて豫定された軍事費の大なる超過を惹起した。

軍需品の價格その他を引上げた幾多の經濟的諸原因が、特にこの超過に現れた。この事情の分析は同志グリニコが行ふ筈であるから、私はこれらの原因について論ずることはすまい。一九三四年に豫定された十六億六千五百萬に對して、國防人員委員部の費用は五十億留に上つた（拍手）一九三五年における國防人員委員部に對する支出は、六十五億留に上つてゐる（拍手）この數字は大きい。併し我々の國防準備費の全國家豫算に對する割合は、如何なる大資本主義國よりも、著しく小さいのである。我國の軍事費は國家豫算總額の割に過ぎないが、日本においては四割六分五厘、ポーランドにおいては四割に上つてゐるのである。

同志諸君、赤軍の技術力の著しい増大を確保したすべてこれらの諸方策は、この技術を獲得するこゝの課題、この技術を利用する人員の養成の課題を、赤軍の活動家の前に嚴然と提起した。然して我々は再び繰返して言ふが、日夜これらの諸課題のために努力してゐるのである。

最近我々は、戰闘訓練において著しい成功を収めた。我々軍隊の射撃訓練は斷然進展した。我々は今や多數の狙撃兵即ち絶對的に優秀なる射手を持つてゐる。我々は行軍及び運動において著しい訓練を獲得した。我々は大なる動員性即ち行軍上の可動性と迅速性を達成した。數年前には我々は、今日の如き速度をもつて行軍を行ひ得ることは、想像だにしなかつた。

我々は現代の作戦と戰闘の迅速なる發展の事情の下にあつては、特に大なる意義をもつてゐる牒報の諸問題を考究してゐる。我々は、複雑な言ひ方かも知れないが、敏速、果斷、獨斷專行、攻撃心を發展せしめる問題を研究してゐる。これは今やすべてのことが、それに依存してゐる問題である。

指揮の問題が全面的に起つて来る、運動の技術を持つだけでは足りない。この技術を個人的に運用できる人員を有するだ

けては不足である。新なる技術の採用と共に以前よりも遙に迅速に非常なるテンポをもつて發展する戦闘を指導する  
ことのできる機關と人員をも持たなければならぬ。これは簡単な課題ではない、我々は市民戦時代に、最も敏活な軍隊とし  
ての騎兵隊に馴れてゐる。大多數のものは歩行の活動に馴れてゐる。調子を變へることは、即ち航空機、機械化部隊、タンク  
の利用を學ぶことは——あまり簡單なことではない。これは非常に大なる課題である。それ故に我々は、指揮の諸問題、不  
斷の緊密なる相互關係の組織の諸問題（各種の軍隊は別々であつては完全なる効果を収めえない）を特に努力して研究して  
ゐる。

一九三五年の我々の訓練の主軸は、全軍的戦闘の高速移動手段の指揮術の獲得の方へ向けられてゐる。我々は今日に  
おいては、鈍足、遅鈍、不器用な帝政時代の軍隊は何ら共通なるものを持つてゐない。我々はかゝる不完全の域を遠く脱し  
てゐる。併しこの我々の達成も我々にまつては、まだ全く不十分なものである。それ故に我々は、我々の手中にある技術が  
百パーセントに利用され、それが與へ得る全部の力を發揮するやうな諸方法を達成することをもつて、一九三五年の課題と  
するであらう。このことの中に、我々の勝利の根本的前提が存してゐるのである。

我國の勞農赤軍は強力である。赤軍の政治的力、その革命的力は克服されるものではない。そしてこのことは、我々が赤  
軍に比肩しえる軍隊が世界中にないように、戦闘を行ひ、我々の技術を利用し得ることを要求するのである。（嗚り止まぬ風  
の如き拍手）

同志諸君、我國に對する戦争の準備は非常なるテンポをもつて行はれてゐる、我々はこれを知つてゐる。我々は警戒心に  
満ちてゐる。かゝる打撃に反撃を與へる用意をしてゐる。我々の敵が我國の國境の力を試すならば、コルホズミ勞働者の我  
國は、一人の人間の如く自己の土地を守るために立上るであらう。また革命的熱意をもつて強力なる赤軍は、ウオロシロフ  
の鐵の指導の下に（拍手喝采、『萬歲！』『同志ウオロシロフ指導下の赤軍萬歲！』『ウオロシロフ萬歲！』『共産黨の旗の下  
に我々の偉大なるスターリンを首班として、（風の拍手、『萬歲！』『インタナショナル』を歌ふ）、干渉者を粉砕し、十月革  
命の敵に對する勝利を確保するであらう（全員起立、『世界革命萬歲！』『社會主義的勝利の指導者我等の指導者同志スター  
リン萬歲！』喝采、『同志ウオロシロフ萬歲！』『赤軍萬歲！』『偉大なるスターリン萬歲！』嗚り止まぬ拍手、『同志スター  
リン萬歲！』の聲、全員起立、風の如き嗚り止まぬ拍手）

## 八 第七回全ソ聯ソウエート大會における

### カリーニンの閉會の辭

同志諸君！ 大會の仕事は完了した。第七回ソウエート大會は、既に我々の達成の總決算を行つた。それ故にこれにつ  
て再び述べる必要はない。貯へられた物質的、文化的、組織的のこの總決算は、我々がそこから前進しなければなら  
ない所の新たな根據地であり、出發地である。

第七回ソウエート大會の諸決議の遂行及び大會によつて提起された諸課題の實施は、我々にとつて實に巨大なる意義を持  
つてゐる。

これらの諸課題に残らず觸れることはできない故に、私はたゞ二つの問題についてのみ述べよう。この二問題の成功的解  
決は、我々の前進を確保するものである。

重工業特に金屬工業は、依然として我々の將來の仕事のうちでの最も重要な問題となつてゐる。金屬の生産高が増大す  
るにつれて、金屬の質と云ふことは、益々大きな役割を占めるようになって來た。これは當然のことである。機械製造特に  
機械装置製作の進歩は、非常に多種類の金屬及び特殊なる質の金屬を要求する。この方面で行はれてゐる各國間の競争は恐  
らく、航空機のそれに劣らないであらう。

次に金屬の原價引下げに全力を拂はなければならぬ。何故なれば金屬の需要は毎年益々増大して行くからである。  
家畜數の増加は認められたが、これは更に増大することが必要である。特に労働力家畜の増殖に注意を拂はなければなら  
ない。

同志諸君、憲法に若干の改正を加へることは、憲法を我國の現在の階級諸勢力に相應せしめること、選挙制度を一層民主化  
することに關する、大會によつて採決された我々の黨の提案は、非常に大きな意義を持つてゐる。この改革の意味は明瞭で  
ある。これは——プロレタリア獨裁の勝利の結果であり、ソ聯邦労働國民の増大せる力の結果であり、又それはソウエート  
民主主義の一層の發展が社會主義のより大なる成功を確保し、敵對的階級勢力の掃蕩を促進するであらうと云ふことに對す



るソ聯邦内諸國民の増大せる自信の結果である。黨の名においてこの提案を大會に提出した共產黨中央委員會も亦、この自信を持つてゐる。

第七次ソ聯中央執行委員會は、本大會の意思を誠實に遂行し、また本大會の諸決議を實施するために必要な諸形式を見出すであらうと云ふことを、私は確信してゐる。

最後に、來るべき播種カンパは我國のホルホズによつて、過去の何れの年よりも立派に行はれるであらう云ふことに對する自信を、大會の前に披瀝することを許していただきたい。(拍手騷然、全員起立)

こゝに私は、ソウエート社會主義共和國聯邦第七回ソウエート大會の閉會を宣する。(騷然たる拍手、議員起立し『インターナショナル』を歌ふ)

### 世界に於ける獨逸民族の分布 (單位萬)

一、ドイツ民族の國	六、五〇〇	奧地利	六三〇	合 計	七、四五〇
ルクセンブルグ	二五〇	瑞西(獨語使用地域)	二八〇	合 計	三三五
二、ドイツ帝國時代の國境地方におけるドイツ民族					
丁 抹	三〇	ルクセンブルグ	三五〇	合 計	一七〇
伊 太 利	三〇	智 恵 吉	二二五	合 計	七三七
三、ドイツ民族住居の部落					
ルーマニア	八〇	ユーゴスラビヤ	七五〇	合 計	六〇
白耳義	一五〇	ラトヴィヤ	七五〇	合 計	三〇
リヒテンシュタイン	一・二	スウエーデン	〇・五	合 計	二三七
四、米大陸及濠洲のドイツ移民					
北米合衆國の千二百五十萬を首め	合計	千四百五十萬			
五、ソウエート聯邦内のドイツ人	一六九				



### 外國事情

#### 滿洲國

### 中共東滿黨團特委聯席大會の開催と其の決議

#### 一、東滿黨團特委聯席大會記録

- 一、日時及場所  
 1、日時 自昭和十年二月二十四日  
 至同 十年三月 三日  
 2、場所 延吉縣南哈蟆塘大荒崴汪清縣委第三區農民委員會事務所

外國事情 滿洲國

四三

#### 二、出席者氏名及國籍別、年齢、擔任役

氏名	民族別	前 役	日	現 役	日
王 德 泰	滿天	人民革命軍第二軍第一獨立師長兼東滿特委執委	獨	人民革命軍第一獨立師長	
魏 某	同	滿洲省委東滿派遺員		東滿特委責	
王 老 頑	同	東滿特委責		特委執行委員、汪清縣委第四區工作委員會責	

鐘 某 滿洲CY滿洲省委東滿派遣員 安圖縣獨立團部工作補助  
 周 某 同三東滿CY特委 安圖縣獨立團部工作補助  
 張 某 同三延吉CY特委 東滿CY特委組織部員  
 李 某 同三 昭和九年十一月十五日頃 東滿特委宣傳部員第一  
 定 某 同三 安圖縣より來れるもの 獨立師政治委員  
 王 致 俊 同三 榮世茶部隊CY支部員 人民革命軍第二軍第二師  
 王 大 鵬 同三 汪清縣宣傳部員 獨立師第一團第四連政治委  
 曹 某 同三 和龍縣委員 獨立師第二團政治委員  
 李 某 同三 滿洲省委交通員 東滿特委秘書處長  
 某 某 同三 奉天特委 同  
 宋 一 鮮 汪清縣委員 東滿特委執行委員兼安圖  
 水 山 鮮 延吉第一團黨委員會員 東滿特委組織部員兼安圖  
 辛 宗 德 同三 延吉第一團第一連政治委員 東滿特委執行委員  
 張 萬 林 同三 CY汪清縣委員 東滿特委執行委員兼安圖  
 崔 鳳 文 同三 CY汪清縣委員 中心縣委員  
 姜 昌 淵 同三 CY東滿特委 東滿特委執行委員兼汪清縣  
 春 希 同三 延吉八區區員 CY汪清縣特委宣傳部員  
 金 一 同三 CY延吉縣秘書 CY延吉縣長

崔 英 夫 同三 CY延吉縣委組織部員 同  
 金 東 奎 同三 CY延吉縣委 不詳  
 金 希 文 同三 CY延吉縣委組織部員 CY延吉縣委  
 某 某 同三 延吉老區區員 不詳  
 水 南 同三 三道溝區員 不詳  
 三、司會者及通譯、書記  
 1、司會者 魏 某 (滿、三十年)  
 李 某 (滿、二十八年)  
 周 某 (滿、二十年)  
 2、通譯 張 萬 林 (鮮、二十四年)  
 3、書記 曹 某 (滿、二十六年)  
 四、決議事項  
 決議案の通り

二 全東滿黨團特委聯席大會決議案

一 東滿黨團特委は一九三三年六月に中央路線を接受し一年有餘の間工作を執行する中に多大なる成績と嚴重なる錯誤を爲した。

○成績

1、反日統一戦線を運用したこと(安圖縣の公開的反日會

三 反日自衛隊が武裝的に自己の區域を保護したこと

2、東滿に於ける人民革命軍の數量が一倍以上發展し敵人の武器を奪取したるもの不尠、尙人民革命軍の戰鬥力と精神向上等の成績は東滿に於ける反日部隊中最主力部隊たるものにして、人民革命軍の影響は廣大なる反日部隊中に及んだので、廣大なる反日部隊は人民革命軍を信じ聯合作戦を信じつゝあるを以て反日部隊中にある國民黨の影響は日々縮少しつゝある。

3、中共黨の影響を廣大なる群衆中に樹立せんが爲過去の左傾機會主義路線の際には、共產黨は殺人強盗なりと認められたが、現在に於ては斯る影響なく中共黨が廣大なる勞苦群衆の利益の爲に努力するものなりと彼等の大多數は認めらる。

4、四區(羅子溝)に青年義勇軍一個中隊を發展したるを以て半遊撃區域と認めらる。

5、東滿兒童團の影響は廣大なる反日部隊中に廣まり教育の發展と自體の生活を確守したること

6、反民生團闘争の初歩的成績を得たること(檢舉數五百餘)

7、遊撃區域と非遊撃區域に於ける群衆の對立現象が縮小されたること

8、地方組織が若干發展したること

○錯誤

1、左的(兩條戰線闘争に於ける左傾的の同意)執行にて統一戦線を破壊したること(「中國隊」武裝解除と山林隊武裝解除は確に統一戦線を破壊したるものにして其原因は山林部隊武裝解除に依り延吉方面の明山好部隊以下九個部隊は聯合して人民革命軍を恐れ警戒し居ること)

2、延吉倒木溝を占領するに其地帯に反日會員一名のみを組織し、人民革命軍の二個連が群衆を指揮して占領せしが爲住民五十餘戸は二日間都市に移住した。之は遊撃區域群衆が日本統治區域群衆を驅逐したるものにして中央路線を左的に違反したるものである。

3、中央は滿洲に於ける反日統一戦線にありて日帝の走狗の資産を沒收すべきものであるを指示した。然るに延吉人民革命軍は八道溝を進攻する際小商人の物品を沒收したるは左的に中央路線に違反したものである。

4、反日部隊工作に在りて聯合作戦と工作員派遣等は下層統一戦線を中心にして無産階級領導權を奪取するにあるが、東滿黨團は上層糾結のみにして下層統一戦線を作製せず既にありし基礎をも堅實に取扱はない。

5、東滿に於ける人民革命軍は右的に根據地を守りつ、防禦戦を左的に自己の力量を考慮せず小力量を以て大なる力量を進攻したること。

- 5、東滿に於ける人民革命軍は右的に根據地を守りつ、防禦戦をし、左的に自己の力量を考案せず小力量を以て大なる力量を進取したること。(安圖、羅子溝、哈嶺斯) 人民革命軍は過度の民主化し軍事長官の命令を下級隊員の承諾を得て執行したること。又軍事長官が下級隊員を離脱し長官が隊員数成分兵器彈藥等を知らず人民革命軍の政治委員制を實施せざりしが爲、隊員の政治水準が發展せずして日本統治區域群衆中に於て彼等の切迫したる條件を把握し、宣傳鼓動して彼等の闘争を領導したることのないものである。
- 6、職工工作在りて尠からざる成績を得たけれども東滿黨團は、地下黨の秘密工作の重要なるを了解し得ざるを以て破壊するに至つた(八區金礦老區炭礦)之は東滿黨團が無産階級領導權奪取に工人が骨幹たるを了解し得ざるが爲である。
- 7、饑民難民災民は衣食に窮し街頭に於て彷徨し遂には餓死凍死するもの不尠然るに東滿黨團は此の工作の重要性を了解し得ず此工作を放棄した。
- 8、反民生團闘争に在りて左的に上下層を問はず一律的に檢學虐殺し、又右的に上層を問はず一律的に自首せよと云つた。故に民生團の下層基礎を多く準備した。

- 9、滿洲國兵士工作にありては彼等は日増に動搖し自動的の重要性を了解し得ずして滿洲國兵士中に基礎的組織も樹立するに至らず、滿洲反日民族解放を勝利せんせば滿洲國兵士をして兵變を起さしめ反日戦線に参加せしむるを了解すべきものである。
- 10、東滿黨團の工作方式は一律的派争工作方式を採用した。其原因は領導機關たる特委縣委に於て討論したる問題が下級黨團員及群衆に傳達するに至らず、特委縣委に於て文件を印刷して下級に配布するのみにして實際討論をなさしめたことがない。日帝統治區域に工作員を派遣して工作する方式は、この工作をなすに當り洋服を着し背囊を背負ひ拳銃を携帯して群衆の前に於て實際問題を擧げず、蘇聯紅軍の問題を提出するは、確に群衆中に於て生産に参加せず、工作員が夜間のみ群衆と對面し晝間は山中に引揚ぐるは、之亦群衆が工作員と離脱する作用である。之は開拓工作に非ずして破壊工作である。兩條戦線闘争にありて東滿黨團はこの闘争を緊急に開始するに至らず、従つて中央路線に違反した。故に民生團に此機會を利用して領導機關迄占領し中央路線に反對した。爲に東滿黨團は民生團の包圍中に於て破壊したる

現状になつた。

二 今後の工作佈置

- 1、目前の任務
  - (イ) 戦線を結成するに至り、假令信を置くに足らざる反日力量ありとも、これと總聯合して共同の仇敵たる日帝と其の走狗に反對する反日統一戦線中に於て中共黨は無産階級の領導權を保持するに同時に、一步進んで滿洲蘇維埃勝利への前進を準備すること。
  - (ロ) 東滿に於ける目前の緊急任務
- 2、東滿に於ける目前の緊急任務
  - (イ) 一切反日力量を聯合して日滿軍の第三期大討伐を武裝的に防禦するのみならず、進攻戦を以て之を衝破すること。
  - (ロ) 遊撃區一切の反革命分子を肅清し遊撃區群衆を武裝せしめ武裝的に自衛すること。
  - 3、政府改組
    - 人民革命政府を改組し東北抗日人民衆政府に人民革命軍を東北抗日救國軍に改編すること。
  - 4、反日統一戦線問題
    - (A) 東滿一切群衆、饑民、難民、都市、貧民、小商人、學生、小資産階級、工人、農民、兵士中に中國人民對

日作戦綱領を廣汎に宣布し、此の綱領を承認するものは總聯合して反日統一戦線を結成すべきものにして中國人民對日作戦基本綱領は

- (イ) 全體海陸空軍を總動員して對日作戦すること
  - (ロ) 全體人民自總動員して對日すること
  - (ハ) 全體人民は總武裝すること
  - (ニ) 抗日軍費を解決する方針を樹立すること
  - (ホ) 工農兵、商人、學生より選舉したる全中國武裝自衛委員會を設立すること
  - (ヘ) 日本帝國主義に對する一切の反對者と聯合すること
- (B) 農民に對する口號
- (イ) 苛捐雜税と高利借を延期し又返済する勿れ
  - (ロ) 土地執照沒收に反對せよ
  - (ハ) 強制的に集團部落を組織するに反對せよ
  - (ニ) 強制的に軍國主義化するに反對せよ
  - (ホ) 強制的に修道、飛行機場、壙壕、修築等に反對せよ
  - (ヘ) 連坐法に反對せよ
- (C) 工人に對する口號
- (イ) 斯る口號を以て農民を團結せしめ農民委員會を組織して反日會又は灰色名稱を附すること。

- (イ) 什長が工人を殴打叱罵するに反対せよ
  - (ロ) 日滿軍が工人を監視、檢舉、展殺するに反対せよ
  - (ハ) 無條件に工場より驅逐するに反対せよ
  - (ニ) 賃銀増額、待遇改善、時間縮少等を要求せよ
  - (ホ) 賃金を確實に勘定日に支拂ふことを要求せよ
- 斯る口號を以て工人を團結して工人工會を組織し、其の中に黨團支部を組織して工人闘争の骨幹とし、工人罷工闘争を領導する準備を忠實にして工人罷工委員會を組織し、又工人監察隊を組織して走狗偵察を實行すること。工人武装自衛戦を組織して工人罷工闘争を武裝的に保護すること。

- (D) 饑民、難民、災民に對する口號
  - (イ) 日滿機關に對し衣食住三問題解決を要求すること
  - (ロ) 地主に對して食糧品を要求し又分糧、借糧、奪糧闘争を以て食糧問題を解決すること
  - (ハ) 都市より離脱し農村に於て農耕することを要求せよ
- 斯る口號を以て組織を發展し組織名稱は反日台饑民團同鄉會義兄弟團等にすること。
- 5、滿洲國兵士工作

革命軍重要長官を指揮部幹部に採用すべきである。

東滿に斯る領導機關を建立し中共黨は充分に努力して其中に工作員を派遣し、以て下層統一戦線を鞏固ならしめ上層統一戦線の下層統一戦線の逼迫したる下に於て進行するに非ざれば効力のないものである。

同志よ！ 記憶せよ。過去に於て中共中央書記陳獨洙が右傾機會主義なりしが爲國民黨との合作に於て上層統一のみ結成し下層統一戦線を結成しなかつたが爲、蒋介石の投降兵變を招來した失敗の經驗を忘る、勿れ。

○抗日聯合軍指揮部の綱領

- (イ) 賣國せず投降せざることを。
  - (ロ) 民衆に言論出版結社集會の自由を承認すること。
  - (ハ) 軍官會議に隊員の代表參加權を與ふること。
  - (ニ) 日帝と走狗の資産を沒收すること。
  - (ホ) 民衆の利益を侵害せざることを。
- 此の綱領を承認する者は總て指揮部に參加することを得主なる反日武裝

- 李司令發榮(三俠) 史忠恒 九站 吳司令 柴司令
- 7、反日部隊工作

- (1) 各反日部隊に工作員として人民革命軍隊員中より一排宛訓練して派遣すること。
- (2) 既成の基礎を加急に訓練すること。

- (1) 工作員は中人より選定し反日部隊を通じて工作員を派遣すること。派遣されたる工作員は多くの兵士を動員して義兄弟を結び兵士等が工作員を信認する如何に依り口號を提出すること。

- (イ) 性質良き銃及彈藥を多く要求せよ
  - (ロ) 良き服裝を要求せよ
  - (ハ) 游撃區に反日部隊の進攻に反対せよ
  - (ニ) 生活改善を要求せよ
  - (ホ) 中人は中人を進攻すること勿れ
  - (ヘ) 日滿長官が隊員を抑壓することに反対せよ
  - (ト) 日滿走狗長官を射殺して脱走したる者に對して賞金を與へる。
- 斯る口號を以て發動せしめ兵變委員を組織して兵變を起さしめ反日戦線に参加せしむること。
- 書信を以て宣傳鼓動せしめ又は交戦の際口號と講演を以て彼等を鼓動せしむること。
- 停戦協定を締結して中立にすること。真正なる部隊の長官は東北抗日聯合軍指揮部に參加せしむることを得
- 6、抗日聯合軍指揮部にありて
- 東滿に於ける反日部隊が統一せば領導が散漫したるを以て統一の上層領導機關を建立し各反日部隊司令官、人民

- (3) 反日部隊中に於て紅軍北上抗日に對する了解を得ること。

- (4) 中國人民對日作戰綱領を了解せしむること。
- (5) 人民革命軍闘争綱領を了解せしむること。
- (6) 國民黨投降賣國政策の罪惡を暴露すること。
- (7) 人民革命軍は各反日部隊を呼招して聯合作戰に依り彼等の經濟問題を解決せしめ彼等の投降政策を防禦すること。
- (8) 人民革命軍は反日部隊と聯合作戰し入手したる勝利品は反日部隊に多く提供すること。
- (9) 反日部隊來到の際は婦女代表大會に於て旗幟とハンカチを作製して提供し、以て歡迎し又洗衣服、縫衣隊、作食隊を組織して彼等を幫助すること。
- (10) 兒童團は遊戯舞蹈唱歌を以て彼等を歡迎すること
- (11) 組織團體は公開的に反日會秘密裡に黨團支部を組織して兵士の一切の切迫したる要求條件を解決すること。
- (12) 若し反動長官が投降等準備をなす場合は忌憚なく驅逐すること。

- 8、學生工作によりて
- 學生は頭腦が發展してゐるので愛國思想が豊富である。
- 學生に對する口號

- (1) 殖民地奴隸教育に反對せよ。
  - (2) 詩傳、論語、孟子等の教育に反對せよ。
  - (3) 授業料未納の爲に退學せしむることに反對せよ。
  - (4) 教員が學生を抑壓することを反對せよ。
- 學校内の工作員は兒童團を訓練して派遣すること。  
但日本統治區域内の兒童團員を派遣すること。  
組織は親睦會俱樂部自治會反日會兒童團等に組織すること。

### 9、遊撃區群衆問題

東滿の根據地は非常に嚴重なる處置に到達した。原因は一方面より集團部落を以て遊撃區域を封鎖し他の方面より走狗奸細民生團を内部に派遣して種々なる政策を以て民衆を欺瞞して反革命分子に導き、以て遊撃區群衆の十分の七は民生團になつた。此に鑑み遊撃區破壊の現狀を脱却せんが爲遊撃區群衆を多く訓練して日帝統治區域に於て生産に參加せしめ、殘留群衆は各々山中に分散して農業に従事せしむべきものである。此原因は討伐の生産破壊を防禦し民生團の生産破壊を防止し以て群衆の生活問題を解決せんとするものである。

但遊撃區域内には農民委員會を残置する。其部門は會長、食糧部、生産部、教育部、自衛部、婦女部及青年部の七部とする。遊撃區域内の黨團縣委を日帝統治區域内に

派遣して開拓工作に努力せしめ、遊撃區域内には黨團特派員を配置し環境如何により區委を配置すること。  
民衆に對する口號

- (1) 共同労働と共同生活に反對せよ
- (2) 生産に參加せず徒食するものは遊撃區域内より驅逐すること。

### 10、人民革命軍工作問題

- (1) 遊撃戰擴大に對し人民革命軍は遊撃運動を開始し絶對防禦戰をなさざること。  
珲春は蘇聯國境たるを以て中心工作として敵の軍事施設を破壊し汪清は圖寧線破壞朝鮮國境に緊急に進行し延、和、安は吉會線を破壊し重要都市を進行すること
- (2) 遊撃戰擴大の要點は鐵道破壊、都市進攻、集團部落進攻、兵舎包圍、電線切斷等である。
- (3) 人民革命軍の戰闘力を高達せしめ鐵的戰闘員を養成せんが爲政治部に於ては政治委員制を實施し、政治教育と識字班、文件討論讀書班等を以て隊員の政治水準を發達せしめ各隊に對し武裝闘争と政治工作が連繫せねばならぬ事、及日帝統治區域群衆工作問題迄知らしむること。
- (4) 軍事規律に服従せず違反する場合は其輕重に依り警告、嚴重警告、出隊、銃殺等に處せねばならぬ。

### (5) 人民革命軍待遇條例草案綱領

- (イ) 師部は一年三回に亘り金子を各隊に配給する事
- (ロ) 隊員の生活を改善すること。
- (ハ) 隊員が公傷に依り不具者になりたる場合は其隊員の生活を保障すること。
- (ニ) 隊員の家庭の生活が困憊したる場合には師部は補助すること。
- (ホ) 犧牲となりたる隊員は一個所に埋葬し毎年一月二十八日に追悼式を舉行すること。

### 11、反民生團闘争に在りて

- 東滿に肅反委員會を組織し一切の反革命肅清に専門的に努力すること。  
東滿肅反委員會綱領
- (1) 民生團の上層領袖は階級の敵にして民族反徒である。故に忌憚なく逮捕して拷問、銃殺に附すること。
  - (2) 民生團中層にして自首運動をなすも自首せず、下層民生團を脅迫して自首せしめざる場合は逮捕して拷問もせず加緊に訓練して自首せしむること。
  - (3) 下層民生團は絶對逮捕せず加緊に訓練を與へ自首せしむる様努力すること。

### (4) 民生團反對策略

- (イ) 高麗小數民族の出路問題を了解せしむること。
  - (ロ) 中國共產黨が高麗民族に對する自決權を與へたることを了解せしむること。
  - (ハ) 一切群衆の日常切迫したる要求問題を解決して民生團が欺瞞する根據をなからしむること。
  - (ニ) 一切群衆の政治水準を發展せしむること。
  - (ホ) 民生團反對闘争に反派争闘争を連繫せしむる事
  - (ヘ) 兩條戰線闘争を正確にせば民生團が中共黨に加入して左右傾に作用するを發見防止すべきである。
- 12、兩條戰線闘争は黨を鞏固にし徹底的なる中央路線の執行は重要な條件である。
- 兩條戰線闘争の條件は
- (1) 自我批評にて自己の心理の闘争
  - (2) 隊内不正確なる影響と闘争
  - (3) 一切の反革命撃と闘争
- 右傾(右的)とは可能性あることを消極的理論を以て敢行せざること。  
左傾(左的)とは力量不足して、可能性なく必要なきものを執行すること。

## 滿洲國內に於ける在家裡の現況

在家裡は一種の秘密結社で、政治的色彩を多分に有し、曾て革命運動に大きな役割を演じたことがあり、比較的強い潜勢力を有し、滿洲國建國を契機に其の社會的使命を公然と聲明し、潑刺たる社會運動を開始した。然るに他方舊東北軍或は南京政府乃至蘇聯に在りては巧に在家裡を利用して、反滿抗日工作を敢行した事もあるのである。

### 一 序 言

支那社會は古くより秘密結社の發生母胎として有名である。支那社會の歴史的發展過程には幾多の易世革命が反覆され、秘密結社は是等の革命運動に常に關係を有し能動的に働きかけて來たのである。支那の秘密結社は古くは元の時代より存在し、清朝に至つては幾多の秘密結社を組織し、總て革命的政運動に關係せるため官憲の彈壓迫害を蒙りこれを避けんがために諸種の外皮を被りつゝ、相分立し派生するに至つた。

斯くの如き幾多の秘密結社の支流も清朝の没落期に至り革命黨員が之に参加するに至つて清朝打倒を目的とする龍華會に合流し、之に依り統一されることになつた。哥老會の流を汲む青帮、在家裡、紅帮、黑帮、白帮等の如きは其實勢力に於て又其社會的活動に於て大なるものがある。滿洲國に於ける在家裡は楊子江流域一帯に於ける青帮の

如く政治的色彩を帯びてゐないと稱せられて來た。然るに王道主義を政治的理想とする滿洲國の建設を契機として、滿洲國に於ける在家裡も亦王道政治に結び付き、俄然潑刺たる社會運動を開始し其社會的使命を公然と聲明し合法的結社としての權利を獲得すべく猛烈なる統一運動を始め居る。最近在家裡に對する世人の關心漸く盛になり、之を利用せんとする者も漸次多きを加ふるに至つた。

在家裡自體に於ても其の方向を轉換し統制ある合法的結社を組織し統一結合を圖る爲に努力したるも、常に内訌絶えず依然秘密結社的存在として今日に至つた。

この在家裡を利用して反滿抗日工作を敢行せんとする南京政府、蘇聯ありて、凡ゆる手段を講じつゝ、ありこの情報もある。

然れ共在家裡は相當宗教的色彩を有するのみならず、相當重要人物存在するを以て直に之に彈壓を加ふる事は却て憂ふべき結果を惹起することなしとせず、不斷の動向を常

に監視すべき必要のあるものである。

### 二 在家裡の起源

在家裡の歴史の起源に關しては正史に據るべきものなく一個の神話を中心の基調として其歴史的發展が展開される。滿洲在家裡の首領第二十一代馮諫民の言に従へば、清朝の康熙帝は國家統治に資する爲青帮頭となりて南方を平定し康熙帝こそ在家裡の始祖である。然るに在家裡の傳説を克明に録す道義大經に従へば次の如くである。

在家裡は青帮と同じく羅祖に源を發し潘、錢、翁の三老に依りて結社形態を與へられたものである。

在家裡は潘老祖に至つて一個の帮として社會的活動を開始したるものであるが、時代の経過と共に在家裡内部にも白靈會、金家會、臨津會等の諸分派を相併立して是等の諸結社を總稱して在家裡と稱したのである。

清朝の康熙年間支那は南船北馬と稱せられ南支より北京地方への貢米輸送に大運河を利用してゐた。

然るに當時運河の流域地方には土匪の横行甚だしく屢々運送船を襲撃した爲に航行危険にして其の被害莫大なるものがあつた。故に是等土匪と妥協して航行の安全を期する爲同業組合が組織され、之が在家裡の母胎となつたのである。この時貢米運送の任に當つてゐた、勢力強大にして親

交あり互に兄弟の契を結んでゐた、潘、錢、翁の三人は貢米運送に成功して潘裕黨、錢裕黨、翁裕黨なる帮名を掲げて帮員を十六字輩に分ち、一大帮規を制定して六部の役所を設置し、帮員の團結と統制を計つた。この六部とは清朝の政治機關を模倣したるものにして引見部、傳道部、掌布部、用印部、司禮部、監察部を言ふ。

當時運糧船は一萬隻と稱せられ帮の数は百二十八帮半あり其首領は百二十九人あつた。傳へられてゐる。

長髮賊の亂後大運河により貢米輸送も杜絶して安清帮は生活資源を失ひ各自適當なる職を求めて再び勢力の挽回を計り、大運河の東部地方並に楊子江沿岸地方に廣く分布するに至つたのである。

特に江蘇の東海岸地方は有名なる鹽の産地にしてこの鹽の密賣こそ分散後の安清帮の重要な生活方法となり、特に楊子江流域の各波止場埠頭には絶對的勢力を培養し、帮の勢力は漸次全國に擴大波及し清朝の崩壞後青帮三名を改め、軍閥の政治的經濟的機構を利用して上海を中心にして大なる勢力を扶植するに至つたのである。

### 三 在家裡と青帮及在理教との關係

1、在家裡と青帮  
青帮は在家裡は其歴史の起源を同じくする爲屢々同一

なるものさ考へられてゐる。青帯は揚子江流域と北支地方を連絡する大運河に於ける貢米運搬者のギルド（同業組合）に胚胎するものである。今日に於ても上海を中心として揚子江沿岸の労働者は言ふに及ばず、其他の地方に在りても河川、港灣の埠頭或は波止場に働く労働者間に青帯は驚嘆に置する社会的勢力を扶植し、軍閥の政治的機構に働きかけ巨大なる政治的役割を果しつつある。

青帯は今を去る二百六十餘年前清朝康熙年間、覆清興明を目的として吳三桂、耿精忠等に依りて組織された哥老會に源を發したものと稱せられたものである。この哥老會は自己擁護の立場から結成當時は革命的色彩薄く結社の名も安清帯と稱して専心帯の勢力擴大を計り、其中心勢力を大運河沿岸の労働者間に集中して來た。然るに清朝の没落期が近づくと従つて漸次革命的色彩を帯び、青帯なる結社が社会的活動を開始するに至つた。

孫文の覆清革命運動に是等の秘密結社は巧妙に操縦され現在の國民黨が組織される是等の秘密結社は重大なる政治的役目を果した。今日に於ても軍閥の政治的經濟的機構に巧みに喰ひ込んで偉大なる實力を振ひつゝ、あるものは青帯である。

現在に至る迄在家裡は青帯の一分派と稱せられてゐるが在家裡に言はしむれば青帯、紅帯、白帯、黒帯等悉く在家

者側から見て極力其發展を助長すべき結社である。

今日に至る迄在家裡は一つの宗教的修養團體である限り政治的或は社会的に活動したことはなく將來に於ても政治的色彩を帯びる性質のものではない。然し乍ら近來在家裡は合法的結社としての權利を獲得すべく在家裡に合流する傾向が著しく、加ふるに在家裡の會員の土豪土匪の参加する者多きを考ふる時在家裡も亦社會運動或は政治運動に關係する危険性を包蔵するものである。

#### 四 滿洲國に於ける在家裡の現有勢力

滿洲に於ける在家裡の盛となりしは極めて近年の事に屬し最初は大連安東、營口地方の労働者中に極めて少數の帯員が介在する程度に過ぎざりしが、其後漸次全滿的に擴大するに至つた。稱せられるが、元來在家裡は秘密結社なる故帯員を調査し正確なる数字を擧げることには極めて至難の事にして、幹部の言動其他により計上する外なき状態にして、今日滿洲の在家裡の數に就ては研究者に依り若干の差異あるも普通百萬と稱せられてゐる。

1、在家裡帯員に依る團體の状況

在家裡は滿洲國成立以來其の秘密的存在の傳説を脱し一般宗教としての容認方を高唱し統制ある表現結社たらしめんとする氣運擡頭し、爾來其の組織せる團體に對し

裡に屬する言揚してゐる。之は在家裡が自己の勢力を誇張せんがための言であると思はれる。然し在家裡、青帯共に其の始祖及歴史的傳説を同じくし且其の教義に於ても異なる所がない。揚子江流域特に上海地方に在りては青帯及紅帯の勢力強大にして在家裡の勢力無く、山東地方より滿洲に亘りては青帯と言はずして在家裡と稱してゐる。青帯、在家裡共に結社としての本質に相違する所無く只分布地域に依りて相違を生ずるに至つたものであらう。

2、在家裡と在家裡

在家裡は最近在家裡或は家理教とも稱せられ屢々在家裡教と混同され兩者は同一であるかの如く見做されてゐる。在家裡は青帯或は在家裡の如く保安自衛を目的とする秘密結社に非ずして禁酒禁煙に依る自己修養と會員の相互扶助を本義とする宗教的修養結社である。然し在家裡も亦宗教的に結合されたる一つの秘密結社の側面を有し、歴史的に見れば山東地方より發生した迷信的結社である。

其の教義とする所は佛敎の法を奉じ、儒敎の禮を習ひ、道敎の行を修め、三敎を渾然融合したる一つの綜合宗教たる形式を具へて居る。在家裡が無智なる貧民の爲めの宗教であり、貧民層の最重要なる徳目として信義と相互扶助を奨励し、殊に禁酒禁煙の戒律を嚴守せしむることに依りて信徒を一層の窮乏と墮落から防止する點から考へる時、爲政

ても「在家裡會」又は「家理同志會」等の名稱を冠して在家裡の團體たることを明示しあるも、元來帯の組織は絶對秘密にせられ外部より之を窺知すること不可能にして其内容も判明しない。

2、帯員

從來在家裡の帯員は無職の遊人、職工、労働者等最も多く次いで軍人、商人、農民、官吏等各階級を網羅せるも不淨者、惡徳者又は理髮者、俳優、屠殺業者の如きものに對しては何れも入帯を許さず、帯員の入帯に對しては嚴選主義を採用せるも、近來は本人の徳性考察等の如きは單なる形式に止め一般的に之を許容しありと稱せられ、之が爲現在滿洲に於ける帯員も各階級を網羅せり。之等帯員中現在滿洲に於て指導的立場にある所謂重要人物と目すべき者を調査せるに約三十餘名を算せらる。其内一、二を除きては思想傾向穩健にして親目的態度を示し特に注意を要するが如き人物はない様である。

3、組織並系統

最近表現結社たらしめむとする運動擡頭しつゝ、あるも元來組織は絶對秘密のみならず總て隱語を使用し外部より之を知悉する事は不可能であるが、在家裡の憲法と稱せらる、「義氣千秋」に依り其組織を見るに、其組織は興五四、江淮四、興五六、嘉白、杭三、嘉河衛の六組に

分れ此の六組は更に數個の組に別れ各組に依り統一せられて運糧業に従事せり稱せられて居る。

然れども之は舊の事にして時代環境の異なる今日尙昔日の儘踏襲せるとは思はれず、其間に可成の變化あるは想像さる、も判明せず、又系統は開租滿、錢、翁の三名を老租と稱し、この老租を第一輩子と稱へ老租の弟子として入帮したるものを第二輩子と謂ひ、第二輩子の弟子を第三輩子、次を第四輩子の順に稱へ、現在の最低者は第二十七輩子に當り最高者は第十九輩子である。

第十九輩子は山東省に十數名生存し最も多き裡員は第二十三輩子の者である云はれて居る。滿洲にては最高級の二十一輩子は(奉天の馮謙民、新京の呂萬濱等)數名あるのみにして多くは第二十二、三輩(新京の劉鳴岐、李慶堂、張天明、錢啓承、宛榮臣等は第二十二輩と稱せらる)なりと稱せられて居る。

以上の狀況を以て見るも其系統は全中國全滿洲を通じ一脈通ずるものあるを窺はれるのである。

#### 4. 維持方法

在家裡の團體維持方法は團體に於て會員相互の出資並に寄附に依り維持されて居るが、延吉地方の團體に於ては資金の不足から維持困難の如き状態である。

在家裡の團體に見られる東亞佛教會、三義堂等の團體

は左の如くである。

北滿鐵道河子附近に於ける匪賊の大部分は帮員なる關係上附近の住民は匪賊の被害を免るべく自己擁護の目的より在家裡に入る者漸次増加し、公然禮拜布教を爲すに至りしが、官憲に之を感知せらる、や其行動潜行的となり、毎月數回秘密會合を爲しつ、ある山にて入帮には左の如き説が傳へられて居る。

(一) 現下の世相は樂觀を許さず一朝有事の際は安全策として在家里の團結を鞏固にし行動を共にせなくてはならない。

(二) 在家裡の帮員は義兄弟の契をするを以て如何に困難に遭遇するも援助を受けるを以て安全である。

(三) 帮員は匪賊の掠奪人質拉致等の被害を受ける事がない。

(四) 滿洲國官憲中に帮員あるを以て帮員が犯罪等の場合有利に處置せらる、を以て安全である。

#### 2. 事業の狀況

事業も亦其の性質上他の團體と異り殆ど見るべきものなきも在家裡の執行機關たる理善勸戒禁煙禁酒會並に其他の表現的結合をなせる團體の事業としては可成り見るべきものあるも在家裡自體にては事業と稱するものはない只別個の目的を以て結合せる理善勸戒禁煙禁酒會、東亞

の維持費徴收を見れば次の如きである。

(一) 大連の東亞佛教會にては毎月會費小洋二十錢宛徴收し三ヶ月に亘り會費を納入せざる者は其の會員たるの資格を失ふ旨を規定す。

(二) 哈市北滿總會に於ては入會金參圓、毎月會費三圓を徴收する外篤志家の寄附に依る。

(三) 佳木斯三義堂にては入會金二圓乃至五圓を徴收する外寄附金に依る。

(四) 依蘭、富錦の三義堂にては會費を徴收せず専ら篤志家の寄附に依り維持す。

(五) 鐵道河子三義堂にては財力に應じ入會金二圓以上を徴收し其他寄附に依る。

#### 五 活動狀況

##### 1. 布教並に勢力擴張狀況

元來在家裡は秘密結社なるが故に一般宗教の如く布教或は勢力擴張の舉に出づる事なく、或る地域、又は或るグループの帮員が日數回不定の場所に集合秘密裡に教則を談じ、入帮希望者ありたる場合は嚴選の上之を入帮せしむるに過ぎざりしが、滿洲國成立以來表現的結社たらんとするや從來の面目を一新して漸次表面化せんとする氣運窺れるに至つた。今其實例も稱すべき事象を挙げれば

佛教會と連絡或は聯合の下に慈善的事業をした事がある。在家裡自體として其實例の一、二を示せば次の如きものがある。

(一) 在奉天在家裡は大同三年二月奉天省瀋陽縣第七區に家裡教慈善小學校を開設し附近貧民子弟三百名を收容し建國精神日滿親善思想の普及に努めつゝある。

(二) 在哈市北滿總會にては康德元年三月日本商館の火災に義捐金を募集百餘圓を送附した。

(三) 在奉天在家裡は康德元年三月の御大典に際し人類愛善會並に聖道理善研究會と聯合大典祝賀行列を行つた。

(四) 海拉爾の在家裡は日本の商館大火災に義捐金四拾圓を募集之を送附した。

#### 六 在家裡利用運動

滿洲國成立以來在家裡を利用して滿洲國の爲に活用せんとするもの或は宗教團體等にして自派勢力の扶植擴大に利用せんとする者あり、或は舊東北軍、南京政府、蘇聯等に於て在家裡を利用して滿洲國の擾亂又は國情調査等所謂反滿抗日に利用せんとしつ、ある等、在家裡の存在が知られると共に各種の利用運動が行はれて居る。其の運動の主なものを列記すれば左の如くである。



反滿抗日に利用せんとするもの

イ、昨年一月貸金整理の爲に稱し上海より大連、奉天、新京、哈爾濱等を歴訪在家裡に繁く來往したる在上海青島首領第二十一代曹幼珊は、蔣介石の指令を受け在家裡に連繫之をして反滿抗日の策動に出でしむべく來滿したるものなりとの説がある。

ロ、北鐵沿線の蘇聯共產黨は在家裡に物質上の援助を爲し反滿抗日策動に之を利用しつゝ、ある。

ハ、最近在北平在家裡は西良興縣に家理教會を設置し約七千名を收容傳導及各種法語等を教育しつゝ、あるが、内約百名を傳導の爲に入滿せしめたに謂ふ。之は反滿抗日の爲利用せんとするに非ずやとの説がある。

ニ、昨年四月頃蔣介石は藍衣社に對し滿洲國の情報蒐集政界攪亂の爲在家裡の利用工作を命じたるを以て、藍衣社に於ては中國在家裡の有力者數名を派遣し、入滿後は在家裡に接近し買収家理委員なるものを設置せしめ所期の目的達成に努めんとしたとの説がある。

ホ、最近奉天在家裡某の言に依れば蘇聯政府に於ては滿洲國の情報蒐集並一朝有事の場合滿洲國內攪亂の爲秘密結社宗教の團結力を有する在家裡を利用せんと企て北滿方面に於て頻りに在家裡買収に努めつゝ、ありとあり、昨年五月藍衣社天津幹部會擴情は蔣介石の秘命を受

け平津青島分子を集め北平に於て滿洲國の治安攪亂並に失地恢復を目的とする華北青島公署なるものを組織した。

2、其他の利用運動

イ、在京都大本教に於ては在家裡の利用は日滿親善に資するもの尠からずと爲し、大同二年七月在家裡代表の渡日に際しては下關上陸以來終始二名の案内者を附し、沿線主要驛には關係團體をして歓迎せしむると共に天恩郷に招待しては歓迎座談會等を催し隔意なき意見を交換し且將來の提携を約した。

ロ、大滿洲正義團は吉林進出と共に同地在家裡幹部を第一支部長に任命團員の獲得に努めつゝ、ある。

ハ、大滿洲正義團黑龍江第一支部に於ては黑龍江家裡同志會を姉妹團體たらしめ相提携して社會的進出を爲すべく企圖しつゝ、ある。

ニ、新京城内天理教集團所にては天理教の擴張策として在家裡利用を計畫、自派勢力の擴張に野心滿々たる新京家裡師父文張實と提携せんとし、會合を催し在家裡に天理教の提携に關し默契を結んだ。

七 結 語

秘密結社なるものは社會の背後に隠れて一般社會と對立

し鞏固なる團結力と潛勢力を有し社會的拘束或は政治的法的支配を受くることなく自由行動を執り得る事より考ふるに、滿洲國內に秘密結社の存在は許容さる可きものではないことは當然である。然も在家裡の如く過去に於て政治的色彩を多分に有し革命運動に大きな役割を演じたることあるに於ては其存在に對しては嚴重なる監視を要するものである。在家裡の存在が世人の關心の的となり利用運動が各方面に行はれてる今日在家裡自身に於ても從來の秘密的存在を脱し表現的存在たらんとする運動が行はれてる。

奉天在家裡第二十一代の首領那謙民の如きは滿洲國の成立に對し「元來吾滿洲は在家裡の原流にして我滿洲國執政

は正に在家裡の舊主人なり滿洲國に忠勤する事は即ち之即ち在家裡の根本精神なり」と云々と宣言し、最近「公開主義採用の件」が協議され表現運動に邁進する事を約せしりも利害關係或は感情問題より常に内訌紛擾を生じ見るべき結果なく今日に及んだ。然し秘密結社としての在家裡も早晚何らかの形に於て表現的合法的存在となるべき事は肯定出来る事にして、大なる勢力を有せる在家裡を彈壓する事は到底不可能なる事である。民衆に多大の關係を有する秘密結社の動向に對しては常に深甚なる注意を要し、滿洲國に於ける秘密結社なる在家裡に對して傍觀的或は無關心的態度は絶對的に採る可きものでない、常に其真相、動向を徹底的に追求して遺漏なき對策を確立する必要がある。

中華民國

中國共產黨特務隊の活動情況

中國共產黨のゲ・ベ・ウ即ち中國共產黨特務隊の暗躍は、常に共產黨の取締に當る警察官及其のスパイ並に轉向せる

元共產黨員等の心膽を寒からしめつゝ、あるが、一九三四年九月二十六日上海共同租界に於て中共特務隊員が轉向者態

國革に對するテロを敢行したる直後、共同租界工部局警察は上海市公安局と協力して特務隊員の大檢舉を行った。其の際入手したる各種資料並に特務隊員の供述を根據として、同工部局警察情報部外事係長キユー・ビー・ロス指導の下に、一九三四年十一月十七日附上海共同租界工部局警察情報部副總監の指令により情報部勤務幹部イー・エム・ゴールダーの手にて『中國共產黨特務隊の活動情況』(原文英文一九三四年十二月六日附報告)が作成された。茲に掲げるのは其の邦譯である。

一 歴史

中國共產黨のゲ・ペ・ウ即ち特務隊の組織せられた實際時期に關し信頼し得る情報は豊富ではないが、付てゲ・ペ・ウの指導者であつた顧順章の陳述によれば一九二八年秋ゲ・ペ・ウは上海に於て工作を開始したと云ふ。

一九二五、六、七年間に行はれた彼の政治的殺人(詳細後記)は中國共產黨の工作ではあるが特務隊の工作ではない。次に述ぶる所により明白なる如く、特務隊は共產黨組織の斷乎たる目的即ち防護のために擴大せられ且訓練せられたのである。

重要黨員の逮捕焦眉の急に迫れる時、共產主義強壓に雇傭せられた政府譯者の攻撃が必ず行はれるので、是は多く

の場合に於て特務隊が共產黨の内部的安全を保持する爲めの日常工作を爲すものである。

一九二五年前に於ける記録中確實に共產黨員の所業であるに斷じ得る殺人事件はない、確定的に共產黨員に歸し得らるゝ最初の犯罪は一九二五年一月二日西藏路に於て射殺せられたチュウ・ウェイ・ズイエンに關する事件である、左記は右の日附から現在(一九三四年十二月)迄に共同租界内で起つた事件の表である。

年別	死者	傷者	逮捕セラレタル
一九二五	三	一	四
一九二六	一	〇	〇
一九二七	三三	二	三四
一九二八	一一	二	一五
一九二九	四	〇	六
一九三〇	二	〇	〇
一九三一	一〇	〇	〇
一九三二	二	四	〇
一九三三	二	〇	六
一九三四	四	一	一〇
計	七三	二〇	七六

右に列挙せる殺人事件に關係した員數中逮捕せられたものは約二割に過ぎぬと言つて宜からう。

過去十年乃至十二年間毎年身元不明の死體に關する報告が警察に届けられて居るが、此の不幸なる人々の中には共產黨の暗殺の犠牲者が少なくない事は疑ひない事である。或る場合に於ては死體の身元不明なるにも係らず死體中に發

見せられた彈丸を検査せる結果、他の政治的要素が具體的事實であつた所の既往の犯罪にその兇器の使用せられて居たことが判明したのもある。

中國共產黨々員の所業と認めらるゝ殺人表

年月日	被害者氏名	犯行ノ場所	逮捕犯人數
21	Chu Wei Zhen	北 西 藏 路 都 都 里	3
22	Keung Kuo Bing 及 Ngoh Zung Tuh	海 防 路 九 號	(後者ノ負傷) 1
10	Li Zang Zan	愛 文 義 路	0
1	Zhang Man Man	華 盛 路 培 同 街 路	0
12	Ngai Tiao Zung 及 Yui Ah Nsi	地 豐 路 及 安 寺 路	0
12	Yan Tsa Zang 及 Tsang Yui	接 鄰 路 八 五 四 號	6 (中國當局ニ引渡サル)
14	Koo Sun Sun 及 Koo Chung Sun	羅 別 左 路 1206	4
24	Ts Ah Shi	貴 州 路	1
26	Wang Ah Nsi	勞 勃 生 路 325 號	3
11	Tsing Voeng Zang	漢 門 路 325 號	0
11	Tai Chung Aung	信 信 路	
1	Sae Wang Sz	江 路	

上記二事件ニ關係シテ一名逮捕セラレタ

15,	3,	27	Tung Foh Kung	内(青)	根(路)	工(場)	2
17,	3,	"	Man Ying Jan	外(青)	林(路)	路	(解雇セラレ)
17,	3,	"	Chang Yung Kung				2
22,	3,	"	Wong Yang Sze	平	涼	路 1330號	0
6,	5,	"	Kah Chah Wong	東	楊	樹 浦 路	1
4,	6,	"	Lien Tsung Sang	東	百	老 滙 路 元 芳 里	0
11,	6,	"	Wong Kwei Sang / O.D.S. 41				2
9,	7,	"	程 明 德 / C.D.C. 76	東	楊	樹 門 浦 路	2
5,	8,	"	Dan Te Zung	澳			1
21,	8,	"	Zuh Ching Kwang				2
14,	9,	"	方 季 羅	廣	新	南 路 60號	0
23,	9,	"	李 張 連	新	才	北 路	0
9,	9,	"	張 連	才	北	路	2
4,	11,	27	Young Sian Ling	廣	新	南 路 1154號	1
23,	11,	"	王 阿 賢、突 贊	平	茂	海 路 18	0
12,	12,	"	范 偉	海	寧	路 都 信 里	0
30,	12,	"	Tei Tsung Ling	嶼	山	路	1
11,	11,	"	楊 冠				

8,	11,	"	朱 葉 佩 九	東	楊	樹 浦	路	0
7,	12,	"	崔 昇 風、春	愛	文	義	路	0
21,	1,	28	王 常 王 紹	梵 福 楊 才	州 路、	平 涼 路 A 12/1	1	
2,	2,	"	李 雪 丹、李 贊 泉、祝 兆 泉	州 州 州	登 登 登	路 路 路	5	
14,	3,	"	王 陸 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	1	
25,	3,	"	王 趙 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	1	
20,	3,	"	尹 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	3	
27,	3,	"	李 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	3	
20,	5,	28	李 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	1	
8,	8,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	4	
4,	9,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	0	
26,	10,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	0	
18,	5,	29	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	6	
25,	5,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	6	
17,	6,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	6	
1,	11,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	0	
22,	1,	30	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	0	
14,	4,	"	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	0	
24,	11,	31	王 章 忠	楊 湖 愛 愚 驛 平 才 琴 卡 愛 卡	州 路、	平 涼 路	0	

19.	11.	子	周	王守素(死亡)曹張氏 曹伯讓(負傷)吳修 武定路(死亡)陳ニチ發見セラ レタル屍体 1.張春輝 2.張維氏 3.斯助(別名斯小平) 4.葉 新開路(死亡)ニチ發見セラレタ ル屍体 1.朱宛白(スノ)葉 2.葉志強 3.王 4.葉	6 (6. 11. 33)
20.	11.	〃	馬	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	6
21.	〃	〃	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	6 (6. 11. 33)	
22.	〃	〃	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	10 (27. 9. 34)	
23.	〃	〃	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	10	
24.	〃	〃	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	10	
25.	〃	〃	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	10	
26.	〃	〃	支那人巡捕五五八(番リ) 陳(負傷)七 黃	10	

### 二 中國共產黨特務隊の説明

中國共產黨特務隊(或は「防禦部」)は中國共產黨政治局の直接指導下にあるもので、一層明瞭に名付ければ「擁護部隊」でも云ふべきものを構成する。其の任務は政治局と協力し或はその指令を受けて中國共產黨の秘密を擁護

し且黨員間の探索を遂行するに在る。換言すれば内部的安全の保障を計るに在る。  
特務部隊員は「部隊」或は「團體」として工作せぬ。蓋し特務隊の大部分を包含する「情報部」部員は概ね個人或は二人で工作せしめられる爲右の様な方法は不可能なるが故である。

事實上共產黨の各黨員は何人かに監視されて居り、従つて殆んど相互の黨員或は第三者の黨員が特務隊のため工作して居るか或は眞實の特務隊々員である様な場合がある。而し是は相互或は第三者の黨員が悉く特務隊の工作の爲にのみ専従するに云ふ觀念を傳へる意味ではない。如斯黨員は「區」「縣」或は「省」委員會委員であること多く通常極めて信頼し得る或る幹部黨員中より選ばれるのである。  
黨内探索の結果蒐集せられた情報が政治局(特務隊々長は概ね此の委員である)に傳へられる、事は各種の事情によつて證明せられる。斯る證據は單なる臆測ではなく現在拘留中の人物及其他方面に於ける調査の結果得た資料より供給された情報に根據を置くものである。

重要使命を帯びて内地の黨員が上海に派遣せらるゝ時或は新黨員が中國内地或は蘇聯邦より到着する時、之と會合して其の使命を受け取り或は彼等が雇用される管の何れかの部門に紹介の勞を採るのは特務部隊(調査部)の任務である。  
家屋、事務所、通信連絡先の貸借は特務隊によつて行はれる、又當局から不穩の注目を受けた場合には是等諸所の居住人に警告を發するも亦同隊の任務である。特務隊の諸任務は以上述べたる所より推知し得る如く多種多様であつて黨員及黨の全般的擁護に在る。

### 三 組織(職務)

特務隊の活動は共產黨反逆者及政府護者の時役のみに限られて居ない。或場合には旅行中の重要な共產黨代表を擁護すべく要求せられ、又特務隊の武裝黨員は「黨會議」の如き重要會合の附近護衛等に當ることがある。密使及重要黨員の逮捕により重要事務所或は根據を移動する必要の起るに及ぶ。如斯必要の生じた場合特務隊は移動を實行すべき指令を受くるのであるが、此の移動が武裝整備の下に行はるゝものであると信すべき種々の理由がある

特務隊の「情報部」は一團として活動するものでなく個々別々に活動するものである。情報部員は常に接觸して居る他黨員の活動を監視せんが爲、一般の「細胞」或は區委員として働いて居る、先任黨員或は信用ある後任黨員である。他面に於ては政府より警察官吏として雇傭せられ或は共產黨の爲探索を實行し得る其他の官廳に雇傭せられる。その報告は區或は省委員會に提出せられずして直接特務隊々長に提出せられるが、この隊長は情報部員唯一の指揮者であると共に共產黨組織全般内に於ても最も有力なる黨員の一人であることは疑ひの余地がない。

### 四 情報部

### 五 調査部

情報部から提出された報告に包含せらる、情報は「調査部」に交付されるが、調査部は之が再調査を爲し報告者が其の地位の爲めに妨げられて爲し得ない或種活動をなすのが任務である。

調査部の任務には共産黨員たる政府護者たるを問はず客疑者を尾行監視するに在る。家屋の賃貸借及家屋の附近に居住する人々を調査するの調査部の任務であり、又印刷機関連絡先等と接觸するの該部々員と豫想せられ、又共産黨密使は調査部から派遣さる、ものも信ぜらる。暗殺の目標を附せられた人物の所在が突留られた場合には、該客疑者の居住する附近の路地、家屋、巡邏及哨舎の位置、警察署バス及電車街路その停留所其他暗殺實行を命令せられた黨員の援助となる如き情報を記入した略圖を作成するの調査部の任務である。

### 六 死刑執行部

問題が「死刑執行部」暗殺班の手に移るまでに犠牲目標者が周到な行動を採るのでなければ其の運命は既に決したに等しい。暗殺團に手交せらるる詳細なる指令は犠牲者の寫真或は綿密なる人相書を附帶するを常とする。暗殺班

々長は一名乃至二名を選び之に對して犠牲者の家屋或は該犠牲者が何等の障害なく最も容易に連れ出さるる場所の圖面を授ける。斯くて選ばれた者は指定の位置に赴き道路、路地、其他を完全に胸に收めた後犯罪遂行の日時を定める死刑執行部長或はその信頼せられた部下は勿論偽名で前日に犯罪豫定地に近い下宿屋又は旅館に赴き異なる旅館或は下宿屋に一乃至二室を借受け一は兇行前の一味の爲に他は逃亡の際の使用に充てる。

一名(或場合には二名)は犯罪の直前一室(或は二室)を借りてその一味を待つ。約一時間(或場合には二時間)前に各員は準備した室に集合する。最後に參着する者は通常部長或はその代理で武器を持參する。武器は通常部長家屋に隠蔽せられてあり、密會所と定められた下宿屋に自轉車に乗つた二名の者が運んで來る。

一名は武器を運ぶ者の前方約二十碼乃至三十碼を進み運搬人の前衛となり捜査隊等に突然遭遇する場合の豫防をする。

下宿屋に到着してから武器は黨員に渡され黨員は直ちに犠牲者を待つべく夫々の位置に就く。自轉車に乗つた二名は犯罪地附近の道路を往復して黨員の逮捕された場合は自轉車で逃走し、參加しなかつた者に居所の變更を警告し又部長に報告する。兇行の首尾よく實行せられた時は關係者

は既に準備してある下宿屋或は旅館に引揚げ武器を差出して立去る。犯行後に於ける諸種黨員の行動は確定的には判明しないが、犯行後その居所を變更しないのを常とすることは判明して居る。逮捕せられた者のある場合には共産者の居所を多數知り得らるる事を防ぐため犯行後二三日は極めて展々會合を開く。

備考 中國共産黨特務隊は或る點に於ては活動緩慢であるが全體としては組織良好で左傾中の黨員を多數包含する。部長を介する場合を除き特務隊各部門間には現實工作上的接觸はない様である。

### 七 特務隊の工作

共産黨が最初上海に於てその活動を開始した時グ・ベ・ウは顯著なる存在を示さず一九二五年の總ストライキ直前までその勢力は不明であつた。前例なき労働階級の騷擾に關聯し約十五名の職工長或は労働者幹部が殺害された。此の犯罪に關係せる犯人の逮捕により共産黨がその背後にあつたこと及び労働者を受働の状態に陥れんとする目的で犯行をなしたことが判明した。當時の共産黨團體たる「總工會」の指導者は「被害せられた人々」は労働者階級の敵で資本家の走狗である」と労働者に辯明した。

一九二五年に於ける共産黨は非法法のものではなかつ

た。當時は政府それ自體が大部分共産主義分子より構成されて居たのである。従つて特務隊の核心は當時既に存在して居たけれども、現在の特務隊の如き優秀な組織團體の必要はなかつた。今や共産黨は政治的代表的範圍外に移され、其の一味は政治的亡命者の地位に退けられた爲め、黨を全般的に擁護すべき適當な團體は黨員に執り最も緊要なものとなつた。

中國人は「政治的代表的」の眞實の意味を知らず且政治的見解の關する限りに於ては二大要因「恐怖と缺乏」に束縛されて居る。政治的歸順を得る手段として限りなき人口の日用食料品を剝奪することは不可能である爲、共産黨は右の二つの刺戟の一たる「恐怖」を利用する。

一九二五年労働者幹部の一斉射殺を實行したのは思考緩漫にして無學文盲なる労働者に「恐怖」を浸透せしめんとした企圖の現れであり、又特務隊を擴大し完全ならしめたのは既に獲得したものを維持せんとする共産黨指導者の組織的カムフラニヤである。

一九二五年以降一九二八年に於ける前述せる殺人犯人は新たに組織せる労働組合の更に好戰的なる黨員より來れるものである。彼等は最も容易可能なる方法で出來得る限り多額の財貨を得ることを生涯の主要目的とする文盲なる劣等人物で共産主義者と稱し得るものである。更に彼等は團

體員としての自己を没却して單に共產黨の敵に懲罰を與ふる事のみを志する者で、組合員同志の稱讃を得んためには何事をも辭せざる極めて性急な者としてその無法なる指導者(ゲ・ベ・ウ黨員)に選ばれたのに過ぎない。今や共產黨は國民政府より追放され、政府は之が終局の完全なる彈壓を望んでその武器を差向けた爲め黨指導者は之に抗戦するの意を決した。中國共產黨のゲ・ベ・ウが政府の妨害及黨員内の腐敗、離反に對して擴大され訓練されたのは斯る決意と關連したものである。現在特務隊暗殺班員の大多数は紅軍から募集されたものである。之は彼等が紅軍領導者により戰場勤務を強要された單なる紅軍兵士たることを意味するものではなく、彼等は忠實なる共產主義信奉者であり自分等を政治的經濟的自由へ導くものと信ずる問題の爲には喜んで生命の危険をも冒すものであることを實證して居る者共である。今日の殺人班員は共產主義は國を救ふものであると確信して居る。自身の安全を危ふくする總ての問題に對して畏縮するのは中國人全般の状態であるのに、特務隊暗殺班員は早晩探知せられ逮捕せらるゝを自覺し居るに係らず常に危険を冒し續けて居る。

前述せる點は目下拘留中の某被告等に對してなした訊問に對する供述程明瞭に之を實證するものはない。例へば某人物を狙撃したか否か或は殺害したか否かの訊問に對し彼

等は「然り」或は「否」と答へるけれども、犯行の指令を發した人物の身元に關して訊問すれば姓名住所のない荒唐無稽の人物を引出して來てその相貌に關しては極めて漠然たる供述しかしない。而も首領の存在することは全く疑問の余地がない。一九三四年九月二十七日の逮捕後、拘留中の少からざる者が今尙捜査中の多数黨員と接觸して居た事實のあるに關らず、爾來一名の逮捕者或は一個の押收品もない云ふ事實を附記せねばならぬ。特務隊維持の爲めに採つて居る方法に就ては殆ど知り得た所がないが、その維持資金は中國共產黨の豫算に包含せらるゝは毫も疑ふの余地がない。

### 八 訓練

前述した如く現在の特務隊暗殺班及び其他の執行部員はゲ・ベ・ウの工作に入る以前に於ても既に訓練を経て居る。信頼し得る情報入手し得らるゝ唯一の地域である上海の状態を述べれば、訓練は極めて完全であつて左記の諸項を包含する。

- (一) 警察署、官廳、主要道路、バス及電車街路等の位置を包含する上海の研究
- (二) 容疑者の尾行及鑑定
- (三) 主要旅館及下宿屋等の内部研究

### (四) 模擬襲撃次の如く準備せらる

一團は觀測者或は審判者の役割を演ずべく其地點に配置せられ實際の暗殺に使用せらるゝと約同數より成る一團は該地點に近づき、暗殺實行の手段を完了し定められた他地點に退く、關係者は時間を定められ兇行地點往復の行動を監視される自轉車は實行せらるゝ諸種行動に重大役割を演ずる。即ち簡單にして速力ある輸送をなし自轉車等に勝る幾多の利益を有する。

(五) 訓練中の個々の黨員は通常旅館或は下宿屋の如きアドレスを發見せしむべく送派せられる。彼等は電車或はバスで赴き家屋其他の建物を見出し居住者の氏名を記入して報告する指令を受ける、又斯る行動は時間の制限があり且つ黨員幹部の監視を受けるのである。

(六) 「弄内闘争」の演習については一九三四年九月二十七日警察に押收せられたる某文書に記述されてある。之れは路次或は小路(弄)に於て一名或は一團の人々を襲撃する場合に使用すべき戦術を説いたもので、正確な方法は不明であるが多分は某地點から或は某地點へ向つて戦ひ抜けて行くために最も有利なる地點を占むるニ云ふ形態を爲すものであらう。

### 九 資金の獲得及び配布

特務隊の活動資金が如何なる筋より獲得されるかを斷定的に述ぶることは不可能であるが、一九三四年十月四日佛界 No. 34 Magy Terrace Route Magy で佛蘭西警察に押收された「第一六三號書類」に記入された支出には確定的な準備のあることが認められた。此れは「一九三四年四月に於ける特務隊」の支出に關する書類である。此の外押收した書類、銀行通帳、貨幣等を考慮すれば委員等に對する月額給與は現金(上海貨幣)で渡される事が明瞭である。信頼し得る情報は全般に入手し得られないため特務隊の月額支給が何人に渡されるかは述べ難い。葉ミ云ふ氏名で知られて居る人物は特務隊長であつたこと及び一九三四年九月二十七日成都路で逮捕されたクワン・ウェイ・アンは葉の手を通じてクワン・キーなる名稱で自身及びその部員の給與を現金で受取つたことだけが判明或は推疑せられる。

### 一〇 武器

一、獲得方式 特務隊に使用される武器の獲得手段は無數にある。共產黨は特務隊の必要以上に遙かに多量に紅軍より武器を入手するが故に、特務隊の所有する或は使用する武器が特別な筋から入手されたこと述ぶるのは誤である。武

器は上海或は内地で購入される事もあり或は中國兵器庫の無法な雇傭人から之れを入手することもある。中國軍務の遂行が弛緩して居ることを考慮すれば數挺の拳銃紛失に對し大騒動が惹起されることは思考し得ない。

二、武器の隠匿 一度武器が特務隊の所屬に歸すればその使用時期に至るまで各係長が之を保管する。「細胞」或は下級黨員は銃器の私用を許可しない。各武器は使用後掃除して係長に返還される。

三、犯罪に先ち武器の配布 企圖せる犯罪の詳細計畫完成し總ての準備の終つた時係長或はその時の武器の保管人に報告をする。次に武器は小形洋服靴或は隨時の隠置容器に詰込まれ、必ず自轉車に乗る運送人に手渡される。武器を所持する運送人は他の自轉車或は人力車に乗つた者の後方若干の距離を置いて之れに續く、之れは先頭に立つた者が打合せた合圖により警察捜査隊等の存在を後の者に告ぐる爲めの準備である。妨害がなければ武器は犯罪参加に選ばれたる者の集合して居る下宿屋に運ばれて當事者に手交され、一黨は各自の位置に就くべく解散する。

四、犯罪後武器の蒐集 關係者は犯罪遂行後直ちに會合所として定められた下宿屋に引上げ、武器を「係長」に返還する、係長は武器の掃除せられた後の使用に當て得らるゝやを檢査する。

計畫せられるであらう。

政府の所謂政治的諜者は少數の例外を除き總て共產黨の前黨員であるのだから其の正確なる身元は共產黨員に知られて居る。斯る情況は追求及勸滅の問題を簡單ならしむるものである。特務隊の工作は支那人の一般的態度の爲に一層簡單なる、蓋し彼等は強き好奇心を有するに拘はらず歐洲人ならば數秒間で嫌疑を惹起する如き事件に對して一般に不注意なのである。更に又絶えず極めて多數の人口流動し中國人の營業及び住宅に使用されて居る部分は恐しき程幅狭する上海の状態は世界に其の比を見ざる處で、之亦特務隊の工作を容易ならしむる所以である。

### 二二 犯行の手段

本質問の解答に對しては特務隊によつて行はれた如何なる犯罪も主として犯行地域の異なるため同一のものがないこと述べるべきが第一に必要である。個人的殺害の表の中では射殺が第一位にある。拳銃の使用せられた場合犠牲者の死骸の處理の試みられたことがない上海工部局警察に報告せられた事件に關する犯行は、何れも「打而走」であつて佛蘭西租界及び華界に起れる事件も亦之に等しいものゝ解決される。願順章の家族殺害の事件に於ては不幸なる人々は援助の約束を受けて死の場所に誘導され、或は發聲する時は

### 一一 死刑執行部

——犠牲者追求の方法——

特務隊の目標となつた犠牲者の追求方法は必然的に多種多様である。勿論行動の行はる、以前に犠牲者の人違ひでないことは調査せられなければならぬ。共產黨員が特務隊の注意人物として選ばれた場合には問題は簡單で犯行の機熟するを待つに過ぎぬ。之は共產黨内に於て屢々起ることで裏切人は一時逃亡するも特務隊活動部員の總てが之れを監視すべく指令せらる、爲逃亡者は早晩その所在を突留められる。共產黨は裏切人の型態に従つて之れを即座に射殺することあり、又雇傭主或は共謀者の氏名を自白せしむる爲め家屋に誘導して拷問することもある。

共產黨の工作彈壓に雇傭せられた政府諜者の場合は之れと異なる手段を執る。斯る諜者は見知らぬ家屋に入るのを常に警戒して居るが故に、極めて少數の例外を除いて右記の手段は不可能である。就中人物鑑定の問題が第一に重要であるが共產黨がこの點に於て餘り誤りないことは認め得られる、共產黨は總ては云へぬ迄も殆んど大多數の官廳内に、殊に公安局内に、諜者を潜入せしめて居ることは判明して居る。政府諜者の活動が過度に顯著となつた時は假令其の身邊が當時不明であるとするも數日後には其の暗殺を

直ちに射殺するを脅迫の上連行せられた。之等の人々は總て緊束絞殺せられ夫々連行された家屋の庭園に埋められた。

### 一三 秘密遵守

——維持の方法——

縣及省委員會委員間に於ける秘密遵守は特務隊々員間に於ける如く重大な役割を演ずるものではない。

特務隊々員に執つては自由を意味し自由は生命を意味する。原則は極めて單純である、特務隊の「細胞」黨員或は實行委員はその直接上長者なる一名を併せ約三名の黨員を知るを許可せらるゝに過ぎない。且繼續的に一定の場所(茶館等)を訪るゝ習慣を作ること許されない、又共產黨員以外の人物と友人となつてはならない。共產黨員更に嚴格に云へば黨の特務隊員以外の男子或は女性は理由なくして黨員の住居に入るを許されない。黨員の居住するアパートの戸は黨員室内に在る時、雖も常に鍵を下さねばならぬ。黨員が必要生じて他黨員を訪問する時は或種の合圖即低音の笛の音或は銅貨を窓に投げつける等によつてその存在を告げるのを常とする。私的郵便物に關しては最も細心の注意を拂ふ。通常僞名で特設名宛人に郵送され共產黨密使が之を蒐集して目的の黨員に手交する。私的郵便物は悉

右記の如く別名で第三者に送付される。特務工作を記した書状等が郵便に托せらるゝことは極めて稀である。之等は某架空人物例へば廣東、廣東師範學校ヤン・ピン・シヤオに宛て郵送するが如く記入せられる。書簡が何人を目的とするかは宛名では不明であるが之れに反し何人から發送されたかを指示する。之れは左記の方法で行はれる。

- (一) 常に學校の宛名を使用す
- (二) 常に旅館(架空)の宛名を使用す
- (三) 常に英語で宛名を書く。

等である。封筒の色で意味を傳へる事もある。入手した情報によれば封筒内には記入したものでなく唯宛名及封筒の色で望む通りの傳言を與へる事が屢々あると云ふ。秘密遵守の約束をした普通の中國人には自身の安全は自身の常識に由ることを忘れる時が必ず來るであらう。往々共產黨員を繋ぎ上ぐる最善の證據となるのは公然たる記録を残す様な形態の最も單純なる性質の過誤である。此の事は黨員が秘密遵守の技巧を嚴重に訓練せらるゝに保らず起る事である。

#### 一四 秘密信號

共產主義の調査に於て調査官は往々にして一般的調査範圍を離れた事項を發見することがある。例へば逮捕せられ

た犯人はその室内に於て窓の開放許可を求めることがある。歐洲人は通風なき室内に永く留まるのを全く好まない爲此の事は必ず許可されるであらう。開放された窓は住居人の逮捕されたことを家に近づく黨員に知らせる信號となり重要な役割を演ずることが判明した。窓枠から細い竹の棒を突出せば萬事都合よいことを示し此の無い時はその反對を示す。又或場合には室内の居住者はその存在を示す爲め窓に小さい正方形の紙を置く習慣のあつたことが發見された。

街上に於ける信號は手を以て數へられる。調査中に遭遇した數例を示せば次の如くである。

- (一) 脱帽して後ハンカチで頭を拭く。
- (二) 「右」或は「左」脇に小包を携帶する。兩者共に特別の意味を有する。
- (三) 脱帽汗革の汗を拭く。
- (四) 手にハンカチを持つ或は手にハンカチを巻きつける。
- (五) 齒痛に苦しむかの如く顔を抑へる。

右は遭遇した中の數例に過ぎぬ、斯る性質の信號は永久的なものではなく彼等は唯一回の機會に利用するため二名或はそれ以上の人々の間で信號を打合はすに過ぎぬ。

#### 一五 細 胞——その工作材料

特務隊暗殺班細胞黨員の宿舍が共通な場合は極めて稀である。住居に於て發見せらるる共產黨文書の量は同人が事實上關係のあることの嫌疑を幸じて證據立てるには足るけれども、之れに依つて某人物が暗殺班員であることを證明することは殆んど不可能である。「細胞」黨員は地圖の研究後は之れを所持しない。「細胞」黨員には自分で自動車管理するものがある。又最近の事件に於ては全員が防禦のため交付され或は指令によつて購入した重い釘拔機を何れも所持して居た。更に又黨員の多數が警察をして目的を疑はしめる如き器具を所有して居た事實がある。「細胞」黨員の居住する室の全内容を検査しても彼等が特務隊暗殺班員の如き團體の黨員であることを示すものは無かつた。工作の性質を帯びたる證據を獲得したのは唯指導者の室内に於てのみであつた。

#### 一六 地位——過去及現在に於ける特務隊の工作

共產黨が最初その風貌を上海に現はした當時は黨員の大多數は學生階級であつて、眞實の好戰的工作は假令あつたとしても極めて微弱なるものであつた。其後浮浪人を含む共產黨は勢力を得て労働者を「工會」に組織し始めた。多

數の労働者が新組織に参加するのを拒絶した結果先づ茶館及び錢湯に於ける亂闘となり更に狀勢が絶望的となるや大殺害を起した。

赤色組合指導者によつて殺人の命令が下されたことは否定し得ざる所で、各失業労働者の團體は或者は單なる復讐心より、又或者は労働者を賤むべき恐怖状態に陥れんことを考へて殺人を行つた。逮捕された者が多數あつたが調査の結果暗殺は總工會の指令を受けて個々の「工會」が行つたことが判明した。當時は今日存在する様な組織的暗殺團もなく又密偵組織も存在しなかつた。一九二五、六年に於ては中國共產黨のゲ・ベ・ウは存在して居たけれ共主として當時の共產主義は非合法のものでなかつた爲その工作は今日程明瞭ではなかつた。七年間の政府の反共產主義闘争を経たる今日に於ては黨のゲ・ベ・ウはこれに極めて異つた地位にある。今日に於ては本組織は全中國共產黨組織の安全の責任を負ひ、二十世紀初頭に雇傭されて居た員數の幾層倍より成つて居る。糾察組織は改善され黨員は有能となり工作は調整せられた。右の如き武裝労働者の單なる暴民から一つの組織的團體が起つた。而して此の團體は其の黨員が幾多の政治的團體工作者の如く、私心なき熱烈さを以て工作する上に於て全般的に無能力でなかつたならば、全國の安寧、秩序に繼續的脅威を與ふるものとなるであらう。



工部局警察の入手せる多数の書類によつて證明される如く、中國共產黨特務隊は赤軍の一分隊を思考され又其れ故に武装せる彼等は如何なる危険を冒しても命令を悉く遂行するものと思はれる。その部員は最早上海では補充せられない且其野望即ち中國に於ける蘇政府建設の問題を除けば在滬共產黨幹部等何等の共通點を持たぬ。

從來多数の中國人巡捕が共產黨員に射殺されては居るけれども一九二五、六年の工會時代以後今日迄上海工部局警察官に對する組織的謀殺計畫は無い。犯罪地附近に於て勤務中の警官が助けを求むる叫び或は銃聲を聞き犯行地に断

けつけんとしてかゝる妨害の警戒に立つて居る暗殺團々員に射殺されたことは屢々ある。共產黨暗躍の調査に従事する警官(探偵)に對して組織的武装襲撃を行ふ上に於て將來如何なる事態が惹起されるかは述べ難いけれども、共產黨の根據地の踏込み殊に逮捕せるものを現場から用意の自動車に連行する時に總ての警官は最も細心の注意を拂ふべきである。一九三四年九月の踏込みの際踏込隊其他の襲撃を實行せんとし又法廷を往復する政治的囚人の護送者を襲撃せんとする計畫の進行中であつたことを明瞭に記した文書が工部局警察の手に遺つた。(S・U)

### 中國共產主義同盟の近狀

中國に於けるトロツキーズムの集團たる中國共產黨左派反對派は一九三二年十月陳獨秀、彭述之等の主腦者が檢擧せられたる後劉仁靜等に依つて再建せられ、更に一九三三年十一月より一九三四年一月に至る間陳銘樞等が中心となつて旗擧した福建省獨立運動に参加したけれども該運動が失敗に終つた爲、劉仁靜等の中心人物は上海に歸來し爾來今日迄地下運動を續けて來たが、同派は劉仁靜を中心とす

る一派と陳其昌の一派が對立して内訌絶えず、劉仁靜も其の責任地位を去つて昨春秋以降は劉仁靜派の人物により臨時委員會を組織して會務の指導をなさしめ、辛ふじて團體としての存在を維持して來たが、斯くては團體の堅實なる發展を望むべからずとして先づ盟員の最も多數集結して居る上海の各區各支部代表を召集することに決定し、同派臨時委員會は一月二日附を以て次に掲げる如き「上海

代表大會召集に關する緊急通知」を發出して之を上海各區委員各支部に通達し代表の選舉派遣方を命じた。其の結果去る一月十三日上海に於て滬西區委、電話公司支部、中新紡績第五工場支部等の代表を召集して上海代表大會を開催し、次の如き決議を通過した。

而して決議第七項に基き大會の席上に於て中央委員九名を選舉し更に三名の常務委員を互選した。斯くて本大會を楔機として一九三一年以來使用して來れる「中國共產黨左派反對派」の名稱を廢して「中國共產主義同盟」(ボルシェヴィキ・レーニン派)なる新名稱を用ふることをなつた次第で、同派は改稱後に於て左の如く數回に亘り宣傳文書を發出して大衆に呼び掛けつゝあるが、最近北平に於て其の中樞人物たる劉仁靜が逮捕せられたるやの消息もあり今日の情勢に於ては其勢力微弱である。

イ、レーニンを記念し民衆に告ぐる書(一月二十日)  
ロ、中日提携及共同管理式國際借款反對のため民衆に告ぐる書(三月)

ハ、「四・一二」國民黨の上海工人屠殺を記念して工人に告ぐる書(四月十二日)  
尙本同盟中央委員會の第二次會議(二月三日召集)は二月より七月に至る六ヶ月間の工作計畫を後掲の如く決議した。

#### 一 上海代表大會召集に關する臨時委員會緊急通告 各支部及各同志へ

現實に我等の面前に提出された幾多重大なる政治問題と工作問題の解決方法及び最少限の之が初步的方法に就ては臨時委員會と大多數支部の意見は上海の代表大會を召集することに一致した。

此の代表大會が解決すべき重要問題及臨時委員會同志の本會議に對する準備經過と階梯に關し左に略述する。

#### 一 必ず解決すべき問題

一、政治上最も重大なるものは所謂「戦線聯合」の問題である。本問題は我々の策略に關係を有するのみならず同時に我等の階級的立場にも關係がある、現在の組織内及我々臨時委員會内には明かに二個の絶對に相容れざる思想或は路線が存在して居る。

一部の同志(雪衣、商吉士、莊昌等の如き)は自由資産階級及小資産階級的政派と共同の行動により先づ蔣介石の國民黨政府を顛覆し、或は「抗日反戦、倒蔣」等の點につき共同の行動を採るべきであると認めて居る。即ち彼等は現に我が反對派の政治地位を向上するために我々は正式に宋慶齡、胡漢民及スターリン派が發起せる「武装抗日大同盟」「反戦大同盟」に加入して「社會運動」「機關新聞」等を彼等と合作すべきであると主張して居るのである。

他の一部同志(列爾士邁生、滬西區委、及臨時委多數同志)は根本的に此種の意見に反對して居る。即ち彼等、中國の凡ゆる自由資産階級或は小資産階級の政派は何れも帝國主義及軍閥を結托し、反戦抗日を實現し、或は民衆を共同して政治革命を行ひ蔣介石の軍閥政權を顛覆せんことを、あるもこれは不可能である。従つて、我々は自由資産階級及上層の小資産階級政治集團の多數と只臨時的に個々に事務上に於て合作(時に共同して募捐し、罷業をなしデモを行ふが如く)するのみで、黄色團體或は小資産階級集團に對しては彼等が「左」に向けて行動する時にのみ我々は臨時的に上より下へ、或は下より上へする方式によつて結合する(例へば群衆團體は何れも代表大會に参加し、最低限度の行動綱領を規定し執行委員會を造り、双方の下層組織も亦聯合の闘争組織を造り以て之等最低限度の綱領を執行する)然し自由資産階級及小資産階級政派と一般的に抽象的な「抗日」「反戦」「倒蔣」「民主統一」等の戰線の聯合を爲すことは絶対に出來ぬ、更に旗幟を混亂し(合同して機關新聞を發するが如き)組織を混合する(何々運動指導の「大同盟」を組織するが如き)等のことは、爲し得べからざることを、認めて居る。

二、其他國民會議の策略。日前革命形勢の見透し及我等の工作の重心、黨内民主的運用「反戦」「抗日」は中心口號で

五、各支部は十日以内に代表一名を選出し選出後は速に之を臨時委員會或は區委員會に報告し、尙意見の發表若くは組織散漫のため洩れたる個々の同志は何れも意見を開陳せられ度く、若し出席、列席を希望せらるゝ向は臨時委員會に通知すれば臨時委員會は慎重に同志の各種關係を審査して、秘密條件により許可することがある。其の時は事前に出席或は列席方を通知する。

六、臨時委員會は今次の上海代表會に左記の提案をなさんとする、各支部、各同志の注意を望む。

- (一) 目前の政治路線は暫時テーゼ及滬西區委の意見書を以て根據す、資産階級或は小資産階級上層集團を「反戦」「倒蔣」等の聯合戦線に賛成する同志に對しては其の意見の放棄並に新しき確定意見の發表を要求する。
- (二) 新しき基本綱領を準備せられたし。(草案は臨委の責任により進行す)
- (三) 新黨樹立準備の宣言發表
- (四) 正式臨時委員三名、候補二名の補充、其の氏名は正式委員三名は、趙、L、候補委員二名は、W、李
- (五) 暫時區委を取消し支那は常委を経て直接出席のこころ。
- (六) 工作に従はざる消極分子若くは容疑分子に對しては臨時委員會に於て慎重審査の上最後の意見交換をなし

あるか否か等の重要問題に關し(大體は各期の「校内生活」に發表した)吾人は之に明確なる決定を與へねばならぬ。三、上述の如き重要なもの、甚だしく根本的に意見を異にするものを除き尙ほ幾多の切迫した爲すべき工作がある。例へば

- (一) 佛國工人革命運動及危險状態に在るトロツキー同志に對する吾人の態度を決定し且つ有效的の援助をせねばならぬ。
- (二) 各地同志との關係を恢復し廣東、香港に人を派して教育及工作を援助し全國代表大會の準備をなす。
- (三) 臨時委員の補充をなす(元七名の處現在四名を残すのみ、常務委員も亦二名を除すのみ、且つ常務委員の關する處頗る薄弱にして支部生活は臨時委員若しくは區委員中の個別同志の指導に依つて居る等)
  - 上海代表大會召集の手續——
- 四、臨時委員會同志が本代表大會の準備に従事すること既に二ヶ月の久しきに及んで居る。一切の不用なる意見は已に絶えず刷物として發表した。數種の重要問題は殆ど全部支部に於て詳細なる討論をなし大多數の支部の意見及提案は已に報告されて居る。臨時委員會は十四日以内に大會を召集し一切の技術上の問題は臨時委員より指定し、一、二精通せる同志が責任を以て處理することに決定した。

たる上其の去就を決定すること。

- (七) 名稱を變更し國內に於ては「中國共產主義同盟」(ボルシェヴィキ・レーニン派)とし對外的には「國際共産主義同盟(ボルシェヴィキ・レーニン派)中國支部」としなすことを承認す、今後の工作は獨立小團體の態度を執ること、之れは國際書記局の決議に係る。
- (八) 全國代表大會は各地が引つゞき破壊を蒙りしため一時召集困難なるも臨委は左記の準備工作をなすべきこと。
- A、新しき基本綱領の討論指導
- B、廣東に專員を派して組織を整頓し大會の準備をなすしめること。
- C、基本綱領を各地同志に傳達し且つ日常の組織關係を恢復すること。
- D、「火花」は原則として毎月一回出版すること。
- E、佛國革命及トロツキー同志の募捐運動を發起援助すること。

一九三五年一月二日

二 上海代表大會決議

一、滬西區委及大部分の臨時委員の自由資産階級及小資産階級に對する態度及策略に對する意見は全同志一致し其旨商古士等同志の該問題に對する意見は即ちスターリン派機

會主義思想の復活であるを認定した。

大會は中國自由資產階級及小資產階級が第二次革命の失敗後經濟上及政治上に於て従前に比して一層大資產階級を頼り民主闘争中に於て已に何等の指導或は半指導の作用の無いことを認める。故に吾人は彼等と共同して軍事獨裁を顛覆し或は帝國主義反對、戰爭反對の政綱の下に共同行動を爲すことは出来ぬ。我々は之等「左」傾を唱へる政派或は團體に對しては最大限の臨時的事務協定のみを進めることが出来るが、個別行動中に於て彼等の眞面目を暴露し彼等の群衆を爭取することが出来る。彼等と反蔣或は反帝の共同綱領の下に混合組織（或は混合の旗幟政治機關新聞の合作の如き）を創設することは徹頭徹尾スターリンの國民黨政策であり資產階級は無產階級中に於ける説客である。此種機會主義的思想及分子を完膚無き迄に闘争することに由りてのみ中國ボルシェヴィキレーニン派の前進あるのみ大會は認める。

二、目前の一切公然或は秘密に自由資產階級及小資產階級と共同して抗日、倒蔣、反帝を唱へ「紅軍」は「不退の土匪」であるを云ひ「黨内民主」は現在云ふに足らず「稱しソ聯は工人の國家にあらずのみならず「平和的」に資產階級の國家に轉向する可能性があるを稱し「新黨」は中國に必ずしも必要としないを認め、將來或は「反對派」方式

險思想に對する無形の保護者である。

六、組織上に於ては嚴重に黨の規律を執行し黨員は基本條件として接受したる黨の綱領に従ひ積極的に工作に従事し會議に参加せねばならぬ。然らざれば正式の黨員として待遇すること出来ぬ。過去半年、一年間に於ける消極分子に對しては最後の勸諭をなし去就を決せしむべきである。七、全國の指導機關名稱を改めて中央委員會をなし再び臨時の名稱を用ひず、中央委員會は委員を十名とし上海より九名香港より一名を選舉し、常委會は中央委員會より三名を出して造る。

八、本會議は各地が引つゞき破壊を受けたため全國代表大會の召集は一時困難なりと認む、國際に照會し返事を求めることすれば甚だしき時間を費す（但し各種の重要問題に就ては已に國際の回答がある）、一切の問題が全代表會或は國際の解決を待つべきものとすれば同志が曾て言つた「皮相な有害なる形式主義」に捉はれるものである、但し中央委員會は積極的に全代表大會を準備することを要する。九、佛國工人ミトロツキー同志を援助す。

三 六ヶ月間の工作計畫  
中央委員會第二次會議通過

外國事情 中華民國

改良スターリン派等の原則を用ふるかも知れぬと言ふ誤れる意見を固執する分子に對しては、最後の談話を以て彼等の再考慮を促し、此の意見を放棄すれば従來通り同志と爲すも然らざれば即時黨より排除すべきである。

三、大會の政治報告、綱領、滬西區委意見書政治草案及雪衣最近の意見書に基き明確なる政治決議案を起草する。

四、連に「左派反對派」の名稱を更め「中國共產主義同盟（ボルシェヴィキレーニン）派」を爲し、國際に對しては「國際共產主義同盟（ボルシェヴィキレーニン）派中國支部」を稱すべきである、凡そ新黨に對し怪疑を表示し依つて名稱及工作の改革に反對の態度を執る分子に對しては遠慮なく之を排斥すべきである。中央委員會は積極的に中國新黨建設の原則宣言及綱領の發表を準備し以て我々の立場と態度を確定すべきである。

五、工作上に於ては今後獨立小組の精神を以て群衆に接近し一切の宣傳煽動行動中に於て特に新黨建設の意義を明瞭にすべきである。目前の極端なる反動局面下に在りて我等は特に我が隊伍及群衆中の政治教育に重きを置きマルクハ主義の素質を不斷に向上せしめ群衆中の優秀なる自覺分子をして絶えず先鋒隊幹部として集結せしめ、工作を一事務として爲すの主義を絶対に排斥せねばならぬ。之等の者は日常の工作を以て政治的教育を排殺するもので一切の危

本工作計畫は現有的經濟狀態を基礎として六ヶ月間に實現の可能性ある事柄を豫想して中央委員會に於て決定したものである。

我々はスターリン派の如く誇大であつてはならぬが又同時に餘りに臆病であつてもいかぬ。

中央委員會は本計畫が最も適當であることを認めるものである。同志諸君より被壓迫者は我々先鋒隊の領導を待つて居り、先進工人は我々に接近せんとして居るのである、だから我等は全力を擧げて正確なる政治旗幟を掲げて下層貧民及工人の間に喰ひ入つて活動をなし以て本計畫に定めたる所の成績以上の好成績を擧ぐべく努力すべきである。斯くすることによつて六ヶ月の間に新黨の基礎を確立することを確信するものである。

一、「火花」(譯者註「同盟機關紙」)は少くも六回發行し此の經費は寄附を募集して之れに充つ。

二、黨内教育

1、「校内生活」(譯者註「同盟對内機關紙」)は最少限度四回發行すること、内容は政治教育及組織工作原則に重きを置くこと。

2、政治綱領、新黨の新國際問題、中國過去の革命、教訓、職工運動綱領等の重要問題に就ては初歩的効果を得ること。

- 三、通俗小冊子を最少限左の三種類を發行すること
  - 1、國民會議運動
  - 2、過去革命の教訓
  - 3、國際左派、反對派の十年間闘争史
- 四、上海の黨員を最少限度二倍に發展せしむること
- 五、上海に最少限度三個の群眾團體を組織し其の團體に參加すること
- 六、人員を派して廣東の組織を整頓し北平、青島の組織

- 關係を恢復し全國代表大會の準備をなすこと
  - 七、「國際通信」は少くも二回發行すること
  - 八、青年團委員會を設立すること
    - 1、獨立に青年團機關紙及「團内生活」を發行すること
    - 2、青年團の基礎組織を上海に設けること
    - 3、國際青年組織と正常なる連絡關係を結ぶこと
- 一九三五年二月三日 (S・U)

### 中共黨の有吉大使着任反對不穩計畫

本年五月中旬日華大使交換の發表せらるゝや、中國共産青年團中央は直に五月十九日「中日大使交換反對宣言」を密發し、蔣介石は本年二月鈴木中將の提出したる亡國的七ヶ協定を完全に承認し、之が實行の第一歩として日本帝國主義は公使館を昇格し、初任有吉大使を派遣し來ること、なつた。日本帝國主義は中國をして第二の滿洲國たらしめんとするもので、有吉大使の來華は殖民地の總督と何等選ぶ處なし、蔣介石の亡國的計畫を欲せざる者は起つて有吉大使の來華に反對せよと宣傳したが、又中共は曾て其の

表現機關たりし中國民族武裝自衛委員會の名を用ひて等しく有吉大使の來華反對の傳單を密發し、更に六月十二日有吉大使の着滬に際しては滙山碼頭附近に於て示威遊行を敢行すべく其の示威參加者の集合場所を定め、而して同大使の自動車に碼頭出發を合圖に五個の爆竹を鳴らし右自動車の通過に際しては瓦礫、石灰の包等を投げつけ傳單を撒布すること及び警察官が逮捕せんとしたる時の行動等に就き計畫したが、之を探知した警察當局が特別警戒を實施した爲有吉大使の着滬並に御信任狀捧呈のための南京往復に際し

て何等の事故なく經過した。

當日撤布すべく準備したる前記中國民族武裝自衛委員會の宣傳物は何れも内容大同小異であるが、相當過激にして有吉大使を打殺せ等の字句を用ひて反日反蔣を高唱して居る。尙前記武裝自衛委員會上海青年委員會は六月一日附を以て國民政府に對する「中日大使交換反對の抗議書」なるものを密發した。其の内容は大體前掲「中日大使交換反對宣言」と同様にして、日本の滿洲占領は中國を滅亡せしめんとする第一歩にして、本年三月には鈴木中將は南京に到り南京政府を亡國的七ヶ協定を締結せり、中日公使の昇格は此の七協定を實行して中國を滿洲國化する處の具體的前提である。全國民衆は團結して起ち中日大使交換に抗議し日本帝國主義の絶交を即時宣言しなくてはならない。亡國を欲せざる全國民衆は此の抗議書に賛成署名せよ、然る後一致團結して政府に抗議せよ、云々を記述して居る。

尙右計畫には共産黨に加盟せる鮮人が參加せる模様で(四)に掲げる抗議書に署名及び同一内容の謄寫刷日本文傳單が各左翼團體に配布せられた形跡があり、其の用語並印刷等より見て或は前記の如く左翼鮮人が此運動に利用せられてゐるのではないかとの疑もある。

以上の如く中國共産黨は現下衰退せる黨勢挽回の爲め機會ある毎に民衆の反日感情を煽り以て大衆獲得に努めつゝ、

ある模様である。

#### 一 中國共産青年團中央委員會の中日大使交換反對宣言

全國の青年工、農、兵、學生及亡國奴たることを甘んぜざる一切の民衆よ。  
 氣の抜けた國民黨政府  
 賊を父とする國民黨政府  
 國に叛き國を賣る國民黨政府  
 は公然五月十七日日本帝國主義強盜大使を交換することに決定した。

之れと同時に英米佛等の帝國主義の駐華公使も昇格すること、なつたが、其の賣國辱國の面目をカムフラージュする爲めに、國民黨は臆面もなく「之れは中國が國際間に於て大國たるの地位を恢復したものであつて帝國主義の中國に對する好意を表示するものである」と謂ひ、言論界の反動的代表たる「大公報」は公然其提灯を持つて今後中國は日本に對して「小を以て大に仕へ」しむるであらうと稱して居る。

諸君は日本帝國主義が滿洲國に對しても特命全權大使を派遣して居ることを知つて居るであらう。

中日の大使交換は全中國を第二の滿洲國たらしめんとするものであつて、此種の大使は帝國主義者が其殖民地に駐

在せしめて居る總督と何等擇ぶ處はないのだ。

本年二月日本の鈴木中將が南京に行つて蔣介石に對して次の如き亡國條件を提出した。

- 一、宋哲元、干學忠等の華北軍隊を他に移駐せしめ一切の官吏は日本の同意を得て任用すること、し、日本をして軍事上徹活なる行動を採り得る如くし、直接に寧夏に於ける日本の對ソ聯邦軍事施設を完成せしむること。
- 二、中日經濟合作
- 三、中日滿三國の同盟條約を締結すること
- 四、黨治を取消し國民黨政府を中華人民政府に改むること
- 五、蔣介石の統率する軍隊には毎師日本將校四百名を備聘すること

六、共產軍の討伐は中日兩國の共同計畫にてなすこと  
七、日本より借款を起して中國の財政を整理すること

中日大使交換は日本帝國主義が國民黨政府の「反日運動取締」に満足して南京の第二「傀儡政權」を支持し全力を集中して反帝運動の大本營たるソ聯邦を攻撃し、中國の抗日反帝の主力たる紅軍と農民衆を攻撃することを決意せる結果であつて、國民黨は此の指示の下に懸命になつて軍隊を南下せしめ西北に移動せしめソウエートと紅軍を攻撃しソ聯邦に挑戦し外蒙古の人民を自己の手中に收めて外蒙古を奪回し、日本強盜と滿洲國に與へ、ソ聯邦が中國民族の

解放に同情し日本の對華侵略の陰謀を摘發することを赤化宣傳なりとして之れを禁止し、積極的に西北地方の開発をなし日本帝國主義のソ聯邦進攻の爲めの道路を開き世界大戰爆發の時は日本強盜を援けてソ聯邦を攻撃することを公然表明して居る。

中國共產青年團は亡國奴たることを欲せざる全國の青年と民族の總てが起つて中日大使交換に反對し、國民黨政府の亡國計畫に反對し之れを粉碎し自發的に對日絶交を實行し逸早く對日宣戰を布告し軍隊を抗日の爲に北上せしめた中華ソウエート政府と紅軍を擁護し、總動員を行ひ會員が武裝して對日作戰して飽く迄も中日大使交換に反對するてあらうことを確信するものである。起つて罷工、罷課、罷操して群衆大會を開き示威運動を舉行して中日大使交換に反對し有吉の來華する時には反日デモを行へ。

青年義勇軍を組織して北上抗日せしめ武裝して察哈爾、綏遠、華北を防護し、東北の失地を奪回し日本帝國主義をして外蒙人民共和國を攻撃せしめるな。

青年の在業者及失業者達よ、日本帝國主義資本家と中國地主階級は今又中日工業會議を開催し中國民族工業を併呑し消滅せしめ中國の工友と勤勞大衆を搾取餓死せしめんとして居る、起つて反日的罷工を決定し中外資本家の工人壓迫に反對し中日大使交換と中日工業會議に反對せよ。

青年士兵諸君よ、南下西遷に反對賣國長官を敵して工農紅軍と聯合して銃口を向け換へて抗日せよ。

東北、熱河及非武裝區域内に於て勇敢に反日戰爭をなしつ、ある人民革命軍、義勇軍の青年戰士達よ、國民黨政府は全中國を競賣し中日滿の政治經濟及軍事同盟を締結し、日本強盜を援けて諸君を攻撃せんとして居る。諸君は一層緊張して動員を行ひ敵を攻撃して中日大使交換に反對せよ、全國の亡國奴たることを欲せざる民衆は全力を擧げて諸君の戰鬥を援助し諸君の戰鬥に参加するであらう。

青年學生諸君よ、國民黨政府は一切の反日排貨運動を禁止し日貨を保護する「保護關稅」を實行し、買辦資產階級と日本強盜は日滿經濟委員會の前列に做つて「中日經濟委員會」を設立し國貨運動の提唱によつて諸君を愚弄し嗾着して居るのである。起つて「學生國貨年」に反對し群衆的日貨排斥運動を擴大し反日救國運動の自由を獲得せよ。

「航空救國」運動中の青年達よ、日本帝國主義と國民黨が「共同して紅軍を討伐する」ために一錢の金も與へず、一切の寄附金と飛行機を抗日する紅軍と義勇軍に與へ群衆によつて委員會を組織し自ら寄附金を保管することを要求し國民黨が帝國主義より借款を起し、飛行機を以て抗日反帝の主力たる紅軍を爆撃することに反對せよ。

ソ聯邦は中國民族の好友であり世界反帝の大本營である

日本強盜と國民黨のソ聯進攻に反對するこゝは中ソ兩國民衆の兄弟聯盟を實行するものである。

中日兩國の革命工農兵は手を携へて起つて

日本帝國主義と國民黨を倒せ

一九三五年五月十九日

二、日本帝國代表有吉明の來華に反對する宣言

勤勞工、士兵、學生及亡國奴たることを欲せざる一切の同胞諸君よ！

日本帝國主義が滿洲を占領したのに伴つて賣國賊共は恥知らずにも國を賣り中國を滅亡せしむる計畫を狂氣の如くに進行して居る。現に「中日親善」「中日經濟合作」は高調され經濟調査團は來華しつゝある。三月には鈴木武官が南京に到り左記「亡國的七協定」を締結した。(一)と同様に付省略)

最近河北省政府の移轉、日本軍の示威、天津市長と警備司令の交迭及干學忠の川陝甘邊司令轉任等は、日本帝國主義の兇暴さや賣國政府の意氣地なさや證明しソ聯を攻撃し中國を滅亡する準備を進行するものである。

日本帝國主義を代表し中國分斷をなす有吉明は、賣國賊共の歡迎を受けつゝ來華して中國を完全に滅亡せしむる任務を實行せんとして居るのである。

亡國奴たることを欲せざる民衆諸君は起て

有吉明を倒せ。

日本帝國主義を倒せ。

賣國政府を倒せ。

中日の大使交換を反對す。

賣國七協定に反對す。

寄附を募集して東北抗日義勇軍を援助せよ。

政府に要求して全體人民に銃器を發給し全員武裝して一致して抗日せよ。

全國海陸空軍に總動員して東北に出動して一致抗日する

ことを要求す。

日貨を排斥し日本帝國主義の在華の一切の財産を沒收せよ。

一切の賣國賊の財産を沒收して抗日經費に充てよ。

對日作戰の領導機關たる武裝自衛會に加入せよ。

中華民族解放萬歲。

中國民族武裝自衛會 上海滬東區分會

六月八日

三、民衆に告ぐる書

民衆よ、見よ、賣國賊蔣介石は我が國家を極めて柔順に日本に奉り完全に日本帝國主義の中國滅亡計畫を實行した。現に日本の狗皇帝は蔣介石の中國滅亡計畫を監督せしむ

中國民族武裝自衛會上海滬東區分會印

六月十日

四 中日大使交換反對の抗議書

日本帝國主義が滿洲を占領し察東を攻略したことは全中國を滅亡せしめんとする第一歩の階梯であつた。塘沽協定以來通車通郵に引つき最近更に「中日親善」を高唱し、中國に中日經濟委員會を設立し具體的に中日經濟合作を實行して居る。五月初旬の米國經濟觀察團に引つづき日本政友會の觀察團來華し中國の財政、抗日の實際取締狀況を視察した、本年三月中日鈴木中將は南京に來り南京政府と亡國協定の七協定を結んだ。(一)と同様に付省略)

現在の中日公使館の昇格は右七項協定を執行し「滿洲國」化する處の具體前程であり更に直接中國市場を占領して日貨を消化せしめ、中國政府の借款に應じて中國勤勞大衆を彈壓せんとするものであつて、日本公使館の昇格は決して中國の「國格」向上を象徵するものでなく、反對に中國の殖民地化に一步を進めたことを表示するものである。蓋し大使は直接元首に面會することが出來一層便利に中國を滅亡せしむることが出來るが爲めである。大使の交換は實に帝國主義の一種の手段に外ならず。試に見よ中日大使交換後日本林陸相は滿洲を遊歴し關東軍南大將駐滿日軍を常

べく有吉を我國に派し、已に十二日午後二時半滬山碼頭着の上海丸に乗つた。

到着の時は賊を父親の如く仰ぐ括民黨の官吏共は日本人の眼の色を窺ひ三拜九拜して出迎へるであらう。中國が滅亡し民衆が亡國の奴化することは一切顧みる處が無い。我々は中國を挽回し此等の鬼畜を打ち殺さねばならぬ。間もなく彼は上陸するであらう。諸君此の時滬山碼頭に押掛け、此の鬼畜を打ち殺せ、而して我々は此の鬼畜の手中から滅亡せんとする國家を奪回せねばならぬ。

中國を亡す有吉明を殺せ！

日本帝國主義を打倒せよ！

賣國政府賊首蔣介石を打倒せよ！

國民黨が有吉明を歡迎し中日大使の交換をなすことに反對せよ！

賣國七協定に反對せよ！

募捐して東北義勇軍を援助せよ！

民衆よ武裝して北上抗日せよ！

日貨を排斥せよ！

一切賣國賊の財産を沒收して抗日の費に充てよ！

對日戦争の指導機關たる民族武裝自衛會に署名加入せよ！

中華民族解放萬歲！

備軍に改むることを商議し、以て滿洲の永久占領に好都合ならしめ、現に正に中國軍事當局に對し最後の決定を及ぼして居る情況は斯くの通りである。只だ無産階級の祖國ソ聯のみが眞に平和互助の精神を以て中國に對し他の凡ゆる帝國主義就中日本、獨逸等の帝國主義と大使を交換することは實に中國分割を早めるもので、極東及歐洲に於てソ聯を攻撃する軍事的準備を一層具體化するものである。我等は全上海勤勞青年、工人、學生及一切の亡國奴隷たることを欲せざる民衆に訴へる！

罷工、罷課デモを以て中日大使交換に反對せよ！

三月日本の鈴木中將が南京に於て作つた亡國協定の七協定に反對せよ！

東北抗日義勇軍の血戰に對し財的の援助を爲せ！

政府に對し全人民に兵器武裝を發給し一致して抗日せんことを要求せよ！

日貨を抵制し華北に於ける日本帝國主義の一切財産を沒收せよ！

一切賣國賊の財産を沒收し抗日の費に充當せよ！

對日戦争の指導機關たる武裝自衛會に署名加入せよ！

全國民衆は團結して起ち中日大使交換に抗議し日本帝國主義との絶交を即時宣言せねばならぬ。

亡國を欲せざる全民衆よ！ 此の抗議書に賛成して署名

せられんことを！ 然る後一致團結して政府に對し抗議せん！

發起者

贊成者

(S・U)

### 中國左翼團體の日支提携反對宣傳

最近上海各新聞雜誌日支提携問題に關し種々の批判論說等を掲げつゝあるが、中國左翼團體方面に於ては日支提携は國民黨の賣國害民の所爲であるとして反對主張を宣傳しつゝある。茲に外交評論に發表せられた徐道隣なるもの、「敵乎？友乎？」なる論文は、各方面に衝動を與へたもの、如くであるが、中國左翼文化團體は本文に關し機關誌「現客批判」第二期（三月十五日付）誌上に於て、「中日關係檢討の檢討」なる一文を掲げて之を批判し、國民黨を痛罵して居る。又中國共產黨左派反對派「トロツキ」・陳獨秀取消派「は最近日本より歸來せる劉仁靜が主として上海に於て策動しつゝある模様であるが日支提携問題に關しては寔んに反對の主張を爲しつゝある。四月中「中日提携及共管式國際借款反對の爲民衆に告ぐる書」と云ふ宣傳印刷物を發した。上記二文獻譯文は次の如くである。

#### 一 中日關係檢討の檢討

「敵か友か」の一篇は徐道隣との關係を紹介する。「敵か友か」の一篇は本年一月全國の各大新聞に遍く掲載された。此の文章は某長官の秘書長が作つたもので密かに徐道隣に署名させて發表したとのことである。而して徐道隣なる者は前安福派の徐某の子で現在外交部の低い地位の職員である。一には非國民黨員を利用し二には官等の低い

者を利用して天下の人をして無名の徐道隣の賣國媚日のみを知らしめ、而も賣國媚日の利を受くる者は實に某長官である事を知らざらしむるためのものである。

讀者諸君は既に前段の紹介に依り「敵か友か」以下同文（省略す）の一篇が某長官の意を受けたものである事を知つた。當然同文が個人の意見でなく實は全く民族資産階級の政黨の意見で、同文の内容から見ても同政黨は已に一步進んだ決心を爲し、中國を賣つて日本の保護國たらしめん

するものである事を認識すべきである。而して某長官は賣世凱の賣國榮達の故智に倣つて其の獨裁の目的を達せんことを企てる者である。吾人は中國人であるから亡國の民となり永久に日本帝國主義の蹂躪を受くるに甘んぜんざる爲めには、誰も緘黙して中國が朝鮮や臺灣の滅亡の如き悲惨なる境地に陥るを坐視する事は出来ないと思ふ。茲に「敵か友か」の内容の要點を徹底的に檢討すれば則ち賣國奴の肺腑は全部國民の前に暴露され自然に同文の花の如き巧言が掩護し切れなくなる。

同文は先づ第一に國民の口を封せんことを過去の抗日救國運動及び抗日の言論が感情に支配されたもので又錯誤に包まれてゐることを認定した。次で其の賣國媚日の醜態を掩護せんことを企て其の名を美にして同文を以て「純客觀の眞の理由を指摘」するを爲した。又「人類は已に進歩して二十世紀に到達したが尙ほ事實を眞直に認むる事が出来ずして却つて勇氣の缺乏と眞の事理の陳述を掩つて居る」と謂ふた吾人は同文の洋々數萬言の内容に就て分析し、始めより終りまで之を精細に閱讀するも客觀的眞實なる事由の陳述を探し出す事が出来ず、徹頭徹尾作者が日本の走狗としての頭腦中から産出した主觀的意識であり、日本帝國主義が現在經濟恐慌に陥つて居つて中國に向つて進撃しやうとする事は必然的に避く可からざるものであることを客觀的事實を

全然抹殺して居ることを發見する。斯くして同文は抗日運動及び抗日言論は感情に支配され誤まれる舉動であるを認め、且過去に於て事實を眞直に認むる能はず、勇氣も正直さを缺いたものであると認めて居る。然るが故に中國人及び東北義勇軍の勇敢なる抗日も眞誠なる救國もは感情に支配されて爲されたる錯誤である。同文の作者の勇敢なる賣國も眞誠なる媚日もが反つて正しいと稱へて居る。是れは完全なる走狗の腦裡から出た主觀的意識である、然るに尙ほ之を厚顏無恥にも客觀的眞事なる事由の陳述と云へるか？

一步進んで正文を檢討しやう

同文の第二段「中國立場から行詰り延長の利害を説く」の一節に於て孫中山の「中國は日本が無ければ已に分割され共管されて居つたであらう」と云ふのを引用した。然し同文の作者は何故に中國は列強が無ければ已に日本に獨占されて居つたと云はないか？ 明かに此の作者は單に中國人の仇目的心理を消滅せしめ抗日の武裝を解かんと企て、居るのみならず、更に中國をして日本帝國主義の大恩大德を謳歌せしめんとするものである。斯る企圖は漢奸走狗及び賣世凱に倣ふ賣國奴のみが斯る意識上に於て中國人を毒殺するが如き無恥なる結託を爲し得るのである。實際に於て中國が列強に分割されず日本に獨占されなかつた所以は

全く全國民の勇敢に血を流して反帝抗日の戦闘を爲したが爲めである。

同文の第三段、日本の爲めに行詰り延長の利害を説くの一節に於て大略日本は武力を以て中國を牽制し或は消滅する事は出来ぬ。それは兵力を要する事が餘りに大で軍費を消耗する事が過大にあるからだと言いた。同文の作者はまた東北四省の占領せられたるを取つて例をなし「寒翁の馬の例にも當らない」と認めた、其の理由として「事實上東北は九、一八以前は僅かに名義だけが國民政府に属したものであつて、軍權、政權、財權は嚴然として獨立してゐたのである、……實際は東北が占領せられてから東北の軍隊は反つて之が爲めに完全に中央に統一せられたと稱してゐる。此の一節に於て作者は日が中國を牽制し或は消滅せしむる能はざるを證明する例證として、日本が東北四省を占領したから反つて國民政府の統一に利したと爲すものである。然らば日本が更に華北、山東、山西を占領し英國が廣東、廣西、四川、西藏を占領し、佛國が雲南、貴州を占領したとすれば更に國民政府の統一に有利ではないか？

同文の作者の論調は當年臺灣、琉球の生蕃が日本人を殺害し、日本が中國に抗議した際李鴻章が化外の民で中國の管轄する所ではないと答へた外交と非常に類似して居り、臺灣、琉球は李鴻章に割送された、同文は東北が中央に統

一されずして日本に占領されたことが寒翁の馬に等しく、反つて國民政府の福利だと云つて居る。此の論法は中國人民の東北失地回收の觀念を消滅せしむる企圖と同様であり、漢奸賣國賊の無恥の行爲と同様である。

同文の第四段に「中國側の錯誤と失策」の一節を叙し中國側の七大認識錯誤を列挙した。作者は終始彼の走狗的觀念より出發して中日關係を分析するが故に彼は日本の中國を推擧した行動を中國側の認識上の錯誤から惹起したと見做し、更に再度の誤りが今日の行詰つた局面を造つたとして居る。例へば彼の云ふ如く九、一八事變の誘因が完全に國民黨の勇氣の無いのと日本の商租權等の中日懸案解決とに在りしとして、而して中日懸案中に二十一箇條があつて作者の意見に依れば國民黨は當然早く二十一箇條を商租權等を承認して九、一八事件の發生を豫防すべきものであつたと云ふのである。但し事實上に於て國民黨は決して作者の云ふが如く勇氣が無かつたのではなく、的確に勇氣は充分であつたが日本帝國主義の貪慾が強過ぎたのである。例へば九、一八事變以前の濟南事變の如きは國民黨は非常な勇氣を以て濟南を退讓し北伐軍を撤退した。

九、一八事變發後國民黨は非常な勇氣を以て直ちに全國の軍隊及び人民に鎮靜不抵抗を命じ、東三省を短期内に割送し日本の要求する二十一箇條の一部分を満足せしめ

た。但し是は決して日本帝國主義の貪慾を飽かせるに足らず、續いて熱河を占領せられ、樺東進擊事變が又發生し中國當局は又非常に勇敢に日本と失地辱國の塘沽協定を締結した。然し尙ほ日本帝國主義の貪慾を飽かしむる能はず、中國は威迫せられて偽滿洲國の通車通郵問題が又發生し、中國當局は又非常に勇敢に之を承認して已に通車通郵を開始した。是れでも尙ほ日本帝國主義の貪慾を飽かせることが出来ず、察哈爾を進攻せられて東柵子占領事件が引續いて又發生した。是れでも尙ほ日本帝國主義の貪慾を満足させる事が出来ず、現在又蒙古侵略が開始せられ、最近復た中國に對して受くるに忍びざる要求が提出せられ、日本は全く中國を保護國同様に見做して日本との政治合作及び經濟聯盟の實行を強要し、中國當局は同文の意見に従ひ、非常に勇敢に日本の要求を受容れ合作を實行した。是等の事實の證明する所に依り作者が國民黨は勇氣が無いと云ふのは明かに事實に合致しないが、如何せん中國當局が非常に勇敢に一步步々退讓しても日本は反つて非常に勇敢に一步步々進攻するが故に、作者の中國が若し認識上及び措置上の七大錯誤と失策が無かつたならば、即ち九、一八事變を發生して今日の行詰りを醸成しなかつたであらうとの認定は全く事實に合致せざる主觀的臆測である。吾人は敢て斷言する。國民黨が中國全部の支配權を日本に獻納せなけ

れば日本をして進攻を停止せしむる事が出来ない。而して作者は逆に結果を原因と爲し日本の中國を進攻する事は中國側の認識上及び措置上の七大錯誤から醸成されたことと居る！

是れは非常な苦心を拂つて漢奸賣國賊の技倆を發揮しやうとして居るものと云ふべきである。同文の第五段に「日本側の直接の認識上の錯誤」を説明して五點を列挙し其の中の第三點は日本が國民黨を排目的政黨と見做すことは大なる錯誤である事を反覆説明して居る、彼は「吾人は國民黨の歴史及び其の人物を分析して見て全く排日分子の存在を見出し得ない」と説いて居る、全く其の通りである。

前項に已に列挙した事實の證明するが如く國民黨は決して排目的政黨ではない。吾等に消極的に排目的政黨でないばかりでなく更に進んで積極的に日本を援助して排目的政黨を取締つて居る。日本が飽く國民黨を排目的政黨と見做す事が作者を苦しめる事は怪むに足らぬ。但し事實上に於て日本は國民黨を排目的政黨と見做した事があるであらうか。

同文の第六段に「日本側の間接の行動上に於ける錯誤」を説明して三點に分ち其の中の第二點に於て「亞細亞モンロー主義の錯誤」を説明せる一節に作者は日本を一個の最



も忠實なる策士を爲した。彼は「日本が此際列國を排斥し「東亞人の東亞なる標語を以て中國を絶對支配下に置かんとすべし……其の結果全世界を悉く日本の敵とするに止まるであらう」と説いた。是れは作者が日本の國策に對する建議で彼は明かに日本に今列強を排斥して中國を獨占するな、將來時機の成熟するを待ち改めて列強を排斥し、中國を絶對的支配下に置くが上策であると言つた。斯る上策は作者の如く全然日本の忠實なる走狗になつた者だけが始めて日本に獻策し得る所である。續いて第三點に於て又「日本が若し眞に自發的に國交を更新するの誠意があつたら日本國民の生存上に於ける困難なる問題は實に中日の懸案を解決し、中日關係を確立し、東洋の平和を保持する上から極めて合理的なる解決を謀ることによつてわけもなく解決するものである」と説いてゐる。

此の數句は無論遺憾無く作者が日本の忠實なる走狗たる態度を表示して居る。それは日本帝國主義者が國民の好戰的心理を煽動するに際し「中國を進撃する事は日本國民の生存の爲めである」との言葉を以て呼び掛くるのであるからである。作者は一方の此の標語を受入れ、一方日本に國民の生存上に於ける困難なる問題に對し中日懸案内に於て之が解決を求むべきものなるを暗示し、換言すれば即ち日本は二十一箇條、商租權、借款投資等の政治上經濟上より

中國に手を下し、米國式に倣ひ外交上で中國の支配權を攫取して日本國民の生存上の困難なる問題を解決すべきを暗示したものである。是れ亦作者の日本に對する走狗として振舞ふ聰明なる點で同時に作者が中國を盜賣せんとする巧謀毒計である。但し作者の了解する能はざる所は即ち余日本の對外言明に「中國を進撃するのは日本國民の生存の爲めである」とあるは欺瞞であつて、實際は日本の中國進攻は決して日本國民の生存の爲めではなく、日本資本帝國主義の生存の爲めであることである。日本の資本主義は經濟恐慌の深淵に陥り中國に向つて進攻しなければ他に其の資本主義の生命を延長すべき血路を開く所が無いのである。日本國民の生存の爲めである云ふのは全然日本國民及び天下の人を欺くが爲めの詭辯である。事實上日本は東北四省を占領し昇進したのは日本の軍閥で金儲けをしたのは日本の資本家で犠牲になつたのは即ち日本の勤勞國民中から出た兵士である。大多數の日本の勤勞國民は單に少しも中國侵略の利益を享受しないのみならず、反つて軍費負擔の加重に因て生活は更に悪化を加へた。同文の作者は此の點を了解しない、故に彼は日本帝國主義者一唱一和の醜態を演じたのである。

同文の第七段に「中日兩國の認識すべき要點及び探るべき途徑」を説き此の項に於て作者は尾を振つて憐みを乞ひ

秋波を頻りに送るが如き醜態を充分に表示してゐる。彼は「唯だ日本さへ問題解決の誠意を示してくれたら中國は唯その土地の侵略を放棄してもらうやうに要求し、東北四省を還付してもらひ、其の他の方式は必ずしも拘泥するに及ばぬ」と説いてゐる。是れは恰も妾の如きもので唯だ主人が面と向つて恥をか、せなければ好いので其の他は全部主人の歡喜に任せ随ふ、但し日本が東北四省を還付し土地の侵略を放棄するか否か妾に面と向つて恥をか、せないのであらうか？ 作者の妾婢的手腕では、恐らくは主人の鐵石の如き心腸を動かす難いであらう。中國が作者の謂ふが如く其の他の方式は必ずしも拘泥せずして全中國の政治經濟の支配權を日本に獻上する方式を用ふる。でなければ其の代償として東北四省の還付を受くる事は出来ないのであらう。事實上最近國民政府は已に作者の所謂其の他の方式は必ずしも拘泥せずの主張を採用した。例へば現在秘密裡に會商して居る中日政治合作經濟聯盟の如きがそれ明かに作者の賣國大計の成功である。

最後に同文の第八段の結論に於て「鈴を解くのは當然鈴を繋いだ人がなすべきである」と説いた。此の一段は前段に續く最後の一幕で、妾は已に主人の面前に跪き詫びて特に懇しを乞ひ鈴を要求せる極悪無道の日本なる主人は解鈴の大慈悲の日本なる主人になつた。但し作者は根本に

於て主人の苦衷を知らないのである。鈴を繋ぐ事は主人の生命を延長するもので換言すれば即ち日本の東北四省占領は日本の資本主義の生命を延長するが爲めである。故に主人に鈴を解いて貰ふには妾が主人に更に多くの長命の滋養品を贈らなければならぬ。換言すれば中國は日本帝國主義に東北四省に比較して更に多くの權利を獻納しなければならぬ。更に換言すれば中國政府が臺灣朝鮮同様に完全に日本の支配を受くるでなければ東北四省を中國本部に併入する事は出来ぬ。但し其の際の中國は已に中國の中國ではなく、日本帝國主義の中國である。吾人は敢て斷言する、日本は完全に中國を統治する時期に到達しなければ絶對的に偽滿洲國の國號を取消すに至らぬことを、最後に吾人は全中國の人民に鈴を繋いだものは日本帝國主義で鈴を解くものは我々全中國民衆が武裝團結して抗日民族戰爭を實行する力量であることを大聲疾呼する者である。

### 二 中日提携及共同管理式國際借款反對のため民衆に告ぐる書

全國の工人及勤勞民衆！

最近中國の大資本家と其の政府——國民黨——は經濟恐慌に見舞はれ、各派軍閥の衝突は財政難と紅軍の江西退却によりて却つて悪化しつゝ、あり。破綻した國際聯盟及び白

銀政策を以て中國より血や汗を絞り取る米帝國主義は之等奴僕のために少しも同情する處なく、茲に「中日提携」の名目を以て日本帝國主義に對する賣國的求援に其の歩を進めて居る。

英帝國主義は中國の利權が日本に獨占される、の状況にあるに鑑み急に義を振り廻し「國際投資による中國援助」等と稱し中國の財政及び一般内政を共同管理に置き中國の利權を奪奪せんとして居る。

極めて重大なる經濟恐慌と民族の危機は正に到來した。「中日提携」が實現すれば日本帝國主義は國民黨軍閥に最大額の軍事借款を許して内亂助長の用に供せしめ、或は取引所に積み居る米國棉花一部を買取り、之を日貨の販賣をなす中國大資本家に與へて、その氣嫌を取るであらう。

國民黨政府は過去五・三・九・一八・二二八等の事件中に於けると同様一切の重大性を顧みず日貨排斥、抗日の運動を禁止し「滿洲國」及び各種の所謂「懸案」の要求を承認し、日本が中國最高の財政及び軍事機關の權力的監督をなすことを承認し、日貨の輸入税を引下げて中國に於ける日貨の賣行を倍加した。其の結果全中國は漸次、第二の滿洲國となり、袁世凱の二十一ヶ條賣國條約は國民黨が代つて一々實行して居る有様である。中國の工業品と農産物は特に至大なる打撃を蒙り、中國勤勞民衆は食ふべき物もない

家から借款して中國の主權を傷はざりしことは未だ曾てないことを民衆は承知して居る！ 尙ほたまへ國際借款によりて一時的に金融經濟の恐慌を緩和することが出来ても、夫れは渴を抑へるために一杯の水を呑むが如きもので、國家滅亡實際に於ける一種の回光反照に過ぎない。

否！ 中國の經濟恐慌は僅か許りの外債等によりて救濟出来るものではない。中國の利權を外債に換へれば換へる程恐慌は加重される！ 恐慌の主要原因は帝國主義、軍閥及資本家の保有する一切封建式特權によりて中國生産の發展を障礙せるに基因するもので、此の特權及障礙物を除去すれば其處に中國人の活路は開けるのである！

今や中國は正に滿身創痍四分五裂の状態に在り、大資本家國民黨軍閥政府は此の種の局面を利用して反動統治を行ひ中國人民の苦痛を益々深刻化してゐるが何人が能く國を救ふか？ 如何にして救國するか？

所謂「民族」商工業の中小資本家は平素帝國主義のために働いて居る一種の仲買人である、軍閥大資本家の反動行為に對し容認を是非なくされる。差迫つた堪へ難き問題に遭ふも單に表面的の「工商救濟協會」を作り一つの宣言を發し「銀行巨頭」に不満を表示し軍閥政府の救濟を哀願することが出来ない。胡漢民、曾濤、張君勱等自由主義の政客は大軍閥に追隨して「憲政」「抗日」を空唱して居る未

状態にある！

「中日提携」の進行に連れ必然的に起るものは國際帝國主義の中國共同管理の決心である。而も共同管理の運動（所謂國際借款の如き）及び列強の壓迫下に在る國民黨政府の叩頭周旋は又も日本帝國主義をして獨占的な不愉快なる考を起さしめ、中國の不誠意に籍口して九・一八、一・二八の暴行行動を繰り返さしめ、而して之に因り各帝國主義は中國内部の軍閥戰爭を挑發し、而して世界大戰を一層緊迫尖鋭化せしむるものである。

斯様な賣國害民の政策に對し蔣介石、汪精衛、胡漢民等は何れも孫中山の言葉を引用し「大亞細亞同盟」であるの「東亞平和親善」であるのと言つて居るが、之は孫中山の三民主義を暴露した反革命の本姓である！ 今日の日米ソ聯は全く不同である。即ち彼は資本家、軍閥、天皇の日本であり、虎狼の如き強盜日本である。軍閥強盜「同盟」を談じ「友愛」を語るは一考ある日本軍閥と神經の死んだ中國資產階級のみであつて、工農中に一人として斯様な主張をするものがあるであらうか？

國民黨及資本家要人等は英米帝國主義の投資は必ず中國經濟を復興せしむることが出来るを考へ、彼等は良心を蔽ふて「中國の主權を害せざる借款でありさへすれば喜んで之を歡迎する」と言つて居る。然し軍閥政府が帝國主義國慶齡、蔡廷楷等上流智識分子領袖及小軍閥亦大軍閥大官僚に隨從し、彼等の民衆との接近は寥として頼むに足らず、而も接近は野心の作用に基くものである。スターリン主義共產黨は一面に於て宋慶齡、蔡廷楷等の小軍閥政客に隨從し他面に於て大部分の力を農村の復興運動に用ひ都市産業工人の革命中心作用を輕視し、民衆に眞の活路を指示することが出来ざるのみならず、正に民國十五年、十六年時代の悲劇を繰り返し民衆を暗黒失望の方面に導入して居るのである。

我々共產主義同盟の主張努力する處は只だ中國の工人と一つの眞正なる工人の黨（共產主義の黨）が全國貧苦民衆の共同奮闘を領導してはじめて、眞の活路を開拓することを得、彼等の憤起により國民黨軍閥の專政を顛覆し、普選平等全權の國民會議（十八歳以上の人民に由りて代表を選挙し政治を管理す）を召集することに由りて始めて中國を統一することを得、現に束縛を受け分散させられ居る民衆の力量を集結し抗日、反帝並に人民生活改善の一切要求を徹底的に解決することを得る。即ち「主權を失はず外國資本を利用する」この話も普選全權の國民會議に由りて進行せしむべきものであると云ふ點にあるのである。

同時に工人と貧民は益々直接行動を以て民族解放及生活改善のために闘争し、更に肉體的自由と余分の時間を作り以て國民會議の運動を擴大し革命の目的達成を容易ならし

むるを得るのである。

今日新しき賣國官民の大事は正に我等の面前に敢行されて居る、之に反抗する處なければ工農の利益は必ずや犠牲にせられるであらう！

我々として左記の口號を廣く宣傳し百人より千人に一廠より十廠百廠に波及せしめ、斯くして窮まる處なければ我々の勝利は必定である！

△罷工デモを以て「中日提携」を共普式の「國際借款」に反対せよ！

△中ソの提携を以て中日の提携に替へよ！

△國民黨軍閥の民衆抗日運動壓迫に反対し！

△抗日會義勇軍は成立した。東北義勇軍及南方農民軍と聯合せよ！

△日貨の排斥日貨の沒收を徹底し奸商を處罰せよ！

△日本武官及軍隊を中國境内より驅逐せよ！

△失地、租界を回收し！ 外人經營の一切の工廠銀行を沒收せよ！

△關稅自主を完成せよ！

△帝國主義商人のために中國工廠を抵當に取られることに反対し！ 工廠委員會を作り社會の財政を監督せよ！

△八時間労働制を實行し！ 失業者を救済し！ 家賃を下げしめよ！

△苛捐雜税を廢し！ 富者より累進税を徴收せよ！

△地主の土地を沒收して貧農士兵に與へ農民軍「紅軍」に割割に反対せよ！

△賣國害民の國民黨軍閥政府を打倒し！

△普選平等全權の國民會議を召集し中國一切の重要問題を解決せよ！

一九三五年三月

(S・U)

比律賓

比律賓大衆の自由の爲の武装闘争

一九三五、六、米國共產黨機關誌 セ・コン・ミニュニストハリソン・ジョーチ筆

銃の一齊射撃は甘い偽善の夢を醒させた、所謂比律賓コンモンウェルス政體は勤勞者の流血の中に洗禮を受けた。勤勞者の六十七名(此の員數は帝國主義新聞の報道で實際は是よりもぐつと多いことは疑ない)は銃殺され棺にも收めず庭に包んで無造作に共同墓地に埋められた。

警官の幾千は武装に身を固め自動車で中央呂宋の各州を巡邏し、馬尼刺の警官もライフル銃を肩にして各交通機關を捜査し、同地要塞の守兵八千は戰陣準備を爲し、私人所有の銃器(銃器私有は平禁禁止されてゐるのであるから銃器商の商品を指すのであらう)は警官に押收され、大衆の八百名は逮捕され、公平の裁判をするに特別判事が任命され、集會は全部禁止された。是が眞にルーズヴェルト大統領が前以て承認を與へた「コンモンウェルス政體憲法」の賢否を決する比律賓人民投票當時の光景である。

ブルカン、ラジナ、ニユーヅア・エチジャ、タヤバス及びリザル各州の勇敢なる農民は犠牲を厭はず蜂起して偽善的なるルーズヴェルト——マローニの所謂自由制度に反対し自由を獨立を與ふることを約束せるタイディングス——マクダナイ——法令の虚偽を暴露したのである。

タイディングス——マクダナイ——法令のことは、「ド・コン

ミニュニスト」四月號に説明したるにつき茲に再掲せず又農民の反帝革命の序幕もいふべき今回の暴動の背景をなすところの比律賓農民が極端なる搾取と壓制の下に呻吟する慘狀も別に説明するにこゝして茲には省略する。

ベニグノー・ラモスは日本の傀儡

五月二日の暴動からして世人は約四年前に多數の小ブルジョア政治家が建設した「サクダラ」の尚ほ存在することに気が付いたのであらう、此の團體は一九三一年十二月十日に事を起さうとしたタイユグ謀叛で有名なタンダグウラ運動の直系なのである。當時同運動の指導者の多數及び参加者の幾百名は逮捕され、投獄され、再び斯かる運動に關係しない旨の誓約を強要されたのであつて、其が爲同運動は挫折したが、同志を根絶することは出来なかつたのである。

タンダグウラ運動は正式の團體に組織されもせず又宣傳文書の發行もしなかつたが、サクダラの方には既に久しく日刊機關紙も發行して、會員數こそ判明しないが立派な團體に組織されてゐるのである。タンダグウラ運動は非合法的で盛んに武装暴動を唱道したものであるが、サクダラ運動は合法的組織であつて、セ・ユニオン・シツイカ運動と同様

綱領を掲げ、ガンヂの平和的教義を主義としたのである。當時は極東を通じて小ブルジョア中にガンヂ崇拜者が多かつたのである。

サクダル團(サクダルは懇へる、こいふ意味)は米國商品のボーコット、非武装不服従、及び平和的罷業を唱へ、其の機關紙サクダルはガンヂの行動を稱讃した。而して農民中に多数を得る爲に「人頭税反対、地租を小作人が負擔することに反対、道路の改良、學校の増設及び労働者の待遇改善」のスローガンを用いた。

タンググウラン團の打ちもたらされや其の他の同志がサクダル團を興したことは明かであつて、又此等兩團體が米國帝國主義の爲に騷擾や暴動を起す目的で與へた日本の帝國主義の援助を受けたことは明かである。併し五月二日の農民の武装暴動が此等の煽動に乗つたものでなく、全く獨立な自主的なものであることも亦明かである。

タンググウラン團の一味は一九〇〇年の暴動の首魁アレテミオ・リカルテに因んで自ら「リカルテスツ」とも稱してゐたのである、リカルテは米國に對する誠忠の宣誓を拒絶し追放されて爾來日本に居住し、日本帝國主義の手代として比島人間に運動をしてゐるのである。それで今回の暴動にリカルテの名は出てこなかつたが、サクダル團の指導者ベニグノー・ラモスはリカルテを紹介して日本の傀儡的な

つてゐるのである。

サクダル團はガンヂ主義の團體として興つたのであるが、成育するにつれて左翼となり、闘争方法として武装暴動を是認するやうになつた。かうなつた原因は二つあつて一は農民の反帝國主義革命運動であり、いま一つは米國帝國主義に反對する日本帝國主義者の陰謀である、中央呂宋島の農民は米穀土地と自由の爲に戦つてゐるのに、ベニグノー・ラモスは東京ホテルの奥に隠れて日本の金の爲に働いてゐるのである。

サクダル團左翼サクダル團との區別があるかも知れぬが、何れだけの相違があるかはつきりしない。比律賓警察は今回の暴動直前に機關紙サクダルの編輯人セリノ・チオンコー、サクダル團の秘書シメオン・デセナ及び立法議會のサクダル議員二名を逮捕したが、是は暴動に直接關係してではない。併しサクダル團の活動を一時停止せよと爲であつて、是と同時にサンタ・ローサの市會のサクダル議員の多数を強制罷免した事實もあり、如何に米國帝國主義の政治が壓制であるかを示すものであつて、是れでは反帝國主義闘争の平和的決解論者も迷夢から醒めて暴動に依る外なしと悟ることであらう。

警察の報告には共産黨員は暴動に参加してはゐないといふが、共産黨はゾラカン及びラグナ州の如き闘争の烈しい

地の農民中に多数の同志を有つてゐるのであるから、非合法的な勇敢な比島共産黨は當然暴動に参加し砲火の洗禮を受けてゐるのである。

比島共産黨のリカルテスト團(タンググウラン團と同じ)に對する政策は日本の援助を拒絶せしめること、武装暴動の機關及び將來労働者農民の民主的獨裁の機關としてソウエート會議を建設する目的で國民的革命闘争を爲さしむることであつた。此の趣旨を以て共産黨はタンググウラン運動の會員や指導者に働きかけたのであるが、サクダル團に對しても同様の態度を取つたのである、此の共産黨綱領と、暴徒が五時間サン・イデルフォンソ市を占領し比律賓共和國を宣言したこの報道との間に何ういふ關係があるか、即ち共産黨の活動でさういふことになつたのではないかと思はれるが檢閲が嚴重で真相が不明であるから後報を待たねば判明しない。

國民の仇敵さといふべき比律賓上院議長クエゾンが過般の騷擾は政治的暴動ではないといふてゐるが、民族獨立の爲の闘争には勢ひ單純なる經濟的要求闘争及び根本的な政治的權利の要求闘争を伴ふのであつて、それは丁度民族解放運動にブルジョア及び地主に對する闘争が伴ふやうなものである。

人頭税の廢止要求及び小作人に地租を負擔させることに

反對することは麗々しい人寄せのスローガンに過ぎない。クエゾンは言ふてゐるが、此の要求は現在のブルジョア、地主、帝國主義者共同の制度の下に在つても尙ほ達成し得べき要求なので、決して不可能な要求ではない。土着民排斥するといふ實狀なのであるから、比島共産黨は斯かる小要求に注意を拂ふと共に之を米國帝國主義及び土着民排斥者反對闘争に結付けて考慮しなくてはならぬ、之に關係する比島共産黨の政策はゼ・コンミニスト四月號に發表せる比島共産黨の宣言が之を説明してゐる。

米國共産黨の任務

米國共産黨は比島共産黨及び比島民援助の政策を強化しなくてはならぬ、米國共産黨は今迄に比島の同志を援助はして來たが十分とはいへない。而して援助は本部だけでなく黨機構が擧つて之に當らなくてはならぬ。即ち各支部や地方部の黨員は殊に比島人移民の多い太平洋沿岸支部の黨員は比律賓に對して其のボルシェヴィキ的任務を盡さなくてはならぬ。比島人移民労働者に對しては特別の考慮を拂ふ必要がある。中央委員會は昨年彼等の爲に國語局を設けて出版をする決議をしたが、此の決議は實行を見ず又比島人黨員は十分に之を教養しなくてはならない關係にあるのに黨は彼等に何等特別の注意を拂はない。

五月十三日のウエスターン・ソーカーは今回の暴動を評論して、

『比島人移民は多少はマルクスやレーニンやスターリンに關する知識を持つて比島へ歸るやうだが至つて不十分なものだ、一體關係地方部は彼等の教育に努力してゐるのか又教育法のやうなものが極まつてゐるのか、比島人の多數なロスアンゼルス市の黨員中に比島人が寥々たるはどうしたわけか、シャトル支部などを見ても比島人労働者の勧誘及び教育に努力してゐる跡がない』

ニューヨーク地方部の管轄内には二千五百人の比島人労働者が居り、比島人黨員も随分あるが總て仕事は白人黨員がやつて比島人同志を無視する傾向の著しいのは遺憾のこゝである。

シャトルで開催した海員會議が米國船舶から亞細亞民族

を追出さうとする排外的行動を取つたことをデーリ・ソーカー紙もウエスターン・ソーカー紙もヴォイス・オブ・アクション紙も批難しないのは何故であるか、了解するこゝが出来ない。

黒人に對し排外政策を取るこゝの不可を悟つた共產黨員も依然比島人、メキシコ人、支那人、日本人労働者を輕視して排斥する傾がある。共產黨たるものは此等労働者に對して特別の義務のあるこゝを熟慮しなくてはならない。

米國共產黨が従來比島人に對する明瞭なる義務を忘るこゝが無かつたならば、五月二日の暴動に際しても米國內の各支部は期せずして比島共產黨の援助に奮起し、同黨の爲に運動費を募集し又米國のプロレタリアを壓迫されてゐる植民地の國民との同盟を實現する如き行動を取るこゝを共產黨本部に迫つたであらう。

### ソウエート聯邦

## 赤軍大學卒業式に於けるスターリンの

### 演説ミソ紙の論調

五月四日諸赤軍大學五校の卒業式が同時に行はれた。士官學校に隣接するクレムリン練兵場において式は舉げられカリニン、ウオロシロフ、オルジョニキツゼ等の演説の後參列の卒業生千八百名(巴里日系紙の報道による)は、クレムリン宮殿においてスターリンに引見された。次に譯載するはその時の演説の全文であるが『人間についての配慮を』強調したもので、従つて將來民衆の生活の向上、輕工業、即ち生活必需品生産の發展、官僚主義の排撃等々の方向に向つての何らかの政策轉換を意味するものとして注目される。

尙赤軍大學は現在ソ聯に五校あり、入學資格は現役に少くとも二年以上在籍する將校に規定されており、入學者の大部分は黨員又は黨員候補者である。赤軍大學五校の名稱は次の如くである。

- 一、フルンゼの名による勞農赤軍大學(在モスコ)
- 二、ジェルジンスキーの名による勞農赤軍技術大學(在レーニングラード)
- 三、勞農赤軍海軍大學(在レーニングラード)
- 四、ジュコフスキーの名による勞農赤軍航空大學(在モ

外國事情 ソウエート聯邦

スコ

五、トルマチエンの名による勞農赤軍政治大學(在モスコ)

### 一 赤軍諸大學卒業式におけるスターリンの演説

同志諸君！我々が最近建設の領域において、將又政治の領域において大なる成功を持つたことは否か。この事と關連して我々は指導者及び領袖達の功績について餘り多く語り過ぎてゐる。すべての、殆ん必ずすべての我々の達成を彼等に歸してゐる。このことは勿論正しくない。問題は領袖達にのみ存してゐるのではないのである。併し今日は私はこの事については語りたくない。私は幹部員(熟練労働者)について、一般的には我々の幹部員また部分的には我々の幹部員について語りたいと思ふ。

諸君は我々が、舊時代から技術的に立後れた、半分赤貧の荒廢した國を遺産として受け継いだことを知つてゐるであらう。四年間の帝國主義戰爭によつて荒廢し、三年間の内亂によつて更に荒廢した、半無學の國民と低い技術と、

岩細農民經濟の海に沈んだ個々の工業のオアシスを持つた國——かゝる國を我々は遺産として過去から受け継いだのである。この國を中世紀と暗黒の軌道から近代工業機械化された農業の軌道に移すことの中に、課題が存してゐた。諸君の見らるゝ如く、これは重大なそして困難な課題である。問題は次の如くであつた。即ち或は我々がこの課題を最短期間に解決し、我國において社會主義を強化するか、或はまた我々がこの課題を解決することができずかくて我國——技術的に低く文化的に暗黒なる國——は自己の獨立性を喪失し、帝國主義列強の玩弄物と化し去るかであつた。

當時我國は技術の領域に於ける苛酷なる飢餓の時代を経験した。工業のための機械が不足であつた。農業のための機械がなかつた。運輸のための機械がなかつた。それなくしては國の工業的變容が考へ得られない所の基本的なる技術的基礎が存在しなかつた。唯かくの如き基礎を創設するための個々の前提が存してゐるに過ぎなかつた。第一流の工業を興すことが必要であつた。そしてこの工業が單に工業のみならず、農業をも亦鐵道運輸をも技術的に再組織することができるようになることが必要であつた。然してこのためには犧牲を拂ひ、萬事に苛酷なる節約を行ふことが必要であつた。工業の創設のために必要な資金を蓄積す

るために、食糧をも、學校をも、衣服類をも節約しなければならなかつた。技術の分野の飢餓を克服するためには、この他に道はなかつた。レーニンがかくの如く我々を教へたのであつた。そして我々はこの事においてレーニンの跡を進んだのである。

かくの如く大きな且つ困難なる事業においては、間斷なき急進なる成功を期待することの出来ないと言ふことは明瞭である。かくの如き事業においては、成功は數年を経て後初めて現れるものである。それ故に自己の隊伍の動搖と不確信を許容することなく、最初の不成功を克服し、偉大なる目標に向つて着々と前進するためには、強靱なる神經と執拗たる忍耐、ボリシエヴィキ的不拔性確信をもつて武装することが必要であつた。

諸君は我々がこの事業を正に以上の如くにして行つたことを知つてゐる。併し必しも我々のすべての同志達が、神經を忍耐と確固不拔性を充分に持つてゐたとは限らなかつた。我々の同志達の間には、最初の困難の後に、退却を呼びかけ始めた人々がある。『古きを言ふものは呪はれる』と云ふことがある。この事は勿論正しいことである。併し人には記憶云ふものがある。そして我々の仕事の總決算を行ふ時には、圖らずも過去のことを思ひ出すものである（會場に愉快なる活氣）所で我々の所には、困難に驚き退

却へと黨を呼びかけ始めた同志達がゐた。彼等は次の如く言つたのである。『諸君の工業化、集團化、機械、黑色冶金業、トラクター、コンバイン、自動車、我々にまつて何になるか。より多くの衣服類を興へた方がいゝであらう。日用品生産のための材料をより多く購入した方がいゝであらう。人々の生活を美しくする總べての些小物をより多く國民に與へたい、であらう。我國の立後れの下に工業を創設すること、然も第一流の工業を創設することは——危険なる空想である』と。

勿論我々は、苛酷なる節約によつて得られ我國の工業の創設のために費消された三十億留の金を、原料の輸入、日用品生産の強化に向けることができたであらう。これも亦一種の『計畫』である。併しかくの如き『計畫』によつては、我々は冶金業をも、機械製造業をも、トラクターと自動車をも亦航空機とタンクをも持つことができなかったであらう。我々は外敵の前に武装を持たなかつたであらう。我々は我國における社會主義の基礎を傷けてゐたであらう。我々は、内外のブルジョアジーの捕虜になつてゐたであらう。

明瞭に次の二つの計畫の一つを選ぶことが必要であつた。即ち一つは社會主義の敗北を導いた、また導かざるを得なかつた所の退却の計畫であり、他の一つは、諸君の知る如

くに既に我國における社會主義の勝利を導いた所の攻撃の計畫である。

我々は攻撃の計畫を選びレーニンの道を前進し、これらの同志達をさうにか自分の鼻先だけを見て、我國の近い將來、我國における社會主義の將來に目を閉ざした人々を逐ひ退けたのであつた。

併しこれらの同志諸君は常に、批判及び受動的抗爭に止まつてはゐらなかつた。彼等は黨内において、中央委員會に對して反抗を起すことをもつて我々を威嚇した。それのみではない。彼等は我々のうちのある者を彈丸をもつて威嚇した。明かに彼等は我々を混亂させ、レーニンの道から我々を外らすことを期待してゐたのである。これらの人々は明かに、我々ボリシエヴィキは、特別仕立の人々であることを忘れたのである。彼等は困難によつても威嚇によつても、ボリシエヴィキを威嚇することではできないと言ふことを忘れたのである。彼等は闘争において恐れを知らず恐れを認めなかつた我々の領袖、我々の教師、我々の父たる偉大なるレーニンが、我々を鍛へたのであることを忘れたのである。彼等は敵が狂氣になればなるほど、また黨内の反對者がヒステリーに陥れば陥るほど、ボリシエヴィキは新なる闘争のために益々赤熱され、益々烈しく前進するものであると言ふことを忘れたのである。

我々はレーニンの道から外れることを考へもしなかつたと云ふ事は、明かである。それどころか、我々はこの道において自らを強め、すべてのそして凡ゆる種類の障害を途上から拂ひ除けながら、一層急速に前進したのである。成程我々はその際途上において、これら同志諸君中の或る者を打ちのめさなければならなかつた。併しこれは止むを得ないことである。正直な話、私もこの事に手を藉したのであつた。(嵐の如き拍手、萬歳の聲)

然り、同志諸君、我々は我國の工業化と集團化の道を自信をもつて、また眞直ぐに進んだ。そして今やこの道は、既に通り過ぎたものさ考へるべきである。

今や既にすべての者が、我々がこの道において大成功を収めたことを認めてゐる。我々が既に強力にして第一流の工業、強力にして機械化されたる農業、展開し發展しつゝ、ある運輸業、組織化され美事なる裝備をなせる赤軍を持つてゐることは、今やすべての者の認める所である。

この事は我々が既に、技術の領域における飢餓の時代を根本的に克服してしまつたことを意味する。

併し技術の領域における飢餓の時代を克服して、我々は新時代に入った。私はこれを人の領域、幹部員の領域、技術を支配し技術を前進せしめ得る労働者の領域における飢餓の時代と言ひたい、問題は次の事のうちに存してゐる。

來の「技術がすべてを決定する」ミ云ふスローガンは今や「幹部員がすべてを決定する」ミ云ふことに關する新スローガンによつて代置されなければならない。今や主要なることはこの事のうちに存してゐるのである。

我國の人々が、この新スローガンの偉大なる意義を完全に理解し體得したミ云ふことが出来るであらうか。私はそう言ひたくない。若しそうであつたならば、我々が實踐のうちに時々見かける人間、幹部員、労働者に對するかの醜惡なる態度を持たなかつたであらう。「幹部員がすべてを決定する」ミ云ふスローガンは、次のことを要求する。即ち我々の指導者が我々の大小の労働者に對してその活動をしてゐる分野に拘らず、最も注意深い態度を示し、彼等を注意深く成長せしめ、彼等が支持を必要としてゐる時には彼等を援助し、彼等が最初の成功を示した場合には彼等を勇気づけ、また彼等を前進せしめること等々が必要である。然るに我々は事實上においては、幾多の場合に於て労働者に對する冷淡な官僚主義的態度、全く醜惡な態度の事實を持つてゐる。人間を研究し、研究した後初めて彼等を地位につける代りに、屢々將棋の駒のように人間を動かすことが行はれてゐる。いふ事は、本來は以上の事によつて説明されるものである。機械を大切に、我々の工場に於てだけの技術が存してゐるかに對して報告する事は學ばれ

即ち我國には工場、コルホズ、サフホズ、軍隊がある。すべてこれらの事業のための技術が存してゐる。併し技術から取り出し得る最大量を取り出すために必要な充分なる經驗を有する人間が不足してゐるのである。以前には我々は「技術がすべてを決定する」ミ語つた。このスローガンは我々が技術の領域における飢餓を清算し、また第一級の技術によつて我國の人々を武裝せしめるために凡ゆる活動分野において、最も廣汎なる技術的基礎を創設する點で、我々を助けた。この事は非常に結構なことである。併しこれで決して充分ではない。技術を働かせ、それを徹底的に利用するためには、技術を獲得した人間、この技術を技術の一切の法則に従つて利用し、これを自分のものとなし得る幹部員が必要である。技術を獲得した人間がなくては技術は死んでゐる。技術を獲得した人間を先頭とした技術は、奇蹟を與へるべきである。又與へなければならぬ。若しも我國の第一流の工場、我國のサフホズ及びコルホズに、また我々の赤軍のうちに、この技術を支配したる充分なる人数の幹部員が有してゐたならば、我國は現在よりも二倍或は四倍多くの効果を得ることが出来たであらう。この故に技術を獲得した人間、幹部、労働者の上に支柱がおかれなければならない。この故に技術の領域における飢餓が我國に存してゐるに過ぎ去つた時代の反映である。

併し我々が一定の期間内にぎれだけの人間を成長せしめ、また彼等が成長し仕事において鍛へられるように彼等を如何に援助したかについて、同様に自ら好んで報告が行はれたミ云ふ事例を、私は一つも知らない。これは何によつて説明されうるか。これは我々が人間を尊重すること、労働者を尊重すること、幹部員を尊重することを學んでゐないミ云ふことによつて説明されうるのである。

私は嘗て私が追放を受けてゐたシベリヤの一件を思ひ出す。春の氾濫期のころであつた。二十人ばかりの人間が荒れた大河の押し流す材木を取りに河に出かけて行つた。夕方彼等は村に歸つて來たが、一人の同志が足らなかつた。その男は何處にゐるのかミ云ふ間に對して、彼等は平氣でその男は「向ふに残つてゐる」ミ答へた。「さうしてだ？残つてゐるんだつて？」ミ云ふ私の間に對して彼等は同じやうに平氣で「訊くまでもない事だ、溺れたんだよ、つまり」ミ答へた。そしてすぐ彼等の中の一人は「馬に水を飲ませに行かなければならない」ミ言つて、何處かへ急いで行つた。彼等は人間よりも獸を大事にするミ云ふ私の非難に對して、彼等の一人は他の者の一齊の賛成の下に次のやうに答へた。「人間なんか大事にするべきはない。人間はいつでも作れるが、馬はそうは行かんからね」(會場全般に活氣づく)これはつまらない事かも知れないが、併し非常に特徴

的な事である。私が思ふに、若干の我々の指導者達の人間幹部員に對する冷淡な態度、及び人間を尊重することの各能力は、只今話した遠いシベリヤのエピソッドの中に現れた人間に對する人間の奇妙なる態度の残滓である。

さて同志諸君、若しも我々が人間の領域における飢餓を成功的に克服し、我國が技術を進せしめ、技術を動かし得る充分なる人員を持ち得るやうにするためには、我々は先づ第一に人間を尊重すること、幹部員を尊重すること、我々の全般的事業に利益を齎し得る各労働者を尊重すること、を學ばなければならぬ。最後に世界中のすべての價値ある資本の中で、最も價値ある資本は人間である事幹部員であることを、理解することが必要である。現在の我國の諸條件の下にあつては「幹部員がすべてを決定する」云ふことを理解しなければならぬ。我國の工業、農業、運輸、軍隊中に多数の立派な幹部員が生ずる時には、我國は無敵なるであらう。かくの如き幹部員が我國に存在しない場合には、我は兩足も跛さなるであらう。

演説を終るに當り我赤軍大學卒業生の健康と成功のために祝盃をあげることを許して貰ひたい。我國國防の組織と指導の事業における諸君の成功を希望する！

同志諸君！諸君は最高學府を卒業し、そこで最初の鍛鍊を受けた。併し學校は僅に準備段階に過ぎない。幹部員の眞

抒情詩的な温情と愛が流れ出てる。人間——それが誇らしく響くのは、獨りソウエート聯邦においてのみである。そして人類の眞の指導者は、新なる力をもつて人間について語つてゐる。

資本主義は人間を搾き人間を滅す。取引所の心臓は、驚くべき多数の人間の血液を要求する。戦争、失業、貧困、飢餓、賣淫幾千萬大衆の絶望——これが呪はれたるこの資本主義組織の兇惡なる犯罪である。資本主義諸國においては、機械が多ければ多いほど、技術が多ければ多いほど、喜びと光輝と愉悅と幸福がより多くなるものである。我々の人道主義は、嵐の如く増大する生産力の搖ぎなき強固なる礎石の上に打建てられる。

五月四日のクレムリン宮殿における演説——世界史中の最も注目すべき演説の一つ——の中で、同志スターリンは我々の發展段階を描き出し、社會主義の基礎を創設するために我國が拂はなければならない種々の犠牲について語つた。勤勞者の首班に立つ黨は、立後れた中世紀的國家を、世界の第一等國とした。そして今や、巨大なる新技術、新工業、大工業、コルホズ、ソフホズの上に人間が立

の鍛鍊は、學校外の生きた仕事、困難との闘争、困難の克服において得られるものである。同志諸君、困難を恐れず困難から身を隠さず、反對に困難を克服しそれを清算するために、困難に向つて進む者のみが、立派であるのである。云ふことを記憶しておいて貰ひたい。困難との闘争においてのみ眞の幹部員が鍛へられるのである。我軍隊が鍛鍊された幹部員を充分に持つ時には、我軍は無敵であるであらう。

同志諸君、諸君の健康のために乾盃を！（全會場嵐の如き拍手。全員起立し高聲なる「萬歳」によつて同志スターリンに挨拶する）

## 二 スターリンの演説に關する

### 各紙の論調（抄譯）

#### 一 幹部員がすべてを決定する

一九三五、五、六、アラウダ紙社説

同志スターリンの諸演説——昨年末の金屬工場の會談、メーデー祝祭参加者との會見及び今回のクレムリン宮殿における赤軍大學卒業式に際しての——は、相互に鐵の如き統一をもつて結びついてゐる。これらの演説からは、廣く且つ深く現實に根を張つた新なる社會組織の創造的力の鼓動がひびき、社會主義の創造者たる人間への得も言はれぬ

上り始めつ、ある。社會主義國の立派なる活動者の一ジェネレーションが既に成長した。併しこれでは不十分である。我々の技術は、もしもそれが充分なる数の幹部員（熟練人員）を與へられたならば、現在よりは遙に多くを與へ得るだけの水準に、既に到達してゐるのである。今やすべてを決定するものは幹部員である。それ故に人間に對する注意と配慮、工業、農業、運輸及び軍隊のための幹部員の養成と教育は、我々の將來の發展のための要件である。これは鐵の法則である。同志スターリンは以上の如くに、問題を提起したのであつた。

スターリンは五月四日に、幹部員がすべてを決定すること云ふ偉大なるスローガンを投げかけた。このスローガンは人間の間の新なる關係の開始を意味してゐる。スターリンの演説は、新なる大膽な告知者として全國を駆け廻るであらう。

#### 二 人間についての配慮

一九三五、五、八、イブウエスチヤ社説

同志スターリンはその最近の演説において、全國に次の如く聲明した。全情勢の客觀的變化から出發して「再建時代においては技術がすべてを決定する」云ふスローガンは、「幹部員（熟練工群）がすべてを決定する」云ふスロ



ীগンによつて代置されなければならない。我々の領袖のこのスローガンから、凡ゆる結論を導くことが必要である。

同志スターリンの人間についての配慮のこのスローガンからは、重工業の嵐の如き將來の發展の下においての消費手段生産の斷乎たる引上げ云ふことが生じて来る。農業、養畜業、食糧品工業、織物及び靴の生産業等々コムナ建設特に住宅建設——すべてこれらは、適當なる高度にまで引上げられなければならない。一つの工場も、住宅をつげずに建設されてはならない。労働大衆、幹部員技手及び技師に對する奉仕は、特に慎重になされなければならない。不潔な住宅、不潔な食堂、非衛生的條件に對する闘争は、極力強化されなければならない。

次に同志スターリンのスローガンからは、國民保健事業及び學校の仕事の、斷乎たる向上云ふことが生じて来る。

疾病に對する闘争、衛生及び保健手段の醫療器械、藥品の生産、病院の整備、病院における食事の改善等々——すべてこれらのことは、黨及び政府の既定の決議によつて、一層の注意と一層の活動を要求する。これと同じ事を、學校、あらゆる學校について、科學研究の専門學校、學校教育及び學校外教育のあらゆる種類について、並びにまた教

育組織についても言ひ得るのである。人間の教育——仕事においての、街頭、機關、學校等あらゆる所においての教育——は、現代の最も大なる問題中の一つである。

黨及びコムソモールの特別課題としての黨的政治的教育、レーニングラード市委員会によつて斷乎乎として提起されたこの課題は、全教育事業全般の決定的前提條件である。

現在においては凡ゆる形態の藝術が、極めて重要な意義を持つ。同志スターリンが、我國の作家を目して『精神の技師』と呼んだのは、理由なきことではない。文學、繪畫、音樂、映畫藝術、傳達手段としてのラジオ——これらすべての諸部門は、極力その質を向上させながら、自己の仕事を組織的に強化しなければならない。これは——國家の文化的成長の可成りに廣大な基礎であり、同時にまた生活を直接的に豊富にし、生活を向上させ、發展させ、創造を喜びを増大せしめるための手段である。

同志スターリンのスローガンからは、凡ゆる形態の官僚主義に對する闘争の強化云ふことが生じて来る。官僚的お役所的指導方法、延引遲滞、生きた人間に對する冷淡な態度、同志カガノウイチがそれに對して精力的な闘争を行つた所の大衆的な無意味な懲罰の實行、實際に人をよく知らないで行ふ頻繁なる無意味な人員の移動、人員取扱にお

ける均等主義、有能な人間を抜擢し成長せしめ大切にすることに對するお役所的逡巡、これらすべての事に對する闘争また請願者、歩行者、店舗における購買者、電車又は汽車の乗客に對する不親切な態度、この假借なき闘争、官僚的頑固家、變節者、日和見主義者に對する特に激烈なる闘争——これらすべての事が同志スターリンのスローガンから生じて来るのである。

この同じスローガンからはまた、凡ゆる形態の同志的社會主義競争に對する支持、有能者、成績優等者、英雄達のあらゆる方法による鼓舞に對する強力なる支持云ふことが生じて来る。またここからして、眞の有能なる從務員に對する極めて慎重なる態度、立派で誠實な、同志スターリンの言ふ『黨員及び非黨員のボリシェヴィキ』に對する加害行為の闘争云ふことが生じて来る。またこのスローガンからして、先づ第一に人を綿密に調べること、人員

に對する具體的な、個人的な、個別的な注意深く且つ明確なる態度云ふことが生じて来る。このスローガンからはまた、個人的威嚴の感情、ソウェート市民、偉大なる社會主義的建設従事者の威嚴の感情の養成云ふことが生じて来る。

大衆の凡ゆる形態のソウェートの社會主義的積極性の向上、大衆の創造力、大衆の文化の向上を通じての、ソウェート・デモクラシーの展開及び、官僚主義に對する闘争の強化は、引いては生ける人間によつて創造される物質的生產の綜合道程に對して、巨大なる影響を與へるであらう。

ソ聯邦國民の領袖たる同志スターリンの演説に對する反應は、大衆の中にはまだ如何に豫備勢力がひそんでゐるかについて語り、またそれはヒロイズム、創造、労働、黨及び黨指導部に對する忠誠の新たなる波について物語つてゐる。これは——征服し難い、抜き難い勝利の力である。

## 第二次黨機關清掃の結果に現はれた黨活動

茲に掲げるのは一九三五年四月第七號『黨建設』誌所載シエンデロヴィチの首領論文である。本論文は第十七回黨大會當時の第一次清掃に次いで行はれたる第二次清掃の結果を、各黨機關に就きて示し、之に依りて窺はる、黨活動上の缺陷とし

て、一般黨員殊に幹部の怠慢無活動、黨教育の不徹底、人事行政の紊亂等を指摘して居る。

黨第十七回大會より既に一年以上経過した。此の間、あらゆる社會主義建設部門に偉大なる進歩が見られた。以前には後れてきた多くの黨組織内に於ても思想的政治工作が著しく振興した。新しき前衛、共產黨員層は積極的な黨活動を開始し、黨下級大衆の政治的並に一般文化的水準を高めたのである。以上が、黨大會決議實現の過程に於ける黨諸機關の工作の改善と再建の概略である。併し乍ら尙仔細に點検するに、吾人は、黨機關の各環に於ける工作に幾分不満なるものを發見するのである。

共產黨中央委員會附屬各指導機關の代表者會議の席上でカブノウィッチは黨第十七回大會決議の結果に現はれた黨工作建直しの状況を述べ、強調して曰く「労働者の中には第十七回大會の決議せる黨組織工作再建の何たるかを解せず、又黨員並に、その思想的武裝その政治的發達が此の再建の中心になることを云ふことを了解してゐないものもある」。第二次黨機關の清掃に明らかになされた此の缺陷が依然として今日に至る迄も残存してゐるのである。而して第二次黨機關清掃の際、黨を追はれた者の二・九%及び、清掃を受けた者の四・二%は黨に於ける無活動的存在に居てゐるといふ事實は各黨員の活動が如何に貧弱であつた

かを物語るものに外ならない。

黨除名者の中の壓倒的大多數は若い黨員であり（除名者の六六・六%は一九二九—一九三二年に入黨せる者である）特に黨員候補なりしは注目に値する（審査を受けた全黨員候補中四二・五%は除名され、或は同情者へ轉せしめられた）

之等は全て、黨内工作、特に青年及び黨機關に於ける黨内工作の缺陷を物語るものである。

黨内に於いて殆ど無活動であつて、遂に黨より除籍されるに至りたる黨員が何故斯くも夥しく生じたかは、清掃委員會の各個黨員審査の結果がよく説明してゐる。

即ち「社會主義の道」コルホズ（トルクメニヤ）では一九三二年五月一日に細胞書記局の作製せる書面に依りて、七名の婦人コルホズ員が入黨せしめられた。入黨後彼女等は何等の活動をも爲さなかつた。在黨二年間彼女等は皆古き宗教的風習から離れず又生活に於ける舊弊を依然として固守してゐた。清掃の際その一人、ヤズ・ビビ・ヂュマエワは次の如く語つてゐた、曰く「メーデー後に黨に書き入れられ、書類を渡されたやうなわけだ。何うしてそうされたか、自分は知らない」云。

或は同情者に移された者の莫大なる率を考へ併せるときは（黨員候補及び同情者に移されたる黨員は六萬四千三百七十一人に達し、清掃を受けた者の二・三%に及んでゐる）第二次清掃の行はれた各黨機關の教化工作が従來極めて不充分であつたことを認めざるを得ない。此の點に關してはタジク黨機關の状態が特に不良にして、清掃審査を受けた者の五分の一は黨員候補及び同情者に轉せしめられてゐる。カラカルバク機關に於ては一五・九%、ヂェルニゴフスキー一五・五%、西部シベリヤ一三・一%となつてゐる。

各機關の黨教育状態は特に次の事實に依りて推知し得る。ヂェルニゴフ州清掃委員會の審査の結果多數の區（コロプスキー、ネドリガイロフスキー、コリニコフスキー、グルボフスキー、ノソフスキー、ボルゼンスキー、シヨステンスキー、其他）の黨教育網は殆ど潰滅してゐる事が明らかになされた。甚しきに至りては政治教育を發達せしめないで胡魔化しに専心してゐた區も若干あつた。例へばドブリヤンスキー區委員會が州委員會に報告せる所に依れば、區には二十二校の黨學校があり、全機關が黨教育に任じ、二十六人の宣傳員が振り當てられてゐるこゝになつてゐたが清掃委員會の精査に依れば實際は全然何も行つてゐなかつた。

區の宣傳員組織が全く不備である。二十四の區に於て、

審査を受けた宣傳員の二七・三%が黨を除名せられた。個々の區に就いて見ればその状態は更に不良なものがある。コノトブスキー區では、宣傳員の五〇%が黨を除名され、グルホフスキー區には、七十五人の宣傳員の中、三十人が除名されてゐる等である。

アゾフ黒海地方各區の黨政治教育の甚しく杜撰な狀況が清掃委員會に依りて曝露した。即ち、多數の共產黨員は政治的に全然無智であつた。該州に於ける七千人以上の黨員が黨員候補及び同情者に格下げせられてゐる。例へば、モロゾフスキー鐵道區、黨機關にありては、共產黨員政治俱樂部を巡視した際、審査を受けた百四十三名中その九〇%は第十七回黨大會の決議を知らなかつた。アルテム堤坑では大多數の黨員が黨規約を知らなかつた。

キルギズ黨機關の黨員及び黨員候補の政治的水準は著しく低い、之れは各區委員會が、黨教育の意義を輕視せるに原因する。カラコリスキー、バルイクチンスキーその他のキルギスの各區委員會では宣傳員給養及び、黨教育網の工作に當てられてゐる資金を、黨區委員會は運轉手給養、ペンデン購入等の如き「經濟的必要」のために費消してゐた。

農村黨機關の各個共產黨員の活動は特に微弱を極めてゐた。その結果、第二次清掃の審査を受けた農村黨機關の黨

つた。更に好適例としてクラスヌイ・ゾゼノウエツ・コルホズ(ブリクムスキー區)がある。同コルホズは白衛兵のチエルノシエコフが指導し、黨内に潜り入る富農及び無賴漢(チャリコフ、グセフ、ツアレフスキー、ドウロセンコ)と共に、二年間、コルホズを荒し、千六百頭の牝羊及びコルホズ所有の多數の産物を蕩盡して了つた。然も政治部長グリポフがこのチエルノシエコフを優秀指導者なりとし、リーダーに「ポリシエウイツキ、コルホズの前衛騎士」にして赤旗を進呈してゐるのは區政治指導者が如何に政治的に近視眼的であるかを示してゐる。

更に農村に於ける黨内工作、思想教育工作の缺陷を表はす適例としては、意志薄弱分子、階級敵に依る農村黨機關の腐敗といふ現象がある。初級黨機關の工作、その影響の皆無に對する注意が殆どなされてゐない。多くの場合、經濟的課題の解決は黨工作とは別個に行はれてゐる。

チエルノゴフスカヤ州の初級黨機關の状態は此れを示してゐる。ペトロフスキー・コルホズ及びウエルデル村(ドゥミトロフ區)の地方黨機關に於ては八ヶ月の間一度も黨集會が行はれなかつた。ベレモデエツ・コルホズ(イチヤンスキー區)の黨員候補連中は全然活動しなかつた。該コルホズ員なる三名の共產黨員は一日も労働せず、又二名の黨員候補はコルホズを脱出し、再び復歸したが、黨機關はそ

員の三分の一は除名され、同情者へ移された。尙特に甚しきは、コルホズ黨機關にして、除名者及び同情者への轉落者は特に多く、審査を受けた者の三八%に及んでゐる。コルホズ黨機關の精査の最も烈しきは、タヂキスタン(四九・一%)、トウルクメニヤ及びチエルニゴフスカヤ州(四三・九%)、西部シベリヤ(四一・三%)、モルダウイヤ(三九・一%)等である。

コルホズ黨機關の斯くの如き極悪の状態は、階級敵に内通せる階級的異分子並びに、ブルジョア殘滓の乗ずる所となる。清掃を受けた全コルホズ員中、右の如き一派は七八%に達し、審査を受けたる全黨員の五・八%が此の原因で、除名された。

ドゥネプロ・ペトロフスキー黨機關を例にさらう。同所に於ては清掃に際して、コルホズ黨機關員の二一・二%が黨を除名されてゐるが、その五分の一は欺いて黨に忍び込んだ階級的異分子が占めてゐる。此の一派には、積極的白衛軍、マノ主義者(譯註「無政府主義的の反革命運動者」)、士官、憲兵等が少からず存在し、農村に於ける黨方針を害してゐた。メリトポリスキー區には、除名された農村黨員百八名中、五五%をウランゲルの殘黨マノノ主義者等が占めてゐた。北高加索機關ではコルホズ黨機關員の二五%が除名されたが、被除名者の三分の一(三三・四%)は反階級分子であ

の罪を誣らうしなかつた。斯るコルホズがあらゆる方面に缺陷を有してゐるのは寧ろ當然で敢て驚くに足らない。ムラトフの黨員候補の中(チュウアシヤ・イブレシシ區)全候補四名共、酒精中毒に罹り労働規律を破り、九ヶ月間黨費を納めず、何等の黨活動をもなしてゐなかつた。その結果黨を除名された。

イリヤリン區清掃委員會の報告に依れば大多數の農村黨機關の共產黨員は四ヶ月より二ケ年に亘り、黨費不納の爲に除名されたが、甚しきは入黨當日より黨費を納めてゐない者もゐた。タバク・アピド・コルホズでは、十八名の黨員候補中十二名迄は、一年或はそれ以上に亘りて黨費を納めず、又黨集會に缺席してゐた。

其の他の各區に於ても同様なる農村黨機關の状態が清掃に際して曝露した。この證據としては、即ち清掃審査を受けた全コルホズ員の八一%が、その無活動的黨生活に依りて除名され四・二%が、日常生活に於ける墮落及び道徳的腐敗に依りて除名されてゐる。此れは同様の理由に依りて除名された他の分野に於ける黨員の被除名者の平均率を遙かに凌駕してゐる。

農村黨機關活動不振の主要原因は、農村の指導的黨幹部の撰擧及び養成が、全く出鱈目なこゝである。コルホズ黨機關員の特に注意すべき所であらう。

四部シベリアの或る區ではコルホズ黨組織者の半数以上は黨を除名せられた。該地方ズドウインスキー區の除名された黨組織者の著しき者は次の如くである。即ちプリユヘル・コルホズの黨組織者は前コルチャク軍自衛兵でありバルチザン・コルホズの黨組織者は反コルホズ宣傳を行つてゐたる富農の婿ボンダレンコであり、又ウオズロヂエニエ・コルホズでは、富農層を脱せるフエオクチストが黨組織者となり、コルホズを腐敗せしめてゐた。イスクラ及びドルダ・バハリヤ・コルホズでは黨組織者のチエフ及びベリフは富農的支配經營に關係してゐた。

ハリコフ州の黨組織者の中には、コルホズ建設擾亂を目的とし黨に潜入して黨員の一端に座してゐた黨無關係者も少からず居た。即ちカルロフスキー區では、清黨に際し三十九名の黨組織者中、十一名が除名され、五名は黨員候補に移され、五名は同情者に轉せしめられた。スムスキー區に於ては、十三名のコルホズ黨組織者が黨籍を剝奪されてゐる。「メーデー」コルホズの黨組織者は富農であり、自衛兵及び私消費者が黨組織者となつてゐる。コルホズも相當數に達してゐる。チエルウオニヂヨフテン・アルテリの黨組織者クリウオルチコは前トロツキストにして二度黨を除名され、四度黨罰を受けてゐる。尙同アルテリ員の共產黨員六名は黨無關係な腐敗せる有罪分子として黨を除名せられ

てゐる。 一一二

農村黨機關の黨指導者選任に對する區委員會の許容し難き態度、指導者の工作指導の放任のため、中部亞細亞の黨機關のコルホズ黨組織者の除名率は著しく高まつてゐる。即ちトウルクトル（カラカルパキヤ）では黨組織者の三〇％は除名され、タムヅイクスキー區では、四六％チンバイスキーでは五一％除名されてゐる。尙之等被除名者中には階級敵分子も多數見受けられ、各初級黨機關には黨無關係な黨組織者も存在してゐた。

農村の指導幹部は屢々その場所を轉せしめられるが、それが無考へに行はれるため、その任務を完全に行つてゐない幹部が大多数を占めてゐる。例へば黨員グロモフはセルゾモト・コルホズ（アクメチエチンスキー區）の工作に失敗しクズリ・パチル・コルホズへ指導者として轉せしめられたが、此處でも彼は工作に失敗し、ウオロシロフ・コルホズへ移され、尙も失敗してゐる。其の後クラスマイ・ウダルニキ・コルホズの代表者となつてゐる。斯の如き例はモルダフ黨機關には少くない。村落ソヴェート議長のパトラトマイは酒精中毒に罹り、あらゆる活動に失敗し尙も「改革する爲に」ゴドイム村落ソヴェート議長に轉せしめられてゐる。又黨員ゴルシヤは常習的飲酒、食料品の着服、費消のため、クラスマイヤク・コムミュン議長の職

を剝がれ、而もヤコウレン・コルホズの代表者に轉任せしめられ、相變らず臆面もなく悪習を續けてゐる。

第二次黨機關清掃に依りて明らかにせられた全ての之等の事實は何を物語るであらう。即ち此れ等に依り先づ考へねばならぬことは、地方黨機關再建に際しては、黨第十七回大會決議に基き「黨員並にその思想的武裝その政治的發達（カ、ノウイツチ）に特に注意しなければならぬことである。此の再建に際して、各黨員及び黨員候補の革命的警戒を強化するこゝが重要であり、且つ決定的な要素である。革命的警戒こそ現在特にポリシエウイツキに必要な要素である」（スターリン）

地方黨機關の黨内部工作の向けられるべきものとしては共產黨員の黨史研究、黨規律の將來の強化、指導黨幹部の

### ダンチヒ

## ダンチヒ選挙

ダンチヒ自由市の人民議會總選挙は、去る四月七日に

外・國事情 ダンチヒ

更に一層慎重なる撰擇、特に農村に於ては、黨員の黨に對する責任感及び堅固なる黨精神の養成、黨運動問題と生産的經濟的問題の實際的解決との巧なる結合である。

黨區委員會及びその委員は初級黨機關特に農村機關工作の指導をより實用的に慎重に行ひ、又州委員會、地方委員會、都市委員會の文化宣傳部は各個クラブ、宣傳員、聽講者に特に注意を拂ひ、教化工作を發展せしめなければならぬ。此れは黨第十七回大會決議の要求する所である。

區委員會書記は各指導者、各黨指導者、各宣傳員講演者新聞講義者に對してより大なる要求をなすべきである。此の要求に基きて人を教育すべきである。こゝに、今後の黨大衆工作の改善、地方機關のポリシエウイツキ隊伍の整備の鍵がある。（H・K）

開催され、其結果はナチスの依然たる躍進を示し、爾余

の政黨は投票数の減少を見せるに過ぎなかつた。ダンチヒはヴェルサイユ條約に依り獨逸から切離されたものであつて、現在は實質上ポーランドの屬領の觀を呈してゐるが、民族的にも歴史的にも同市は獨逸に近いものであるが故に、ナチスの努力も専ら此點に注がれ、ザール大勝に意氣昂れる同黨はゲツベルス、ゲーリング、ヘッス等を始めダンチヒ・ナチスをして選挙闘争に活躍せしめ、一舉にして同市をナチスの手に掌握せんとしたが、未だ其の目的を達することはできなかった。然し、此の努力は今後尙續けらるゝものを見るべきであらう。

七月四日に至りポーランド外相ベツクミヒツトラーの二日間に亘る會談の結果、コムニユケが發表せられ政局の動きは、獨逸はポーランド廻廊回收の宿望を放棄し、代りにダンチヒ港を使用し得るこゝとなつた、ミ傳へられてゐる。

左は、四月六日―八日に至るケルン新聞、フランクフルト新聞の記事其他から之を採録した。

右に謂ふポーランド廻廊は之をダンチヒ廻廊とも稱し現在ダンチヒ市と獨逸のブローイセンの間にある波蘭領であつて、恰も其間に廻らされたる廊下の如き地帯であるが故に此の稱がある。ヴェルサイユ條約に依り波蘭國が獨立した時、其國境決定は至難の業であつて、波蘭の爲に唯一の海

港ダンチヒを與へては、獨逸の領土が兩斷せられ東ブローイセンが本國から完全に切離される事となるを以て、ダンチヒは波蘭本國をつなぐ地域を出來るだけ狭くして現在の國境ポーランド廻廊を定めるこゝとなつたのである。

### 一 ダンチヒ商港

ダンチヒも亦ザールと同じく、大戰前獨逸に屬したが、ヴェルサイユ條約の結果、同條約第百四條に依り自由市として東ブローイセンから切離されるこゝとなり、國際聯盟の保護下に置かるゝこゝとなつた。時に一九二〇年十一月十五日。

いふ迄もなくダンチヒ自由市は、バルチック海に臨める海港であつて、面積僅かに七百五十四平方哩を占むるに過ぎないが、西はポーランド廻廊、東は獨逸領ブローイセンに境を接し、新興ポーランドに取つては實に同國が海港を有し得る唯一の場所であつて、又他方獨逸にまつては之が若しポーランド領となれば、ブローイセンは本國を完全に遮斷されるこゝとなり、兩國にまつて、一は積極的の、他は消極的のものにせよ、共に重要な問題であつた。

ポーランドはヴェルサイユ條約に於て、此の海港を自國領と爲す爲の必死の努力を拂つたが、聯盟は獨逸兩國の禍根を慮り之を斥けて自由市として獨立せしめる事に決定し

た。然し、ポーランドの欲求に可及的に副ふ爲一九二〇年十一月、同國ミダンチヒ自由市の關係をして大要左の如く接近せしめ、同市をして實質上のポーランド商港となした。

一、ダンチヒ自由市を波蘭國關稅地域に編入し且同港に一の自由地域を設定する事。

二、自由市地域内に有する波蘭國の輸出入品の爲に必要な一切の水路、船渠、埠頭、其他の工作物の自由使用を何等の制限なく波蘭に保障する事。

三、波蘭に對しツイスチユラ河及自由市内の鐵道全部並に自由市波蘭間の郵便電話の管理經營權を保障す。

四、波蘭に對し二項に掲ぐる工作物及交通機關を改良し後達せしむる權利並に其爲に必要な土地財産を適當なる手續に依り賃借又は買収するの權利を保障する事。

五、波蘭をしてダンチヒ自由市の外交關係を處理し同市在外人民の外交上の保護に當らしむる規定を設くる事。

六、波蘭はダンチヒ陸上の防備に當りダンチヒ危急の際には之を援助する事等。

かくて現在ダンチヒ自由市は全くポーランドの屬領と言つても差支ない。

纏つてダンチヒ自由市の政治組織を見るに、同市はザール同様國際聯盟の保護下に置かれ、獨立主權を有し憲法の規定に基き人民の選舉せる人民議會 Volkstag、此の議

會の選出せる上院があり、上院の成員は二二名、内議長一名議員七名を以て政府を組織するのであるが、右政府は人民議會の信任を得ざれば之を存續せしめるこゝは出來ない。選挙前人民議會の定員は七二名であり、うちナチスは前回の選挙に依り三十八の最高議席を占めたのである。

### 二 ナチスとダンチヒ

舊獨逸領であつたダンチヒをヴェルサイユ條約に依つて失つた獨逸が、ポーランド廻廊の回收を宿願とした如く之が回復に努めんとするのは自然の勢であらう。ヒツトラー政権の確立と共に同市に於けるナチスも勢力を擴大した事は勿論であつて、一九三三年五月の選挙に於ても第一位を獲得してゐる。

一月十三日のザール人民投票に大勝を占めた獨逸國民社會黨は、ダンチヒ自由市にも同様の凱歌を奏すべく、同黨の政府巨頭等が續々ダンチヒに乗り込み宣傳戰に余念がなかつた。蓋し、人民議會に三分の二以上の議席を獲得すれば憲法の改正を行ふ事が出來、従つて他の諸政黨を禁止してナチス一黨の理想を完成するこゝが出來る譯である。

然し選挙結果(別項参照)は、此の定員を獲得するこゝが出來ず、ダンチヒ自由市を第三國家の一部たらしめんとするの夢は一時潰えたのである。左に將來にもダンチヒ

ナチスの指導精神もなるべき獨逸百腦達の演説を振返つて見よう。

### 二 ゲーリング航空相等の演説

「ダンチヒ選挙の意義はダンチヒ國民社會黨の投票数の増加如何の問題よりは、ダンチヒが國民社會黨のものであり永久にさうでなければならぬといふ點に存する。國民社會主義、アドルフ・ヒットラー、鉤十字及獨逸國が今日切離す事の出来ない一つの觀念である。ダンチヒは常に獨逸のものだ。諸君は此の歴史的使命を意識しダンチヒの獨逸主義が強化されゆく事を投票に依つて示さねばならない。

ダンチヒ人民議會は、血と血は互に結び合ひ、ダンチヒの血が過去に於けるに等しく獨逸の血を享けてゐる事を世界に明示すべきである。ダンチヒも母國同様、自然的にも民族的にも政黨分裂主義から脱して内面的團結に向はなければならぬ。自由なる獨逸人に發言の自由を與へ、インターナショナルイズムに毒された代辯者達の言論を封せしめよ。國民社會主義運動の功績は、此の二年間を顧みても既に歴史的なものである。我々は強力なる國家を建設した。同時に指導者は獨逸が平和の爲に協力すべきを世界に究明し、既に波蘭との和協工作を遂げた。指導者は今後實行的平和政策に移るであらう。故に兩國國民は世界に對し平和を

約束したものであつて、此の點波蘭人民派はダンチヒの國民社會黨體制及び波蘭小數派に對する其の態度に關し不平を訴ふる理由を有しない。

獨逸間の關係を阻害するものに對しては我々は常に抗爭すべく、平和の保障される限り佛蘭西はモスクワ迄出掛けする必要は無いのである。

強大なる獨逸國、之が歐洲の爲に必要なのである。ダンチヒが獨逸のものとなる時、それは當然國民社會主義のものだ！四月七日はダンチヒが獨逸のものであり國民社會黨のものである事を世界に示す日である。『ミゲーリング航空相等は述べた。五日にはルードルフ・ヘスが首相代理として青少年に對して左の如く呼びかけた。

「獨逸青少年女諸君！指導者は余を代理せしめ諸君に挨拶を送る機會じた。指導者の行動、彼の創造は何よりも先づ獨逸の將來の爲を思ふからであり、諸君は即ち未來の普負ふ獨逸國民なのである。階級身分を克服した今日、諸君は諸君の先祖が何んであるかに思を致すべきであらう。ダンチヒは舊獨逸であり、先人達は諸君が將來の獨逸國民たる希望を抱いたのであつた。

ダンチヒは獨逸主義の對外的位置の上において特殊の地位を占め、従つて私利の如きは此處に一掃すべく、本國同僚全國國民の利益の爲の活動が行はねばならない。

### 三 選挙の結果

#### イ、議席表

國民社會黨	新議席	解散前
社會民主黨	四四	三八
カトリック中央黨	一一	一一
ライオン派(舊國權黨)	九	一〇
共產黨	三	四
波蘭人派	二	五
得票表	二	二

#### ロ、得票表

國民社會黨	一九三五年	一九三三年
社會民主黨	一三九、〇四三	一〇九、〇二九
カトリック中央黨	三八、〇一五	三七、八八二
ライオン派(舊國權黨)	三一、五二五	三一、三三六
共產黨	九、六九一	一三、五九六
波蘭人派	七、九九〇	一四、五六六
	八、三一〇	六、七四三

右表に現はれた如く、ダンチヒ國民社會黨は六の議席を増加し、得票數に於て約三萬票の増加を見、依然隆盛を示してゐる。今回選挙の意義に關し現ダンチヒ國民社會黨指導者フオルスターはケルン新聞四月八日附に左の如く述べてゐる。

ダンチヒ選挙民にまつて今日の選挙の重大問題は、諸君が本國獨逸に同化するを欲するか否かにあるのである。ゲツベルス宣傳相は選挙前日ダンチヒ地方指導者フオルスター始め、ダンチヒ國民社會黨指導幹部達の案内の下に舊ダンチヒ通りを巡回した。上院議長グライゼルはダンチヒ市民及びダンチヒ政府を代表して宣傳相に挨拶を送り、ゲツベルス又之に左の如く答へた。

「本日唯今ダンチヒ市を巡視して余は、獨逸本國とダンチヒと自由市との間に境界を設くべきでないに痛く感じた次第である。余はダンチヒ市民が獨逸主義及び國民社會主義に信頼する事に對し衷心感謝の念を禁じ得ない。獨逸主義と國民社會主義とは別個のものさ考へてゐた小數者も今や獨逸主義を眞に理解しつゝある。獨逸の不和を示した政黨時代をダンチヒに存せしめてはならない。現在の「境界」は我等を分離するものでなく、お互の心を固く結びつける爲のものである。亦、彼はダンチヒのホイマクルトでも「余は政黨の代表者として語る者でなく、全獨逸國民を代表してダンチヒ市民に挨拶する者である。」と述べ「獨逸の本國に於ける政黨分裂主義の如きは、ダンチヒ市民と獨逸國民とを内面的に結合せしめる事に依つて是を防がなければならぬ。明日の選挙はダンチヒの政黨分裂と反對黨の終焉を告げる最後の日である。」と其の程を示した。

『ダンチヒ人民議會選舉の結果は、特に之を二つの立場から眺むべきものである。外政的方面から観れば、波蘭人民派が凡ゆる努力にも拘らず其の統一戦線を合しても八、一〇〇票以上を獲得し得なかつた事實は重視すべき事、之は全投票数二三二、二七九の四%に満たない。故に此事からダンチヒは、過去現在未來を通じて獨逸のものであり、一切の波蘭化は水泡に歸したものと云つてよい。八、一〇〇の得票はダンチヒが本國より切離された後、憲法制定會議の最初の選舉に波蘭人派が獲得した九、三〇〇票の最高數字と、一九三三年五月國民社會黨が政權を獲得した當時に占めた、六、七〇〇票の中間にある。波蘭人派得票最低數字は一九二七年十一月の人民議會選舉における五、七〇〇票であつた。彼等は昨日の選舉において、彼等の陣營内の分裂を排除し前回の選舉に猛烈な抗争を行つた二團體を同じ傘下に結成することに成功した。然し、此點から觀る時、彼等の得票は數に於て増加を示したとはいへ、尙啻ふべき小數に過ぎない。

第二に内政的方面から觀ても今回の選舉結果は甚だ重要であつて、周知の如く本年三月十四日の聲明に於てダンチヒ政府は、人民議會選舉の重要意義はダンチヒ人民と國民社會黨政府の間の信頼關係を明確ならしむる決算にある事を宣言した。人民は、將來困難なる措置の實行に際し缺くべからざる信頼を國民社會黨に對し披瀝するか否かを自ら

決しなければならなかつた。國民社會黨得票六〇%の數字は此問題に對するダンチヒ人民の答である。

獨逸反對黨の克ち得たもので先づ擧ぐべきは、三萬票の中央黨三萬七千票の社會民主黨が一九三三年五月の獲得投票を維持し得なかつた點で、共產黨の得票のみは意外に少く一四、五六六から六、八八〇票への半減を示した。獨逸國權黨は當時一三、五〇〇を得たが、それは解散するに至り代つたワイゼ派は其の後継者たる均等の得票を得てゐない。

舊獨逸國權黨陣營にあつた者で今回之に投票した者の數は九、七六〇票である。自由戦線黨は、何等擧ぐべき結果を得てゐない。國民社會黨が一〇九、〇二九から一三九、二〇〇に増加した事を著しい現象として擧ぐべきである。

國民社會黨運動はダンチヒ及獨逸國の祝福の爲全力を傾到するであらう。余は國民社會黨の選舉結果に盡した全黨員同志に感謝の念を捧げる。

#### 四 獨波協定

七月四日、獨逸政府はコムニケを發表したが、それは二日間に亘るヒットラー及びベツク波蘭外相の會談の結

果であつて『會談の結果は兩國政府の意見の一致せることが明瞭となり、殊に一九三四年一月の兩國不可侵協定が極めて有效なることに満足し將來も之を繼續して親密なる關係を保つことになつた』といふのである。協定の内容は左の四點にある。

一、獨逸はポーランド對するポーランドの權利を承認し前協定に於ける十年間の不可侵協定を無期限に延長する。

一、ポーランドは獨逸と協力し、ダンチヒをバルチック海

最大の港灣たらしむべく且つ獨逸をして自由にダンチヒ港を使用せしめる、これと共に獨逸はダンチヒ市にあるナチ黨員をしてポーランド人のダンチヒ市内における商業上の活動を阻害するが如きことなからしめる。

一、東歐ロカルノ其他少くも獨波兩國を目標として工作せられてゐる國際條約には絶對に加入しない。

一、不可侵協定は隣接兩國間に締結するを原則として確認し多邊的不可侵條約は却つて外交的に危険なりとの原則を承認する。

### 獨逸

## 國民社會黨創立十五周年祭に於けるヒ總統の演説

一九三五、二、二六、フランクフルテル・ツァイトウング

二月二十五日、ミュンヘンのホーフプロイ館に於いては國民社會黨創立十五周年祭が催された。ホーフプロイ館は、十年前ヒットラーがかの國民社會黨廿五綱領を大衆の前に公表した思ひ出の建物であつて、此日、彼は彼と闘争を共にした最古参の同志等に圍まれ、立錫の余地も無い聴衆に對して左の演説を試みた。

黨同志諸君！

十五年の昔、獨逸國更生の大事業を共に開始した我々同

志が年に一度互に一堂に會するといふことは寔に悦ばしい限りである。十五年の歲月は、考へて見れば長い月日の様であるが、然し過去を振り返つてみるにそれは又極めて短かいものであつたことも感ぜられる。一九二〇年二月二十四日、余をして初めて此のホーンブローイ館の壇上に立たしめ大衆の前に敢へて語る勇氣を與へたものは實に、獨逸國への信頼、獨逸國民への信仰、そして未來永劫に滅びざるその價值、さういふ一事に盡きるのである。當時においては實際此事が必須的な前提條件であつて、蓋しかの時ほぎ、かゝる新興運動が逆境に立つたことは未だ嘗つて無かつたらである。

當時吾々の事業を理解し得た者は皆無であつたらう、それにも拘らず我々は、かの悲愴なる時期に於いて獨逸への信仰を忘れなかつたのである。此の信仰のみが余をして此の壇上に立たしめたのであつた。當時眠りかぶつてゐたのは即ち我々の書く獨逸國は全く異つたものに對する信仰であつて、今日此の誇らしき獨逸の興隆（拍手）を祝ひ得るのは此の比類なき堂々たる國民への信頼、獨逸國への信仰であつて、かくの如きは國民と共に事を絶対に爲し得なかつた政治家達の夢想だもしなかつたことであらう。（拍手）大戰の災禍に依つて飢饉に瀕した幾百萬獨逸の男子及び婦人の勇敢なる力、これこそ四年有半の間、祖國のため

に闘ひ、共に之を防衛せしめた力であつた。獨逸國をして再び目覺めしめる爲に、幾年の歲月を要するかを、吾々多くの者が豫測しなかつたといふことは寧ろ一つの幸福であつたらうと思ふ。従つて、闘争の中途にして其の志を鈍らした者も多いことであらう。されば余は絶えず、今月よりは次の月、今年よりは來年、否、三年、四年、五年に此の信仰と希望を強めることに依つて、遂にかの時我々の企圖した目を到來せしめ得たと思ふ。諸君は決して之を忘れてはならない！

余が最初に演説を試みた時、我々の綱領は、此の時代の精神並びに此の時代に對する一世紀間の闘争の公表であつた。願れば眞に無限の、涯しない困難な創業ではあつたのである。では一體我々は當時如何なる群に屬する者であつたか、いふ迄もなく我々は全く無名の一小團體に過ぎなかつたのである！我々の仲間には一人の知名の士も無く、政治家も無く、議會主義者も存在しなかつた（喝采）。然し我々に向つては多くの罵言が放たれた、我々と對抗する者は異口同音に叫んだ、「お前等は欲するのだ、お前たちに使命なんてあるものか」。獨逸國を不幸に陥れたものは、諸君！實に此の「使命を荷つた」連中であつたのである。

當時の政治家たちの云ふが如き神命といふものは、我々

には缺如してゐた。吾々には資本一つ手にあつた譯では無い。無名の人間の手に依つて打建てられた運動、無資本をもつて建設された政黨、それは恰も一物をも支拂はない株式會社の如きものであつたのである。何人が資本ある者、有名なる人士が我々を協力することが望ましかつたが、孰れもそれは空しい希望に過ぎなかつた。一マンニツヒも有しない我々と數萬の富を蓄ふる者との間は、將に風馬牛の關係であつた。彼等は曰ふ、「高が無名の群共だ、お前たちを相手にしてはゐられない」。亦名士達は曰ふ、「一文無しぢや無いか、うるさい奴等だ」。剩れ、我々は機關紙さえ有しなかつたのである。

かくて残る問題は如何にして吾々の存在を大衆に知らしめるかであつた。無一文の、無名の、此の我々は今や、一の綱領を掲げて之を大衆の前に公表することにより他に術はない、さういふ寔に苦しい決意を爲さざるを得なかつたのである。彼等は、我々の態度を粗暴に罵り、我々の闘争を野蕪であると言ひ、我々の演説を以て露骨極まるものと言ひつた。だが、此等を措いて他に然し、我々の行動を公表することが果して可能であつたであらうか？この様な闘争を爲すことは必須の勢であつたのである。蓋し、かくしてのみ我々は國民の耳目に訴へることが可能であつた。此の時代において全獨逸に流行し、生成しつゝあつた一切の運

動に對抗して余は常に「理解の問題ではない、たゞ實行あるのみ！」といふ考を以て終始行動した。當時にあつては誤れる連帶等に身を捧ぐることは許されなかつたし、亦彼等の運動が我等のものと同じだ、なき、いふことを口にしてはならなかつた。獨逸には唯一つの意思あるのみ、そして他の運動は盡く之を克服しなければならぬものであつたのである。（風の如き拍手）我々は十五年の久しきに亘つて此の合言葉を實行して來た、そしてそれが遂に我々に偉大にして且つ決定的な結果を齎したのである。

當時人々は好んで口にした。「君等の黨は破片的存在だ！」。然り、我々は實に破片的存在だつた。然るに、此の破片は鋼鐵のそれであり、マグネットの如く國民自體から鐵を索引して仕舞ふ破片だつたのである。我々の場合にあつては何等物語的歴史は存在しない（風の如き拍手）。實に運動の初期にあつて我々は「破片的政黨」の罵言を浴び、一般から憎惡の對象と目されたのであつた、それ故に結黨後近々數年にして我々は全政黨の攻撃の中心に立たざるを得なかつたのである。一英國人は書いてゐる「現代世界において天才的なるものを確定せんとするには、劣等視されてゐる者の總てが忽ち一丸となつて宣誓を交すか否かを注意する必要がある。蓋し、今やかゝる天才的なるものが遊ぶきつ、あるからである。そして重大なる運動を認識せん



さするならば、此等の全體が一黨の中に如何に密接な結合を爲してゐるかを觀察する必要がある。彼等が急速に結合した場合——彼等は今綱領の爲に闘争すべき立場にある——共同の危機が近寄りつゝあると我々は、我々の運動開始後数年にして既に此事を成就し得たのである。

我々は、我々自身の組織、即ち我々が命令して掲げ得る「目には目を、齒には齒を以て酬ひよ！」といふ聖書の文句を守るべき黨組織を建設することを敢行した。

事實の前には恐怖しか示すことを知らない人々に、實行を教へることは寔に至難の技に屬する（喝采）。蓋し、我々は當時實際の政治を有つことが出来なかつたのであつて、實行力無き者が政治を行ひ、實行力ある者は惜しい哉冗言を弄すといふ奇現象を呈したからである。

然しながら、我々は遂に一切の困難を克服した。そして余は繰返し、次のことを主張し得るのである。「信念の勝利意思の凱歌」也。信念の勝利は、此の十五年の間に大なる影響を及ぼし、我々の敵對者でさへ今日官督を爲すのを見る時、我々の不滅の、偉大なる意志の力が新に思ひ起されるのである。かくて我々は自己の主張を實行したと斷言することが出来る。

十五年前余が初めて此の壇上に立つた時、余は我が黨の綱領を公表し宣明したのであつた、我々の無名の同志は此

たる豫言者であり、諸君に斷言しやうと思ふ。今日の状態は變ることなく、過去の状態は還り來ることは二度と無いであらう！（感動の喝采）

我々は新興國家の強力な足場を築き、單に外面的な建築を爲したのみではなく、根強い播種をも行つたのだ、一つの世界觀を新興國家獨特の綱領に記載した。けては尙未だ十分でない。即ち國民の内部に此の世界觀を植へ付けたいふことが最も大切である。根本的な問題に關し、全國民の意見を同一にするといふことに全努力を傾倒せねばならぬ。ミはいへそれは單に、一日にして全員異議無し等の如く決を採つて記載するが如きにあるのではなく、此の問題を國民各自が一人一人體験的に之を味知するのでなければならぬ。人々に新しい理想を伸介し、國民に對し國民自身が新理想の擔手であり信仰者であるといふ自覺を興へ得る迄之を繼續しなければならぬ。

今日の新興獨逸國家は、我々が立法を行ふが故に存在するのでは無く、我々の行ふ立法が國民自身の内心に徹した故に、即ち國民の心からなる賛成を受けてゐるが故に存在してゐるのである。國民は即ち國家の支柱であり護りてなければならぬ。我々は幾百幾千萬獨逸國民を國家の根本的理想の爲に獲得することが出来た。そして彼等を國家の生活の中に参加せしめ、そして常に、立法が國家を護る

の綱領を實踐に移し、現在の状態から獨逸を解放し、且つ新興獨逸を建設せんことを欲するものである。と。當時既に我々は革命を約束した、我が黨員諸君！革命が遂に全獨逸を蔽ふ日は來た、それは根深く且つ強大な力をもつに至つたのである。

我々は單に外部的に體制を征服したのでは無く、内部的に之を征服したのである。國民を破壊する一切の分子は今や除かるゝに至つた。マルクス主義はもよりの之を絶滅することが出来たし、又かの國際的、ブルジョアの黨組織も總て崩潰した。彼等に代つて今や、政治的には獨逸共同社會の、經濟的には獨逸全勞働者の戰線を含する一の共同社會が現出するに至つたのである。

我々の政治が初まつて以來二年の歲月を閲した。人々は我々の實行が二十五箇月間にして竭きて仕舞つたこと誤解してはならない。事實は將にかゝる誤解の逆であつて、我々は今新しい發展の道程に立つてゐる。過ぎし二年間に我々の創造した事は、當然來るべきものを示しただけに過ぎない（萬歳の聲）。

余は、今日尙獨逸における微穩的な希望の爲に迷つてゐる總ての人に唯一言附加したいと思ふ、余は之までの余の生涯に於いて幾度か豫言を試みたが、諸君は余の言を信ずる所では無く、嘲笑罵言したてはないか、余はやはり依然

ものでなく、潑刺たる意志、信念、信頼及び國民の勇氣が之を護るものであるといふ確信を抱かせるに至つた、それ故に余は敢て言はう、過去の状態の復歸を夢みてゐるが如き劣等の者共は、余が歩んで來た道を歩む決心をするが、ミ。そして余が開始したと同様の困難なる闘争を始むべきである、たゞ然し彼等と異なるのは余がデモクラシーの迷妄を打破し盡した、ミいふことだ！だがいかなるデモクラシーも我々を征服することは出来ない！（嗚り止まぬ拍手、喝采）我々はかゝる迷妄の復活すべき凡ゆる前提を絶滅した。余は、余の政敵が政權を把握し、余が全然無力であつた當時、彼等を征服し得たのであるが、現在余は彼等に言つて見たい、現在余は政權を把握してをり、汝等は何等の權力を有たない、だが汝等は余を倒すことは斷じて出来ない、ミ。（萬歳の聲）

我々の目的の爲に今日必要なのは、運動は常に現實國家の運轉機械として働らき、つねに清新なる活動力を持つといふことである。一部の者は、黨の力は現在もはや失はれてゐることを考へてゐるが、我々の力は三百年経つとも喪失することはない。積極的な攻撃の悦は今や消え去りつゝ、あるも、諸君は、黨の力が將來に亘り完全な發展を遂げることを證明するであらう。黨の運動は、全國民が一體となつて理想に邁進する場合に限り、其の使命を遂行し得るの

である。人間は本来彼の使命を背すべきであつて、彼に何等の道徳的使命が課せられない場合は、彼は全體の中の一員であるが故に大きく、他方彼は個體であるが故に小さいのみである、といふ差異を識別して自ら自己の使命を求むべきであらう、個人が個人のみを考へる時には、唯物論及びマムモニズムが復歸するかも知れない、我々は之を反對に、國民の内部に共同性の義務を教育しようと思ふのである。

一切の離反的なものを避け、此の使命を澁刺なものたるしめる事以外に更に大なる使命が存するであらうか？ 各獨逸人が家卿であると感得する様な國民を教育する以上に偉大なる使命があり得るか？ 我々は我々の目的實現には未だ達してゐない事甚だ遠いといふものがあれば、余はそれに対して答へたい、その様に急激に現行されるものは、決して永續するものではない、と。吾々は總て尙過去のために苦しんでゐるのである。即ち過去の繫縛から未だ放たれてゐないのだ。我々の後に來る者は青年のみである。青年は最早過去を知らない。此の共同體の内部に育ち他のもの影響に依つては決して養成されない青年が今や躍進しつゝある。彼等は、我々が尙豫言的のものと思へてゐる事を日夜僥まず實現しつゝあるのである。

我々は、眞實の精神を國民共同體の内部に絶えず深く浸

潤せしめ強化し、人格の美を一層明瞭にするといふ重大使命を帯びてゐる。

我々は、現在我國民の自由といふ最も輝かしい目的をもつてゐる、我々自身此の自由を獲得しなければならぬ。余は此の會堂に於いて幾度か『獨逸の自由の復活を後進の者に期待してはならない』ことを繰返し語つた筈である。余は幾度か之迄聴いた事がある、『我々はかゝる日を期待することはできまい、我々の子孫が之を爲すであらう』と。否、我々自身が此事をなすべきである。我々は獨逸を再び自由にしなくてはならぬ。これが我々の使命である。

余は信ずる、我々は此處に於いても亦、巨大なる困難に逢着したと。我々の前には獨逸の平等権といふ鐵の如き保證、現代世界における獨逸の自己主張といふ保證を與ふべき使命が横はつてゐる。(喝采) かくて我々にまつても、世界にまつても獨逸の名譽が常に問題となつて來るのである。

今日の日に當り、余は、十五年前余が初めて聲明したことを繰返し述べたいと思ふ。我々は常に唯、然り(賛成)若し否(拒否、反對)を知るのみである。平和に對して常に『賛成』であつて、獨逸の名譽の剝奪に對しては常に『拒否』あるのみである。(數分間拍手止まず)

それ故に全世界は、我々の『然り』は永久に『然り』て

あつて、我々の『否』は絶對に『否』であることを認識しなければならぬ！ 我々は躊躇する者の仲間ではない。十五年前の最も艱難なる情勢の下にあつて綱領に對し宣誓をなした如く、將來も此の宣誓を爲したいと思ふ。我々は、自由にして獨立なる國民の名譽を約束するものである限り如何なる協力活動をも拒むものではない。世界が我々に不當のこゝを要求する限り、我々は我々の立場を絶對に譲らない決意を固めてゐる。我々の權利を目して恰も他國の權利とは別個のものと思ふが如きを恥辱と感ぜざるを得ないのである！ (拍手)

世界の列強も亦今日に至つては其の考を一變せしめねばなるまい。彼等は、十四年間に亘る獨逸の歴史を其の記憶から呼び起し、數千年前の獨逸の歴史をも顧みるがいゝであらう。さすれば我が獨逸國民が過去の十四年間、不名譽なる指導に依つて如何に恥辱を蒙つてゐたか、之に反し數千年前は如何に勇敢に、如何に強固に且つ名譽あるものであつたかを看取し得ると思ふ。今日興隆しつゝある獨逸の現状こそは未來永劫の獨逸の姿であることを彼等も亦かくて確信し得るであらう。

恥辱に充てる中間的立場は今や既に終つた！ 獨逸國民は、平和を希求し其爲に努力することに一致協力し、獨逸の自由の防衛の爲に斷乎たる決心を有してゐる(拍手)。我

等は列強の間に伍して紳士的な行動を取る他に何等の要望をも持つてゐない。我等は、孰れの國民の自由をも脅威するものではない。獨逸國民の自由を欲する者に對して我々は語らうと思ふ、右の事は力を以て行はねばならない、そして、暴力に對しては我々は身をもつて自己の防衛に當るべきだ、といふことを！ (數分間拍手)

余及び我々の運動に由來を持つ我々の政府は、獨逸の名譽と平等權とを斷念せしむるが如き覺悟に絶對に國民の署名を爲すことをしないであらう。だが世界は今に、獨逸の署名するものは盡く之を獨逸が守るべきことを確信するに相違ない。我々の名譽乃至能力の許さざる場合我々は決して署名のペンをさらないであらう。然し一度署名すれば忠實に之を履行せずには止まない。

我々の政權獲得後の二年間の闘争を振り返り、政權獲得を目指した十四年間の闘争を顧るならば、何人か内心の誇り幸福を感じないものがあらう。當時、此の堂に會した人々の總ては、かゝる誇り幸福の無限の感に打たれざるを得まいと思ふ。余は此の闘争の時期に於いて幾度も余の支持者達に語つてゐる『假に世界が我々に感謝の念を持つてゐれば、その感情は獨逸を眞に解放したものは他ならぬ我々であつた』といふ誇らしき感情と同一のものでなければならぬ。諸君の舊き徽章、腕章を諸君の子弟に示し、且つ誇

を以て次の事を云ひ得る時はやがて來るであらう、これぞ獨逸が壓制下に置かれた日の記念である」と。之我々が我國民を片時も忘れなかつたこと、この證據であり、總ての者が不信に見えた時にあつても尙(獨逸への)忠實を忘れない人々のあるべきを待んだ證據である。

我々が獨逸の力、獨逸の國民の爲の闘争を開始したのは思へば、既に十五年の昔になる。然も今日我々は、獨逸國民の生活の爲、其の自由の爲、其の平等權の爲の闘争の渦中に置かれてゐる。それ故に、闘争の舞臺こそ變れ、闘争自體は依然として變ることなく、我々は亦かゝる闘争に幸福を覺へるのである。四十五歳代にして老衰期に稱へられた時代も獨逸に嘗つて存在したが、今や七十代の老人達が我々を闘争を共にし、彼等は健康で意氣壯者を凌ぐの概がある。此等は總て闘争の賜ならざるは無い。獨逸國民の爲の闘争は我々を衰へしめる所か反つて若返らせるものだ、ミ叫ぶ者の如何に多いことであらうか。

髮の毛はよし齡既に老ひたるを示すと雖も、精神的に常

### 獨逸の宗教闘争

一九三五、六、七、マンチエスター・カーチヤン

獨逸の宗教闘争は世人が想像するほかに複雑ではなく至つて簡單であつて一つは十字形を標章とするもの、一つは獨逸を克服せる國民社會主義運動の標章であるところの卍形を同じく標章とするもの二つの信仰の争である。

國民社會黨が俗界の權力だけに満足して居れば縱令彼等が藝術、科學及び哲學まで克服支配しても、今日の宗教闘争は起らなかつたところなのである。ところが國民社會黨は之に甘んぜず宗教界の支配まで企圖するに及んで闘争は避け難くなつたのである。

併し十字形に戦を挑むマンジ形の連中を一概に愚劣だミ片付けてしまふわけにはゆかない。成るほど彼等の言が非常識で突飛て自分本位である嫌はあるが其の信念には一貫したものである。彼等はかう主張するのである。俗世界に宗教界の權力は一つでなくてはならぬ。神ミシーザーミが一緒にヒットラーに宿つたのである。統一國家の統治權は絶対のもので、さもなければ統治權のないものに均しい。それで彼等は國家全能の意義からミ、國家に宗教は有機的一體であるとの意義から絶対統治權を主張するのである。

#### 一 ノルディック精神

マンジ形の連中も又幾つかの集團に運動に別れてゐるの

に我等は若い。精神を反映するものは實に眼の光であつて諸君の眼は殊更に誇らしげに、輝いて見えるのである。

蓋し、諸君は獨逸の青年たちの目前に恥ぢるものを持つてゐないのだ。諸君は、諸君自身の中に自己の姿を映じてゐるのだ。獨逸青年に對しては余はたゞ「當時此の堂に其の門途を爲した一大進軍の部隊の中に諸君の身を投ずる他に、善なる道はないのだ」ミ言ひたい。かくて、獨逸の眼が開かれてゐる限り、將來つねにかゝる情態は續くであらう、蓋し我が國民への愛は永劫に變ることない、獨逸國に對する信仰も亦不滅であるからである。

それ故に余は此機會に臨み諸君に願ひたいと思ふ、今や我々の間に亡き勇士の靈を弔ひ、其の遺言に従つて宣誓し之を貫徹せむことを、そして又、我々をして最初にプランの實行に移らしめたものは何であるかを想ひ、且つ諸君が我々の事業の遂行者たるべきを改めて誓はれむことを。聖なる哉！我が獨逸國及び獨逸國民萬歳、國民社會黨萬歳！

であつて、例へば「獨逸基督教」の一派は基督教との妥協を企圖し(此の派の出版物中には十字形とマンジ形とを組合せた標章を附したのがある)又ハウエル教授が率ゆる「獨逸信仰運動」は基督教の教義には多少論理的、歴史的價值があるのみだミなし又ルーデンドルフ將軍を中心とする一派は社會を腐敗させる有害勢力ミして基督教に反對するものである。

併しゼルマン即ちノルヂック民族及び精神が他に優れてゐるのミいふ信念は各派共通である。彼等は此の優秀は神意の然らしむるものであつて、其が國民社會主義革命ミなつて現れたのだミいふてゐる。即ちハウエル教授のいふ「Einheitskirche Gotteswirklichkeit」であつて其の意は國民社會主義革命は神意ミ獨逸人の總意の合體であつて歴史に未曾有の出來事であるミいふにある。

トールやウオーデン諸神の信仰に就ては、此等チユートンの神々の信仰が國民社會主義革命精神を涵養したのであるから禮拜信仰しなくてはならぬミいふ獨逸人も少くはないが、斯る言議は、もとゞ一時的の、はやりといつたやうなもので、實際變り者の外には信仰するものはないのである。

トールやウオーデン諸神の信仰に就ては、此等チユートンの神々の信仰が國民社會主義革命精神を涵養したのであるから禮拜信仰しなくてはならぬミいふ獨逸人も少くはないが、斯る言議は、もとゞ一時的の、はやりといつたやうなもので、實際變り者の外には信仰するものはないのである。

し總括的に此の語を用ゆることにする。

『新異教』は非ノルデツク民族殊に猶太人を市民たるの價値なき劣等民族と認定するのであつて、従つて舊約全書は猶太民族のものとして之を排斥するのである。そこで基督教のものが問題になつて來るのであるが、宣傳相ゲツベルス一派は基督教はキリストン人だといふて簡單に片付け又ルードンドルフ一派は稍や論理的に論議して全然基督教を排斥してゐる。

### 二 基督教徒

獨逸人精神の總合だを假定するところの信仰は、各人は神の前に同一であり、個人的精神は貴重なもので、總合的精神といふことは迷想であり、聖書(舊約全書を含む)は神の言葉である。みなすところの信仰の間に絶對的對立の生ずるのは勿論である。

獨逸に於ける基督教の擁護者は『獨逸基督教』其他に反對する『プロテスタント教徒』及びカソリック教徒である(以下兩者を併せて單に基督教徒と稱す)。

基督教以外のものは悉く國民社會黨に克服されてしまつたのに基督教だけが尙ほ鬭争を續けてゐる理由の一は國民社會主義は國家主義もマルクス主義も共通の點が多くつまり反對が少なかつたのに、國民社會主義の宗教的直髓

であるところの『新異教』に至つては基督教と氷炭相容れず共通點が少しも無いからである。それで兩者の間の鬭争は到底避け難く已に色々の形態で鬭争が行はれてゐるが、將來或は世界の耳目を衝動するやうな激戦を演ずるかも知れない。

獨逸宗教鬭争の當事者は双方共に鬭争が一朝一夕に片付くものでないことを能く承知してゐるのであつて、政府側の刻下の戦術は直接に基督教の教義にぶつかるところを避けて宗教行政で干渉を加へて徐々に基督教會を衰微させてゆかうといふのである。ヒットラーの宗教不干渉の宣言の如き瞞着にすぎないのであつて國家は秘密警察を用ひたり、牧師の間の電話を横聴きしたり、信書を開封したり、密偵を附したり、拘留したり、逮捕したりして教會に干渉してゐるのである。

國家の用ひてゐる反基督教の武器の中で一番恐ろしいのは宣傳であつて、當局者は基督教を叛逆であるやうに大衆に思はせやうと努め、新教徒及び舊教徒を國際主義で國家に不忠實だを絶えず非難するのである。

### 三 獨逸信仰運動

基督教に對する直接の鬭争は『獨逸基督教』が勢力を失ふにつれて擡頭して來たところの『獨逸信仰運動』に委さ

れてゐるかたちである。『獨逸基督教』といふのはソウエート・ロシアの『現代教會』と類似の役目を勤めたのであつて、ソウエートの『現代教會』は正統派教會を攪亂し獨裁に服従させやうとして失敗し、之に代つて『無神運動』なるものが起つたのである。之と同様に『獨逸基督教』は基督教と妥協を策したのであつて、此の企圖が當時成功したなら獨逸に『國民プロテスタント』なるものが出來て、眞の基督教は滅亡するところだつたのである。『獨逸信仰運動』の方は態度が稍や公明であつて、ソウエート・ロシアの『無神運動』に酷似し且つ青年の人氣を得てゐるのである。

『獨逸基督教』の方は大衆運動ではなかつたが、此の『獨逸信仰運動』は大衆運動であつて、烈しいテロリズムや猶太人迫害に現はれてゐる俗界の急進主義と手を携へて進むところの宗教界に於けるナチ急進主義運動なのである。

此の運動に屬する『新異教徒』は國家から全幅の支持を受け警察からも官憲からも擁護され集會を開くことも書物や冊子を發行することも自由なのである(斯ることは今日の獨逸に於て特權と謂ふべきである)。而して其の教徒の數は正確なことは不明であるが幾十萬を算し元氣頗る旺盛である。

### 四 舊教徒及び新教徒

新教と舊教は大僧正ゾアウベルが聲明した如く其の窮極の目的は同じであるが、稍や異つた方法で政府と鬭争を續けてゐる。カソリックは獨逸に於ける政治的組織を破壊されたが、仍ほコンコルダ契約に依り與へられる權利を保留してゐる。且又彼等はオーストリアに於ける健全なカソリック教徒を持つてゐる。オーストリアのカソリックが健全なのは住民が重にカソリックであるところのザールへの影響を佈れてヒットラーが行動を差控へたからである。尙ほ獨逸カソリックはヒットラーの青年運動にも匹敵すべき活氣横溢せる青年運動を伴つてゐる。

プロテスタントの方はカソリックのやうに外部に頼りにするものを有つてはゐないが、それでも意思は鞏固で且つ指導者は聰明な人物揃であるので青年新教徒はカソリック程多數ではないが併し増加を辿る一方である。ナチ運動に加つて一と働きしようとか出世をしようといふ考からプロテスタント教會を去つた者もナチを見限つて復歸するものが多いのである。鬭争的な青年プロテスタントはそれほど多數はないが、貧窮に甘じて基督教國家を再建する時機の到るまで隠忍しやうとの決意は何れも堅く、前途の困難も災厄も覺悟をしてゐるのである。

### 五 學校と家庭

基督教の攻撃は重に學校で行はれるのであるが此處でもコンコルダ契約の爲にカトリックの方はプロテスタント程には攻撃を蒙らないのである。それで政府はプロテスタント臭い教師は罷免するし、一面には新異教及び反基督教主義を宣傳して生徒の頭に注入するの力めてゐるのであつて、歴史の教授方なども民族主義を主として教へるのである。

學童が學んだまゝを家庭に披露するのでヒットラーが宰相となる前まで平和であつた田舎の家庭に争論の生じる場合が少なくはなく、少女たちまでが獨逸民族、良種、斷

種などを誦つてヒットラーの爲に氣を吐く有様なのである。ナチスも中老者には餘り望を屬せず、次代の國民こそ完全に自分等のものだを青年に期待をかけてゐる。

外國の基督教徒からの同情は獨逸内の基督教徒に歓迎されるが、それがすぐ國家に依つて基督教が國際主義だとの議論に援用されるのである。併し外國からの同情がある無しに拘らず政府は基督教を國際主義だを非難するのである。某教師は次のやうに言ふた。

「縦令自分等の難義の種にならうと、吾々は外國からの支援を受けて統一せる基督教の有り難味を味ひたいこれあれば、吾々の自由世界基督教の自由の爲にする奮闘にも一倍の勇氣が加はる。」

## 佛 蘭 西 の 政 情

——フランダン内閣よりラッアル内閣の成立まで——

### 一 フランダン内閣

壞せるドゥーメルグ舉國一致内閣の後を受けて、中央派の領袖ピエール・エティエンヌ・フランダンを首班とする第二次舉國一致内閣の成立せることは本報第四百九十九號に述べたる通りである。

フランダン内閣は成立以來外國方面に於ては幾多見るべき成績を挙げて居る。即ちラッアル外相はマルセイユ免職（一九三四年十月九日）で倒れたるバルトゥー老外相の遺圖を繼承して、獨逸の復讐に備へる爲に凡ゆる努力を爲し本年一月のローマ協定、二月のロンドン宣言及び五月の佛蘇軍事相互援助條約、チエ蘇相互援助條約等を成立せしめ以て獨逸包圍政策を略々完成したのである。又三月十六日の獨逸の再軍備宣言に對しては、ジュネーヴ國際聯盟理事會をして條約違反の烙印を押さしめる等、フランダン内閣は少くも外交問題に關する限り、最近の佛蘭西内閣中で最も成績を挙げ得たるものと言はれて居る。

斯くの如く外交方面に於ては華々しき成果を収めたるフランダン内閣も内政方面に於ける成績は余り善しくなく、不振に陥れる國內産業は一向に改善されず失業者數も漸増の傾向を辿つて居る。

佛蘭西國內に於ける失業者數は、國際勞務局發表の統計に依るも昨一九三四年十一月末に於て四十一萬六千六百五十五名を算し、前年同期の二十七萬九千五百六十五名に比して

約五割の激増を示して居る。

此の状態に直面して政府は従來行ひつゝ、ある失業救濟土木事業等の他に次の如き對策に出でた。

- 一、労働時間の短縮、總ての商工業に於ける残業の一時禁止一日八時間又は一週四十八時間を最長労働時間と定む
- 二、就業最低年齢の引上、即ち工業就業年齢の最低制限を満十三歳より十四歳に引上ぐ。
- 三、二重所得の制限、之に關しては既に一九二六年四月及び一九三二年十月の兩回、時の總理大臣の通牒が發せられて居るが、本年一月二十九日附にて第三回目の通牒が發せられ、各省大臣は部下の者が其の職務上必要ならざる限り他の職を兼ねる事を禁止し、又各公共團體或は公營事業の當局者も同様の處理を採り之を勵行する事とす。

四、外國人労働者、老齡者及び婦人の就業制限、佛蘭西に於ける外國人労働者の數は昨一九三四年十二月現在に於て約八十一萬四千を算し、佛蘭西人労働者の地位に對して大なる脅威を爲して居る。政府は労働許制度其他の手段に依り之等外國人の労働従事に大なる制限を加へるに共に、種々の方法に依り半強制的に其の歸國を促し、其の數を漸減せしむる方針を採つて居たが、更に此の方針を徹底せしむる事。

婦人労働者に對しては家庭に歸る事を奨励し、又老齡者には恩給上の特典を與へて其の職を退かして若き有能なる失業者を之に代らしむる事。

五、失業者雇傭助成金交附、一定数の登録失業者を雇傭する事業主に對して政府は補助金を交附する。

右の如き對策も著しき効果を擧ぐる事を得ず、産業状態は容易に改善されず、失業者の數も亦依然減少の徴を見せなかつた。

ロ、財政状態 佛蘭西の財政は一九一四年以來年々に赤字續きてあつたが、世界恐慌の渦中に巻き込まれてより國家財政は益々收支の均衡を失し、豫算の赤字は驚くべき巨額に達した。一九三〇年以降一九三四年までの間に於て、赤字は歳出總額五百億フランに對し既に二百七十億フランに達せり云はれ、然も公債に依る以外に之を處理する方法が無い上(その公債も既に三千億フランに達する状態である)近時フラン貨は國際的投機師の攻撃を集注せられて、金の國外流出は相次いで行はれ、最近佛蘭西より逃避せる資本額は既に百二十億フランに達した云ふ。又國際收支の如きも輸入制限に依つて漸く其の悪化を防止して居る有様で、財政及び金融状態は著しく悪化した。

かくて歐洲金ブロックの盟主たる佛蘭西も早晚金本位離脱或は平貨切下げの餘儀なきに至るべしとの觀測も行はれ

置を採り得る權能を賦與す。然して政府の採るべき一切の處置は法律と同等の效力を有するものとす。』と云ふのである。

さて議會の休暇は五月二十七日に終り、財政全權法案は二十八日の下院に提出されたのである。

これより先議會休會中フランダン首相は地方選挙の爲、自己が市長を兼ねて居るドムシー・シユル・キユール(Domcy-sur-Cure)に行つて居たが、五月四日同市近くのオークセル(Ouziers)郊外に於て首相の自動車は下院議員ルネ・トウールの自動車と衝突して重傷を負ひ、左腕を骨折したる事件が起つた。(ミシゴが相手のル氏が反政府派議員なる爲、此の事件はフランダン首相を倒さんとして計畫的に行はれたものに非ずやとの風説も發生したが、調査の結果全然不慮の災難なることが判明した。)

右の事件の爲二十八日の議會には首相は出席せず、マルタン・薩相が代つて演説を行ひ、危機に瀕せる現下の財政状態を説明すると共に、政府の提出せる財政全權法案を支持すべき事を求めた。

政府の提案に對しては、上院は大體好意的態度を示したが、下院の形勢は最初より樂觀を許さざる状態であつた。即ち社會黨を始め左翼各派は、政府の提案は獨裁への第一歩であり共和制を破壊するものであるとして反對の態度に

るに至つた。又元薩相ポール・レーノーを始めとして政界及び財界の一部には、此の危機を切抜ける爲には平貨切下げを斷行する外なしと主張するものも現はれて來た。

然し乍ら平貨切下げに就いては國民は過去に於て苦き經驗を有し、又農民及び一般勤勞者の貯蓄を無價値ならしむるものにして之等の反對は猛烈を極め、平貨切下げ論を唱ふるプチ・シユルナル紙の如き民衆の襲撃を受くるにさへ至つた。

一方政府は、フラン貨の安定、豫算の均衡維持の爲凡ゆる對策を考究しつ、あつたが、五月二十二日マルタン・薩相は佛蘭西銀行總裁タンヌリー其他財界の要人を招致して、フラン貨の擁護、財政再建に關する協議を行つた。

次いで五月二十七日、政府はルブラン大統領の司會する重要閣議を開き、刻下の危機切抜に必要なる一切の手段を議會に諮るこみなしに緊急政府命令を以て實施し得る廣範なる權能を政府に賦與する財政全權法案を下院に提出する事を決定した。

ハ、財政全權法案 フランダン内閣が議會に要求する事に決したる財政全權法案は唯一ヶ條より成るものにして其の内容は、『上院並に下院は政府に對して一九三五年十二月三十一日までの間、國家の財政的再建、經濟的活動の復活、金融の擁護及び通貨の維持を實現するに必要な一切の處

出で、黨首エリオ(無任相)を入閣せしめて現内閣支持の立場にありたる下院の第一黨進社會黨所屬議員も大多數反對に傾いて居た。

財政全權法案は下院の財政委員會に附託された。よつて同委員會は五月二十九日午前、下院内に於て協議したる後首相官邸に再び參集して全權法案の審議を行つた。

此の席上に於てフランダン首相は『非常なる情勢に對應する爲には、非常なる又廣範なる權限を必要とする。直に金融の安全と通貨の維持の爲に必要な手段を採らなければならぬ。政府案の目的とする所は、國際的投機師の活動を失敗せしむるが如き精神的シヨックを與ふるにある。』

國際的投機師のものは何等大なる危険を有するものには非ざるも、それが佛蘭西國民の輿論に作用し、フラン貨安定に對する信頼を失はしむるに至るに其の危険は實に恐るべきものなる。』と述べ更に下院に於て爲されたる質問即ち

- (1) 全權法案は平貨切下げ運動を中止せしむべきや。
  - (2) 全權法案は、議會制度を背馳するものに非ずや。
  - (3) 全權法案は果して投機を征服し、豫算の均衡を招致し、國家の經濟的活動を回復するに充分効果ありや
- 等に對して、(1)に就ては平貨切下げ運動は之を彈壓す

べきこと、(2)に就いては、一九二六年に於ける實例を引用し、政府案の豫見するが如き権能の委任は、何等共和國憲法の原則に違背するものに非ざること、及び(3)に就いては政府が今日迄充分其の意圖を實現し得なかつたのは強力なる権限を有せざるが爲であり、今回政府が財政全權を要求するのは自己の政策を完全に遂行せんが爲にして議會が政府の提案を認むるに於ては充分其の効果を擧げ得べきことを述べた。

更に彼は  
一、財政全權法案成立の後、政府の採るべき措置に就いては未だ詳細に發表出来ないが、歳出に暴壓を加へたり下級官吏の減俸を行ふ等の事の絶對に無きこと。

二、社會保險に關する法律の如き、施行上費用を多く要する法律を改廢するに共ニ國家の經濟的活動に活氣を興ふるに必要なる一切の手段を探らんとする用意あること。

三、歳出の減少を實現する場合は、減税をも行ふべきこと。等を力説したる後、更に語調を強めて「國際的投機者の共犯者たる事を欲せず、強者に對して弱者を擁護せんとする決心を有する者は政府に協力し支持を與ふべきである」と絶叫してその演説を終つた。

次いでマルタン蔵相も起つて全權法案成立の必要を力説

も拘らず、社會黨々首レオン・ブラン以下左翼各派の委員が盡く反對を表明し、急進社會黨委員も亦黨首エリオの要請を容れずして反對派に合流した故である。

是の如き情勢の下に五月二十九日の下院本會議が開かれた。此の日の議會は開會劈頭より極めて緊張し、財政全權法案の成否如何を知らんとする一般の民衆も多數傍聴席に詰めかけ、又議場の外にも群集が押し寄せた。

開會劈頭、下院財政委員會報告委員パレティー登壇し、同委員會が政府の提出せる財政全權法案を否決するに共ニ平貨切下げ絶對反對を決議したる旨を報告した。

次いで全權法案の討議に入つたが、社會黨のジョルジュ・モツシュ、ジャン・ジョーレス同盟のマルセル・デア、元蔵相ポール・レーノー等は政府の財政策を完膚なきまでに攻撃した。

會議は一旦休憩に入り、午後七時再會された。フランゲン首相は過ぐる五月四日の自動車事故に依る負傷未だ癒えず、骨折せる左腕に厚き繃帯を巻き侍醫介添のみに二名の人柱に支へられて議場に入つた。議員連は一齊に起立して喝采を以て彼を迎へた。

下院議長アイツソンは下院を代表して、病軀をおして登院し祖國の危機打開を圖るべく、自ら政府提案の擁護に當るフランゲン首相の努力に賛辭を呈した。

し、政府案の支持を要請した。

又財政全權法案が問題となるや、本法案成立の曉には世界大戰犠牲者の有する特權にも大なる制限を加へらるべしとの觀測が行はれ、舊出征軍人團體等に少からざるセンセーションを巻き起して居た。之に關聯して、舊出征軍人全國總聯盟の總帥にしてフランゲン内閣に恩給相として入閣せるリグオレイ氏は、五月三十日首相と協議の末、政府が議會に要求したる財政全權法案は、世界大戰犠牲者の既得權益を何等侵害することなき旨を聲明して、誤解を一掃する事に努めた。

前述の如く二十九日の財政委員會は、首相及び蔵相が夫々得意の熱辯を振つて政府案の成立に努力したるにも拘らず、同委員會は二十五對十五(棄權一)を以て全權法案を否決してしまつた。次いで全會一致左の動議を採擇し、平貨切下げ絶對反對を表明した。

一、財政委員會はフランゲン平貨切下げには飽くまで反對し、凡ゆる手段を講じて通貨の價值に對する投機を阻止することに決定す。

一、政府は通貨思惑を嚴重取締り、投機者に對しては速かに刑事訴追の手續に訴へる事を要す。

右の如く財政委員會に於て否決の悲運に陥つたのは、委員長マルヴィー及び報告委員パレティー兩氏の政府支持に

二、フランゲン首相の演説 アイツソン議長の挨拶に次ぎフランゲン首相は再び急激の如き喝采に迎へられ乍ら登壇し、演壇に備へつけられたる脇息に傷つける左腕を置き、アイツソン議長の賛辭に謝意を表したる後大要次の如き演説を爲した。

「余が病軀をも省みず自ら政府の提案擁護の爲に登院せるは現下の情勢極めて重大なるが爲である。ベルガ貨を崩壊せしむることに成功したる國際的投機師は通貨安定を目標に國際的協定が成立せんとする際を狙つてフランゲンに對する攻撃を開始した。勿論かゝる攻撃は外國筋の策動に基くものなるが、佛蘭西國民の中にも斯くの如き攻撃を支持するものある事は遺憾である。平貨切下げを強壯劑として佛蘭西に嚙下せしめんとする有力なる運動さへ組織せらるゝに至つた。

此の實情に鑑み佛蘭西は依然金本位を維持するも、今後匿名の兌換要求には應じない方針である。近時大量の金流出にも拘らず、佛蘭西銀行は依然として七百億フランの金準備を擁し居るを以て、佛蘭西國民自身がフラン貨より逃避を圖らざる限り、フラン貨は投機者の策動により微動だにすることはない。

平貨切下げは、一旦開始すれば停止する所を知らず、而もその結果國民の生活水準は低下し、金の退蔵を誘致し財

政上の困難は更に激化を加へよう。

現下の状態に於て必要なことは、フラン貨に對する國民の信頼を回復するに在る。政府は人心の不安を一掃する處置として財政上の全權を要求したのであるが、若し下院にして此の要求を拒否するに於ては、平貨切下げは必然である。故に下院は、現内閣に財政上の全權を付託するか、次の内閣に平貨切下げの權限を賦與するか、二者の中何れかを選ばねばならぬ。

然し平貨切下げの阻止にも、又平貨切下げの實行にも、政府當局が財政上の全權を確保せねばならぬ。こゝは近くべルガ貨切下げの事例に徴しても明かである。若し下院が如何なる手段を講じても平貨切下げを阻止する方針ならば政府に全權を賦與し、時々刻々政府の行動を制肘する。こゝを止めなければならぬ。

財政的全權を賦與されたる場合、雖も、政府は絶対に右權限を濫用せず、下院の無期休會を斷行するが如き暴舉には絶対に於てぬ事を確信する。従つて全權法案の成立は正當な議會政治の運用を些も阻害しないのである。

佛蘭西銀行にはフラン貨防衛に必要な金準備あり、國內の資源も亦經濟的再建を實現するに充分である。故に今や斷乎たる行動に出づる事が必要である。

若しもインフレーション政策が實行されるゝなれば、全

議員一五六名の中半数以上が「反對」に投票し、其他各政派の大部分は反對を表明したる結果、政府の提案は三五三對二〇二（棄權三七、缺席二〇）を以て否決されてしまつた。

### 二 フランダン内閣の崩壊と政局の不安

財政全權法案に對する票決の結果が判明したのは五月三十一日午前一時三十分であつたが、此れと同時にフランダン内閣は直ちに總辭職を決定、エリオ無任相及びベルノ法相は各閣僚の辭表を取纏めて大統領に提出した。

フランダン内閣は其の成立以來實に七ヶ月足らずにして投出しの悲運を見たのであるが、政局の變轉極りなき佛蘭西に於ては比較的長命を保つたものと云ふべきである。

フランダン内閣倒れるや、ルブラン大統領は組閣の大命を下院議長ブイツソンに降した。同人はもつと社會黨の領袖であつたが、昨年二月ドゥーメルグ學國內閣の成立に際し黨の決定に反對し同内閣を支持する爲に脱黨を敢行した人である。

ブイツソンは新内閣組織に當り社會黨にも協力を要請した。此處に於て社會黨は、新内閣に参加すべきや否やに就き協議を行つた。然して其の結果は、マリウス・ムーテ一部の者は新内閣参加を主張したが、ウアンサン・オーリ

國幾百萬の農民と労働者が粒々辛苦の結果積み上げた貯蓄はその價值を失ひ、單に少數の投機者が私腹を肥すに過ぎないであらう。

フラン貨は救はねばならぬ。投機者の策動に對して農民と労働者の貯蓄を防衛する事は公人の義務である。約一時間に亘り、右の如く説き去り説き來るフランダン首相の熱辯は滿場に深き感銘を與へたが、演説を終つて演壇を降りんみするや、餘りの疲勞の爲一時卒倒したが、令兄及び夫人の手當を受けて自邸に歸つた。

一方マルタン蔵相は、財政全權法案に關聯し、反對派の攻撃が一身に集中せられたるを感じて、首相の立場を擁護するに共に同法案の成立を容易ならしめんとして、本會議開始直前に辭職を執行した。依つてフランダン首相が一時蔵相の職を兼ねる事となり、前記演説に於てこの事を述べると反つて「協力者を見捨てたり」の非難を受けた。

首相の演説後會議は再び休憩に入り、午後九時再會、無任相エリオ氏が起つて投機者を攻撃するに共に平貨切下げの不可を説き、刻下の財政的危機を克服する爲には政府の要求は絶対的必要なる旨を力説し、政府の提案を支持して以て國家の危急を救濟せよと得意の雄辯を振つた。

次いで票決に入つたが、社會黨共產黨は素より現内閣の無任相エリオの率ゐる急進下院の第一黨たる社會黨の所屬

オル、ジロムスキー其他多數は不参加を主張し、結局不参加の勝利に歸した。然し乍らフロツサルは同黨を脱して新内閣に参加する事となつた。

斯くて六月一日午前一時三十分、即ちフランダン内閣倒れてより正に一晝夜にしてブイツソン内閣が成功したが、其の構成は次の如くである。

首相兼内相	フェルナン・ブイツソン
無任相	ペタン元帥
同	エドヴァール・エリオ
同	ルイ・マガン
副首相兼法相	シヨルジュ・ベルノ
外相	ビエール・ラヴァル
蔵相	シヨセフ・カイヨ
陸相	モーラン將軍
海相	フランソワ・ビエトリ
労働相	リエドヴィック・オスカー・フロツサル
保健相	エルネスト・ラフォン
空相	ドナン將軍
文相	マリオ・ルスタン
商工相	ローラン・エーナツク
農相	ポール・ジャツキエ
土木相	シヨセフ・バガノン
遞相	シヨルジュ・マンデル



恩給相 カミーユ・ペルフェツイ  
海軍相 ウィリアム・ペルトマン  
植民相 ルイ・ロラン

新内閣も亦前二者と同様下院各政派より關係を抜き、政戦休止を立前させる學國內閣である。然して蔵相カイヨールは佛蘭西政界切つての財政通である故フラン貨の危機打開にも縦横の腕を振ふものと見られた。又ピタン元帥が無任相として入閣し、獨逸の再軍備に對する國防國策樹立に參與するに共に、陸軍、外務にも夫々ベタン、ラヴアルの兩長老が据へられた事も人心安定に資する所大であつた。カイヨール新蔵相は就任早々平貨切下げ絶對反對を聲明すると共に、フラン貨を投機の具と爲すものに大彈壓を加へる事とした。かくてカヴァロツク検事總長は豫審判事ルスを主任とし其他司法官及び専門家補助の下に投機者大彈壓を行はしめた。

此の結果デュマン銀行、シルベルフェルト株式會社を始め、投機の疑ある銀行會社に家宅捜査が行はれ、又平貨切下げ論を主張するプチ・ジュール紙にも手入れが行はれた。

政府の措置は財界に安心を與へ好評を博した。政府は此の人氣を利用し、フランダン内閣の要求せるものより幾分内容を緩和せる財政全權法案を下院に提出し之によつてである。

又急進社會黨側には財政全權法案に先立ち院内に會議を開いた。此の席上、黨主エリオが新内閣支持を求めたるに、若干の議員は社會黨と協力フアシズムを打倒すべしと主張し、黨主の要請に反對の態度に出でたる爲、エリオ黨主は憤然席を蹴つて退場し、黨主辭任を言明したが僚友に慰留されて願意したが、何れにしても同人の黨に對する統制力は大に輕減したものと見るべきである。

ブイツソン内閣の辭表を受理せるルブラン大統領は、ブ氏に再組閣を委嘱せるも拒否され、上院議長ジャンヌーに交渉した。然るに同氏も健康を理由に之を拒絶せる爲前外相ラヴアルに交渉した。

同人は一應受諾したが急進社會黨の支持を得るの見込みを組閣を断念し、お鉢は遂に前海相ビエトリに廻つたが之も失敗し、次いでイボン・デルボアも同様失敗し、大統領は再びラヴアルの出馬を乞ふのやむなきに至つた。

斯くの如き政情の不安は、さしもに變轉極りなき政局に慣れたる佛蘭西國民にも異常の不安を與へ、極右の王黨派は共和制無能を叫んで示威を行ひ、同黨の突撃隊の如きは百餘名一團となり平貨切下げ論を主張するプチ・ジュール新聞社を襲撃した。

又同じくフアシヨ派に屬し政局の動向にも大なる影響

ラン貨の危機を切抜け財政國難を克服せんとした。然るに六月四日午後、下院に提出せられたる右法案は一日下院財政委員會に付託され、十九對十八、即一票の差を以て辛じて可決された。

次いで下院本會議に移されたが社會黨の策動效を奏し、急進社會黨議員のこれに引廻されるもの多く、結局二六四對二六二即ち僅か二票の差を以て否決され、之が爲ブイツソン内閣は總辭職を行つた。成立以來僅々四日、短命内閣のレコードである。

左翼派の勢力増大 此處に一言すべきは、社會黨及び共產黨の勢力増大である。即ち昨年七月兩黨の統一戦線協定の成立以來、兩者相協力して反フアシズム闘争を續け來つたのであるが、その運動は次第に有力となり、去る五月五日及び十二日に行はれたる地方自治體選舉には兩派の得票は著しく増加し、殊に共產黨の如きは從來パリ市會には一議席しか有しなかつたのが一躍八議席を獲得し、パリ近郊の十七市町會にも絶對多數を獲得した。

斯くて兩黨はフアシヨ反對の聲を愈々高く擧げ、財政全權法案を以て獨裁への第一歩であり共和制の破壊なりとして之に反對し、デモクラシー擁護のスローガンの下に急進社會黨にも働きかけてその大部分を反對に合流せしめた。即ち下院の第一黨が第二黨たる社會黨に引廻されたの

を與へて居る舊出征軍人團體も平貨切下げ反對、自己の特權擁護の運動を始め等、國內の不安は激化し、某外國新聞特派員の如きは革命勃發を豫報したと云はれる程である。

ラヴアル内閣成立 組閣を委嘱せられたるラヴアルは各政派代表を招致して協力を求めたる所、之等代表者はブイツソン内閣を倒して輿論の反感を買ひたる事を知り、政局不安を永びかせる事の不利を思ひてラ氏の協力要請を容れた。斯くて六月七日左記の顔觸れの下に第四次學國內閣が成立し、フラン貨擁護、財政再建に邁進するこゝになつた。

首相兼外相	ラヴアル
無任相	エリオ
同	マラン
同	フランダン
副首相兼法相	ペラール
内相	バガノン
蔵相	レニエー
陸相	フアブリー
海相	ビエトリ
空相	ドナン將軍
文相	マルコンブ
商工相	ボンネ
農相	カタリ

土木相 エーナック  
 逓相 マンデル  
 恩給相 モーゴアル  
 海軍相 ルスタン

植民相 ロラン  
 衛生相 ラフォン  
 労働相 フロツサール

### 英吉利

## 英國共產黨第十三回大會

英國倫敦發行共產主義雜誌レーバー・マンズリーは標記に付次の記事を掲げてゐる。大會の記事は前にも掲載せるが、本稿は英國共產黨の方針と労働黨に對する態度が一層明瞭なるに付再録する。

本年二月マンチェスター市に開催せる共產黨第十三回大會の諸決議は英國労働運動に取り重要なものである。曩にサウスポート及びウエーマスに開催せる労働黨及び労働組合會議の大會が労働者と資本家の協調を基調とし、勉めて労働闘争の論議を回避したのとは全く反對に共產黨大會は盛んに労働者の利害問題を討議し、黨の戦術方針に就て縦横に意見を交換して前途に對する適正なる政策の案出に力めた、主なる議題は次の通りである。

一、共產黨と共同戦線  
 二、労働者の經濟的闘争  
 三、共產黨の改組  
 四、英國にソウエト政権樹立の爲め黨の行動綱領

此等の議題から見ても大會が如何に現時の階級的闘争の重要問題に深く注意したかが明瞭で、枝葉、見當違の論議を事とせる労働黨及び労働會議大會とは同日の論ではない。

大會は、フアツシズム及び、戦争の脅威が日に増し著しい現状、労働者の生活標準の上に加へられる不斷の無慈悲

な攻撃、及び資本主義に對し労働者が作らうとする共同戦線への努力が無効にせんと企圖する改良主義者の策動の爲に大衆の能力が抑壓されてゐる實狀に鑑み廣義のデモクラシーに立脚して適正の政策の決定に務めたのである。労働黨及び労働會議大會が失業者代表の出席を拒絶し、且又改正失業救済法に苦しんでゐる幾百萬労働者に同情の一語をも與へなかつたに反し、共產黨大會は彼等の爲に極力抗議し、失業救済法反對運動の急先鋒なる南ウエールズ地方の労働者からは激勵の電報を寄せ来る等大會は一段の緊張を示した。

大會の最要議題は共同戦線であつて其の決議中には次のやうに強調した一節がある。

「資本主義者がフアツシズム及び戦争に向つて著々準備を進めてゐる今日、國際労働階級に取りて焦眉の急務はフアツシズム及び戦争に對する廣汎なる労働階級共同戦線及び資本主義の攻勢に對する大衆の日常經濟的要求の爲の共同戦線を實現せしむることである」。

此の問題の討議に當つて大會は最近三年間の國際労働運動の推移を考察したが實に此の二年間に大なる變化が世界の形勢の上に齎らされてゐるのであつて、第一は獨逸及び東國に於けるフアツシズムの進展であり、第二はフランス、スペイン、オーストリアの労働者の勇敢なる戦闘、其から

延いて英國其の他に勃興せる労働者共同戦線及びソウエト政権樹立の爲の準備問題である。

諸國に於ける盛んな戦争準備、軍事同盟の諸協定、ソウエト支那及び蒙古人民共和國に對する干渉計畫並に行動は共產黨大會をしてフアツシズム及び戦争に對する全労働者の共同戦線に向つて邁進する決議を採擇せしめた。

大會の見るところでは現在の經濟状態では當分産業の振興は望めない。而して此の生産標準を進めば労働者虐めは起らないかといへば、決してさうではなく、必ず新らたな攻撃が労働階級に加へられることは明かである。學國政府は全國労働者の反對に遭つて改正失業救済法の實施を一時中止したから見て、之を以て新らたの攻撃は行はれないと合點するのは謬見である。學國政府は其の超反動政策の遂行に忙しく、大衆は舉つて之に不満を懷き、ブルジョアジエ中にも自己の將來に關し危惧不安の念に驅られてゐる者があるといふ事實は之を綜合攻究すれば結局英國資本主義が労働階級に不利な計畫を遂行せんが爲にフアツシズムに向つて歩を進めてゐることを示すものである。

それで共產黨大會は労働階級共同戦線を強調し、之に反對妨害する者を猛撃すると共にサウスポート大會の決議に従ひ労働者に對し總選挙及び第三次労働黨内閣の出現を待つことを勸説する労働黨指導者の政策、労働階級共同戦線

に對する彼等の反對、並に労働運動を分裂せしめんとする  
彼等の企圖は何れも労働者の敵を益し、フアツシズム及び  
戦争の危険に資本家の攻撃に對する労働者の防護力を奪  
はんとするものであることを警告し、決議中に左の如く聲  
明した。

「フアツシズム反對闘争に勝利を得んとするには、労働黨  
及び労働階級指導者の全政策を暴露反對し、共同戦線に  
依る階級闘争政策の實現を圖らなくてはならない」

大會は現に行はれてゐる諸運動が、現状に對する適正の  
政策的認識を缺き、サウス、ウエールズやシエファイールド  
等では要求貫徹の爲に或は罷業準備をしたり或は實際に大  
衆闘争に従事したり、或は共同戦線を作らうと極力努力し  
てゐるのに、他の地方に於ては労働者の大多数が安閑とし  
て労働黨の政策に追隨する等、行動の統一を缺いてゐるこ  
とを發見したのであるが、併し市會議員の選挙や國會議員  
の補缺選挙で近來頻りに労働黨が勝利を博するのは偶々勞  
働階級の闘志が旺盛になつて自覺が強まつたことを證する  
もので、資本主義及び舉國政府に反對する階級團結の現れ  
に外ならないことを認め、此の趨勢に應じて總選挙に臨む  
べき政策を決定したのである。

大會は、共同戦線を完成するには先づ日常闘争の上に之  
を作る必要であるとの見地から第三次労働黨内閣の

戦線を約する労働黨の候補者は自黨候補者のない限り極力  
應援を爲すべきである。

次に重要なのは議題「労働者の經濟的闘争」であつて共  
同行動戦線が成立すれば當然起るのは各労働組合の労働  
者給料に關する要求及び失業者給付に關する要求であつて  
忽ち經濟的闘争の激浪を捲き起すことは明かである。それ  
で大會は黨の重要な具體的任務は給料要求を貫徹する爲  
に罷業準備を爲すことであることを認め、黨の主力及び上  
級労働者は、労働組合内の仕事、労働組合を新設すること  
組合内生活に活力を興へること、並に労働者を援けて罷業  
の準備を爲す上に全力を傾注すべきであることなし、總ての  
仲裁政策を排斥し、給料商議機關に依頼することを止め、  
労働組合内の闘争部隊は階級闘争政策に従つて奮闘しなく  
てはならぬと指摘した。

されば各労働組合労働者が當面する刻下の急務は階級闘  
争及び労働者の要求貫徹の爲の闘争を基調とし、労働組合  
の労働者デモクラシーの擴張を關る共同闘争政策を案出す  
ることである。

又今回の大會が殊に重視したのは議題「共產黨の改組」  
であつて共產黨其のもの、建設問題である、眞の大衆的共  
産黨への建設は根本的に重要なこと他にはないのであつ  
て、階級的大闘争が目途の間に迫つてをり、資本主義がツ

出現を待つといふが如き受動的な政策を極力排撃し、労働者  
が當面する日常問題から着手して、共同戦線の方法に依り  
労働者の根本要求貫徹を迫れば舉國政府の如きは之を倒  
壊することが容易であることを指摘して決議中に左の如く  
聲明した。

「共產黨は舉國政府の打倒を期し、其の目的の爲に全力  
を注いで日常闘争に労働階級を動員し之を結束する」

總選挙運動に就ては、共產黨は全資力を傾倒して成るべ  
く多數の共產黨候補者の當選を圖り國會に代表を送るこ  
とを期す、蓋し下院に代表を送ることは労働者の闘争全體に  
取つて非常な勢力増加となるのである。

大會は又聲明した——共同戦線に立つ労働者の闘争の大  
衆運動は舉國政府を倒し、共產黨候補者の當選を圖るに共  
に、労働者の根本要求に共同戦線を張ることを誓約する勞  
働黨候補者の大多數を當選せしむるであらう。尤も労働黨  
内閣が後継者も成つたところで労働者の主要問題が解決さ  
れるわけではない。是を解決するのは勿論労働者獨裁即ち  
ソウエート政權でなくてはならないが、併し舉國內閣が倒  
れて労働黨内閣が出現したとしても労働者の闘志を旺盛な  
らしめ、労働者の要求貫徹の爲の闘争及び資本主義制度反  
對闘争を進捗せしむる益がある。されば共產黨は労働者の  
根本要求に關し労働黨候補者及び各機關協定を遂げ共同

フアツシズムと戦争に向つて暴進してゐる今日大衆的共產黨を  
組織し、労働階級を指導結束せしめる革命的指導部たらし  
むることが殊に必要なのである。而して此の指導部は一見  
項末と思はれることに關しても慎重に考慮して労働者を  
適當に指導し、各問題の階級性を説明し、資本主義を排撃  
し、資本制度を破壊して労働者自から政權を握り社會主義  
を確立するにこの必要を自覺せしめなくてはならぬ。

此の關係に於て議題「英國に於けるソウエート政權樹立  
の爲の行動綱領」の採擇されたことは共產黨の仕事の上に  
良き軌範となるのである。此の中には社會主義建設闘争の  
目的の説明、ソウエート政權樹立の手段方法資本主義が倒  
れて労働者國家が經濟的生活再建に當面する場合に労働階  
級獨裁は如何にして失業を解消し、労働者農民の一般生活  
標準を向上せしむるかを説明解説してゐる。

尙ほ大會は英帝國の版圖から離脱獨立せんとする植民地  
人民に闘争同盟を作ることに必要を労働者に説明理解せし  
むる上に一層努力することを共產黨の各地方機關に勧告し  
たが、黨自身も印度憲法案に關する「反帝同盟」の運動を  
極力支持し、各地に開催する反印度憲法案集會に参加すべ  
きことを決議した。

第十三回大會の決議は英國労働運動に關與する人士の十  
分に注意する價值あるものであつて、労働組合労働者、勞

働黨及び協同組合労働者が労働階級團結を結成する上の行動指南となり、寄生虫の如き資本階級を撃退して労働階級

政府即ちソウエート政權を樹立し社會主義建設に前進し得るこゝの保障である。

エチオピア國人の特徴

エ國の總人口に付ては種々なる説がある。殊に戸籍制度の完備せざる同國に於て正確なる數を知ることは不可能に屬するも大體に於て千萬人云ふのが通説である。其中主要なる人種はヒミツクに屬する半黑人種なるが、全數の三分の一は舊來より

以上は一般的特徴であるが、経験者が此外に喰んど日と同じうして強調せる點はエ國人が指導階級の者迄も兎角勤勉の風を缺き、努力、緊張、向上等の精神に乏しく、之と同時に別段大なる野心もなく大體無事を樂しむる云ふが如き習性で、特に筋内労働を厭視すること甚しく、之を全然ケラギエ族なる無宗教黑人種の手に移して省みず(エ國の労働はゲラギエ族の外アルメニヤ、希臘、印度の各人種の手に移されて居る)自己は貴族を主人に持ちて其の乘馬の供をし跳足にて槍又は鐵砲



報 桌

コミンテルンの對外政策

ロシア社會民主主義労働者黨(第二インター系)機關紙ゾチアリスチチエスキ・ウエースニツカ誌(社會主義通報)の五月號は標題に關して次の如き記事を掲げてゐるが其の要旨は左記の如くである。

コミンテルンは從來の對外政策を變更した。これを要約すれば獨逸ソアシズムはソ聯邦のプロレタリアート及び平和事業の主要なる仇敵なる故に、ソ聯邦の擁護者たるヨーロッパの諸共產黨は獨逸ソアシズムに對して積極的な非回闘争を行はなければならぬといふのである。このコミンテルンの政策は、獨逸の攻撃に備へて諸國(殊にフランス)と相互援助條約即ち防衛的軍事同盟

を締結したソ聯邦人民委員リトウイノフの政策の要求によつて生れたものである。獨逸ソアシズムの攻撃からプロレタリアートの革命を擁護すると云ふ限りに於いては、この政策は正當である併し外務人民委員會の對外政策を、コミンテルンの外交政策に取つて代へるだけでは不充分である。獨逸に備へるソ聯邦の防衛的軍事條約は、戦争の危険を含んでゐるが、この危険を豫め大衆に告げ、この戦争に處すべき大衆の態度を教へ、戦争前の大衆の教育を行はなければならぬ。また各國共產黨はソ聯邦を防衛すること以外に、各自國內における革命の成就を云ふ課題を持つておりこの課題の遂行のために努力すべきであつて、ソ聯邦防衛のみが共產黨の課題ではないのである。然るに今回のコミンテルンの新對外政策は、獨逸からのソ聯邦の防衛のみを各國共產黨にその課題として課し、その他の諸課題については、何等言及してゐない。これは明にコミンテルンの誤謬と言はなければならぬ。

コミンテルンはその對外政策を急速に且つ斷乎として改めた。コミンテルンの十箇國のヨーロッパ支部は、數週間前に檄を發表したが、この檄は共產黨機關紙自身が拂つたより、より以上の注意深い考慮に價するものである。ヨーロッパの平和事業も、ソ聯邦の安全も、獨逸ソアシヨ獨裁の存在も、これらすべてがその存在を賭してゐる尖鋭なヨーロッパの危機の情勢の下にあつて、ヨーロッパの諸共產黨はその政策を決定しなければならぬのである。かくの如き政治的危機の情勢の下にあつての政治的誤謬は、取返

しのつかないものとなり得る。現在ヨーロッパにおいて行はれてゐる大勝負事においては、勝負に参加するすべての者は一六勝負を行ふのである。

ヨーロッパの諸共産黨は、新なる指令を受けた。十箇國の共産黨の檄によつて宣揚された方針を概括すれば、それは次の如き主要なる諸點に歸着せしめることができる。即ち獨逸ファツシズムは、ヨーロッパのソ連邦のプロレタリアート及び平和事業の主要なる仇敵である、ソ連邦を擁護しながらヨーロッパの諸共産黨は、第三帝國に對して積極的なる共同の闘争を行はなければならないと云ふのである。政治的結論は非常に高遠なものである。即ちそれによる、ソ連邦と結びついてゐる國及び反獨アロツクに加入し又は加入しうる國の共産黨にまつては、敗北主義的立場は跡方なく清算されなければならないのである。それのみではない。コミンテルンは、敵は常に自國內にゐると云ふ、カール・リープクネヒトの古くからのテーゼをも改めてゐるのである。コミンテルンの西ヨーロッパの機關紙、ルンドシヤウニは、コミンテルンの檄を解説してゐるが、その中には次の如き箇所が存してゐる。

『今日の如く混亂せる情勢の下においては、闘争する労働者階級の間、情勢の本質の明瞭なる認識によつて、はなかくして、気分によつて決定されるセクト主義的傾向

要なる激發者となりつ、ある以上、主要なる敵がその他國に存し得ると云ふことは正しい。階級闘争は複雑化する。それは對外政策にも移行され、獨逸ファツシズムがソ連邦を攻撃する時には、諸國民間の戦争は純粹なる形での階級的戦争となり得るのである。

コミンテルンの新方針は實際的に合目的である。それ故に新方針が獨逸ファツシズムに對する國際プロレタリアートの行動を要求し、新なる威嚇的情勢の下においての積極的ソ連邦擁護の問題を、ヨーロッパ労働者階級の前に提起する限りにおいては、この方針は必要であり且つ正當である。若干の反對派的共産主義諸派が新方針の内容に對して向けてゐる批判は、根據のないものであり且つ有害である。共産黨反對派の一人たるドリオが、對外政策におけるヒットラーの協調を要求する時、彼は危険なる道に踏み出してゐるのである。この道は非自發的ヒットラー援助者の陣營へ直接に通ずる可能性のある道である。如何なる事情、如何なる時においても、共産黨の公然の政策が語るの如き反對のことを語らんとする共産黨反對派の努力は、彼等を最も不合理なる状態に置く可能性があるものである。

併し、この方針は、その若干の前提を基礎としてのみ、正しく且つ合目的なのである。これはその他の箇所においては、矛盾しており全體的に支離滅裂である。前述の「ル

が蔓延し始める。自國政府の帝國主義に對する苛酷なる闘争において、人々は屢々自國政府を主要なる平和の敵と見る傾向がある。それどころか彼等は、自國政府の敵に對して注意深い態度をとり、平和政策を行ふ希望を有するに云ふ自己政府の敵の口からなる確言を容易に信じようとする傾向を持つてゐる。敵を誤つて評價しながら闘争に向ふことは、混亂を導き又窮局においては破局に導くものである。

これは自己批判の言葉である。これは平和事業の敵を、ボルドウイン及びフランゲンであるを考へ、ヒットラーではないを考へた共産黨に對して向けられてゐるのである。西歐の諸共産黨には次の如き警告が與へられたのである。即ち彼等は自國の民主主義政府に對する闘争において、直接的に或は間接的に自己政府の敵の事業を容易ならしめてはならない。即ち彼等は自己政府の敵に對する協調的政策を、意識的に或は無意識的に行ひ又は許容してはならない。彼等は防衛的軍事同盟のファシヨ獨逸に對する政策を實踐的に要求し又それを支持しなければならぬと云ふのである。

この修正に關して何を言ふことができるか。この修正のなかには、若干の眞理が存してゐる。ある他國が積極的反革命の獲物となり、特定の國粹的革命が國際的反革命の主線が混亂しないであらうか、我々は我々の階級敵に同列におかれなくてあらうか、と云ふ新方針の作者達の大きな不確信を物語る問題を提起してゐる。もしも確固たる基礎の上に立ち、完成されたる戰略的概念を把握し、自己の味方に對して全部の眞實を語つてゐるならば、かくの如き問題は、提起されるものではない。コミンテルンの指導部は現在、二重の結付きをもつてゐる。即ちその一はリトウイノフの外交的見解、彼の『デリケートなる』外交的立場であり、その二はコミンテルンの傳統である。ソウェイト外交は、平和を維持し、諸同盟政策を成功せしめるために、一九一九年のヨーロッパの秩序維持に關係した、特定な外交的意味においての保守的なる諸國との共同戦線を完成しなければならぬ。ソウェイト外交は國際聯盟の言葉をもちて語つてゐる。そしてソウェイト外交は第三帝國の孤立化に關心してゐると云ふことを、言ふことさへもできないのである。ソウェイト外交が全部を吐露してしまふことをソウェイト外交に要求する者は誰もゐない。併しリトウイノフはラツアルを、またサイモンをすら顧みなければならぬ。然してコミンテルンはリトウイノフを顧みなければならぬのである。この故にコミンテルンには中歐及び西歐の共産主義的労働者に、眞實を全部打ちまけることはでき

ないのである。

十箇國共産黨の概は、部分的な真理を持ち得るに過ぎない。この概はコミンテルンの對外政策の新方針に賛成を表明してゐる、併しそれは新方針の結果について語つてゐない。ソウエート聯邦を現在脅威してゐる干渉戦争の危険に對する闘争は、十五年以前の方法とは異つた方法をもつて行はなければならない云ふことは、疑なき所である。西歐の主要諸國においては、闘争は自己の政府に對して行はるべきでない。反對に自國政府をして、他國政府即ちフアシヨ獨逸の干渉的反ソ戦争を不可能ならしめるようにしなければならぬ。以上の如き政策の結果が、相互援助條約即ち防衛的軍事同盟なのである。我々は最近次のことを目標してゐる。即ちフランス共産黨のマルセル・カシヤン及びガブリエル・ペリーは「ユマニテ」紙上において、確固たる非和解的政策を行ひ、ベルリンの相圖に應ずることなく、ソウエート聯邦を何らかの制限された意味の條約ではなくして、真正正銘の防衛的軍事同盟を締結すべきことを頑強にラヴアルに要求したのであつた。かゝる要求を提出する時フランス共産黨員は正しい。併しこの政策の意味を口を緘して大衆に語らず、この政策から必要なる結論を下さない時、彼等は正しくない。相互援助條約、特に佛ソ相互援助條約は、積極的平和政策の武器である。併しそれ

はまた戦争の武器でもあるのである。かくの如き條約かくの如き同盟を、白らの發意によつて要求する黨は、これを遂行する義務即ち、戦争實施の義務をも自らの上に背負ひ込むものである。攻撃するフアシズムに對する正當なる制裁として、豫め認められ受け入れられてゐる戦争に對しては、反對がなされるものではない。併し諸共産黨はこのことを、自己の大衆、自己の選挙者、また自己の幹部にさへも語つてゐないのである。彼等は大きな變動と最も重要な決断の前夜において、大衆を無準備、無方向のまゝ、て残しておかうとする危険を犯してゐるのである。

西歐及び中歐の諸共産黨は、防衛を目的とするソ聯邦を資本主義諸國との提携を是認してゐる。彼等は彼等の所屬諸國が、ソ聯邦との同盟においてフアシヨ獨逸に對して戦争を行ふことの特許許可を、ボリシエウイキーの指導部、ソ聯邦及びコミンテルンから受けてゐる。彼等はこの政策を行ふ許可を得るのみか、この政策を行ふ特別の委託を受けてゐる。然し彼等に對しては戦争に答へるに革命をもつてする義務、或は戦争の始めに革命のために努力する義務さへ課されてゐないのである。

この政策を世界大戦時代の社會主義的愛國主義と同日に談ずることにはできない。リトウイノフミウオロシロフの政策は、ヘンダーソンミスタウニングの對外政策よりは、よ

り多くヨーロッパ及び獨逸のプロレタリアートの歴史的利益に適應してゐる。併しこの政策は云へども、重大なる危険を結びついてゐるのである。この積極的な對外政策は革命的對外政策となり得る。併しそのためには自國の大衆に眞實を知らしめなければならぬ。即ち相互援助條約ソウエート・ロシヤの参加する防衛的軍事諸條約は同時に戦争の武器であり、またこれら諸條約中には大なる戦争の革命の可能性が含まれてゐる云ふことを、大衆に知らしめなければならぬのである。然してこのことの中にこそ戦争前における大衆の政治的教育の主要なる課題が存してゐるのである。

コミンテルンは西歐のプロレタリア大衆、共産黨大衆に戦争の際にソ聯邦を防衛する用意を要求してゐる。併しコミンテルンは防衛は新なる「神聖なる統一」の形をこつてはならない云ふことを語つてゐない。コミンテルンは、ソ聯邦防衛の課題を、ヨーロッパ労働者階級の自己自身の内部的諸課題から切離してゐる。コミンテルンは、ソウエート聯邦に對する政治的に成功的であり勝利的である防衛は、戦争の政治的指導権がプロレタリア的社會主義の中に移つた時に初めて可能である云ふことを語つてゐない。コミンテルンは、積極的戦争政策の可能性にプロレタリアートを備へしめてゐる。併しコミンテルンは、戦争と革命の

政策の諸課題を提起することを拒否してゐる。それ故にコミンテルンではなくして、マルクス主義的革命的社會主義が、西歐の労働者階級に、次の如く言はなければならぬのである。即ち戦争の際ソウエート聯邦を防衛することが必要であるならば、歴史は諸君に他の義務をも課するであらう。即ちそれは自己自身の仕事のため、自國內における政權の獲得のため、社會主義的ヨーロッパのために闘争することの義務である。

コミンテルンがその對外政策を變更することは、よいことである。併し外務人民委員會の對外政策が、コミンテルンの對外政策にこつて代るだけでは不十分である。ヨーロッパの危機の一層の發展から生ずる可能性の一つとしての革命的戦争政策の必要性とその目的が、共産主義的大衆に明示されないうちは、彼等は暗中模索であらう。今やスターリンは、コミンテルンの政策を百八十度轉回させ、フランス共産黨に對して反軍國主義宣傳の實施を禁止し、フランスの軍事的政策を協調してゐる。

フランス共産黨の反軍國主義闘争は、形式的にも内容的にも無意味なものであつた。併しこの反軍國主義闘争が清算されるのは、フランス共産黨が自らプロレタリアの對外政策によりよき別の解釋をなしたからではなくして、それはラヴアルミフランス參謀本部の要求に従つたスターリン

によつて、上から中止命令を受けたからである。古い罪惡が現れ始めた。即ちコミンテルンは政治的情勢を獨自的に評價する能力のない諸黨を養成した。そして今やそれらの諸黨は混亂に陥り、ぶつ／＼に分らぬことを言つてゐるのである。

コミンテルンの對外政策を、外務人民委員會の對外政策に代つて代へるだけでは不充分である。戰爭の場合にも、平和の場合にもプロレタリアートの獨自の對外政策が必要である。コミンテルンを無期限の休暇につかしましめるだけでは不充分である。プロレタリアの統一の終始一貫せる政策が必要である。

### 戰爭の脅威と反戰闘争

一九三五、六 コミュニスト・レビュー

新しい世界戰爭の徴候が段々濃厚になつて來て各國の勞働者を脅やかしてゐる。プロレタリアが結束を鞏固にして、戰爭及びファシズム反對の熱烈な行動を起すと共に資本主義反對の思ひきつた闘争を開始するに非ざれば、新世界戰爭を阻止若しは延期せしめることは不可能である。

資本主義世界の各方面は軍備に忙しく或は軍備の擴張を圖り、或は軍備の復興を計畫してゐるが、其の主なる目的

帝國主義國はソ聯邦を撃破して世界革命の根據を破壊し併せて資本主義國相互間の對立解決に資せんことを謀るものである。

對ソウエート戰爭準備も、明日にも戰爭が起るかも知れない程度にまで進んで居り、ファシズム獨逸は波蘭の支援を受け日本と同盟して何時にてもソ聯邦攻撃を開始し得る姿勢を整へてゐる。而して此の狀勢を馴致した上に誰が一番責任があるかといふは、戰後を通じて常に反蘇聯邦の主なる役割を演じて來たところの英國帝國主義者である。

英國の支援がなければ獨逸も日本も、これほど攻勢的態度に出ることは出來ないのである、殊に獨逸の昨今の猛烈な好戰態度については英國に十分の責任がある。

英國外交は獨逸の軍備復活を可能にし且つ其の戰闘計畫に便宜を與へた、即ち獨逸が歐羅巴に於ける戰爭の獨逸者として操縦するや英國政府は表面抗議するのだといふて公然と獨逸の明白なる戰爭計畫を承認したのである。

獨逸が目下ソ聯邦に擬してゐるところの戰爭の脅威及び獨逸帝國主義が其の一九一四年の夢を復活した結果として歐羅巴各資本國が捲き込まれた危險極まる渦巻きは、共に英國資本主義が自から求めたところなのである。

されば、英國の廣汎な大衆に此の事實を十分に了解させ、英國の帝國主義支配者が抱懷する厭ふべき戰爭政策を労働

は反革命戰を起してソウエート聯邦を攻撃せんとするにある。

然るに一面に於ては、帝國主義國間の對立激對が日／＼激烈に赴き何時衝突が突發するやも知れない状態に在るのである。是は烈しい經濟恐慌に襲はれ、革命的情勢の増進に恐怖する資本主義諸國がファシズムに戰爭に依つて活路を得んと焦慮する結果である。

資本主義諸國は已に六年間も激甚な經濟恐慌に悩まされ今や資本主義經濟は混亂状態に陥り一般恐慌は益々強まつて行くのである。

此の凋落しゆく資本主義と對照を爲して國運の隆盛を示すものは一九一七年の十月革命に依つて出現したるソウエート聯邦である。ソ聯邦は世界の六分の一を占むるのみなれども其の勢力は全世界に及んでゐる。

ソ聯邦に於ける社會主義建設は著しく發達し、今や同聯邦は社會主義の基礎に立つて、無階級の社會主義社會の建設に向つて歩武を進めてゐる。

衰微しゆく資本主義世界と隆々たる社會主義世界とは今日吾々の當面する根本的の對立である。ソ聯邦は偉大なる勢力を振つて各國の勞働大衆を革命化し、資本主義世界の打倒に邁進しつゝある。各資本國がソ聯邦に對し反革命戰の準備に忙はしいのも一面から言へば之が爲である。

階級の眼の前に暴露し、之に對する大規模の共同大衆闘争を展開することが必要である。

新らたに提案されたる強制航空訓練、空軍の大擴張、大衆が負擔すべき陸海軍の増額豫算は何れも國防安全の施設ではなく、戰爭準備の手段であつて、新たな血腥い大戦に大衆を迫ひやる豫備手段である。

英國帝國主義はソ聯邦を目標として盛んに戰爭準備を進めてゐる。さればこそ英國は歐羅巴に反ソ聯邦陰謀を企て、ファシズム獨逸の反ソ聯邦攻勢を獎勵し掩護するのである。

又英國が東方ロカール條約に賛成せず寧ろ之を阻止しようとするのも、ソ聯邦と不睦條約を結ぶのを避けるのも概近日本帝國主義が世界市場で英國の強敵となり又英國の亞細亞植民地に取り脅威であるにも拘らず、依然日本に軍需品を供給しソ聯邦侵略を獎勵するのも皆之が爲である。

英國はソ聯邦を攻撃せんことを總ての分子を獎勵支持すると同時に自からも同じ目的を以て要害の地點に空軍根據地を新設したり、陸海軍を強化したり、をさ／＼準備に怠りないのである。而して英國が獨逸の侵略的政策を支援するのは、一つには之に依つて歐羅巴の均勢を保ち佛國に對する英國の地位を強化せんが爲である。尙ほソ聯邦の存在は英國の植民地に取つて大なる脅威であるので、獨逸を敵

峻してソ聯邦を攻撃破壊せしめ、ソ聯邦領土を帝國主義者の搾取の市場化し、斯くして後顧の憂を除きたる後、全力を集中して大敵米國に向ひ、世界の覇を争はん底意をも有するのである。

近年英米の對立が深刻化しつつ、あるのは明かな事實であつて、現在南米で、各自の附庸國の觀あるボリヰイヤミ巴拉ガイ兩國が干戈を交へてゐるのは間接に英米兩國が交戦してゐるやうなものである。又英米兩國はコロムビヤミヰエネズエラの國境地方に於ける價值ある油田の管理を争ひ之が爲に此等南南米國間に戦争の危険が誘致されつゝある。

尙ほ英米兩國間には絶えず烈しい經濟戦が行はれて居り關稅や貨幣制度を武器として戦つて来たが、昨今では此の上には海軍及び空軍を備へて猛烈な競争が行はれてゐる。

太平洋方面に於ては皆に英米の競争のみならず日本も加はり英、米、日の抗爭錯綜を極め、太平洋は將來大戰の舞臺化しつゝある。而して日本は已に嚴重な防備を固めてゐるが英米は競つて強大なる海軍及び空軍根據地の建設に専念してゐる。

日本は英米との海軍平等比率を固執し、日本に甚大なる敵意を有する米國は太平洋沿岸各重要地に海軍根據地を設け艦隊及び空軍の大演習を行つて威力を示してゐるし、英

るゝのであつて、同聯邦を倒して諸問題の解決に資し、對立を醫さうとするのである。

今日迄新しい戦争が起らずにゐるのには多くの原因があるが、帝國主義對立の關係が複雑デリケートであることも一つで、又資本主義國及び植民地に於ける革命的情勢の旺盛なる今日戦争を起せば其の戦争が共産主義者の期待する内亂なるのを帝國主義者が恐れるのも一つである。併しソ聯邦が絶えず努力する平和運動が現在平和が維持されてゐる最大原因であることは言ふまでもないのである。

ソ聯邦は平和維持に全力を注いでゐるが、其の平和の爲の努力は要するに社會主義の勝利を齎らさんが爲の努力なのであつて、資本主義は之に反し強奪、克服、併合の新らしい戦争を起さなくては存在していけないのであるから、平和維持の奮闘は資本主義に取つては打撃なのであつて、また、其の壽命を縮めるものである。

ソ聯邦は其の平和政策を以て勞働階級の闘争を強化し、戦争を誘致する通路に障礙物を配置し、社會主義といふ力を以て自からを武装し、平和の擁護者を以て任じ堂々として武歩を進めるのであるから如何なる資本國も容易に手出をするこゝは不可能なのである。

ソ聯邦は其の平和政策に従つて諸多の國家と不侵略條約を締結し且つ侵略の意義を明にした、此等の條約は必らず

國はシガポール根據地の完成を急ぎ、密かに國防委員會員サー・モリス・ハンキーを加奈陀、ニュージールランド、濠洲に派して國防の連絡を圖つた事實がある。

太平洋方面に於ける帝國主義者間の反目對立は益々甚しく何れも支那を分割しよう互に嫉妬の眼を光らし、日本は已に滿洲を把握し、之をソ聯攻撃の足場とする一面、競争者を驅逐して支那に完全の覇を唱へようとしてゐる。

されば太平洋は爆發物を盛上げた火床のやうなもので、日米の關係が日に緊張する上に之に英國が参加して紛糾を重ねてゐるのであるから何時爆發して大事を起すやも圖り難い状態にあるのである。歐羅巴も亦同様の状態で火花が八方に飛んでゐるので何日何處から發火するか知れない危険状態に在る。

東阿に於ては伊太利ミアビシニアの關係が極度に緊張してゐるが、何故こんな状態はなつたかといふに、伊太利もフアツシスト獨逸及び日本同様に國內の經濟状態が逼迫してゐるので伊太利は併合戦に依つて此の苦境を打開しようとするのである。つまりアビシニヤが其の犠牲に供されたわけで一度東阿に砲火が開かれるれば全世界が再び戰禍の巷なる危険が多いのである。

資本主義の對立が益々尖鋭化し戦争の氣運を醸成するに連れ、帝國主義者の考慮は期せずしてソ聯邦征服に向けら

しも戦争防止の保障は云へないが、戦争と侵略者の行動を防止する上に與つて力あることは明かである。

ソ聯邦が平和維持に奮闘するお蔭で、勞働運動の地位は強化し、資本主義國に於ける革命運動も戦争の起らない其の間に、著々準備を進めることが出来るのである。従つてソ聯邦が斯くまで平和に努力するに拘らず、帝國主義者が戦争を開始するに於て、革命運動が其の戦争を内亂に化し帝國主義の戦争製造屋を打倒する便宜が増進しつゝあるものである。

ソ聯邦平和政策の近頃の大成功はソ聯邦と佛國間の平和維持條約の締結である。此の重要な措置はヒットラー及び同人を後援するところの英國帝國主義の戦争計畫を蹙踏せしめるものであつて、此の條約を締結するに至らしめた有力なる因子は主として佛國大衆が同國のブルジョアに加へた壓力なのである。

平和維持を唯一の目的とせるソ佛條約は當然各國の勞働者闘争を援助する結果となるのであつて、殊に佛國に於て大衆闘争の爲に又親ヒットラー態度を取る反動的及びフアツシスト分子攻撃の爲に廣き通路を開拓する結果を招来したのである。

佛英の資本主義新聞はソ佛條約は共産黨の革命的宣傳を禁遏し、佛國ブルジョアの資本主義的軍備機構及び國



防政策の援助といふ意味を含むものである。何故なら共同コミニケに「國防は弱体化せしめざることをスターリンは佛國が其の安全に必要な軍備を維持せんとする佛國の國防政策を諒解し是認する」とあるからだといふてゐるが其は反對であつて、是は平和を確保する上に必要な闘争の根本的性質を労働階級に示したのである。

スターリンの宣言は平和維持を相互に援助する各國家は侵略者に對抗するだけの軍備を有たねばならぬことをヒットラーに警告するものであつて、ソ聯邦がヒットラーの戦争計畫に深い關心を有つてゐるといふことを佛國大衆に十分に諒解させる爲である。

されば、スターリンの宣言は反ヒットラー闘争に於て佛國の大衆を一層團結せしめ、労働階級の政權獲得の上に一步を進めしめる効果があるであらう。

資本主義政府は資本主義利益の番犬であるから平和維持の上に何等の寄與をすることも不可能である。時には資本主義政府でも反戦主義者と同様に戦争を回避しやうとするこゝもあるが、それは他の強大な資本主義國から脅かされるやうな場合に起るのであつて、兩者の趣旨は全然異なるのである。それであるから佛國がソ聯邦と相互援助條約を取り結んだからして佛國が今後平和に専念すると安心するこゝは固より出来ない。何時其の政策を變更してヒットラー

抗し得ると信じてはゐない。帝國主義の反革命的攻撃に對し佛國が完全に抵抗を保障し得るものは「ソウエート佛蘭西」の外にはないことを確信してゐるのである。

佛國共産黨は徹頭徹尾平和の維持に奮闘してゐるのであるから平和維持を唯一の目的とするソ佛條約を當然支持するのであつて、此の條約に反對し延いてはヒットラーのソ聯邦攻撃に便宜を與へる徒輩を攻撃するのである。

ヒットラーがソ聯邦に對し戦端を開けば、佛國共産黨はヒットラーに乗ぜられるやうなこゝもなく又其の革命的綱領目的に反するこゝもなくソ聯邦の爲に佛國共産黨としての分を盡くし、反ソウエートの驍敵を倒す上に十分の努力を爲すであらう。

佛國社會黨の指導者等はソ佛共同コミニケに反對意見を漏らしてゐるが、かくてはヒットラーの攻撃を奨励するやうなもので危険極まることである、佛國労働者は宜しく速かに彼等の蒙を啓かなくてはならぬ。

何んといふても、ヒットラーの侵略的態度に拍車をかけた責任は英國に在るのであつて、英國支配階級中で政府の政策を左右する一部の者は獨逸の東方進出を自由ならしめる目的で行動してゐるのであつて、此の政策が東方のみならず西方にも脅威の種となり英國の地位に禍するこゝを英國ブルジョア階級中にも危惧するものが少くないのである。

に劣らない帝國主義に出るやも同じ難いのである。佛國の共産黨は始終一貫其の革命的政策を變へるこゝなく、他の資本主義國に於ける共産黨と軌を一にして資本主義國防政策に反對し戦争豫算を拒絶するに共に極力佛國大衆とソ聯邦の同志の結合を圖つてゐるのである。

佛國共産黨は労働者大衆及び軍人間に階級意識を深めることに努力し、兵役を二ヶ年に延長する法律案に反對してゐる、それは此の法律に依つて佛國資本主義は自國の労働者と植民地労働者に對する自分等の力を増進せんま圖つてゐるからである。又ブルジョア階級が提唱する國防政策に對しては革命的防衛、ソ聯邦の平和闘争支持並に戦争及びファッシズム排撃を以て之に策應し労働者の手に政權を獲得する上に一層強き行動を起さうとしてゐる。

佛國赤軍を興し、佛蘭西ソウエート共和國を建設するには革命的労働階級が團結して右の方針を以て進まなくてはならないのである。

労働者は誰でもファッシスト獨逸が又々人類を流血地獄に追込まうとしてゐるこゝを知つてゐるに同時に、若しヒットラーが愈々戦争を起せばヒットラーは烈しい武裝的抵抗に會ふことをスターリンが警告宣言したこゝも知つてゐる。

併しスターリンは佛國の武力だけで十分に斯る攻撃に對

る。

前にも述べた如く獨逸の再軍備を實現させたものは英國であつて、英國は自國の軍備が獨逸に遅れをまつてはならぬといふこゝを口實として軍備の大擴張を企圖し、最近の決議で現在の空軍を其の三倍にするこゝに決したのである。

斯くして英國資本主義は其の戦争準備に理由を附するに同時にヒットラーに向つては其の攻勢をソ聯邦に向けるやうに示唆するのである。

平和の爲でも、防衛の爲でもなく、戦はんが爲に戦争準備をするといふことが英國帝國主義者の意圖であつて、英國が何の程度に平和に願念してゐるかは、ヒットラーがソ聯邦を對象として爲す長廣舌の度毎に英國の示す態度に依つて明かである。英國政府の主なる政治家は其の度毎に公然ヒットラーの平和破壊の言明を歓迎するのである。

改良主義なる労働黨指導者等の支持援助がなくては英國政府は其の戦争政策を遂行することは出来ないのである。労働黨及び労働組合會議指導者等は國際聯盟の政策なる集團的安全保障の爲だに稱して、自分等の仲間であるこゝのブルジョア階級の戦争準備を庇護するのであつて、其の機關紙「デーリー・ヘラルド」紙は昨今臭氣芬々たる不面目な「親ヒットラー」説を表白してゐる。

「民主主義は獨裁に反對する」と言揚して労働黨指導者等はソ聯邦支持を弱めやうと努力してゐるのであるが、此の英國労働黨なるものは第二インターナショナル中の最大の政黨であつて又帝國主義戦争及びファッシズムの脅威を打破せんとする労働大衆の共同戦線に對抗する最大の障礙なのである。

労働黨及び労働組合會議指導者等は階級の敵に對抗する労働者の戦線を故意に分裂せしめんを圖り又た共產黨と革命的労働團との團結を妨ぐる方針を取り、却て資本主義の共同戦線を作ることに躊躇しないのであつて、此の事實は過般の皇帝銀冠式の際に明瞭に看取することが出来たのである。

サウスポートの會議で労働黨指導者は帝國主義戦争の際政府を支援する政策を可決せしめることに成功し、労働組合會議と共に各労働組合に通牒を發して労働運動の分裂を策し労働評議會及び労働組合から共產黨員及團士を驅逐することを要求したのである。労働黨指導者の態度は此の如きものであるが、彼等が戦争反對を言明する場合があつても其は虚言である又ファッシスト國に對する自稱「民主」戦争の場合に英國資本政府を支持するのは労働者の利益であるとの彼等の宣傳は労働階級を欺瞞するものであつて、資本主義の利益擁護の爲に労働階級を犠牲なる戦争に迫り

近し來る情勢にあるので、戦争反對に大衆を結束することに刻下の急務であり、殊に英國帝國主義が戦争屋として主要な役割を演じてゐるのであるから、英國共產黨及び革命的労働者の責任は重大である。

マンチエスターに開催せる共產黨大會は「汎ゆる問題を超越する刻下の急務は資本主義の攻撃、ファッシズム及び戦争に反對して活動的な労働階級共同戦線を組織することにあり」と宣言してゐるが是が共產黨の遂行すべき最大任務である。

労働階級及び眞に平和を愛好する其の他の分子を含む一大闘争戦線を興し、ソ聯邦の平和政策支持、英國の戦争屋及び之を援ぐる労働黨指導者の暴落を目的として結合し、平和維持の爲に盡瘁するソ聯邦と佛國の努力に協力することを衆國政府に對し強硬に要求することも必要な任務である。

此の運動を成功せしむるには労働組合、労働黨支部、協同組合團體の會員を動員する上に横はる障礙物を取拂ふことに特別の注意を拂ひ又軍事工業、武器輸送業等の労働者の支持を得ることに努め且つ兵士にも労働階級の状態を知らしむることが必要である。

總ての經濟的闘争及び労働者の大衆的行動は反戦闘争と

込むものである。

例へば資本主義の英國ミファシスト獨逸との戦争は反動的戦争であり又掠奪戦争である。であるから互に自國が敗北するやうに又政權獲得の目的を以て其の戦争を内亂に變化せしめるやうに努めるのは労働階級の任務なのである。

伊太利帝國主義は將にアビシニヤに對して掠奪戦を開始しやうとしてゐる。而して伊太利共產黨及び社會黨の共同説明書にいふ如く、此の戦争には伊太利帝國主義が有色國民を征服せんとする外に何等の理由もないのである、されば國際プロレタリアはアビシニヤ國民の獨立を援け、資本主義奴隸制度から國民の解放を圖らなくてはならない。

それで英國労働黨は日頃言明するやうに、獨立を脅かす侵略者に反對してアビシニヤを支援するやうに労働大衆を激勵してゐるかといふに、決してさうではなく、此の事にはあまり關心を拂はず、只だ切りに革命的労働階級の任務に忠實であるところの共產黨の攻撃に忙がはしいのである。

それであるから、共產黨は伊太利帝國主義戦争の脅威に反對闘争すると共に英國労働黨の不信を暴露詰問して其の勢力下に在る大衆を同志に引入る、ここに努めなくてはならぬ。

アビシニヤを手に始めに漸次ソ聯邦に對する革命戦争も接

連絡せしめ、共產黨を強力なる大衆黨に成すことに全力を注いで邁進しなくてはならぬ。

佛國共產黨之を支持する革命的労働者が排外主義及び資本主義に反對して行動する立派な模範的事例を労働者に詳説して佛國の同志及び獨逸の反ファッシスト労働者との連絡團結を圖らなくてはならぬ。

又一面に於て、今や労働階級運動は戦争計畫打破の準備を整へて戻り、帝國主義者がソ聯邦に對して開戦するのに於ては忽ち起つて赤軍の爲に汎ゆる便宜を圖りソ聯邦を援助することを帝國主義者に了解せしめなくてはならぬ。

今若し帝國主義者がソ聯邦に對して反革命戦争を起すならば彼等は致命的の大打撃を受けるであらう。世界大戦の際には第二インターナショナルの背信行爲からして帝國主義は勢を得たが、今日では全く事情を異にし、社會主義の強力な傑出であるところのソ聯邦が嚴存するし又自己の赤軍を以て連りに其領域を擴めつゝあるソウエト支那があり、資本主義國及び植民地には到る處革命氣運が迫つて居り、其の上革命的プロレタリアの任務に忠實なコミンテルンは各國に其の支部を有つて統制に當つてゐるのであるから、事を爲す上の難易は到底比較にはならないのである。

今日吾々が戦争防止に努力する間に、労働者の團結ミプロレタリアの闘争力は益々増大してゆくのであつて總て之

が戦争勃発の場合に労働階級の勝利の保障となるのである。

### 一九三三年極東反戦大會の決議

次に掲げるのは一九三三年九月末中國に於て開催したる極東反戦大會の決議の中「中國反帝國主義戦反ファシスト闘争決議草案」及「極東反戦反ファシスト大會決議」である。

該大會は世界反戦同盟の第二次世界大會の性質を有し、同大會後中國に「極東反戦反ファシスト同盟」(世界反戦同盟極東支部)各地に同同盟を組織し更に該大會出席の爲上海に至れる歐米代表は歸國後各自國に於て「中國人民朋友の會」なるものを組織して反帝、反戦、反ファシスト運動を世界的に緊密なる聯繫の下に進行すべく決議した模様であつたが、該運動は現在中共の黨勢衰微に伴ひ極めて不振なる状態に在りて、最近に於ては寧ろ該運動は孫殿英、陳銘福及徐謙等の經濟的援助に依り反將運動に利用せられ居るに云ふ者もある。

#### 一、中國反帝國主義と反ファシスト闘争の決議草案

二、三年前より日本帝國主義は世界的帝國主義戦争を再現せしむる新しき階段に着手した。此の大太平洋戦争爆發

する。彼等は工業及一切の生産者自身のソヴェト政權を建立したのみならず、之を擴大強化しつゝある。而して真正中國のため其の自由獨立並に統一の政權を爭取した許りでなく、一切の殖民地半殖民地民衆の解放運動に對する模範的成功の路を開いたものである。中國ソヴェト革命の徹底的成功は世界帝國主義の一種の重大な打撃であり、極東に於て發生した二種の帝國主義戦争に對する最も有力な反抗であり、太平洋平和に對する最も有力な保障である。

大會は即ち中國反動勢力支配下の區域内に於て群衆運動が依然澎湃として毎日の如く産業工人の自發的罷工闘争と農民の抗税、抗租並に局部的武裝闘争等、各處に瀰漫しつゝある。義勇軍は國民黨の壓迫と彈壓に逢ひ乍ら依然として白區に於ける抗日の偉大なる力量であり此の一切の革命行動の擴大統一は、中國民衆解放運動勝利の最後の保障であることを明かに指摘する。

大會は資本主義總危機下に在る帝國主義の最後の濺掻きたる冒險的行動として主要なるものは、ソ聯干涉と世界的大屠殺の再演であり、而して中國革命を消滅せんとする企圖は已に兩年來國際帝國主義が最大速度を以て之れが實現に努めつゝある事實及び太平洋上に於ける英、米、日の決戦、就中滿蒙新疆を根據地としてソ聯を攻撃する等の罪惡

は英、米、日各帝國主義列強の衝突をして極端に尖鋭化せしめた！ 但し日本の主要目的とする處はソ聯と中國革命に對するものであつたが爲め佛國、英國の積極的贊助と米國の善意的容認を受けた。

然し若し中國國民黨政府が一切帝國主義者に従順なる工具となることなく又國民黨政府の對外絶對投降と對日彈壓政策が無く、而して全國陸海空軍と警察憲兵を總動員して開明と革命勢力鎮壓に集中しなかつたなら、日本帝國主義の強盜戦争は當然夙に中國群衆の偉大なる抵抗を受けて挫折したであらう。

之に反し若し歐米帝國主義及び其御用機關——國際聯盟第二國際各方面の物質的援助が無かつたなら國民黨の血腥き統治も決して繼續されなかつたであらう。而して中國資産階級は帝國主義國家の資本家と共に無産階級の生活水準線を飢餓線下に陥れて共同の階級利益を計りたるのみならず、中國地主資産階級の資本が比較的薄弱なるのを以て、格外な利潤の條件下には一切の生産を破壊する反動政策を以てし中國工農群衆を無數に死の深淵に陥れた。

大會は最大の驚異と同情を以て中國の無産階級及一切の肉體的勞働者が六年來極度の搾取と壓迫と貧苦に堪へ、國際的、國內的反動統治の下に驚く許りの困難なる闘争をつゞけ、勇敢に勝利的闘争を繼續して居ることを確證

を常に實行しつゝあることを認むるものである。但し日本中國、印度及一切東方民衆が帝國主義の暴力に反對し國內反動統治とファシスト政權の運動に反對し、團結して堅固なる統一行動を執ることに依つて始めて極東戦争をして第二次帝國主義の世界大戦に漫延せしめんとする焦眉の急から之を救出するに出来るのである！

#### 二、極東反戦反ファシスト大會決議

大會は歐洲代表團の出席に對し満足の意を表し且つ西方工人と知識分子が極東戦争反對の闘争を支持されたことにつき意を強くするものである。且つ大會は宣言する！ 一 區大會の制止は中國に於ける帝國主義列強の代表と國民黨との合作の排斥を受け、後中國民族闘争に對する叛變を遺憾なく暴露し、帝國主義政府の虚偽を暴露した。彼等の「平和主義」は一個の假面に隠れた帝國主義侵略者を以て組織した國際聯盟の存在に過ぎない。

代表一行は歸國の上は反戦運動のため西方各部に於て一種の系統的運動を起し、極東委員會と密接に合作せられ度い、此の運用の目標は太平洋上の帝國主義列強が同時に中國の分割を計畫し居ることを指摘し、彼等は國民黨と共にソヴェト中國攻略の戦争を支持し居ることを指摘し、日本帝國主義反ソ聯の脅威は平和政策によりてのみ避け得ることを指摘せらるべきである。

何人にも之を諒解せしむる爲めに世界委員会は即時詳細なる報告を印發し代表團の一切の活動状況並に一切の關係材料を記叙したる論文叢書を印發し、即時大群衆の會議を組織し且つ「中國人民朋友會」を設立せらるべきである。此の宣傳運動はアムステルダム會議に於て定めた左の路線に従ひ各方面に於て具體的行動により完成せしむべきである。

- (1) 軍事豫算の投票を拒絶し、特に中國に於ける陸海空軍の駐屯軍の所要豫算を拒絶する。
  - (2) 中國に在る陸海空軍を撤退せしむることを
  - (3) 租界制度を廢止し不平等條約を取消す。
  - (4) 反革命國民黨政府に對する一切借款の批准を拒絶する。
  - (5) 工人團體に働き掛けアムステルダム反戰大會擁護の運動を起し極東に送る武器の製造と輸送に反對すること。
  - (6) 法律上ソヴェト政府を承認すること。
- 大會は西方の勤勞群衆を祝福し、且つ彼等がよく極東工人に對し其の共同の敵たる帝國主義に反對する爲めの闘争に全面的の支持を與へてあらうことを信するものである。此の闘争は戰爭の原因——資本主義——を剪除して一切の戰爭を破壊し廢除する處の唯一の方法である。

吾々は本工作状態が今の處明かに不満足状態に在ることを卒直に云はねばならない。尙一九三五年一月州黨委員會事務局は労働組合機關の工作改組の問題を審議し、支那朝鮮労働者間の工作状態の缺陷を明白に指摘し、黨労働組合、ソウエート其他諸機關に對し幾多の具體的指令を發したにも拘り、吾々は尙本工作上充分な効果を收めて居ない。例へば労働組合は支那人同志を三〇%朝鮮人を六〇%組合に加入したのみであり、支那人朝鮮人の大部分は未だに無學である。港に在る支那労働者の五〇%が無學者であるなこれが好例である。

州黨委員會事務局は當該諸機關に向つて支那、朝鮮労働者間に大衆的教養作業を展開し、彼等を労働組合及同情者グループ、或はコムソモールに誘引し社會主義競争及突撃運動に加入せしめ、俱樂部内の作業施設を改善し更に文化的奉仕をなして支那、朝鮮労働者の要求に應ずる等の義務を課したのであるが、今日迄これ等の諸問題は尙解決されて居ない。

同志クヅウニコフは、市黨委員會の行へる調査の結果、支那、朝鮮労働者間の工作問題に對する諸機關の關心は全く不十分なきが明かになつたと言つてゐる。然し吾々には何等の肯定的事績の一もなしと言ふのは當らない。數千の支那、朝鮮同志は生産に就業し積極的に社會主義建設に

上海新人學社發

一九三三・一・一〇 (S・U)

### 支那朝鮮労働者間に於ける共產黨工作

五月廿七日附浦鹽市發行クラスノエズナリー紙は、同月二十日開會されたる浦鹽市黨委員會總會に於て、同志クヅウニコフの「民族問題と民族政策」報告演説に關し、支那朝鮮労働者間の工作に就てと題し次の如き記事を掲載して居る。其の内容は特に東方民族たる支那朝鮮労働者に於ける黨工作の缺陷と、これ等少數民族に對するソウエート人の大強國的偏愛國主義的態度を非難し、レーニン、スターリンの民族政策を正しく遂行すべく即時對策を講ずるの必要を強調したものである。

同志クヅウニコフは自己の報告演説の初めに、民族問題の絶對的重要性を認め、黨が常にレーニン主義民族政策の正しい施行に非常な注意を拂つたことを特説した。

吾が地方特に吾が州は虐げられた支那朝鮮労働者大衆が友黨共產黨の持導下に自由解放戦をやつて居るころの殖民地或は半殖民地たる極東を境を同じうして居るが故に、少數民族特に浦鹽市に在る支那、朝鮮労働者間の工作は特に重大意義を有して居る。市黨委員會總會が支那朝鮮労働者間の工作問題を審議するのも當然であり、その政治的意義も更に重大である。

参加して居る。吾々のまごころには支那、朝鮮労働者中より資格ある幹部を養成する文化施設がある。支那人レーニン學校これである。こゝには將來ソウエート専門家となるべき支那人が二百人勉強して居る。又朝鮮人師範學校には五百四十四人の學生がゐる。

吾々のまごころには初等中學の民族學校が十六校ある。第八學校には寄宿舎も建設されてゐる。又一九三四年地地方最初の費を受けた支那人幼稚園もある。其他港灣、漁業機關、アコ會社其他に於て支那人、朝鮮人労働者が立派な仕事をしたまふ例が多數ある。

然しこれ等總べての立派な事績があるけれど、これを以て吾々の有する工作の全缺陷を補填することは出来ない。更に同志クヅウニコフは幾多許容すべからざる支那朝鮮同志に對する事實を述べたが、特に第九製粉工場、ベニヤ板製造工場、アコ會社等々に見受けられる大強國的偏愛國主義の事實を述べた。

支那朝鮮労働者の物質的生計條件を改善する爲に闘争することは非常に重大な意義を有する。だが残念なまごころにはこの闘争が只今の處全く不十分である。こんな状態である爲労働力の流動が行はるゝのである。同志クヅウニコフはトルグボルト、蟹工トラスト、極東漁業トラスト、メジユプロムソウエート其他に働く多數支、鮮労働者が物質的待遇

條件が悪いので解職すると云ふ状態を数字で引用した。支那及朝鮮労働者間の大衆的及政治的工作は非常に下手である、社会主義競争や突撃運動は全く無視されて居る。だが吾々は個々の立派な模範作業を有して居ることは事實である。例へばトルゲボルトに労働する支那、朝鮮労働者の六〇％は社会主義競争に参加し三〇％は突撃隊員である。又個々の班は生産プログラムを立派に履行し、社会主義競争の條約を締結して居る。然るにも不拘支那人班間に結ばれて居る條約が露文で書かれて居るのは面白いことである。支那人同志はそれを讀むことさへ出来ないで居る。

更に同志クヅニコフは労働組合機關の工作に非難を加へて居る。労働組合機關、特州労働組合評議會に働く共產主義者でさへ州黨委員會の直接命令があるにも不拘、支那朝鮮労働者間の工作を進展するに當然なすべきことをなして居ない。そして労働組合に働く共產主義者でさへ州黨委員會の指令内容を了解せないものがある程である。

同志クヅニコフは支那及朝鮮労働者間に全面的の工作を展開する爲の一切の機會が文字通り存在して居ることを指摘した。吾々のところには本工作遂行の爲完全に準備された多數の共產主義者及コムソモールを有する。依つて吾々の爲すべきことはこれ等幹部を決定的部署に正しく配置し、彼等の工作を正しく組織することである。

同志クヅニコフは——吾等の使命は支那及朝鮮同志の優秀部分より黨活動分子を養成しこれを扶植することに即時着手することであると——云つて居る。吾々は支那及朝鮮労働者の文化的生計的奉仕に云ふ行動プログラムを即時作成せねばならぬ。更にインターナショナル的教養事業を廣汎に建て民族政策の有する曲垂に反對し、全ての吾が機關及官衙、共產主義者各自がポリシエウイック的にレーニンスターリン主義民族政策の實施を計るべく闘争せねばならない。支那及朝鮮労働者間の工作に關する地方黨委員會及州黨委員會の決議はこれを無條件に履行せねばならない。若し吾々がポリシエウイック的に本事業に着手するならば（當然なさねばならぬことであるが）必ずや最も近き將來に於て支那及朝鮮労働者間の工作を改善し得るものである。

(Fukui)

### ソウエートの輿論と日本

一九三五年六月三日附ソ聯政府機關紙イブウエスチャは、標題下「日蘇兩國の歴史的關係を述べ、ソ聯國民大衆は國際關係の推移と列國の政策遂行に大なる關心を有する」と論じ、ソウエート外交政策の成功を禮讚、最後に日本とソウエートは闘争手段によらずして平和裡に提携し行くことを信する旨のラデツクの所論を掲げて居る。尙本論文は、シヤパンタイムス日蘇特

輯録に寄稿せるものなる旨を附記してある。

目下日蘇兩外交當局間には、兩國間の各種難問題解決に關して交渉續行中なるを以て、吾等外交評論家は現在日蘇間の實際問題に關して論評することは避けねばならぬ。であるから最も賢明なる方法は具體的問題に觸れずして、一般ソウエート市民が日本に關して如何なる考を有し又彼等が日本に對しソ聯邦が如何なる關係にあるかと考へてゐるかといふ如き問題につき論ずることである。

一國の大衆の他國に對する態度は屢々其歴史的追憶よりして出發する。

即ち兩國が同時に共同して戦争に参加したるか、一國が他國に對して戦争を仕掛けたるか、一國民が他國民に對して大なる權勢を振つたるか、いふ歴史的追憶より出發する。

而し日蘇の歴史的接觸は餘り大したものではない、殊に日露開戦迄兩國の接觸は極めて稀であつた。日露戦争にてロシア人の腦裏に大した痕跡を残して居ない。彼等は日露戦争の敗戦の責をツアリーズムに歸し戦争の不幸に關して大なる怨恨をツアリーに對して懷いて居る。

日露戦争に比して一九一八—二〇年事件（西伯利出兵）は露人の腦裏により大なる痕跡を残して居るが日本は當時共同出兵國の一員に過ぎなかつた。

一九二三年度の日本の大震災は日本國民に對する大なる同情を喚起し又震災後の日本の復興日本人の組織的技術的能力の偉大さには大なる尊敬の念を生ぜしめた。ソ聯の大衆は日本に對して「歐洲人的態度」をさる事を止めにした。即ち日本の軍備に對する恐怖心やアジア民族に對する侮蔑の念を去るに至つた。

ソウエート民衆の大部分はアジア人である。而して我が國が歐亞の兩大大陸に股がり居ることを以て大なる誇りを感じて居る。

この事實は我民族に大なる歴史的振動を與へ又アジア民族に對する共鳴を覺えしめて居る。

一九三一年以後吾國大衆の氣持の中に動搖が生じた。滿洲に於ける日本の政策は吾等に何等かの共鳴を覺えしめたさ余は言はない。吾等大衆が育まれ、勤勉なる支那労働者が共鳴を感じつゝある文化の國際性は吾等農民労働者に日本の政策を是認することを許さない。しかし我等大衆はこの中に於て大なる歴史的勉學をなすを得た。

大衆は事件を寫實的に解剖審議して各民族は皆自己民族を救はねばならぬ。同時に労働階級の解放は其獨特の手段方法を以て行はねばならぬと云ふことを知るを得た。

滿洲事變並上海事件に對する遺憾の念は其後日本の若干有力者の極東蘇領攻略の演説が行はるゝと共に我等の大

る不安は代はるに至つた。  
されば吾政府の沿海州地方防備計畫は大衆より大なる歓迎を受くるに至つた。

極東赤軍の歌「吾防衛の堅固なる支持」は吾國民歌なるに至つた。吾空軍に對する大衆の態度は吾子に對する態度と同様なるに至つた。而し此の内には微塵も侵略的見解や氣持はない。

吾民族即ち大なるレアリストは「危険は無防備中に伏在すること」又「防備は他國の覬覦を許さざることに存する事」をよく了解して居る。

ソヴェト政府の政策は絶對的防禦政策であり、又平和政策である。其故始終大衆よりの支持を得てゐた。

東支鐵道賣却値段については、ソ聯國民が之れをもつて満足してゐる云ふを得ない。

農夫が其作物を賣るに際しては、缺損した値段で賣らうとしない。しかし此の値段に對する不満はソヴェト政府の權威、スターリン式指導に對する深き信頼の念をもつて吹き飛ばされてしまつた。

優秀なる商人は目前の利益ばかりを其目的にしてゐない。又僅か一回位損失した値段で賣つても之れを悔いない。即ち大局的打算の上に立つものであることを了解するに至つた。國民大衆はソヴェト政府の政策は將來に於ても鐵

の如く彈力あり又堅固でありよく自國の防禦なると共に世界平和のため又極東地方の利害の調和に貢獻するものなる事を確信してゐる。

吾聯邦の國民大衆は世界紛議の展開に各大國の政策遂行の上に大なる注意と興味をもつて監視を續けつゝある。

余はソ聯大衆の世界の各種事件に對する鑑識眼は英帝國上院議員等のそれに比して遙に高きにある事を信ずる。

これは學識（英上院議員なりとも大した學識は有してゐないが）よりするに非ずして確固たる實生活上の體驗よりするものであるからである。

彼等は露西亞が最近十五ヶ年間に於て如何に發達せしかを知悉して居る。彼等は彼等の血管中に躍る集團的血、肉、骨の力を感得して居る。

これ等集團的勢力は吾國の工業を偉大なるものたらしめ農村の大改造を行はしめ偉大なる赤軍を其地歩を創造し、之等が原因となり吾國は國際聯盟に招待され米國の承認を齎し得た。

或は英政府代表の訪英となり、佛國との協商となるに至つた。これらは皆一樣に吾國力發展の賜として生じたるものである。

然し吾等國民大衆は最も冷靜に資本主義各大國の陰險な政策を監視しつゝ、あり「他人の爲に菓を引出すの愚」を取

て行はない。

將來の日蘇間の親善關係の發達も以上の見地より出發すべきもので、東支鐵道の賣却の如きも日蘇間に不和の發生を企圖する第三國の陰謀を打破して兩國將來の親善關係増進に邁進せんとの念願より出發したものに外ならない。

若しこの親善關係が確立せらるゝに至れば（吾大衆は吾が政府が一意この目的達成に努力中なることを信じ居れり）自餘の問題は順調に解決の道につくべきものである。

吾等は防備に専念するもので、何國に對しても何等自發的に戰爭をしかけるものではない。

吾等は國民的智能と自由なる勞働が最後の勝利を得べきことを確信する。戰爭は何等の價値なきものたるを信ずる。

余は將來の偉大なる日本國民は其隣邦たる大支那及大ソ聯の國民と闘争に入らずして平和に提携し行くべき事を深く信ずる。

現時は正に睿智に立脚すべき時代である。中世時代的權謀術數に依據すべき時代でない。吾等は睿智の勝利を確信する。

外交的技術の類は末である、根本は兩民族の相互了解にあらねばならぬ。

而してこの相互了解は兩國國民の睿智に出發せねばなら

ぬ。

睿智は凡ての不可解よりする障害を突破する。

吾が國民は以上の如き信念に立ちつゝある、而して之れは正しき信念である。

余は日蘇兩國國民間には將來益々兄弟的親善關係が増大し行かん事を確信す、吾等は上記に基いて凡ての行動を行ふものである。  
(Koshicho)

### 全露共產黨中央委員會當面の宣傳工作に關する決定

一九三五年六月十四日附ソ聯共產黨機關紙プラウダは、標記決定を掲げてゐるが、右は、黨の宣傳員工作が、特に夏季に於て弛緩する傾向あるを戒め、之に對し黨の政治教育工作を季節的ならしめざるよう、其の活動方針を指示したのである。

全露共產黨中央委員會は、或る種の黨機關が夏季に於て宣傳員の工作を弛緩せしめる傾向あるを許容し得ない。

黨の政治教育工作は「季節的」性質を帯ぶることを得ずして、一年を通じて組織的に行ふべきものとす。

全露共產黨中央委員會は黨諸機關に對し左の如く提議する。即ち、黨諸學校並にサークルの工作は標準的劃一的終了期限を設くることなく、又計畫の拙速成ひは机上の形式

的遂行を避け、以て初等政治教育、黨史及びレニニズムに關する學校及びサークルの諸課程を完全に遂行すべきこと。黨委員會は各サークルに於て其の工作を終了し、サークル員の黨綱領並に政策への精通の程度を檢査することを要する。但し本檢査を以て試験となすことを禁ずる。

候補者學校終了者の爲め、黨史の基本段階研究サークルを夏季期間中開催し、サークル員の將來の系統的黨史研究の爲めの準備を爲すと共に、現在の政策並に國際情勢の諸問題に關するサークルを組織することを要する。

黨史の系統的課程を履修したる黨員のため、黨の史的段階をより一層研究せしむることを要する。本段階の通過は黨員にミリ我が黨の勝利を獲たる條件並に手段を理解する上に必須なるものである。

特に説明の要あるは、我が國のマルクシズムが、マルクシズム最大の敵たる人民主義（人民自由主義其他）との闘争に於て、即ち其の觀念形態、政治闘争の手段並に方法（大衆的黨の組織を除かんとする個人的テロ）の喫破の基礎の上に成長し、強化せることである。

各黨員に對し、マルクシズム・レニニズムが先づ舊人民黨員との闘争に於て、其の後更にメンシエヴィキ並にエス・エル黨員、社會革命黨員との闘争に於て成長し、強

産黨中央委員會並に區委員會に對し、委員會附屬宣傳煽動活動部を組織し、黨委員會の使命に副ひ、宣傳煽動工作を行はしめ以て本活動部を組織的に指導養成することを提議する。

宣傳工作上の「季節性」を清算すると共に、宣傳員の養成並に再教育中に存する季節性を清算し、一年を通じて組織的に宣傳員を養成しなくてはならない。

全露共產黨中央委員會は黨機關に存する次の如き實情に對して警告を發する。即ち宣傳員幹部は短期の夏季期間中宣傳工作を離れ、早急且つ不注意に編成した學課を、粗雑に撰擇せる教師の儘終始し、其の結果宣傳員は正當なる養成を受け得ざる實情に在る。

今後は、黨機關は黨史及びレニニズムに關し、宣傳員の養成及び再教育に特に注意を拂ふことを要する。

上述の方針に對しては、精査せる宣傳員を選抜し、之に良き教師を與へ、更に黨學校及びサークルの政治教育水準は一に以て宣傳員如何に依るものなることを考慮しなくてはならない。

全露共產黨中央委員會

### ブラウダ紙の見た北支問題

集報

化し而して勝利を獲得せることに精通せしむることを要する。

特に十月革命後の最も重要な諸段階並にトロツキーズム、トロツキー・ジノヴィエフ派、右翼偏向派「左傾的」共產主義者及び其他の黨反對派との闘争に深く精通せしめることを要する。本研究はレニニニスターリンの著書、黨大會、黨會議及び黨中央委員會總會の諸資料に基きて之を行はねばならぬ。

尙之に並んで、全露共產黨中央委員會は、マルクシズム・レニニニズムの古き文献の各個に就ての研究サークルを創設することを勧告する。

學校及びサークル開設中は、黨政策並に國際情勢の諸問題に關しサークル員と會談を行ひ、以てサークル員の不明とする點若しくは興味を有する問題の解明に努めねばならぬ。

初等政治教育を受けざる候補者並に黨同情者の爲め、次の如きサークルを創設することを要する。即ち、本サークルに於ては、サークル員の準備教育の水準又は學力に従ひ政治教育の教材に依り或は經驗に富める宣傳員の黨建設課程、活動狀況及び闘争目的に關する特別講演に依り、基本的黨綱領、黨組織及黨活動を熟知せしめねばならない。

全露共產黨中央委員會は州委員會、地方委員會、民族共

六月二日付ブラウダ紙は「北支に於ける日本の計畫」と題し察哈爾及河北省等支那北部に於ける反日滿行爲に對し日本軍部及政府の執れる態度が非難し、日本の執れる行動は北支一體及支那の分割を根本目的とする日本軍部の計畫を反日滿行爲云々の口實の下に實行せんとするに外ならぬとて次の如く論じてある。又六月十六日同紙はアル・ハマダンの署名ある「日本の北支支配」と題する小論を掲載してあるが、右は日本軍の北支支配を以て計画的なものとし、塘沽協定に依る非武装地帯設置を第一段階とし、以て日本内地の軍需資源の缺乏を補ひ、滿洲、北支及び蒙古を一九とする「大滿洲帝國」建設を企圖しつゝありと論じてある。

#### 一 北支に於ける日本の計畫

北平及天津城下に日本の大砲が轟き渡つた最後は一九三三年今から殆んど二年前のことであつた。日本軍の北平侵入は帝國主義列強（英米其他）の強力な抑制に依つてのみ停止されたのである。然し日本軍部は支那軍閥より塘沽に於ける「平和條約」一九三三年五月天津近郊の調印を勝ち取つた。塘沽條約は河北察哈爾兩省を抱括する巨大なる地域を「非武装地帯」とした。この外支那政府は日本の要求に依り平津地帯より自國軍隊を撤去した。

斯くて政治的にも經濟的にも最も重要な北支の一部は、實質上南京政府の勢力圏外に落ち込んだ。日本軍部は「非

武装地帯」全部をして支那より奪取した滿洲及熱河省を境界する緩衝地帯とした。又この地帯は日本軍部が北平及天津のみならず察哈爾省及綏遠省に於て其の觸手を延ばす根據地となつてしまつた。

日本商人は軍隊の應援下にこの地帯を最大の商業地盤として利用した。日本人は「非武装地帯」に數千萬圓に及ぶ各種商品を無税で輸入してゐる。現在北支一帯には日本商品が氾濫し爲めに他國の商品は全部市場を逐はれてゐる。特に特に注意すべき北支住民を毒する阿片や其の他の麻醉物の多量を日本人が「非武装地帯」に搬入して居るこゝである。

北支に於ける日本帝國主義の戰略計畫はこの二年間何等の本質的變化をなさなかつた。これに反し日本軍部や其の代辯者(支那ブルジョア及び官吏中より撰拔された)は北支に日本の監督權を設立する地盤堅めに相當の成功を収めた。支那ブルジョア新聞紙上に現はれた二、三の事實に依つても察哈爾省が事實既に日本軍部の監理下に在るこゝが證明される。察哈爾と隣接する綏遠省は西部支那方面特に蒙古共和國々境方面への作戦に最も戰略的意義を有して居るが、この方面には日本の代辯者間諜及別動隊が多數入り込んでゐる。北支に於ける日本の計畫の根本は次の二部分に分れてゐる。

下に置く云ふ意圖である。日本軍部の引用する熱河に於ける反日支那人暴徒とか、河北省長于學忠の「陰謀」とか云ふものは唯平津地方掠奪に便利ない實に過ぎない。

(Fukui)

## 二 日本の北支支配

日本軍部は既に久しい間北支の占領を準備してをつた。一九三三年五月に同様の企圖が他の帝國主義列強(米、英、佛)の壓迫によりて挫折した。然るに日本軍は、中國軍閥が屈辱的條件を以て塘沽「平和協定」に署名するや直ちに北平の城壁より撤退したのである。此の協定の結果河北省の大部分は「非武装地帯」に編入され、且つ事實上日本の完全な命令圏内に入るに至つた。

塘沽協定は該地帯内の支那政府による武装勢力の駐屯を禁ずるに至つた。同時に該地帯は日本人によつて北支奥地への進出根據地と變つたのである。

日本軍隊の北支侵入の原因として役立つものは、一九三五年五月末に熱河省に於て行動を犯した支那叛軍と關聯する入念に準備された「事件」である。日本軍隊は叛軍を窮地に陥し入れた後「非武装地帯」間に撤退するを餘儀なからしめた。斯くして日本軍の「非武装地帯」更に平津地方への攻撃の爲の口實がつくられたのである。支那政府の叛軍支持(時も時支那政府は叛軍の戦争の爲二個部隊を派

第一部は察哈爾及綏遠兩省に居住する多數の蒙古民族を統一して「滿洲帝國」の構成中に入るべき「蒙古國家」の建設である。この計畫をより具體的に實現せんとする日本軍部は、包頭、歸綏及豐鎮(綏遠省)張家口及多倫に大陸軍根據地(特に飛行場建設の必要が認められて居る)を組織する必要を可能と見做してゐる。

第二部は日支關係諸問題を一丸として抱括したのである。平津地方に於ける日本帝國主義の支配は支那の中央及西部地方への直接進出を保證する平漢鐵道及津浦鐵道の上への監督權設定は必要時に際し日本軍部が南京漢口濟南(山東省)開封(河南省)及上海に軍隊を易々移送し得る可能を與へた。他方平津地方は日本帝國主義が折角準備を整へて居る「大戦争」の場合にも同様北部の陸軍根據地となるのである。

日本軍部が今日北支那に進出を決意したのも偶然ではない。獨逸ファシズムの武装強化に依つて歐羅巴に複雑化した國際情勢は、支那に於ける帝國主義列強の活動を著しく弱め日本をして自由に振舞はせしむるの結果となつた。

日本軍隊今回の北支侵入の主要目的は支那をして滿洲占領を承認せしめ、平津地方を「非武装地帯」に包含せしめ斯くて北支全體を掠奪し、以て自働的にそれを日本の監督

遣した)の罪を鳴らすと共に、日本は之に最後通牒を突きつけた。最初は單に最後通牒が叛軍支持野蠻の爲め地方政權に爲されたものと豫想されたが、其の後續いて六月七日に、日本は次の如き要求を含む第二のより廣汎な最後通牒を支那政府に手交したのである。——「支那軍隊の平津地方よりの退去、北支地方より凡ゆる國民黨機關を撤去するこゝ、熱河省長于學忠の罷免「事件」に關する公式謝罪。」

南京政府は完全に屈服し、北支政權も亦何等日本の要求に抗しようとはしなかつた。彼等は一言もなく最後通牒の内容の遂行に着手した。日本は全平津地方を自己の統制下に置き、北支に於ける「勝利」を獲得したのである。

平津地方に對する日本支配の確立は對支日本侵略の第二段の開始を意味するものである。即舊黃河流域に跨る全支區域の占領である。而して此の際直接日本の攻撃を蒙る地方は、山東、山西、特に河南及び江蘇省の一部である。日本が本計畫を遂行するに當つては、北支支中支とを結ぶ處の主要鐵道幹線たる平漢鐵道並に津浦鐵道を日本の支配下に置くことによつて容易にされるのである。

河北省の次には察哈爾が攻撃を受ける番である。日本政府は察哈爾省長に三度最後通牒を提示した。日本は察哈爾より全支那軍隊の即時引揚げを要求し、省長宋哲元並に爾餘の中國官吏の罷免を要求してゐる。



北支占領の強行は日本に於ける軍需資源の極度の不足と  
關連してゐる。河北、山東、山西、察哈爾並に綏遠の諸省  
には鐵礦、石炭、石油が著しく埋藏されてゐる。之に加ふ  
るに、氣候條件よりして河北省は立派な棉花栽培地たらし  
め得るのである。同時に日本は此の五省（其の住民は八千  
萬を下らない）の市場を獨占することに成り、此處に自己  
の商品を賣捌くことが出来るのである。

日本帝國主義の當面の計畫は、滿洲、北支及び蒙古（熱  
河、察哈爾、綏遠）を一丸として「大滿蒙帝國」の建設を  
爲さんとすることに成る。最近の強奪は日本に既に現在此  
の新「國家」を組織させる可能性を豫定してゐる。而して  
この國家は同時に「大戰」による北方の變調に際し準備さ  
れたる背後となるのである。

日本軍部は將來の作戰發展に備へて軍隊の大部隊を北支  
に蓄積してゐる。平洋地方には四ヶ師團にも及ぶ軍部關係  
者が屯し、その行動半径は天津から舊黃河流域に迄及びこ  
こを必要にしてゐる。綏遠地方を占領する爲に多倫諾爾—  
グイニアンを中心として察哈爾にも軍部關係者が屯して  
ゐる。

日本軍部は素晴らしきテムボを以て北支、内蒙古の滿洲  
化並に第三段階——中部支那への軍事侵入——への準備計  
畫を實行してゐる。  
(H・K)

強制收容所に收容されてゐるのであるが、其の後收容所長  
に於て本人が十分にナチ精神を吸收して完全の市民に成  
つたこと認めらるれば釋放されるのである。

こはいふものゝ此の措置は疑もなく、外國の狀況を外國  
思想が此等の人々を介して獨逸に傳播することに防がうこ  
する政策を含んでゐるのであつて、相當期間薰陶すればナ  
チの指導精神に背反するやうなことを好んで吹聴する者  
もなからうとの考からなのである。

ナチ政府は斯く非ナチ思想の輸入を防遏する一面に  
於てナチ思想の輸出を奨励してゐるのであつて、外國に  
行かうとする獨逸人が外國人にナチ思想を吹込むこと、  
少なくとも外國に於ける非ナチ思想を打消することに努力  
するやう要求されるのは珍しくないことだ、實際外國へ旅  
行する獨逸人は第三國家の有爲の使節だといふても過言で  
はないのである。L. D. V. (L. D. V. といふ二つの獨逸  
の公認自動車俱樂部は左記の宣言書に署名して提出しな  
くては、自分の車で國境を越えることの出来る證明書を貰  
ふことが出来ないのである。

予は、A. D. A. C. 若しくは A. C. 俱樂部が、獨逸から脱走  
するのだといふ疑若し資金を外國に持出すのだとの疑の  
ない會員に自分等の自動車で外國に出る許可證を交付す  
ることに就て、國家秘密警察に對して責任を負ふてゐる

歸來獨逸避難民の取扱振

一九三五、四、一二、マンチエスター・ガーチアン週刊  
獨逸を去つて數ヶ月間も外國に避難した後獨逸へ歸來す  
る人々は、最近では人國と共に官憲から逮捕されるのであ  
る。

ナチ獨裁の初めにテロルを怖れて外國に避難した猶太  
人の中には昨今では獨逸の事態も改善されて、自分等も大  
概安全だらうとの考へから、そろゝ歸來する者があるが  
何れも國境で逮捕されて強制收容所に收容されてゐるので  
あつて、獨逸の反猶太熱は少しも減退せず却つて今年にな  
つてからは強くなつてゐるのである。

殊に奇異に思はれることは、猶太人でもなく又政治的嫌  
疑者でもない人々が、久しく外國へ滞在してから歸國する  
と逮捕されることである。

獨逸に居住しなければ——官憲は逮捕の理由をかう説明  
する——ナチ精神を吸收することは出来ない、それで、  
さういふ人々が第三國家の市民として缺點のあるのは勿論  
である。であるから二、三ヶ月以上（期間を明示せず）も  
外國に在りたる者に對しては薰陶して此のナチ指導精神  
を吹込むことが必要なのである。かうした理由から既に若  
干名は國境若しは歸來させるころを捕へられて、修養の爲に

こを承知してゐる又俱樂部は政治に關係することを許  
されないことも承知してゐる。

予は會員の義務を守り、外國滞在中は獨逸に有害な風  
評の打消に努め且つ自分の商業關係を利用して獨逸の買  
易及び産業の發達に留意することを宣言する。

新疆の面積と人口

新疆の面積は未だ曾て地に實測定したものがなく、  
單に地圖の上で測定するのであるから人によつて算出  
する面積が異なるが、大體五十萬乃至六十萬平方里と推  
定され、支那本部の約三分の一、日本の二倍位であ  
る。人口は尙更確實數を知ることは困難で、二五〇—  
二六〇萬人と見られ、各種の民族が雜居して各自言  
語、風俗、宗教を異にしてゐる。民國二十一年發表の  
主なる種族と人口は次の如くである。

トルコ族	一、九五〇、〇〇〇
支那人	四〇〇、〇〇〇
蒙古人	一三〇、〇〇〇
滿洲人	三〇〇、〇〇〇
漢回(東洋人)	一、二五〇、〇〇〇
キルギス人	四〇〇、〇〇〇
カザン人	一〇〇、〇〇〇



### 倫敦に於ける獨逸の秘密警察

一九三五年四月六日附ソ聯邦共産黨機關紙「ラウダ」は、倫敦特派員の通信による標題名の記事を掲げ、獨逸政府は現在倫敦市中に秘密警察を設け、國外に於ける舊獨逸無国籍人の反ファシズム運動を弾壓しつゝありと報じて居る。

英國々内に舊獨逸無国籍人を相手とする獨逸の國家社會主義者の積極的なテロル團が組織されてゐるこゝが暴露されて以來一般に大きな恐怖の念が抱かれてゐる。一部の間に於ては直ちに

此のテロル團の活動を糺明す可しとの聲が起つてゐるが、茲にデイリー・エクスプレス紙の此れに關する記事を引用して見る。

「果して我國内に於て外國の秘密結社が活動してゐるであらうか、若し活動してゐるならば、此れは根柢から撲滅しなければならぬ。若し倫敦に所謂「青色の家」が在るならば、此れは閉鎖せなければならぬ。伯林の密使等が倫敦に集合して騷擾を企て舊獨逸無国籍人を迫害せんとしてゐるならば彼等を追放しなければならぬ」。

所が事實「青色の家」が倫敦に在る此の家は街の中央に在つてレストランソゴの看板を掲げて表面を胡亂化してゐる。此のレストランには倫敦の國家社會主義者が多數出入をして、指令の授受等相互連絡を計つてゐる。彼等は秘密活動のために更に別の場所を利用してゐるが、其の一ツはトレイド・ユニオンの有名な俱樂部となつてゐる所

であつて、ウエゼマンが最も足繁く出入りしてゐる。彼は此處にスパイ及び宣傳の本部を置いてゐる。彼は多くの労働組合の重要人物から信用を得て居り、嘗て獨逸労働組合運動の代表としてベイムートに於ける祝祭に招待されたことがある。

ウエゼマンは自分が労働組合に關係してゐる事を利用して舊獨逸無国籍人の間に各種の情報を蒐集し、彼等を煽動してゐる。彼も亦國家社會主義宣傳家の一人である。

本日デイリー・エクスプレス紙は獨逸の秘密警察の自國外に於ける活動を攻撃した左の論文を掲げてゐる。

「獨逸の秘密警察が其の第一の義務としてゐるものは、何等かの理由でヒットラーの逆鱗に觸れた凡ゆる人達及び機關に迫害を加へることである、獨逸の秘密警察(ヘスターボ)は全世界にスパイ網を張り、宣傳省に連絡を保つて其の指令を受けて國外にスパイ陣を

設け舊獨逸無国籍人を迫害してゐる」。

デイリー・エクスプレス紙の言葉を籍りて言ふと、ヒットラーの第一の任務はボルセヴィズムの闘争である。

デイリー・エクスプレス紙は「ヘスターボは上級機關の許可なくして獨逸で反政府分子に對する凡ゆる迫害を遂行する事が出来る」と述べ、ヒットラーが獨裁的に振舞ふこゝが出来るのは斯の如き伸縮自在の権限を持つてゐるからだと特に強調してゐる。

デイリー・エクスプレス紙は更に「チエコスロバキヤの旅館でレツシング博士がヘスターボの手先のために暗殺された。又ヘスターボの手先二名がヤコフの掠奪に参加してゐる。ヘスターボの手先は外國に於て斯かるテロル行動を行つた後、何時も直ぐ獨逸へ逃走してゐるが、此れに關し、獨逸政府は白を切つて知らぬ顔をしてゐる。其の實ヒットラー及び首腦者は彼等の手先の

海外に於ける行動に就いて一々報告を受けてゐるのである。國外に居る獨逸の外交官及び外交機關はヘスターボの秘密手先に依つて常に其の行動を監視されてゐる」と述べてゐる。

丁度英國に於て、國家社會主義テロリスト派遣の要求が各地に起り、一方英國政府が舊獨逸無国籍人二名の死亡事件を調査してゐる時、英國の國家社會主義者一派は「英國と親交關係に在る獨逸政府に反對して、獨逸祖國の名譽を傷付けてゐる無国籍人」に對して闘争運動を行ふ様になつた。英國の國會議員にして國家社會主義者親交のある若干の頑固な人々が既に此の運動に加入してゐる。一例を挙げれば保守黨員のライオンズは議會に於て内相に左の質問を試みんとしてゐる。即ち「内相は、舊獨逸無国籍人が特に獨逸政府に反對する政治活動から手を引くことを誓約をすれば彼等を英國へ入國せしめるか否か」。

舊獨逸無国籍人フアビアン及びブルムの謎の死亡原因は今尙不明である。本件の調査の經過に關し最近に至つて始めて發表された資料及本件に對する新聞の論評に依れば、この反ファシスト活動分子二名の變死事件の真相は遂に闇に葬られるのではないか一般に思はれてゐる。

此の點に付いて若干の新聞が本事件は他殺でなくて自殺であるとの説を主張してゐるのは特に興味がある。自殺の動機として挙げられてゐるものは、金錢上の困窮、査證延期を拒絶されたこと、最後に「戀愛悲劇」等々であるが、此れは明らかに皮肉な見方である。此の陰謀事件には裏面に政治的な關係のあることは明である。

兎もあれ倫敦にある國家社會主義テロル團は横柄極まる放埒性を發揮してゐるが、此の事實は日増に明になつてゐる。

フアビアンの親友の證言に依るに、

彼女は金銭上困る様なことはなかつたとのことである。他面保守的なデシリ、テレグラフ紙ですら、彼女は失戀の結果自殺をする様な質の女ではないことを認めてゐる。彼女は舊獨逸無國籍人を援助し、熱心に活動してゐたしヤコフ事件の糾明に助力してゐた。

ニューヨーク・クロニクル紙の報道に依るに、フアビアンは三月廿八日に巴里の夫に宛て、「私は非常に忙しいのだが當地では今非常に面白い事件が計畫されてゐます」と手紙を書いてゐる。此の手紙は明かに、彼女が獨逸フアシズムの手先が行つてゐる活動を暴露する爲め如何に奔走してゐるかを物語るものである。彼女の夫がニューヨーク・クロニクルの通信員に語つた所に依るに彼女は、英國の國家社會主義者を極力妨害してゐたことである。色々の事情を綜合して見るに、フアビアン及びゾールの暗殺事件はヤコフ掠奪事件をやつた國家社會主義一派

の犯行である。

内務省代表クルークセンクは此の事件は公開裁判に付して調査するを聲明してゐる。

本日タイムズ紙はカルカッタ通信として獨逸汽船「リフテンフェルド」號内に於て武器密輸入の廉に依り檢擧された獨逸人二名は三ヶ年の懲役を命ぜられたと報じてゐる。(H・K)

### 南京政府の密偵養成規則

南京政府軍事委員長蔣介石は密報勤務者養成の目的を以て南京に一學校を設け應々之に臨み激勵して居る趣であるが同校規則は次の如きものである。

一、支那參謀本部語文、補習班教育大綱

第一章 總則  
第一條 本班教育ノ目的ハ學員僞名ノ下ニ諜報ノ智識ト技能ヲ以テ諜報ノ専門人物ヲ養成スルト同時ニ犧牲心

ヲ養成シ國ト公共ノ爲メ忠實ニ服務スル精神ヲ養ヒ重要ノ諜報工作ヲ負擔セシムルニアリ。

第二條 本班ハ教育期間ノ短期ナル爲メ學術各科ニ注意シ學術科ヲ講述スル時ハ努メテ實施ト連繫適合セシメ應用ニ適合セシム。

第三條 本班教育ヲ學、術科ニ分ツ共ノ課目左ノ如シ  
第一、學科

- |                 |    |
|-----------------|----|
| (一) 重要課目        | 時間 |
| 1、精神訓話          |    |
| 2、諜報業務          | 五〇 |
| 3、偵探學           | 五〇 |
| 4、通訊法           | 三〇 |
| 5、暗號學           | 二〇 |
| 6、派遣地附屬ノ陸海空軍ノ概況 | 七五 |
| 7、派遣地附屬國ノ政治經濟概況 | 七五 |
| 8、軍事學           | 六〇 |
| 9、兵要地理          | 四〇 |

- |        |    |
|--------|----|
| 10、心理學 | 二五 |
| 11、外國語 | 八〇 |
- 第二、術科

- |             |    |
|-------------|----|
| (一) 重要科目    | 時間 |
| 12、化粧術      | 二〇 |
| 13、簡易測量術    | 三〇 |
| 14、速繪術      | 二〇 |
| 15、攝影術      | 二〇 |
| 16、模造術      | 三〇 |
| 17、爆破術      | 三五 |
| (二) 補助科目    |    |
| 18、拳術       | 六〇 |
| 19、馬術       | 二五 |
| 20、自動車運轉術   | 二〇 |
| 21、遊泳術      | 一一 |
| 22、拳銃射擊術    | 六  |
| 23、タイプライター術 | 一一 |

第四條 諜報専門學術科ハ主要及補助ノ二十餘門有リ、皆諜報員ヲ専ラ研究シ而シテ熟練暗記スルモノナリ

第二章 修業期限  
第五條 本班修業期限ハ半ケ年トシ毎

週ノ學、術科合計三十四時間(日曜日紀念週ハ二時間ヲ含ム)各科時間ハ五分ノ三ヲ占メ術科五分ノ二ヲ占ム  
第六條 學術科ハ外國語分班ノミヲ教授スル外其ノ餘ノ各科ハ合班教授トス

第四條 修業期限ハ民國二十三年十一月二十六日ヨリ同二十四年五月二十五日迄ノ合計二十六週ニシテ兩期ニ分ツコト左ノ如シ  
第一期 自二十三年十一月二十六日 至二十四年二月二十四日  
第二期 自二十四年二月二十五日 至同年五月二十五日

第三章 試驗  
第七條 各學員ノ學術理解程度ヲ明瞭ニスル爲メ三ヶ月毎ニ試驗シ其ノ成績ヲ考察シ以テ教育改良ノ標準ニ供ス

第五條 全期休業日數左ノ如シ  
一、星期日 二五日  
二、新年及紀念日 五日  
三、開學式 一日  
四、卒業式 一日  
合計 三二日

第四章 操行  
第八條 各學員ハ學術科ニ對シ固ヨリ潛心研究シ躬行ニ付テハ特別ニ注意シ以テ規律化ノ人材ヲ完成シ黨國ニ貢獻セシムルコトニ努ム

第六條 全期試驗日數左ノ如シ  
一、第一期々末試驗 二日  
二、第二期々末試驗 三日  
三、修業試驗慰勞休暇 二日  
合計 七日

第五章 附則  
第九條 本大綱ニ徹底セサル處アル時ハ參謀本部第三廳之ヲ修正ス  
二、支那參謀本部語文補習班教育

第七條 全期休業試驗日數ヲ除キ其ノ課業日數左ノ如シ  
第一期 七二日

第三章 教育期限及日數

第二期 七〇日

合計 一四二日

「附」(一、二、略)

三、學員人數

總數 五〇名 中一名哈喇必左翼  
暴子青ノ弟僞名白健飛本名暴明雲  
二十八歳ナル者、中十名軍人。  
退學八名、實數四二名、平均年齢  
三〇歳

四、分蒙區域

日本、朝鮮、赤露、佛國、南洋、  
瓜哇、安南、緬甸、東北(滿洲國)  
新嶺、蒙古 以上

### 諸外國に於ける共產黨のテロ

次に掲げるのは本年一月十五附巴里露  
西亞商工會議所發行標題名のパンフレッ  
ト(筆者ウエー・エム・レウハツスキー)  
の翻譯である。内容頗る断片的であり、  
特に反蘇的團體の發行に係るものだけに  
或は全幅の信を措き難いかも知れないが

其の一斑を知るを得るを以て採録した次  
第である。

#### 一 リトウキノフの言動

亞歷一世の暗殺に關するユーゴスラ  
ウキヤの抗議が國際聯盟で討議に附せ  
られた際、リトウキノフは次の様な説  
明を行つてゐる。

「歐洲大戰前露西亞に於ける革命政  
黨の或一派は、己が政治的積極性を  
ツアリズムの代表者に對する個々の  
なテロに集注したのであるが、他の  
一派はこれを無益にして危険なるも  
のとし、殊に斯の如き手段は政治闘  
争の眞精神を墮落に導くものとして  
極力排撃して來た。

現在の蘇政權兼余自身は實に後者  
から出たもので、テロ否定の態度こ  
そは、我が黨を始め世界各國のマル  
クス主義革命政黨の遵奉し常に尊重  
する所のものである」と。

#### 二 共產黨テロに關する情報

併し露西亞内は勿論のこと諸外國に

に於ける典型的な共產黨テロの實例を  
紹介する。

#### 三、羅馬尼亞に於ける共產黨テロ

共產黨テロの最も著しい國としては  
先づ羅馬尼亞に指を屈せねばなるまい。  
露西亞に共產政權が樹立されてからこ  
ろもものは此國では年に數十回云ふ  
共產黨テロの公判が毎年繰返されて  
居る。羅馬尼亞政治警察の指導者グ  
レスコ氏が全國に於ける共產黨員の  
バイ並テロ行爲に關し詳細な著述  
Hikrişcu Misarea Subversiva în  
Basilia 1925 を發表して居るが、  
其の序文には羅馬尼亞共產黨員は暴力  
テロを以つて祖國政權の轉變を謀つ  
てゐるに斷定し、同著の共產黨テロの  
篇には(一一八頁参照)檢舉された共  
産黨員の家宅搜索で發見された手紙が  
掲載されて居るが、其中には次の様な  
一節がある。

「蘇聯政府はテロ断行の計畫を樹て  
これが爲にはあらゆる手段を敢て辭

於ける共產黨員の實際行動を見るに、  
リトウキノフのこの言辭は全然間違つ  
て居る。今日共產黨のテロ行爲を研究  
して見様と思へば、蘇聯邦内の赤色テ  
ロを始め諸外國に於ける第三インター  
のテロに關する情報は存分に蒐集する  
事が出来る。

露西亞内に於ける共產黨テロに關す  
る情報は餘りにも世上に知れ渡つて居  
るが、第三インターのテロ行爲も近來  
相當世上に知られて來た。

コミンテルンの機關誌コムニスター  
チエスキー・インターナショナルの記  
事の中にも蘇聯邦に於ける政治的外交  
的黨務的活躍を中斷した有力な共產黨  
員の特別工作の跡にも之を物語るもの  
があり、職務上特に共產黨テロを闘争  
して來た人士の發表や、共產黨テロリ  
ストの公判さてはスターリンを絶縁し  
たコミンテルンの有力者の暴露等て相  
當の資料がある。殊に獨逸、日本、波蘭、  
羅馬尼亞等、諸國政府の共產主義に對す

せぬ事になつてゐる。我々は世界的  
範圍にテロ運動を起し、協商諸國並  
獨逸の政府部員にして苟も世界革命  
遂行を阻害する様な人物は悉く之を  
撲滅して仕舞はねばならぬ。全歐洲  
の共產黨はサボタージユを開始し住  
民を煽動して叛亂の組織に着手す可  
きで、我々の運動を成功に導く爲に  
は出來得る限り我々のテロ行爲に依  
つて一般民衆が窮迫に陥る様に仕組  
まねばならぬ。

蘇聯邦政府は戦争の場合には獨逸  
式の戦法を使用することに於て居  
るが、其の一方法として傳染病の人  
爲的傳播云ふ事さへ計畫されてゐ  
る……」云々。

羅馬尼亞に於ける共產黨員の政治的テ  
ロは共產黨取締に對する抗議云々意  
味で權力者、政治家殊には公衆保安機  
關の代表者の生命を奪ふ云々方法を  
取つてゐる。共產黨は其の運動の展開  
方法として先づ其の足場たる細胞を組

織し、己がエーゼントの煽動工作地盤が出来上るのを待つてテロ運動に移つて行く様で、共産黨の極秘指令にもテロ遂行は絶対必要な手段であるを力説されて居る。

以下同著述に發表されて居る共産黨テロの概略を紹介する。一九二〇年—一九二三年に羅馬尼領内で逮捕されたテロリストは彼等が蘇聯邦領内に存在するテロ組織のメンバーである事を自白して居り、彼等の公判で蘇聯邦がベツサラビヤのテロリストに武器、爆薬等の供給を行つて居つた事が明かにされて居る。又共産黨アヂトの家宅捜索で緋火薬二千疋を始め手榴弾、爆薬用導火線、秘密電話設備多数のアヂト書等が発見されたが、之等も蘇聯邦製のものであつた事が明瞭になつて居る。一九二〇年にはキシネフの國民劇場の舞臺下に機械装置の爆弾が仕掛けられて居たのが発見され而も其爆弾は同劇場の開演時刻を見計らつて炸裂する様

な仕掛になつて居つたのであつて、他にも公衆建築物、監獄、兵營等の爆破計畫が発見して居る。一九二一年十月四日にはテーガン、カウシヤン間の鐵道線路に爆薬が設置され旅客列車が爆破せられたが、その下手人で逮捕されたテロリスト連の寫眞も掲載されて居る。又同じく十月十四日夜半同じ鐵道で軍用列車が爆破された。其下手人でテロリストの陳述に依れば「羅馬尼内に散らばつて居るテロ三人組はウクライナ共和國の蘇政權に依つて組織されて居り、爆薬、資金、指令アヂト書等も同政府から供給されるので將來も依然としてテロ行爲を續行するであらう」と云つて居る。

アツケルマンでは一九二一年十二月十四日に第四號テロ團なるものが檢舉されたが、之も共産黨のテロ團で之を指揮して居つたのはオデッサ在住のテロリストであつた。この一團はアツケルマン警察官屯所を襲撃し、其の除

警察官四名の死者を出して居る。而して同團の使命はオデッサにあるテロリスト中央委員会の決議により發電所兵營、停車場等の爆破にあつたのである。以上の外に羅馬尼に於ける共産黨のテロ行爲の實例は多数發表されて居るが、紙数の關係上茲には之を省略する。併しこの著述に依つて蘇聯邦政府が自國領内であるオデッサに羅馬尼で活躍するテロリスト養成の特殊學校を組織して居る事が明瞭である。

尙著者はテロリストの寫眞、押収した計畫書、地圖の寫其の他テロリストの武器の寫眞等多數を掲載して居る。又共産黨テロ中央部には一九二二年三月二日附第二號の極秘指令で蘇聯邦軍のベツサラビヤ侵入と共に武裝蜂起を計畫して居るが（一二八—一二九頁参照）其中に次ぎの様な一節がある。

「ブリチエニのグループは其二五%を割いてバルタに武裝支隊を組織す可し。オプチエニのグループは改編

してエス聯隊に編成しキルメニ支隊は特命大隊に改編す可し」と。

斯くてベツサラビヤ攻略の計畫は主として國內の共産黨武裝團に依つて行はれる事になつて居つた様で、著者グサレスコ氏に云はしむれば羅馬尼に於けるテロ運動は武裝一齊蜂起を目論み蘇聯邦政府をしてベツサラビヤを占領せしめるのが目的であつた。

著者はスパイの篇でも共産黨エーゼントが、如何に種々雑多な犯罪を行ひ殺人をさへ屢々行ふかを説明して居る。

#### 四、日本に於ける共産黨テロの中 央委員會命令殺人

共産黨は個々のテロには極力反對であるを稱しながら、他方では秘密裡に個々の人士を容赦無く殺害して居る。而も斯の如き制裁が黨の最高機關の決議に依つて行はれて居るのである。勿論斯の如き決議を黨の言論機關が發表するやうな事は殆んど無く、今回の様

にコミンテルンの正式機關誌一九三四年第一六號コムニスチエスキ、インテルナチヨナルが共産黨のテロに關する記事を掲載したのは極めて稀な事例である。

「プロウオケーシヨン」を闘争する日本の同志」と題する一論文に「日本共産黨中央委員會は檄文を發して居る。夫れに依ると中央委員會の決議に基づき片野及び古川の兩名が處刑された」と

發表して居り筆者は「この兩名は日本共産黨の責任労働者であつたが、中央委員會は彼等が不良分子であることを發見した。彼等は中央委員會に依つて組織された特別委員會の革命裁判で、己が犯行を全部認した」と説明して居る。又この筆者の云ふ所を見るに中央委員會は日本の領土上に共産黨裁判の存在及び死刑の宣告並びに執行を認めて居るのみならず、特別の文書を以て己が犯罪行爲を詳細に記述して之を正當化せむとさへして居る様である。

其の一文には「片野、古川の處刑を以て表現された斷固たる反撃は階級的敵を恐惶に陥れ司法内務兩當局を未曾有の狼狽に迫らむ」とあり、尙中央委員會は全共産黨員に對し「黨の組織及び機關内に容赦無き自己批判運動を展開して、大衆的反プロウオケーシヨン運動を起し、プロウオカートルを暴露して彼等を迅速且ポリシエウイキ的に成敗せよ」と提唱して居る。

併し茲に興味ある事は之に對する共産黨誌の説明である。

「成敗の提唱は云ふ問題に意味のない明瞭な點がある。斯の如き表現の方法は間違つて解釋される虞がある。日本の同志が云つて居る様にポリシエウイキ的に處断せよと表現すれば如何にもプロウオカートルを肉體的に撲滅して仕舞へよと云ふ様に考へられる。併し其れは大變な間違ひである。日本の無産者が政權を掌握した曉には帝政制度に盡した者は悉く革命裁判に附せられ

るであらう。露西亞革命の経験で明瞭な様に之を潜り抜け得る者は殆んどない。

革命裁判は之が規則としてプロヴオカートルに對して唯一の宣告即ち銃殺を云ひ渡したのである。日本の無産者は又露西亞同志の十二月の經驗をも參考にせねばならぬ。當時共産黨は地下にあつたのである。黨はプロヴオカートル暴露の目的を死刑の宣告を行ふ様な事無く達したのである。こう云ふ風な手段であつたから暴露され處刑されたプロヴオカートルの同僚やこれの上官が激怒して黨組織や積極分子に復讐の彈壓を加へると云ふ様なことは免れたのである」と云つて居る。

前述の様にコムニスチーチェスキーインテルナチヨナル誌が秘密な黨裁判の宣告に依る公然たるテロの許す可からざることを指摘して居るのは一九三四年第二三號コムニスチーチェスキーインテルナチヨナル誌に發表された記

事と對比するに非常に興味がある。

「日本のブルヂョア新聞は共産黨の行動に關して報道して居るが其によるに共産黨中央委員会は特別戦闘グループを組織し之の決議によつて十名以上の者が死刑を宣告された。而して其一部は既に殺害されたが他は死を免れたものもある。警察は此の第一回の殺害事件以來大量の檢舉に着手したとのことであるが、斯の如き報道は共産黨で二名のプロヴオカートルを成敗したのを警察が誇大に吹聴したものである。警察は之に依つて日本の共産黨が大膽的個人テロに轉出したと宣傳し警察の檢舉はリッチ事件の犯人に向けられたものであると力説して居る。」

同誌は云ふて居る。即ち日本當局の斯の如き措置でコミンテルンは無難な日本のチエカ員(非常委員)に個人テロを行ふのに死刑の宣告を行ふなまは不得策極まるものであると教

戦は非常に辛辣に行はれたのであつてマザリシエリフエを占領した翌朝

出發二日の後にはタシクランを占領したのである。進軍の途上で會つた住民は悉く直に銃殺して情報の漏れるのを防止した、陸相セイド、ゲセインの軍隊三千名に對しては猛烈な射撃で接戦し、三千名中千名位は生き残つたであらう。戦死者の死體は誰も收拾するものなく、アツガニスタン人に變裝した共産黨員はガイバクにまで進んだ同地からスターリンの命令で始めて引揚げたのである。この行軍でアツガニスタン人八千名は殺戮され、共産黨員はマザリシエリフエに貯蔵されて居つたからくり毛皮を悉く押収することゝ忘れなかつた。この事である。

六、波斯に於けるバジヤノフ暗殺

計畫

前述のアガベコフの著書に發表されて居る共産黨テロリストの興味ある挿話として厄ボリト・ビエーロー(共産黨

政治部)秘書で波斯に逃亡したバジヤノフの暗殺計畫を紹介して置く。

「一九二八年一月三日莫斯科から暗殺電報が到着した、それにはアスハバードから波斯に向つてバジヤノフ及マクシモフの兩名が逃亡した。バジヤノフは莫斯科にあつた際相當責任ある地位を占めて居つたので之が逃亡は非常に危険である。彼等の所在を發見し處置を講ぜらる可し。ツリツセル(ゲベウ長官代理)とある。此電報に前後してメシエッドから逃亡者バジヤノフ及マクシモフ兩名メシエッドに到着す、莫斯科より至急處置を講ず可しとの命令はあるが此の命令を實行すること困難である。依つて自身出張され度しきハイルなるものから電報が来た。一方このスターリン自から發した此の命令を遂行する爲めに蘇聯のエーゼントはアスハバードからバジヤノフ殺害の爲め一團の無賴漢を波斯に送り込み波斯當局に對しこの密入國者を刑事犯

示せねばならなくなつたのである。斯くて共産黨内には實際に死刑を宣告し、之を執行する黨裁判なるものが存在することが判然と認定されるであらう。

五、アフガニスタンに於けるコミンテルンのテロ

一九二九年の春スターリンが外務人民委員やグー・ペー・ウーにさへ一言の通告も無く、共産黨員の赤軍兵士千名をアフガニスタン人に變裝せしめアフガニスタンに侵入せしめたこと云ふ驚く可き事實を元グベウ外國課近東部長、アガベローフが「活躍するチエカ」一九三一年巴里スツレーラ社發行)に發表して居る。スターリンの此命令は完全に行なわれ数個所の村落や都市が占領されマザリシエリフエの占領には三千名のアフガニスタン人が殺されたとのこと、この著者にマザリシエリフエ駐在の秘密情報代表マトウエーエフが打開けた所に依る。此の作

人であるからして引渡を要求して見たり、チエカ員ラゴルスキーは毒殺す可くシアンカリをバジヤノフが收容されて居る監獄に搬入して見たり毒藥を附した煙草を差入れて見たり色々な手段を講じた。斯くて各般の準備が出来上つた頃ニコライ宛第...號指令を變更する依つてバジヤノフ及マクシモフ兩名に對し何等積極行動に出づ可からず本命令に違反した場合は革命裁判に附すとの電報がトリツセル名で到着した。アガベコフは物語つて居る。勿論アガベコフもこの暗殺命令が變更された理由は知らぬ様で莫斯科が外國での暗殺遂行を恐れたのか或は又暗殺命令は既に遂行されて居るだらうと目當を附けて故意に取消命令を出したのか見當が付かぬと云つて居る。併し著者はグベウ在勤中斯の如き事例は枚舉に遑なく收容者の釋放命令が来る然し本人は既に銃殺されて仕舞つて居る様な事は稀れで無かつたこと云つて居る。而も

トルコメニスタン、ゲベウ長官はスターリンの命令と同時にゲベウ本部長第一代理ヤーゴダから萬難を排してもバジャノフを殺害せよとの命令を受取つたがこの方は遂に取消命令が出なかつた云ふことである。

トルコメニスタン、ゲベウ長官は「自分はトルコマンの赤軍兵士數十名を變装させて波斯領に派遣し逃亡者を捕へ様としたが間に合はなかつた。彼等が生きたなりに自分の所に捕つて居たら蟹が何所に冬籠りするか見せて遣り自分自身で訊問して遣つたであらうに」とこの著者に云つたさうである。

著者が外國に赤軍兵士を派遣する等外交問題になることに注意した所が、この長官は平氣なもので「始めての事でもあることだが二三日前にもリュトフアーバートに派遣して見たが、彼等は其所から英國のエアセントを引張つて来て擲り倒し地下室に入れてある、一所に行つて取調べて見ぬか……」

云つて居つた。アガベコソ著「活躍するチエカ」二一六頁参照

七、波蘭に於けるコミンテルンのテロ

元巴里駐在蘇聯大使館參事官ベセドフスキーが其回想録で波蘭で蘇聯の「外交官」が直接關係したコミンテルンのテロに關して物語つて居る。

ベセドフスキーは一九二二—一九二五年に大使館の一等書記官同參事官を歴任して居るので、蘇聯の外交代表部なるもの、仕事は完全に知り抜いて居る人物である。

先づ最初は一九二三年の事であるがコミンテルン及共産黨中央委員會代表ミリューチンがワルソーを訪問してから次の様な事が起つたのである。即ち「ミリューチンが出發する間もなぐオボレンスキー(大使)が自分を彼の部屋に呼び、極秘であるに前提してウンシリフトの命令でロガノフスキー(大使館のゲベウ員で軍事課

報勤務)をして大規模な秘密組織を作り、擾亂運動やテロを敢行せしめる事になつた。而して之が目的は波蘭に於ける革命闘争を尖鋭化せしめるにある話して呉れた。

其れから間もなくロガノフスキーの組織が活動しだしたことが感ぜられた。波蘭の各種の政治組織の事務所や新聞社に爆弾が破裂する様になつた……

何か非常に重苦しい空氣に包まれてワルソー全市に何か恐しい疑惑の霧が立籠めて居る様に感ぜられて来た……故にこう云う様な蘇聯外交官の行動を阻止すべく二三の措置を講じて見たが失敗に終つた。ミセドフスキーは云ふて居る。

尙ベセドフスキーがロガノフスキーのテロが危険なものであることを極力説明した時、オボレンスキー大使は暗號文書でチエリンからロガノフスキーにはポルト・ビューロー(政治部)の

賛成を得て戦略上重要な橋梁停車場、兵器等の爆破と云ふ責任ある使命が課せられて居る。而してこの工作ではロガノフスキーはウンシリフトに直屬し彼にのみ負責である。ミセドフスキーは漏したこのことである。

八、フォツシユ將軍の訪問に際し

參謀本部を爆破する計畫

一九二三年五月三日ヨシフ・ボニヤトフスキー公の記念碑除幕式に際し、波蘭參謀本部の爆破がロガノフスキーに依つて計畫されたのであるが、當時此の計畫をベセドフスキーが嗅ぎ附けてオボレンスキー大使に忠告した事が、同氏の著述に發表されて居る。それに依るに二個の大きな機械仕掛の爆弾を蘇聯邦の國旗を掲げた大使館の自動車で運搬する手筈になつて居たこの事である。

九、ビルストスキー元帥襲撃

ベセドフスキーの著述に依るに「その間にも爆破や襲撃が續けられた。機

械仕掛の大規模爆弾の代りに小型な爆弾を使用する様になつた。處がロガノフスキーはビルストスキー元帥を暗殺しようとして考へ出した。それでワルソーの共産黨自警團を自分の支配下に使用する爲め、ソソノフスキーに相談したが同人は莫斯科の許可が無ければ急に同意することも出来ずデエルデンスキーと直接話合をする爲に莫斯科に出掛た」と云ふ一節がある。

十、ワルソー城の爆破

一九二三年十月十三日夜ワルソー城の火藥庫が爆破された。これで數百の人が被害を受け火藥庫の爆破が幸運にも一部で止まつたので附近の損害も僅少で事済むたのである。

此の事件に關しベセドフスキーは「恐しい様な日が大使館では續いた。皆のものはこの勇敢な大罪は誰が計畫し組織したかをよく知つて居り推察して居つた。エレンスキー(軍事課報勤務員にしてロガノフスキーの後任者)

は何事も無かつた様な平氣な顔をして大使館内を歩いて居つたが、自分と視線が合つたらそれでも都合が悪かつたのか目を伏せた。彼は自分が爆弾隊の組織や之が行動を知つて居ることを知つて居つたのである。數日を過ぎてからオボレンスキー(大使)が自分に十月十五日エレンスキーがウンシリフトの手紙を持つて来て見せたが、夫れには大仕掛な擾亂計畫が進められて居る。詳細はエレンスキーが話をするのであらうと書かれてあつたが、その暗號の手紙は外交郵便で十月七日にエレンスキーが受取つて居るのに故意か偶然かオボレンスキーには爆破の二日後に見せたと云つて居つた」と云つて居る。

十一、大使館の「豫備品」の始末

一九二四年新任のゲベウ支部長オボレンスキーが如何にしてワルソー大使館の所謂「豫備品」の始末をつけたかベセドフスキーが興味ある實況を物語つて居る。

「ソルソーに到着するに直に前任者から受継いだ所謂オーヂヤス王の庇の掃除に着手した。併しこれは大變な仕事で秘密室(大使館の)金庫には爆薬や爆弾や手榴弾が一杯で大使館の屋根裏には何に使ふ爲めであつたか毒瓦斯の罐がロガノフスキーの時代から隠されてあつた。所が出来ただけ敏速に之等の始末をつけねばならなかつた。夫れで之が大部分は歐洲に於けるゲベウの中央部である伯林に送り返された。當時伯林のゲベウ中央部にはミハイロゴルプミが云ふのが元締をして居つたのである。残りのものはウオイコフ(新任大使)が買込むだモーター・ボートでウイストラ河に棄てた。ヘセドフスキー著「テルミドールへの道」(一六五頁)

十二、勃牙利に於ける共産黨のテロ 勃牙利も赤色テロの爲めに大變弱らされた國で同國內では色々な人が被害され政權奪取の爲め武装蜂起さへ企

てられた。スタムブル事件の時の如きは共産黨は公然と反對派を成敗した同國に於ける幾多裁判の結果共産黨のテロ運動は悉く蘇聯邦から指導されて居つたことが明かにされて居る。又共産黨テロリストが勃牙利で如何に盛んな活躍をしたかも一九三四年第一四號コムニスチー・チエスキー・インテルナショナル誌を参照すれば諒解出来る。新に組織されたマケドニヤ革命團は主としてテロ行爲を敢行して居るものである事は世上一般に知れ渡つて居る所であるが、同團の組織には共産黨員が主たる役割を演じたのであつて、殊に同團の港灣地方では盛んに共産黨のテロ團が活躍して居るのである。殊に數年前迄の共産黨のテロ運動は實に熾烈を極め遂に全世界の注視を集めた例のソフィヤの中央寺院爆破事件さへ惹起された。此事件の裁判で共産黨組織の活動方法、行動、組織網等完全に暴露されたが、此の事件にウイ

ンの蘇聯外交官ヤロスラフスキー及エレンスキーが關係して居つたことは數年後になつて始めて判明したのである。元巴里駐在蘇聯大使館參事官ベセドフスキーの回想録に此事件に蘇聯外交官が參加して居つた注目すべき一節がある。

「一九二三年——二四——二五年代にウイーンに旅行してバルカン方面の仕事が如何に展開して居るかを知らる事が出来た。當時の公使はヨツフエでバルカン方面の仕事はゴルドステインミロガノフスキーが遣つて居つた。又ヤロスラフスキーとエレンスキーも表面は公使館附武官として兩人の下に働いて居つた。ヤロスラフスキーはエレンスキーの仕事は軍事情報のみでなく直接バルカンの共産黨及マケドニヤ團の支隊の技術的指導であつた。又各種の擾亂テロ團に對する爆薬や機械仕掛の爆弾を供給するも彼等の仕事であつた。

ヤロスラフスキー及エレンスキーの手を通じてウイーンから持ち込まれた機械仕掛の爆弾でテロ團がソフィヤ寺院の爆破を敢行した際、エレンスキーは報告の爲め莫斯科に召還されヤロスラフスキーは獨り公使館に残留して居つたが、この寺院の爆破は彼に非常な衝動を與へたらしく、全然人間が變つて仕舞ひ、瘦せて來て鬚も剃らず憂鬱な顔をして一日中公使館内をブラノノして居つた。それからさうく、最早こんな仕事には良心が許さぬ様になつたミユス書置をして大使館から姿を消して仕舞つた。此書置で莫斯科は大狼狽をしゲベウの中央部では特別秘密會議を開いてヤロスラフスキーはバルカンの仕事の全貌を知つて居り殊にソフィヤ寺院の爆破事件を詳細に知つて居るから斷然罷免不可しとの決議を行ふた。この決議の遂行は獨逸のチエカ(非常委員會「ゲベウ」)の一支

隊に委せられた。斯くてヤロスラフスキーの所に彼と以前仕事の上で同僚であつた一人の者が訪れ喫茶店に誘ひ出し彼を毒殺して仕舞つた。ヤロスラフスキーの死體は寫真に撮つて莫斯科に送られヤゴタミツリツセルの質檢に供せられたのである。次いでエレンスキーはウイーンに歸任することを拒絶した。それでベルンシテインミユス偽造旅券を與へられて佛蘭西に派遣され軍事間諜網の組織方を命ぜられたが、一九二七年遂に失敗して今日佛蘭西の監獄に收容されて居る。以上が蘇聯外交官の仕事振りに關し彼等の以前の朋輩が物語るストーリーである。

十三、佛蘭西に於ける共産黨のテロ 佛蘭西は第三インターのテロ活動が非常な秘密裡に行はれて居る國で、今日まで赤色エーゼントの大規模な犯罪が依然徹底的には摘發されて居らぬ。故にクテーボフ將軍の失踪事件の様には共産黨が事件に關係して居ることは間違ひの無いと思はれる問題も茲では述べることとする。

それでも一九三〇年サルツルウキルで佛蘭西當局が偶然にも共産黨のテロ組織を検舉したことがあるが、これが取調で當局も佛蘭西内で相當廣範圍に第三インターがテロ運動を行ふて居るミユスこみを充分諒解し得た筈である。

故にサルツルウキルに於ける所謂チエカ事件の概略を紹介して見様。一九三〇年の十月三十日サルツルウキルの或る別荘の近くの街路上に意識を失つて倒れて居つた一人の男があつたので直に應急措置が講ぜられ數日後意識を恢復したので取調て見るに、彼は伊太利の共産黨員でカルチミユスウエルニミカネツキとか云ふ名前も持つて居るもので、同志に連れられて同地の



別荘に來た所が、突然彼が特別委員会の被告になつて居る事が申し渡され、彼を一室に連れ込み椅子に坐らせると委員長が「お前は我々を裏切つた」と云ひ渡し一言の中譯をする時間も與へず彼の側に坐つて居つた監視人が彼の頭を口掛けて射撃した。それからこの裁判官等が彼の墓穴を掘りに出掛けた間に意識を恢復し別荘から街路に匍ひ出したものである云ふのである。依つて別荘の徹底的搜索が行はれた所が同所が共産黨のテロ團の中央部となつて居つた事が明かになり機械仕掛の爆弾の部分品、暗號、無電装置を始め血染の杭や特別委員會の記録一八二冊等が発見されたのである。この記録で見ると一九二九年から一九三〇年までの間に八八九名の被告が裁判された事が記載されて居つたことである。(リベルター其の他の佛蘭西新聞及一九三〇年十月卅一日—十一月十六日間のウオズロヂデーニエ紙)

十四、獨逸に於ける赤色テロの組織

今日までの所、家宅搜索で発見された材料や裁判所の記録や公安國家機關の資料等で共産黨のテロ組織網を徹底的に暴露した文書が刊行されたのは獨逸がただ一國であらう。

赤色テロリストの活動方法、テロ宣傳の組織、武器の供給、秘密指令、闘争の方法、共産黨テロの犠牲者の統計等は今日獨逸に於て其れがヒットラーが政権を獲得した以前のことであらう。ミナチスの統治下になつてからの事であらうと區別無く、特殊の論文や定期刊行物の研究課題になつて居る。

又伯林には特別博物館が出來て居り之れには共産黨の特別テロ團の服裝、武器其の他秘密アヂトの搜索で発見された機械装置の爆弾、手榴彈、秘密ラヂオ・ステーション、暗號、偽造旅券製作用の印刷機、各種の文書(中には秘密戰鬥命令書さへある)ブラック・

リストの原本、計畫書、赤色テロ犠牲者の寫眞、統計表……等が陳列されて居る。之等現實の資料は赤色テロの組織を始め赤色テロリストの行動方法を判つきり物語つて居る。

赤色テロの最も盛んであつた時代はヒットラーが政権を掌握する迄の間で公安機關勤務員が赤色テロに倒れた統計を見ると一九二〇年—一〇五、一九二一年—四二、一九二三年—一七、一九三一年になつて七名、一九三二年に二名と云ふ事になつて居る。(一九三三年ベルリン發行エルト博士著 Revolt Arme 一七一頁)。

獨逸では共産黨が公然と武力闘争で政権掌握や蘇共和國組織に突進したことが度々ある。ミュンヘン、ブレーメン、ブルンシウキグ、バーデンに於て然り、又ライン州、ハンブルグ伯林に於ても同様な事があつた。之等蘇共和國では主として蘇聯から派遣されたチエカ員がテロを指導して居つたのであつ

て獨逸最高裁判所はライプツヒで蘇聯テロリスト・ゴレフ一名スコブレフスキーに死刑の宣告を下して居る。家宅搜索で発見された秘密文書から判斷するに、共産黨の各組織には「シヤレヒ」報部なるものが常設されて居り、この報部が云ふのはチエカ(非常委員會)に外ならず共産黨の指令を見る「シヤレヒ」報部はテロ遂行の使命を有する特別グループの支持を受けて非常委員會チエカに改編される」と規定されて居る。(一九三四年巴里發行ラ・テロル・ルージュニ参照)

獨逸に於ける共産黨テロ團の詳細な資料は幾多の出版物になつて發行されて居り、佛譯されたものは現在の所エルト博士のレウオルト・アルメーがあり、之ミ露獨佛諸國に於けるポリシエウキキー組織の概観としてラ・テロル・ルージュニを参照すれば、獨逸に於ける共産黨のテロ運動を完全に認識することが出来る。

十五、獨逸に於ける共産テロの犠牲者數

エルト博士(レウオルト、アルメー)第一七〇頁—一七一頁)の發表して居る資料に依れば、獨逸に於て一九一八年から一九三三年の間に公安各機關員にして共産黨員のために殺害されたもの二一六名、傷害を受けたもの一九七六名で一九二三年から一九三三年の間ナチス員で殺害されたもの二〇〇、傷害を受けたもの二〇、三一九名であつた。又押収された武器、爆弾、其の他火藥類は非常なものでエルト博士は己が著書に小型活字で四頁に亘つて一九三一年度一ケ年間の家宅搜索の結果及武器押収の状況を述べて居る。(レウオルト・アルメー一五八—一六二頁)

ヒットラーの政権掌握後は第三インターの正式機關誌にも獨逸に於ける赤色テロに關する報道が掲載される様になつた。而して此赤色テロはナチスのテロより權利と秩序を擁護するものミ

され、彼等の使命は「ナチス、テロ不退團の武裝を解除することにある」とされて居るが、一方では労働者並貧農に武器を持つて起つて宣傳して居る。レウオルト・アルメーに依れば、彼等は「秘密命令に依つて全力を盡して拳銃から機關銃に至るまで武器の操練を同志に習得せしむ可しを要求して居る」と……

尙、彼等の秘密指令(レオルト・アルメー一七六頁)は共産黨のテロ團に對し街頭の競合には刀物や火器のみならず藥品類を使用せよと云つて居る。大口の瓶に硫酸やアムモニヤ等を詰めたものを持つて居つて相手に撒き掛ける云ふて居る。又街頭の闘争で鐵力鎌に押發油を詰めたものを準備して置き火を付けた襤褸一所に自動車に投げ込む方法も教へて居り、街頭に於ては出來るだけ群集を混亂せしめることも提唱して居ると云ふのは之は闘争心を煽ると云ふのである。

斯くて今日では共産黨の指令や宣傳文等で彼等の個々の殺人運動から組織的な武装蜂起及街頭の闘争等まで完全に知る事が出来る。獨逸に於ける共産黨テロに對する莫斯科の第三インターの指導部の態度も興味あるものである。スターリン並に之に隷屬する黨中央委員會及第三インターは勿論此テロ運動に同情して居るのみならず、物質的並組織的支持を與へて居るのであつて、テロがマルクス主義の排撃するものである等は虚言も甚しく、返つて之が一手である。國際共産主義新聞主筆會議（一九三四年第一五號コムニスチーチエスキール・インテルナチヨナル誌参照）に於てコミンテルンの指導者の一人ビヤトニツキールは獨逸に於ける共産黨新聞のテロ提唱に關する報道を行ひ興味ある説明を之に加へて居る。即ち「ローテ・フアーネ紙は、見當り次第フアツシストを打倒せよ、この標語を掲げて居る。之に餘りに辛辣なので

黨中央委員會では問題にされなかつたが、各新聞紙は直にこれを掲載する様になつた。打倒フアツシストミカフアツシストの集會やデモを解散せしめよ等の標語は黨の新聞に屢々見受られる所であるが、之は大變よい事である」云つて居る。

十六、獨逸に於ける共産黨テロ  
リストと蘇政府との連繫

獨逸に於ける共産黨のテロ活動は蘇聯政府と緊密な關係を持つて居る。獨逸テロリストの公判で、彼等を赤色莫斯科が指導して居つたことが屢々明かにされて居る。而もテロの殺人を行つた共産黨員の行動を見るに必ず蘇聯邦に逃込うとして居り、之が成功した例も稀れで無い。斯る際にスターリン政府の代表者は彼等に物質的支援を行ふのみならず正式な書類までも發行して居る。

又蘇聯政府が如何に赤色テロリストの運命を考慮して居るかは前獨逸國防

軍司令官フオン・ゼクト將軍の談話で明かである。（一九三三年 Deutschland Zwischen West und Ost）

其れに依るに共産黨員が、フオン・ゼクト將軍の暗殺を計畫したが發覺して逮捕され嚴罰に處せられそうになつた事がある。其の時に莫斯科駐在の獨逸の外交使節からフオン・ゼクト將軍に「兩國の親善關係の爲めに」との理由で彼を暗殺せむとした「露西亞人」の滅刑方を願ひ出した事があつた。併しフオン・ゼクト將軍は國家の要職にある獨逸人を蘇聯人が殺害せむとした事は明かに獨逸の内政に外國人が干渉せむとしたもので、之に對しては斷固たる處置を執らねばならぬと之を拒絶したのこゝである。

勿論斯の如きは、莫斯科駐在の獨逸大使館の代表者が自分の意圖からフオン・ゼクト將軍に願出をしたものとは、考へられぬ。之には明かに赤色獨逸官の代表者が相當頼み込むだからである

十七、共産黨のテロは摘發するの必要がある

以上述べた所位では外國に於ける共産黨のテロなるものを完全に説明したものではない。以上は單に多かれ少なかれ偶然に發覺した外國に於ける赤色テロの部分的な事實を報道したに過ぎず、而も其の僅かな一部分に過ぎぬのである。

共産黨のテロ工作は悉く極秘裡に行はれて居り注意する可き筈でありながら世上の注目を惹いて居らなかつた。蘇聯邦に於て血醒い大衆的テロが再び其の犠牲を齎り取り始めた今日、外國に於ける共産黨のテロ組織に關しても相當文明諸國の輿論の注意が喚起されるであらう。

最近の西班牙事件で明かな様に一度好機至るや深く地下に潜つて居つた共産黨のテロ幹部は直に蜂起し戦時共産主義の非常委員會の指令に従つて「僧侶、資本家、役人」等を徹底的に撲滅

し始めるであらうこゝを豫想して置く可きであらう。

共産黨のテロ細胞は世界各國に存在して居る。而して第三インターは今迄に無い大規模なテロ組織であつて、「資本主義國」の法制の根本思想を完全に無視して活動して居るものであると考へて間違は無い。

獨逸に於ける裁判で明かにされた様に共産黨のテロは單に政敵に對する闘争に云ふ以外に之を經濟的及政治的スパイ行為にも利用し、所謂反戦工作と稱して法治國家を防衛し、之が秩序を維持する所の武力をも破壊するに使用されて居る。

最後に近來共産黨が一般的にフアンズミと稱する各國の國民運動の擡頭に際會して益々地下に入り込み非法法運動を強化しテロを益々敢行するの傾向を指摘して置く。

各國の幾多革命グループや組織は共産黨中央部から物質的支持や時々是指

猶太人の諸問題

獨逸に於ける猶太人迫害問題は、米佛其他の諸國に相當影響を與へ、之等被壓迫猶太人の處置に就ては種々論議されつゝあるが、茲に掲げるのは英、米諸國に於ける猶太人問題に關する新聞記事を蒐録したものである。

一 新國籍喪失獨逸人

一九三五・三・二三  
ニューヨーク・タイムズ  
三月十二日發行の獨逸官報は新に百三十九人の獨逸國籍喪失者の氏名を掲載したが之等は凡てベルリン市警察部長マゲナス・フオン・レツエツゾー將軍の命令によつたものである。今回の國籍剝奪は、一九一八年十一月九日より

一九三三年一月三十日までの間に普魯西に於て國籍を取得した猶太人に對して適用されたもので之に對しては取消等として法律上如何なる行動もとり得ざる状態にあるのである。

而して官報に公表したる國籍喪失者の人名簿を精査する時は、彼等の中の大部分はベルリン市内で生れた者若くは普魯西の各市内で生れた者許りであつて、生國の點から云へば申分なき猶太人である。それ故今回の國籍否認は甚だ矛盾したるものであるが、彼等は右命令に對して彼等は何等訴訟を提起して辯駁するの途が開かれてゐないのである。

如斯して國籍剝奪の宣告を受け財産を沒收せられた上で國外に追放される誠に哀れな無一物者に對して、喜んで彼等を迎へ入れて職業と住家を與へてくれる國家はないのである。即ち世界中の國々は經濟状態不振の爲めに自

國民の失業者が充滿してゐる今日何處を探しても無いのである。無國籍者に對して無財産である彼等の或者は餓死に瀕し或は自殺をせざるに至るのであるたゞひ餓死、自殺せざるまでも他の隣接國に潜入して生きんが爲めに強く働いても、尙且つ生計に窮し、萬策つき果て、生きながらの地獄猶太へ再び歸へつて投獄され悲惨なる結果に陥つてゐるのである。斯くなることは今日迄に示されたる國外追放者等の前例が雄辯に物語つてゐる。

二 在米猶太人の更生

一九三五・三・二四

ニューヨーク・タイムズ

米國に亡命せる猶太人の救済案について、米系猶太人の間に種々考究されつゝあるが、昨夜ワシントン市に於て米國猶太教會聯合大會が開催され各州よりの代表者、來賓約千二百名以上の出席を見たが、その席上同會の實行委員長にして議長たるシンシナチ

市のジャコブ・グブリユ・マツク僧正は、現下の急務は、猶太人の一致團結自力更生へ努力奮闘することのみであつて又吾が民族としての現在待み得る唯一の力である、同時に將來の繁榮への希望を繋ぐ一導の光明である。避難民の擁護救済もこの自力更生の方法によるの外他に道がないとしての意見を發表して聽衆に深い感銘を與へた。

マツク僧正の意見、猶太人は現代の如く自助自力による更生の緊要なる時はなく同時に祖先傳來の運命に立ち歸へるべく餘儀なくせられたる時はない吾が民族が今日の苛酷なる迫害より立ち上つて明日の希望と繁榮を齎らす爲になくてならぬものは教義的、黨派的區別を超越したる猶太全民族の心からなる一致團結である。成程過去の或時代に於て吾々は些々たる見解の相違より融和を缺いてゐたこともあるが、今日の世相は最早やそれを許さない。即ち全猶太民族主義的統一ある有機團體

の構成の緊要であることを切實に教へてゐる。

獨逸に於ける猶太民族の不當なる排斥、迫害は文明の齷らせる狂犬病的症候に外ならぬもので、野蠻への逆戻りであり、幾多の若き經驗多量の勤勞によつて漸くにして克ち得たる自由と忍耐力の總ての結晶の眞價を否認するものである。故に若し吾々が今日獨系猶太人が蒙りたる不法取扱ひに對して抗議をする時は、亞米利加公民の名に於て提出する心算である。

米國猶太教會の聯合並に一致協力の目的に對する意義の確定、マツク僧正は同會結束の目標を左記二點に集注すべしとの意見を述べた。即ち

- 一、排宗教々育論（宗教上の諸儀式を不可とし現世に於て人として勤むべき義務を本位とする論）
- 二、現世に於ける思想と欲求とは兩立し得るといふ猶太主義者の信念を世人に了解せしむること。

猶太人は同民族に對しては有る援助協力を惜まず大なる犠牲をさへ拂ふが同族以外の世人に對しては非常に冷淡で何等關心を持たないとの理由で誹謗と反感を一般社會人より受けるが、これは大いに見當違ひであつて大なる誤解である。

吾等本會員は、猶太教の神と人との現世についての偉大なる福音を廣く世人に傳ふるの任務を持つてゐる。吾等の福音は既に今日に至るまで幾多國民の腦裏に深く印象つけられてゐるばかりでなく、正義を飾る美術の花として人類生活の途上に刻みつけられてゐる。これがあるが爲めに猶太人は誹謗と排斥と迫害の眞貝中にてさえ人間としての人格を保ち、道徳を守り精神的方正を維持することが出来たのである。が現在の状態では猶太教は猶太人のみの救ひであり、庇護所である許りでなく、更らに深遠にして宏大なる宗教であつて一般社會人も猶太人同様の福音を受

け救ひを受け得べきものである。

排宗教教育論への警告、在パフアロ市の聖堂靈場教會（テンブル・デス・シオン）古猶太神政を説く一派の博士であつてワシントン市に於ける米國猶太教會正聯盟と全聖堂兄弟及び姉妹教會聯盟の三教會聯合會議の開催に多大の盡力を致したるラビイ・ジョセフ・エル・フインクは同夜同席上に於て、『猶太教は昔日の面影もなく衰微してんとしてゐることは悲しむべき事實である。然るに今日の世相は吾が民族へ迫害の手を益々厳しく加へて理由なき暴虐の鞭に苦しめられてゐる。この受難時代に先祖傳來の古猶太教の再興を計つてその勢力範圍を取り戻し、逆境より同胞を護るべきである。』

其一方法として猶太人の子弟を教育する學校組織は猶太主義の崇拜及びその福音傳道と人間生活のよき協同を旨とする訓練場としての本來の職務を完全に回復せしむべきである。

現代の如く智的文化の混濁時代、  
道徳的生活を無視する紊亂時代に於て  
は殊更猶太主義は智的指導と精神的教  
示に於て猶太人を統一し、その生存の  
中心點を與へ以て世界各國に散在する  
猶太民族をしてパレスタインに復歸せ  
しむるの急務を痛感するものである』  
と述べた。

尚ほバツアロー市在住の聖堂姉妹教  
會聯盟副會長ハリー・ナートン夫人  
は彼女の有機團體に代つて今回の猶太  
民族の統制及び自力更生について意見  
を述べ、併せてその上記の如き決議に  
對し祝詞を述べた。又聖堂兄弟教會聯  
盟會長サミュエル・ビー・フィンケルは  
『同聯盟の有機團體組織及びその目的  
とするところは猶太人ならぬ一般社會  
人に對し、猶太人の有する道徳心と猶  
太人らしき自覺とを創造せんとするに  
ある』と力強く述べた。

三 猶太系米人の獨系  
猶太人救済

一九三五・三・二五  
ニューヨーク・タイムズ  
獨逸政府の迫害を受けて米國に亡命  
し來る猶太系猶太人の數が最近激増し  
つゝあるに鑑み、その救済方法が各  
方面で論議せられてきたが、昨廿四日  
ワシントン市に於て開催せる猶太聖堂  
教兄弟教會と同上姉妹教會並にヘブリ  
ユ組合教會の聯合總會に於て漸くそ  
の救済方法が具體化されるに至つた。  
その方法としては亡命せる猶太系猶太人  
等がニューヨーク市外及び各國人の雜  
居の居留地域内に於て自活し得るやう  
適當なる一定の地域を選定し、そこに  
收容して職業を住居を與へて饑餓より  
彼等を救ふと云ふにある。

右に關しポストン市の猶太民族會々  
長サミュエル・ビー・フィンケルを實行  
委員長に推挙し同時に同族米人の各政  
治團體に向つても亡命者救済計畫を正  
式に提案することを實行委員に委任す  
る件をも満場一致を以て可決した。本

せざるやう相當の保護施設をなす  
べき義務がある』

尚猶太聖堂教兄弟教會は同會に於て  
更に左記三ヶ條の猶太古教の教典儀式  
の復活案を可決した。それは

- 一、猶太教をして單に哲學的教義の  
討究と儀式一點張りに終らしめる  
ことなく、吾等の奉仕的生活に一  
層の温情を加味すること。
- 二、先祖傳來の猶太教に復歸する  
こと。
- 三、ギリシャ正教會と猶太人の保守  
的傳統的信仰を以て組織せる各支  
部教會との共同布教を増進せしむ  
ること。

同夜本總會席上に於て此の外數人の  
演説が試みられたが、その中でハート  
フォード市のジャツヂ・ソロモン・エイ  
スナーは『猶太教主義は米國民の理想に  
對して演説し、終つて全米三十四箇  
所より選出せられてこの聯合宗教大會  
に出席せる代表者等、シンボシム

會席上に於てニューヨーク中央猶太教會  
の大僧正ハロールド・エツチ・ホツフマ  
ンはナチの迫害によつて追放或ひは避  
難の憂目に遭ひたる憐なる犠牲者達の  
人爲について次の如く報告した。  
『猶太人の多くは數ヶ國語に通じてゐ  
る許りてなく全歐洲の商取引にも通  
曉してゐるので各種の商業職業に従  
事することが出る、又彼等は何れ  
の國の法律にも服従遵奉して行くこ  
とが出る。その上如何なる苦境に  
立つてもそれが正當の理由に基くと  
きは之れを甘受して切り抜けるだけ  
の勇氣と忍耐力を持ち合せてゐる  
今回避難移住して來た人々も徒らに  
諸君の慈善と隣愍を乞はんとして  
ゐるものではない。只管に精神的に  
も肉體的にも彼等に適當なる職業を與  
へられんことを希つてゐるのである  
故に吾等同胞としては社會的にも道  
徳的にも自らの生活を建て直さんと  
してゐる彼等の勇氣と希望とを粉砕

(古代ギリシャ人の正餐後の宴會で、  
水を割つて葡萄酒を飲み高論清談を試  
み音楽舞踊等の娯樂に興ずのである)  
を共にした。

四 作家に對する迫害

一九三五・四・二二

マンナエスター・ガーディアン(週刊)  
獨逸の作家、新聞記者、音楽家及び  
美術家は將來其の職業を繼續するには  
公認の當該協會に加盟しなくてはなら  
ぬのであるが、加盟し得る者はアリヤ  
ン系統で、政治的容疑者でない者に限  
られるのである。予(通信員)が入手  
した二通の書類は、協會への加盟許可  
の振合を能く示してゐる。

左に記す書面は國民作家協會が加盟  
を拒絶し若しは加盟の取消を通告する爲  
に發送したもので之が爲に多數の猶太  
人、幾百の獨逸人が職を失つて窮乏に  
陥つたのである。

『總統兼首相の意見に依れば作家たる  
身分は「協會法施行規則」第十條に

該當する適材なるを要す、獨逸國民  
の生活及び將來の發達に緊密の關係  
ある精神的及び文化的創作事業の重  
要さを考慮するべき此等の事業に従  
事する者は立派な市民たるに止まら  
ず純純、純血の人々でなくてはなら  
ぬとの結論に達するのである。  
同一民族社會といふことから同胞に  
對する義務と親愛の念を生ずる人々  
にのみ、國民の内の生活に至大の影  
響を與ふべき、精神的及び文化的創  
作の如き重要な職業は許可せらる  
べきものである。然るに貴下は非ア  
リヤン民族であり、此等の條件に適  
合せず、故に作家協會に加盟を拒絶  
し、同協會の管轄に屬する創作を爲  
すことを禁止する』  
今一つの書面は美術家に關するもの  
であつて、世界的に有名な猶太系一獨  
逸畫家が「最高美術協會」に加盟を申  
込みたるに對し、之を拒絶したる書面  
であつて、同様の書面が多數の猶太人

美術家に發送されたのである。

五 猶太人に對する迫害

一九三五年・四・二六

マンチエスター・ガーゲン(週刊)

獨逸に於ける猶太人の迫害は國民社會黨の地方指導者團の演説、論文、記者團への意見發表等に依つて煽動されるのと、一方國家秘密警察の發する特別命令に依つて益々甚しいものがある。此等の命令は一見穏和なるが如く見ゆるも、獨逸に於ける特別の事情に相俟つて頗る峻酷なものとなるのである。次に其の二、三の例を擧げる。

「元軍人であつた猶太人をも含む總ての猶太人は祝祭日に國旗を掲げることを禁ぜられてゐる、然るに猶太人以外の者が擧つて國旗を掲げるのであるから、國旗を出さない猶太人の家は直ぐ人目をひき、それがもて凌辱されるやうなことは珍らしくないのであつて而も獨逸には祝祭日が随分多いのである。

青年猶太人は追てパレスティンへ移住するに確定してゐる者に限り、専門的訓練を受くることを許されるが、獨逸に永住せんとする者には許されない。

獨逸を去ることを止めるやうに勸誘する目的で猶太人が開催する總ての集會は許可されない。

此等一般的方法の外に、もつと小さい猶太人いぢめの數々が行はれてゐるのであつて、小さいこゝでも度かさなれば物質的にも、心理的にも、其の結果は必ずしも小さくはない、三月十七日に獨逸戦死者慰靈祭が行はれたが其の際元軍人の猶太人が墓碑の前に捧げる花輪は直ぐさま取り除けられてしまふのである。著作家であり、教師である有名な猶太人マルチン・ゾーベルは猶太人の集會で演説することを禁止されてゐるし、又過去五十年間に歸化證を受けた多數の猶太人家族は市民權を取上げられた事實もある。約五十名

の青年猶太人は専門的訓練を受くる爲に外國に行つてゐるものが最近獨逸へ歸來したところ直ちに逮捕されてダホーに在る強制收容所へ收容されてしまひ、ナチ獨裁の初期に獨逸を遁れ出て、今では獨逸も稍々平常に復したならうとの早合點から歸來する猶太人の多數もどしく逮捕されてゐるのである。

猶太人著作家、新聞記者、美術家に對しても手きびしい壓迫が加へられてゐる(末尾參照)大學の職員は其の後増員されてゐるが猶太人は一人も之に採用されない。又統計表を發表しないから確たることは分らぬが、猶太人學生はほんの少數で、一九三二年には大學生總計十萬二千の中猶太系大學生は三九五〇であつたのが一九三四年には八一三名に減少してゐる。

小都市や村落中には、警告しても肯かずに、猶太人ミ商取引をする者を曝し臺に曝して處罰した處さへあり、新聞で烈しく攻撃するなどは屢々であ

る、去月も一猶太人實業家が罪人扱にされリユーベツクの街々を引廻されたこゝがあつた。世界の猶太人のこゝを正確詳細に報道するので猶太人に關する研究をする人々から重寶がられてゐるこゝの猶太電報通信社は獨逸警察が、猶太人行列を其の儘警察署に向はせて全部を檢束した事件を報道してゐる。

フランクフォート市の「ゲマインデブラット」紙は同市猶太人の統計比較を掲げた。

出生	一九三三年	一九三四年
死亡	一〇七	六七
結婚	二二三	三一四
結婚	一七八	一三六

「スチユルメル」紙及び「フランクツシエ・ターグスポスト」紙の名代の反猶太記者ユリウス・ストライヘルは依然反猶太人運動に熱中してゐるが、四月九日彼は獨逸人三猶太人の兒童は學校の教室で別々に坐せると要求してゐる

が、彼は内務大臣フリックから激勵されてゐるのであつて、フリックは彼の爲に辯じてストライヘルの方針は政府の方針に合致してゐるのだといひ、又ストライヘルはヒットラーの親友で過般ストライヘルの誕生日にはヒットラーは懇々同人を訪問して祝つたなどといふてゐる。

三月七日の反猶太新聞「イウデンケンネル」は羅馬法皇廳が猶太系カソリック教徒の爲に干渉せんとするとして之を攻撃して

「カソリックの洗禮を受ければこゝで猶太人はやつぱり猶太人である、判事の眼から見れば新教徒であらうが舊教徒であらうが、盜賊は盜賊であるのと同じである、いくら法皇廳でもカソリック教徒であるからこゝで盜賊の爲に干渉することは、よもあるまい」と記してゐる。

獨逸に於ける猶太人迫害の一般傾向

としては殆んど總ての出世の途を梗塞して青年猶太人を迫害し、外國への移住を奨励する一面に猶太人の歸來するのを極力阻止し、公人の生活及び自由の職業から猶太人を除外し、いつかは獨逸猶太人を根絶せんとするのである。

英帝の銀冠式祝賀舞踏會と失業者

一九三五、五、廿三

ニューヨークタイムズ

英國皇帝陛下御即位廿五年記念の祝賀舞踏會が倫敦市長サー、ステフエン・キリック夫妻主催の下に五月廿二日夜市公會堂ギルド、ホールに於て開催され畏くも皇帝、皇后兩陛下の臨幸、皇太子殿下並に皇族方の台臨を仰ぐこゝとなつてゐるので、この榮えある大舞踏會に晴れの招待を受ける二千餘りの貴顯紳士淑女は定刻二時間前より市公

會堂に參着制服正装に威儀を正し綺羅星の如く表大立關に整列して兩陛下の御到着を御待ち申上げてゐた。

折柄御臨幸の時間も差迫つた夕刻、突然失業者及び共産黨より成る示威運動の大群衆が大舉して市公會堂の大立關目がけて殺到したので、同所にお出迎への爲めに立並んでゐた紳士淑女に驚愕を與へ、一時混雜を生ぜしめたがその時公會堂警戒中の正、私服警官隊によつて示威行列は解散せしめられ、暴徒は追拂はれて直ちに秩序は回復せられたので別に事なきを得、大舞踏會は豫定通り舉行されるに至つた。然るに右失業者及び共産黨員の大群衆は『我々幾百萬人の失業とその家族は今や飢餓と窮乏のどん底に呻吟してゐる。然るに僅か一夜の祝賀舞踏會の爲めに莫大な費用を消費するとは何事ぞ』紳士淑女の着飾つてゐる立派な衣裳は裕に吾人の空腹を満し吾人の家族を餓死より救ひ得る』等の文句を大書

したる大旗を押立て、憎悪、怨嗟、嘲弄の言葉を大聲で喚き叫び或は革命歌を高唱しながら汝等華麗なる衣裳をつけた狡猾なる追剥盜奪よ、汝等は定めし己れ達の家庭では餓死せんとして居るのを知つてゐるであらう。知つて居れば、一片のパンを與へる位の事は知つてゐるだらう』と叫びながら市公會堂の大立關目がけて亂入し、以て大舞踏會場を混亂に陥らしめて開催出來得ぬやうに企圖したのであつたが、兩陛下御通過の沿道及び公會堂内外一圓を嚴重警備中の多數の騎馬徒歩の警官隊の阻止に遇ひさしも頑強に抵抗した大集團も大亂闘の末解散せしめられるに至つたのである。

然し彼等は阻止されて引き上げながらも、なほ紳士淑女に對して惡罵を浴びせることを止めなかつた。兩陛下は定刻御揃ひにてバツキングナム宮殿を御出門の上歴史上有名な第十五世紀の建築物ギルドホール大立關に御到着

あらせられ、市長夫妻以下一同の奉迎を受けさせられたが、兩陛下御臨幸の沿道は拜觀人で物凄じばかりの雜沓を極めてゐた。

當夜此の未曾有の大舞踏會に榮えある招待を市長夫妻より受ける人々は英國皇室を始め奉りイギリス並に海外自治領代表者・首相以下各大臣、上下兩院、貴族英帝國領土諸代表者、外國使臣、海外代表大臣高官軍人、宗教、實業、學界の代表的權威者及び特に市政に功勞ある者等であつて、何れも目も眩むばかりに盛装して綺羅やさと豪華さを競つてゐた。



昭和十年七月

内務省警保局